

本資料内に掲載されている平成 18 年から平成 24 年の統計については、数値の一部に誤りがあります。

修正後の数値は、

- 警察庁トップページ＞統計＞捜査活動に関する統計等＞犯罪統計
＞「犯罪統計資料(平成 24 年 1～12 月【確定値】訂正版)」の「正誤情報」
「犯罪統計（平成 20 年～平成 24 年）の訂正について」
- 警察庁トップページ＞統計＞捜査活動に関する統計等
＞年間の犯罪の「正誤情報」

をご確認ください。

平成24年の犯罪情勢

平成25年6月

警 察 庁

凡 例

1 本資料における用語等の意義は次のとおりである。

(1) 刑法犯

道路上の交通事故に係る危険運転致死傷、業務上（重）過失致死傷及び自動車運転過失致死傷を除いた「刑法」に規定する罪並びに「爆発物取締罰則」、「決闘罪ニ関スル件」、「暴力行為等処罰ニ関スル法律」、「盗犯等ノ防止及処分ニ関スル法律」、「航空機の強取等の処罰に関する法律」、「火炎びんの使用等の処罰に関する法律」、「航空の危険を生じさせる行為等の処罰に関する法律」、「人質による強要行為等の処罰に関する法律」、「流通食品への毒物の混入等の防止等に関する特別措置法」、「サリン等による人身被害の防止に関する法律」、「組織的な犯罪の処罰及び犯罪収益の規制等に関する法律」、「公職にある者等のあつせん行為による利得等の処罰に関する法律」及び「公衆等脅迫目的の犯罪行為のための資金の提供等の処罰に関する法律」に規定する罪をいう。

(2) 包括罪種

刑法犯を「凶悪犯」、「粗暴犯」、「窃盗犯」、「知能犯」、「風俗犯」、「その他の刑法犯」の6種に分類したものをいう。

凶悪犯……………殺人、強盗、放火、強姦

粗暴犯……………暴行、傷害、脅迫、恐喝、凶器準備集合

窃盗犯……………窃盗

知能犯……………詐欺、横領（占有離脱物横領を除く。）、偽造、汚職、背任、「公職にある者等のあつせん行為による利得等の処罰に関する法律」に規定する罪

風俗犯……………賭博、わいせつ

その他の刑法犯……公務執行妨害、住居侵入、逮捕監禁、器物損壊、占有離脱物横領等上記に掲げるもの以外の刑法犯

(3) 認知件数

警察において発生を認知した事件の数をいう。

(4) 検挙件数

刑法犯において警察で検挙した事件の数をいい、特に断りのない限り、解決事件の件数を含む。

(5) 検挙人員

警察において検挙した事件の被疑者の数をいい、解決事件に係る者を含まない。

(6) 解決事件（件数）

刑法犯として認知され、既に統計に計上されている事件であって、これを捜査した結果、刑事責任無能力者の行為であること、基本事実がないことその他の理由により犯罪が成立しないこと又は訴訟条件・処罰条件を欠くことが確認された事件（件数）をいう。

(7) 検挙率

認知件数に対する検挙件数の割合を百分比で表したものをいい、その算式は次による。

$$\text{検挙率} = \frac{\text{検挙件数（当該年以前の認知事件の検挙を含む。）}}{\text{当該年の認知件数}} \times 100$$

(8) 未遂罪及び予備罪は、それぞれの既遂の罪に含めている。

(9) 成人事件、少年事件、成人少年共犯事件

成人事件とは 20 歳以上の者が犯した事件を、少年事件とは 14 歳以上 20 歳未満の者が犯した事件をいい、両者の共犯事件を成人少年共犯事件という。

(10) 少年の検挙人員

特に断りのない限り、犯行時及び処理時の年齢がともに 14 歳以上 20 歳未満の少年の検挙人員をいう。

(11) 犯罪手口の名称変更

平成 16 年から、「部品盗」を「部品ねらい」に、「自動販売機荒し」を「自動販売機ねらい」に、「空き巣ねらい」を「空き巣」に改めた。

(12) 発生場所

ア 「共同住宅（4 階建以上）」とは、中高層（4 階建以上）住宅とし、「共同住宅（3 階建以下）」とは、その他の住宅（住宅のうち、一戸建住宅及び中高層（4 階建以上）住宅を除く）とした。

イ 「一般事務所」とは、その他の会社・事務所とした。

ウ 「商店」とは、デパート、総合スーパー、ホームセンター、家電量販店、コンビニエンスストア、ドラッグストア、その他のスーパーマーケット、レンタルビデオ店、貴金属店、古物店、給油所及びその他の商店（平成 20 年以前は、総合スーパー、ホームセンター、家電量販店の区分はない）とした。

エ 「生活環境営業」とは、一般ホテル・旅館、サウナ等公衆浴場、コインランドリー、映画館劇場等、ぱちんこ屋・まあじゃん屋等、景品交換所、ゲームセンター、その他の風俗営業店、個室付浴場、モーテル・ラブホテル等、その他の店舗型性風俗特殊営業店、カラオケボックス、マンガ喫茶・インターネットカフェ、深夜飲食店、その他の飲食店（平成 20 年以前は、コインランドリー、カラオケボックス、マンガ喫茶・インターネットカフェの区分はない）とした。

オ 「金融機関等」とは、質屋、貸金業、銀行、郵便局、信用金庫・組合及び農（漁）業協同組合とした。

カ 「公共交通機関等」とは、地下鉄内、新幹線内、その他の列車内、駅、その他の鉄道施設、航空機内、空港、船舶内、海港及びバス内とした。

キ 「その他の交通機関」とは、タクシー内及びその他の自動車内とした。

ク 「その他の街頭」とは、地下街・地下通路及び高速道路とした。

ケ 「街頭」とは、道路上、コインパーキング、月極駐車場、その他の駐車場、駐輪場、都市公園、空き地、公共交通機関等、その他の交通機関及びその他の街頭（平成 20 年以前は、コインパーキング、月極駐車場、その他の駐車場、駐輪場の区分はない）とした。

コ 「駐車(輪)場」とは、コインパーキング、月極駐車場、その他の駐車場及び駐輪場（平成 20 年以前は、「駐車(輪)場」で、コインパーキング、月極駐車場、その他の駐車場、駐輪場の区分はない）とした。

サ 「学校（幼稚園）」には、学校教育法の一部を改正する法律（平成 19 年 6 月 27 日法律第 98 号）による改正前の学校教育法第 1 条に掲げる学校（小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、大学、高等専門学校、盲学校、聾学校、養護学校、幼稚園）、同法第 82 条の 2 の専修学校及び同法第 83 条の各種学校のほか、その実態が幼稚園と同視されるような保育所を含む。

シ 「都市公園」とは、都市公園法第 2 条に規定する公園及び緑地で、同法第 2 条の 2 の規定に基づき設置されたものをいう。

(13) 来日外国人

来日外国人とは、我が国にいる外国人のうち、いわゆる定着居住者（永住権を有する者等）、在日米軍関係者及び在留資格不明の者以外の者をいう。

(14) オートバイ

オートバイとは、自動二輪（50cc 超）及び原動機付自転車（50cc 以下）とした。

(15) 高齢者

高齢者とは、65 歳以上の者とした。

2 本資料の分析は、犯罪統計及び実務統計による（実務統計とは、警察庁において特別調査により集計する数値である。）。

3 本資料中の図表による構成比については、四捨五入の関係で、合計の数値と内訳の数値の計が一致しない場合がある。

4 本資料中の事例の検挙月日は、特に断りのない限り、平成 24 年である。

目 次

第 1 全刑法犯の概況

1 刑法犯の認知・検挙状況の推移	1
2 刑法犯の包括罪種別認知・検挙状況の推移	2
3 刑法犯の被害状況の推移	3
4 平成 24 年中の特徴的傾向と今後の犯罪抑止対策	4

第 2 主な刑法犯の現況

1 重要犯罪	7
(1) 重要犯罪の認知・検挙状況	7
(2) 殺人事件の状況	8
ア 捜査本部設置事件の状況	11
イ 通り魔殺人事件	11
ウ 保険金目的殺人事件	12
(3) 強盗事件の状況	13
ア 金融機関・郵便局対象強盗事件	15
イ 消費者金融対象強盗事件	16
ウ 深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件	16
エ ぱちんこ屋・まあじゃん屋等を発生場所とする強盗事件	17
オ ぱちんこ景品買取所対象強盗事件	18
カ 現金輸送車対象強盗事件	18
キ タクシー対象強盗事件	18
ク 強盗の手口別認知・検挙状況	20
(4) 主な性犯罪の状況	21
(5) 略取誘拐・人身売買事件の状況	23
(6) 放火事件の状況	24
2 重要窃盗犯	25
(1) 重要窃盗犯の認知・検挙状況	25
(2) 侵入窃盗	26
(3) 自動車盗	29
(4) ひったくり	31
(5) すり	32
3 重要窃盗犯以外の窃盗犯の状況	34
(1) 組織窃盗事件の状況	34
(2) 車上ねらい	36
(3) 部品ねらい	37

(4) 万引き	38
(5) オートバイ盗	39
(6) 自転車盗	41
4 詐欺の状況	44
5 振り込め詐欺を始めとする特殊詐欺等の状況	45
(1) 振り込め詐欺	46
ア オレオレ詐欺	46
イ 架空請求詐欺	48
ウ 融資保証金詐欺	49
エ 還付金等詐欺	49
(2) 振り込め詐欺以外の特殊詐欺	51
ア 金融商品等取引名目の詐欺	51
イ ギャンブル必勝情報提供名目の詐欺	53
ウ 異性との交際あっせん名目の詐欺	53
(3) 特殊詐欺を助長する犯罪	54
ア 預貯金口座の不正な取得・流通	54
イ 携帯電話の不正な取得・流通	55
6 構造的な不正事案等	56
(1) 政治・行政をめぐる不正事案	56
ア 贈収賄事件	56
イ あっせん利得処罰法違反事件	57
ウ 公契約関係競売入札妨害・談合事件	57
エ 公職選挙法違反事件	58
オ 公務員犯罪	59
(2) 経済をめぐる不正事案	59
ア 企業犯罪	59
イ 金融関連犯罪	60
ウ 財政侵害犯罪等	61
(3) 通貨偽造犯罪	62
7 風俗犯の認知・検挙状況	63
(1) 強制わいせつの認知・検挙状況	63
(2) 公然わいせつの認知・検挙状況	63
(3) わいせつ物頒布等の認知・検挙状況	63
(4) 賭博の認知・検挙状況	64
8 特殊事件・事故	65

(1) 人質立てこもり事件	65
(2) 業務上過失致死傷事件・事故	65
9 その他の特徴的な犯罪	66
(1) 高齢者による犯罪	66
(2) 薬物常用者による犯罪	67
(3) 銃砲刀剣類等を使用した犯罪	68
(4) カードの窃盗被害の状況等とカード使用犯罪	70
ア カードの窃盗被害の状況	70
イ カード偽造犯罪の認知・検挙状況	71
ウ カードを使用した窃盗及び詐欺の状況	72
(5) その他	73
ア 暴行・傷害の認知・検挙状況	73
イ 公務執行妨害の認知・検挙状況	75
ウ 器物損壊等の認知・検挙状況	75
10 少年による犯罪	76
(1) 少年による刑法犯の検挙状況	76
(2) 少年による初発型非行の検挙状況	77
(3) 触法少年（刑法）の補導状況	78
11 来日外国人による犯罪	79
(1) 刑法犯の検挙状況	79
(2) 国籍・地域別刑法犯検挙状況	79
(3) 刑法犯検挙件数に占める共犯事件の状況	80
(4) 不法滞在者・正規滞在者の検挙状況	81
12 暴力団による犯罪	82
(1) 暴力団構成員等の状況	82
(2) 暴力団構成員等の刑法犯の検挙状況	83
13 女性・子ども・高齢者を主たる被害者とする犯罪	85
(1) 女性を主たる被害者とする犯罪	85
ア 女性の犯罪被害の状況	85
イ 年齢層別の犯罪被害の状況	87
ウ 場所別被害の発生状況	87
エ 配偶者による暴力事件	88
(2) 子どもを主たる被害者とする犯罪	89
ア 子どもの犯罪被害の状況	89
イ 就学別の犯罪被害の状況	91
ウ 場所別被害の発生状況	91

エ 子ども対象・暴力的性犯罪被害の状況	92
(3) 高齢者を主たる被害者とする犯罪	93
ア 高齢者の犯罪被害の状況	93
イ 場所別被害の発生状況	95

第3 資料

1 刑法犯の認知・検挙状況の推移	97
2 刑法犯の罪種別犯罪率の推移	98
3 刑法犯の都道府県別認知件数の推移	100
4 刑法犯の都道府県別検挙件数の推移	102
5 刑法犯の都道府県別検挙人員の推移	104
6 刑法犯の包括罪種別認知・検挙状況の推移	106
7 凶悪犯の罪種別認知・検挙状況の推移	106
8 粗暴犯の罪種別認知・検挙状況の推移	108
9 窃盗犯の手口別認知・検挙状況の推移	108
10 侵入窃盗の手口別認知・検挙状況の推移	110
11 乗り物盗の手口別認知・検挙状況の推移	110
12 非侵入窃盗の手口別認知・検挙状況の推移	112
13 知能犯の罪種別認知・検挙状況の推移	112
14 風俗犯の罪種別認知・検挙状況の推移	114
15 その他の刑法犯の罪種別認知・検挙状況の推移	114
16 来日外国人刑法犯の罪種・手口別検挙状況の推移	116
17 来日外国人刑法犯の国籍別検挙状況の推移	118
18 刑法犯の発生場所別認知件数(全刑法犯、凶悪犯、粗暴犯、窃盗犯)	120
19 刑法犯の発生場所別認知件数(非侵入窃盗、知能犯、風俗犯、その他の刑法犯)	122
※図表索引	125

第1 全刑法犯の概況

1 刑法犯の認知・検挙状況の推移

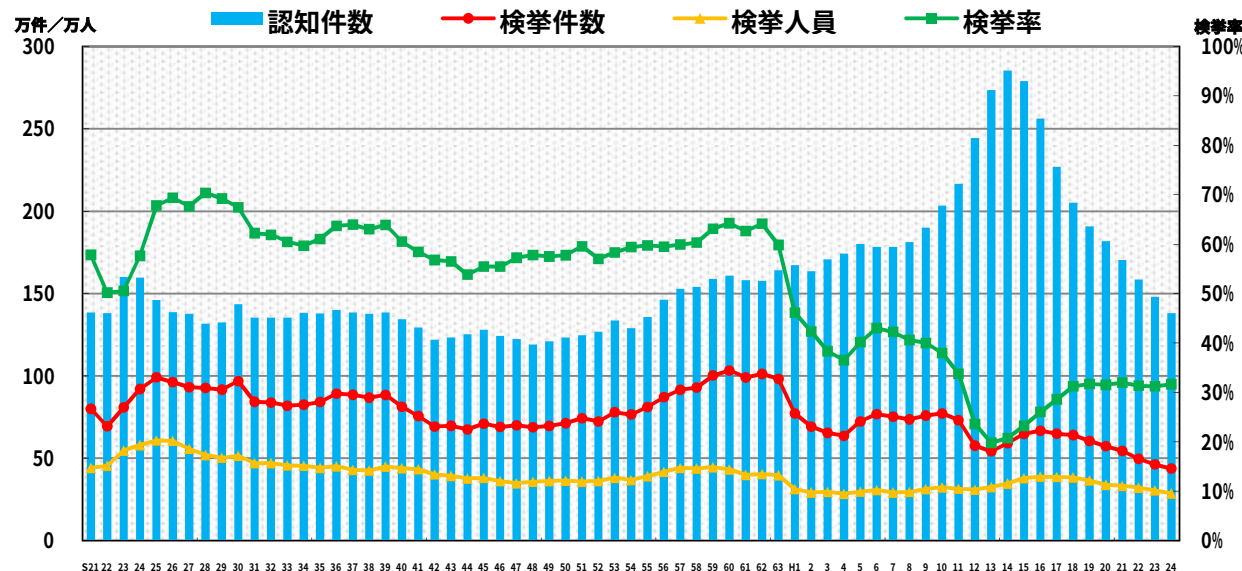
刑法犯の認知件数は、平成8年から14年にかけて戦後最多の記録を更新し続け、14年には285万件を突破した。その後、15年から減少に転じ、24年中は138万2,121件で前年より9万8,639件（6.7%）減少した結果、14年のピーク時から半減した。

刑法犯の検挙件数は、15年から19年にかけて60万件台で推移していたが、20年には50万件台となり、24年中は43万7,612件で前年より2万4,923件（5.4%）減少した。

刑法犯の検挙人員は、9年以降30万人台で推移しており、13年から16年にかけて増加を続けていたが、17年から減少に転じ、24年中は28万7,021人で前年より1万8,610人（6.1%）減少し、20万人台となった。

また、認知件数、検挙件数ともに減少する中、検挙率は上昇し、24年中は31.7%と前年より0.5ポイント上昇した(図表1-1-1、2)。

図表1-1-1 刑法犯の認知・検挙及び検挙率の推移（昭和21年～平成24年）



図表1-1-2 刑法犯の認知・検挙及び検挙率の推移（平成15年～平成24年）

区分 \ 年次	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減(前年比)	
											件(人)数	率(%)
認知件数	2,790,136	2,562,767	2,269,293	2,050,850	1,908,836	1,818,023	1,703,044	1,585,856	1,480,760	1,382,121	-98,639	-6.7
検挙件数	648,319	667,620	649,503	640,657	605,358	573,392	544,699	497,356	462,535	437,612	-24,923	-5.4
検挙人員	379,602	389,027	386,955	384,250	365,577	339,752	332,888	322,620	305,631	287,021	-18,610	-6.1
うち少年 (割合%)	144,404 38.0	134,847 34.7	123,715 32.0	112,817 29.4	103,224 28.2	90,966 26.8	90,282 27.1	85,846 26.6	77,696 25.4	65,448 22.8	-12,248	-15.8
うち来日外国人 (割合%)	8,725 2.3	8,898 2.3	8,505 2.2	8,148 2.1	7,528 2.1	7,148 2.1	7,190 2.2	6,710 2.1	5,889 1.9	5,423 1.9	-466	-7.9
うち暴力団構成員等 (割合%)	20,265 5.3	19,472 5.0	18,629 4.8	18,016 4.7	16,621 4.5	16,242 4.8	16,312 4.9	15,782 4.9	15,805 5.2	14,506 5.1	-1,299	-8.2
検挙率	23.2	26.1	28.6	31.2	31.7	31.5	32.0	31.4	31.2	31.7	0.5ポイント	

注：本表の少年、来日外国人及び暴力団構成員等は、対象ごとの検挙人員及び占める割合を記述したもので、検挙人員は重複するものもある。

2 刑法犯の包括罪種別認知・検挙状況の推移

平成 24 年中の刑法犯認知件数を包括罪種別にみると、前年に比べ、凶悪犯は 35 件（0.5%）、窃盗犯は 9 万 2,678 件（8.2%）、知能犯は 624 件（1.5%）、その他の刑法犯は 1 万 1,806 件（5.2%）それぞれ減少したが、粗暴犯は 5,485 件（8.9%）、風俗犯は 1,019 件（9.3%）それぞれ増加し、刑法犯総数では 9 万 8,639 件（6.7%）減少した。刑法犯総数の減少数に占める窃盗犯の減少数の割合は、94.0%となっている。

刑法犯認知件数全体に占める割合を包括罪種別にみると、凶悪犯は 0.5%、粗暴犯は 4.9%、窃盗犯は 75.3%、知能犯は 2.9%、風俗犯は 0.9%、その他の刑法犯は 15.6%となっている。

検挙件数は、前年に比べ、凶悪犯は 81 件（1.5%）、粗暴犯は 4,125 件（9.1%）、風俗犯は 793 件（11.6%）それぞれ増加したが、窃盗犯は 1 万 9,284 件（6.3%）、知能犯は 2,328 件（8.8%）、その他の刑法犯は 8,310 件（11.4%）それぞれ減少した。

検挙人員は、前年に比べ、粗暴犯は 3,995 人（8.2%）、知能犯は 403 人（3.0%）、風俗犯は 323 人（5.5%）それぞれ増加したが、凶悪犯は 7 人（0.1%）、窃盗犯は 1 万 4,650 人（8.7%）、その他の刑法犯は 8,674 人（13.4%）それぞれ減少している。（図表 1－2）。

図表 1－2 包括罪種別の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
												件数	率 (%)
刑法犯総数	認知件数 (件)	2,790,136	2,562,767	2,269,293	2,050,850	1,908,836	1,818,023	1,703,044	1,585,856	1,480,760	1,382,121	-98,639	-6.7
	検挙件数 (件)	648,319	667,620	649,503	640,657	605,358	573,392	544,699	497,356	462,535	437,612	-24,923	-5.4
	検挙人員 (人)	379,602	389,027	386,955	384,250	365,577	339,752	332,888	322,620	305,631	287,021	-18,610	-6.1
凶悪犯	認知件数	13,658	13,064	11,360	10,124	9,051	8,581	8,314	7,576	6,996	6,961	-35	-0.5
	検挙件数	8,238	7,924	7,418	7,125	6,461	6,229	6,073	5,503	5,287	5,368	81	1.5
	検挙人員	8,362	7,519	7,047	6,459	5,923	5,634	5,654	5,021	4,786	4,779	-7	-0.1
粗暴犯	認知件数	78,759	76,616	73,772	76,303	72,908	68,948	63,995	63,646	61,698	67,183	5,485	8.9
	検挙件数	42,296	41,128	44,037	49,409	49,656	47,772	45,719	45,932	45,095	49,220	4,125	9.1
	検挙人員	49,530	46,801	49,156	54,505	54,163	51,924	49,225	49,525	48,582	52,577	3,995	8.2
窃盗犯	認知件数	2,235,844	1,981,574	1,725,072	1,534,528	1,429,956	1,372,840	1,299,294	1,213,442	1,133,125	1,040,447	-92,678	-8.2
	検挙件数	433,918	447,950	429,038	416,281	395,243	379,839	361,969	327,786	305,922	286,638	-19,284	-6.3
	検挙人員	191,403	195,151	194,119	187,654	180,446	174,738	175,823	175,214	168,514	153,864	-14,650	-8.7
知能犯	認知件数	74,754	99,258	97,500	84,271	75,999	73,252	53,002	44,347	40,721	40,097	-624	-1.5
	検挙件数	40,574	36,299	38,151	37,296	33,878	36,979	34,147	29,688	26,433	24,105	-2,328	-8.8
	検挙人員	13,653	14,850	15,053	15,760	15,264	15,145	15,433	14,138	13,262	13,665	403	3.0
風俗犯	認知件数	13,034	12,346	12,085	11,932	11,184	10,559	10,182	10,893	10,905	11,924	1,019	9.3
	検挙件数	6,165	6,070	6,422	6,752	6,462	6,376	6,478	6,742	6,842	7,635	793	11.6
	検挙人員	5,886	5,688	6,373	6,261	6,279	6,048	5,951	6,033	5,881	6,204	323	5.5
その他の刑法犯	認知件数	374,087	379,909	349,504	333,692	309,738	283,843	268,257	245,952	227,315	215,509	-11,806	-5.2
	検挙件数	117,128	128,249	124,437	123,794	113,658	96,197	90,313	81,705	72,956	64,646	-8,310	-11.4
	検挙人員	110,768	119,018	115,207	113,611	103,502	86,263	80,802	72,689	64,606	55,932	-8,674	-13.4

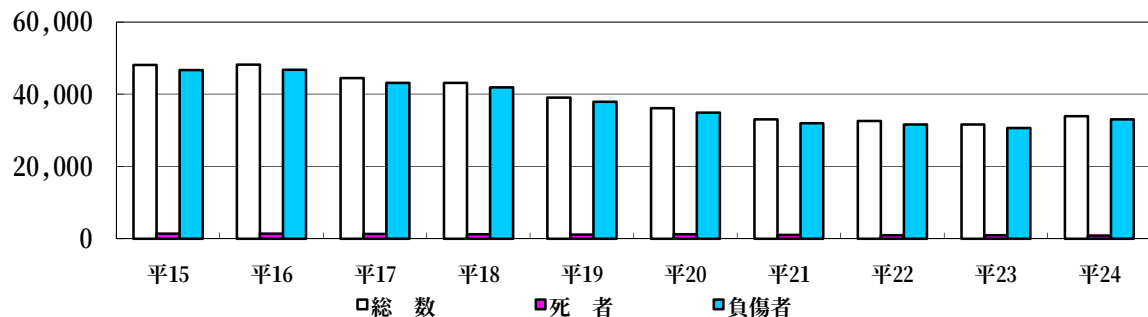
3 刑法犯の被害状況の推移

刑法犯の死傷被害者数は、平成14年から平成16年までは4万8千人台で推移し、平成17年以降は減少していたが、平成24年は3万3,966人で、前年に比べ2,360人（7.5%）増加している。死傷被害者数の内訳をみると、死者は901人で、前年に比べ66人（6.8%）減少しているが、負傷者は3万3,065人で、前年に比べ2,426人（7.9%）増加している（図表1-3-1）。

財産犯の被害額は、平成15年以降は減少を続けていたが、平成23年から増加し、平成24年は、約1,956億4,500万円で、前年に比べ約256億3,500万円（15.1%）増加している。

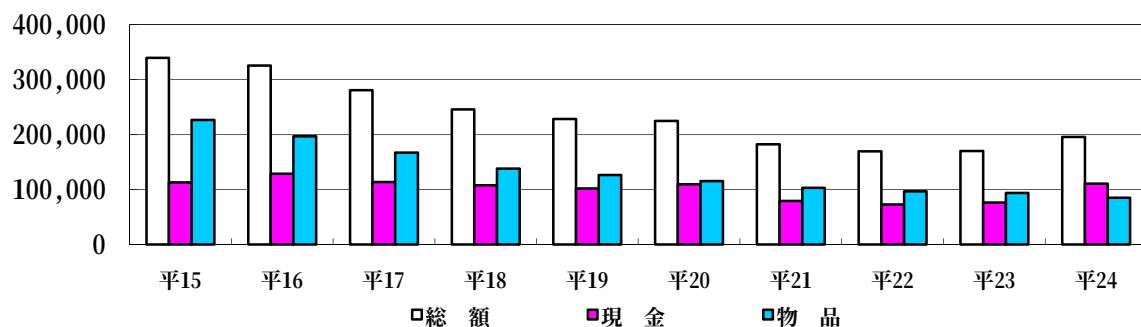
被害の内訳をみると、現金の被害は約1,108億2,000万円で、前年に比べ約344億3,800万円（45.1%）増加し、物品の被害は約848億2,500万円で、前年に比べ約88億300万円（9.4%）減少している（図表1-3-2）。

図表1-3-1 刑法犯 死傷被害者数の推移



年次 区分	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
											人数	率(%)
総数	48,097	48,190	44,465	43,160	39,022	36,153	33,076	32,611	31,606	33,966	2,360	7.5
死者	1,432	1,397	1,354	1,284	1,134	1,211	1,054	996	967	901	-66	-6.8
負傷者	46,665	46,793	43,111	41,876	37,888	34,942	32,022	31,615	30,639	33,065	2,426	7.9

図表1-3-2 財産犯 被害額の推移



年次 区分	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
											金額	率(%)
総額	339,787	325,846	280,536	245,840	228,594	224,662	182,404	169,317	170,010	195,645	25,635	15.1
現金	113,321	128,928	113,386	108,010	102,245	109,408	79,469	72,767	76,382	110,820	34,438	45.1
物品	226,466	196,918	167,150	137,830	126,349	115,254	102,935	96,550	93,628	84,825	-8,803	-9.4

注：財産犯とは、強盗、恐喝、窃盗、詐欺、横領及び占有離脱物横領とした。

（単位：百万円）

4 平成 24 年中の特徴的傾向と今後の犯罪抑止対策

(1) 平成 24 年中の特徴的傾向

平成 24 年中は、ほとんどの罪種や手口の認知件数が減少している中、暴行、傷害等の粗暴犯、強制わいせつ、公然わいせつ等の風俗犯がそれぞれ増加しており、下記の特徴的な傾向がみられた。

○ 侵入強盗の減少

平成 24 年中の強盗の認知件数は 3,658 件と前年より 15 件（0.4%）の減少であったが、そのうち侵入強盗の認知件数は 1,365 件と前年より 124 件（8.3%）減少した。特に、金融機関強盗が 35 件と前年より 31 件（47.0%）の減少、その他の店舗強盗が 347 件と前年より 97 件（21.8%）の減少と顕著であった（図表 2－1－(3)－21）。平成 23 年中は、多額被害の金融機関強盗の発生、特定の大手飲食チェーン店を狙った強盗事件の多発といった特徴がみられたが、金融機関や運営会社による自主防犯対策の強化により発生が減少した。

○ 親族間における暴行・傷害検挙件数の増加

暴行、傷害の検挙件数における被疑者と被害者の関係では、親族間の割合が増加傾向にあり、平成 24 年中の親族間における検挙件数は、暴行では 3,483 件と前年より 816 件（30.6%）増加、傷害では 3,704 件と前年より 1,010 件（37.5%）増加した。また、配偶者間における検挙件数が、暴行では 2,121 件と前年より 603 件（39.7%）増加、傷害では 2,183 件と前年より 768 件（54.3%）増加するなど、配偶者間における検挙件数の増加が顕著であった（図表 1－4）。

図表 1－4 暴行・傷害の検挙件数における被疑者と被害者の関係

		総数	親族間 (計)	割合	親	子	配偶者 (内縁を含む)	兄弟姉妹	その他の 親族	知人友人	職場 関係者	その他	面識なし
暴行	平成 15 年	9,341	430	4.6	72	22	234	43	59	1,345	313	1,064	6,189
	平成 16 年	10,525	567	5.4	91	44	290	58	84	1,456	363	1,190	6,949
	平成 17 年	13,519	724	5.4	133	33	379	69	110	1,814	538	1,440	9,003
	平成 18 年	19,175	1,254	6.5	207	90	707	128	122	2,602	861	1,860	12,598
	平成 19 年	21,203	1,617	7.6	232	123	933	162	167	3,029	1,006	1,865	13,686
	平成 20 年	21,660	1,924	8.9	286	152	1,045	230	211	3,196	1,062	1,901	13,577
	平成 21 年	21,006	1,973	9.4	320	149	1,082	201	221	3,140	929	1,860	13,104
	平成 22 年	21,529	2,492	11.6	377	189	1,452	226	248	3,347	991	1,777	12,922
	平成 23 年	21,541	2,667	12.4	434	233	1,518	252	230	3,163	925	1,860	12,926
	平成 24 年	23,167	3,483	15.0	524	283	2,121	274	281	3,609	1,031	1,933	13,111
	増減数	1,626	816	2.6	90	50	603	22	51	446	106	73	185
	増減率	7.5	30.6	-	20.7	21.5	39.7	8.7	22.2	14.1	11.5	3.9	1.4
傷害	平成 15 年	23,222	2,229	9.6	354	140	1,269	168	298	5,805	1,393	2,904	10,891
	平成 16 年	22,716	2,332	10.3	447	169	1,198	223	295	5,381	1,464	3,064	10,475
	平成 17 年	22,962	2,532	11.0	470	178	1,342	256	286	5,477	1,636	3,004	10,313
	平成 18 年	22,921	2,544	11.1	427	205	1,353	267	292	5,694	1,656	2,778	10,249
	平成 19 年	21,589	2,533	11.7	394	243	1,346	249	301	5,762	1,676	2,311	9,307
	平成 20 年	19,724	2,484	12.6	427	217	1,339	251	250	5,055	1,572	2,187	8,426
	平成 21 年	18,991	2,447	12.9	408	253	1,282	244	260	5,084	1,486	2,086	7,888
	平成 22 年	19,093	2,789	14.6	458	294	1,523	246	268	5,335	1,447	2,020	7,502
	平成 23 年	18,591	2,694	14.5	502	283	1,415	255	239	5,264	1,423	1,890	7,320
	平成 24 年	20,590	3,704	18.0	565	345	2,183	319	292	5,711	1,599	2,074	7,502
	増減数	1,999	1,010	3.5	63	62	768	64	53	447	176	184	182
	増減率	10.8	37.5	-	12.5	21.9	54.3	25.1	22.2	8.5	12.4	9.7	2.5

注：解決事件を除く。

(2) 今後の犯罪抑止対策

これまで全国警察が関係機関や地域住民等とともに犯罪抑止対策を推進してきたほか、政府を挙げた治安対策、さらには自治体や防犯ボランティア団体等による犯罪抑止対策により刑法犯認知件数は減少し、数値面での改善が図られた。

しかし、依然として子どもや女性が被害者となる犯罪や国民に不安を与える凶悪事件が発生しているほか、地域の犯罪情勢や社会構造が変化し、警察活動を取り巻く環境は非常に複雑になってきている。

したがって警察活動を取り巻く環境を確実に把握するなどした上で、地域住民、事業者、関係団体、自治体等と連携協働し、治安上の脅威に対して十分な耐性のある地域社会を構築していくことが重要となる。

そのため、警察では、今後もこれまでの成果を確実に定着させながら、地域の犯罪情勢や発生環境に即した犯罪抑止対策を更に推し進め、かつて犯罪抑止に大きな役割を果たしてきた地域社会の連帯感や絆、人々の高い規範意識等を高めるための施策を積極的に推進していくことで、犯罪の起きにくい社会づくりを目指していく。

- 地域の犯罪情勢に即した犯罪抑止対策の推進
 - ・ 犯罪情勢分析と犯罪抑止計画に基づく警察活動の展開
- 関係機関・団体、事業者等との連携強化
 - ・ 官民連携による犯罪抑止対策の推進
- 防犯ネットワークによる主体的な自主防犯活動の促進
 - ・ 地域住民、事業者等が自ら企画・立案し、自ら行動する防犯活動の促進
- 初動捜査の高度化と的確な捜査指揮
 - ・ 客観的証拠の収集と的確な捜査指揮による検挙活動の推進
- 捜査の科学化の推進
 - ・ DNA型鑑定等の科学技術を最大限活用した検挙活動の強化

第2 主な刑法犯の現況

1 重要犯罪

(1) 重要犯罪の認知・検挙状況

重要犯罪（殺人、強盗、放火、強姦の凶悪犯に略取誘拐・人身売買、強制わいせつを加えたものをいう。以下同じ。）の認知件数は、平成 16 年以降減少していたが、平成 24 年は、前年に比べ 399 件（2.8%）増加している。

検挙件数及び検挙人員は、平成 16 年以降減少していたが、平成 24 年は、前年に比べ、検挙件数は 518 件（5.8%）、検挙人員は 246 人（3.5%）それぞれ増加している。

また、検挙率は 65.8%と、前年に比べ、1.8 ポイント上昇している（図表 2－1－(1)）

図表 2－1－(1) 重要犯罪の認知・検挙状況の推移

区分		年次	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
													件(人)数	率(%)
重要犯罪	認知件数		23,971	22,568	20,388	18,649	16,922	15,847	15,158	14,788	14,013	14,412	399	2.8
	検挙件数		12,362	11,812	11,419	11,084	10,181	9,925	9,776	9,291	8,969	9,487	518	5.8
	検挙人員		10,786	9,931	9,509	8,880	8,315	7,982	7,884	7,317	7,121	7,367	246	3.5
	検 挙 率		51.6	52.3	56.0	59.4	60.2	62.6	64.5	62.8	64.0	65.8	1.8	ポイント
殺人	認知件数		1,452	1,419	1,392	1,309	1,199	1,297	1,094	1,067	1,051	1,030	-21	-2.0
	検挙件数		1,366	1,342	1,345	1,267	1,157	1,237	1,074	1,029	1,029	963	-66	-6.4
	検挙人員		1,456	1,391	1,338	1,241	1,161	1,211	1,036	999	971	899	-72	-7.4
	検 挙 率		94.1	94.6	96.6	96.8	96.5	95.4	98.2	96.4	97.9	93.5	-4.4	ポイント
強盗	認知件数		7,664	7,295	5,988	5,108	4,567	4,278	4,512	4,029	3,673	3,658	-15	-0.4
	検挙件数		3,855	3,666	3,269	3,061	2,790	2,612	2,923	2,516	2,385	2,486	101	4.2
	検挙人員		4,698	4,154	3,844	3,335	2,985	2,813	3,069	2,568	2,431	2,430	-1	0.0
	検 挙 率		50.3	50.3	54.6	59.9	61.1	61.1	64.8	62.4	64.9	68.0	3.1	ポイント
放火	認知件数		2,070	2,174	1,904	1,759	1,519	1,424	1,306	1,191	1,087	1,033	-54	-5.0
	検挙件数		1,448	1,513	1,361	1,337	1,120	1,054	913	895	880	822	-58	-6.6
	検挙人員		866	867	791	825	764	659	631	651	616	592	-24	-3.9
	検 挙 率		70.0	69.6	71.5	76.0	73.7	74.0	69.9	75.1	81.0	79.6	-1.4	ポイント
強姦	認知件数		2,472	2,176	2,076	1,948	1,766	1,582	1,402	1,289	1,185	1,240	55	4.6
	検挙件数		1,569	1,403	1,443	1,460	1,394	1,326	1,163	1,063	993	1,097	104	10.5
	検挙人員		1,342	1,107	1,074	1,058	1,013	951	918	803	768	858	90	11.7
	検 挙 率		63.5	64.5	69.5	74.9	78.9	83.8	83.0	82.5	83.8	88.5	4.7	ポイント
略取誘拐・ 人身売買	認知件数		284	320	277	199	207	155	156	185	147	188	41	27.9
	検挙件数		231	232	204	180	178	141	140	151	132	173	41	31.1
	検挙人員		151	187	176	167	152	129	101	107	118	137	19	16.1
	検 挙 率		81.3	72.5	73.6	90.5	86.0	91.0	89.7	81.6	89.8	92.0	2.2	ポイント
強制 わいせつ	認知件数		10,029	9,184	8,751	8,326	7,664	7,111	6,688	7,027	6,870	7,263	393	5.7
	検挙件数		3,893	3,656	3,797	3,779	3,542	3,555	3,563	3,637	3,550	3,946	396	11.2
	検挙人員		2,273	2,225	2,286	2,254	2,240	2,219	2,129	2,189	2,217	2,451	234	10.6
	検 挙 率		38.8	39.8	43.4	45.4	46.2	50.0	53.3	51.8	51.7	54.3	2.6	ポイント

(2) 殺人事件の状況

殺人事件の認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、認知件数は 21 件（2.0%）、検挙件数は 66 件（6.4%）、検挙人員は 72 人（7.4%）それぞれ減少している。

また、検挙率は、前年に比べ、4.4 ポイント低下している（図表 2-1-(2)-1）。

平成 21 年以降認知件数は減少しており、検挙件数、検挙人員も減少傾向にあるが、検挙率は 90% 台の高水準を維持している。

殺人事件の検挙件数における被疑者と被害者の関係別をみると、平成 15 年以降、親族間によるものが上昇傾向にある。平成 24 年は、総数の 53.5% が親族間によるもので、前年に比べ、1.5 ポイント上昇している（図表 2-1-(2)-2）。

年齢別検挙人員の推移をみると、20～29 歳から 50～59 歳は減少傾向にあるが、14～19 歳、60～64 歳及び 65 歳以上の高齢者にあっては増減を繰り返している。平成 24 年は、前年に比べ 40～49 歳で若干増加しているが、65 歳以上は同数で、他の年齢は減少している（図表 2-1-(2)-3）。

図表 2-1-(2)-1 殺人事件の認知・検挙状況の推移

区分 \ 年次	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
											件(人)数	率(%)
認知件数(件)	1,452	1,419	1,392	1,309	1,199	1,297	1,094	1,067	1,051	1,030	-21	-2.0
検挙件数(件)	1,366	1,342	1,345	1,267	1,157	1,237	1,074	1,029	1,029	963	-66	-6.4
検挙人員(人)	1,456	1,391	1,338	1,241	1,161	1,211	1,036	999	971	899	-72	-7.4
検 挙 率(%)	94.1	94.6	96.6	96.8	96.5	95.4	98.2	96.4	97.9	93.5	-4.4 ポイント	
被害(死亡)者数	697	699	643	619	574	646	506	465	442	428	-14	-3.2
	男性	379	366	324	295	292	309	253	228	208	-19	-9.1
	女性	318	333	319	324	282	337	253	234	239	5	2.1

図表２－１－(２)－２ 殺人事件の検挙件数における被疑者と被害者の関係

被害者		総 数	親族間計		親	子	配偶者 (内縁を 含む)	兄弟姉妹	その他の親族	知人友人	職場関係者	その他	面識なし	被害者なし
				割合										
総数	平成15年	1,258	530	42.1	133	110	215	47	25	333	71	134	184	6
	平成16年	1,224	557	45.5	121	135	206	57	38	300	65	147	154	1
	平成17年	1,224	541	44.2	133	111	218	50	29	273	74	144	189	3
	平成18年	1,155	542	46.9	154	143	179	38	28	290	71	114	132	6
	平成19年	1,052	506	48.1	133	102	192	42	37	251	61	92	137	5
	平成20年	1,120	558	49.8	143	130	200	36	49	283	63	86	123	7
	平成21年	971	467	48.1	121	116	152	48	30	254	61	75	111	3
	平成22年	944	494	52.3	121	101	184	43	45	227	55	58	108	2
	平成23年	941	489	52.0	153	104	158	46	28	206	44	83	114	5
	平成24年	884	473	53.5	137	114	153	42	27	178	51	71	103	8
	増減数	-57	-16	1.5	-16	10	-5	-4	-1	-28	7	-12	-11	3
	増減率	-6.1	-3.3	-	-10.5	9.6	-3.2	-8.7	-3.6	-13.6	15.9	-14.5	-9.6	60.0
14－19歳	平成15年	58	17	29.3	6	4	1	5	1	18	1	5	16	1
	平成16年	38	19	50.0	9	4	1	4	1	10	0	4	5	0
	平成17年	52	30	57.7	17	5	1	4	3	7	1	4	10	0
	平成18年	56	25	44.6	15	7	0	3	0	16	0	3	11	1
	平成19年	45	21	46.7	8	4	0	3	6	10	0	5	8	1
	平成20年	40	16	40.0	9	1	2	1	3	10	1	4	8	1
	平成21年	45	23	51.1	13	3	1	5	1	16	0	1	5	0
	平成22年	39	23	59.0	9	3	0	7	4	11	1	1	3	0
	平成23年	46	21	45.7	11	5	1	3	1	13	1	4	7	0
	平成24年	38	23	60.5	13	3	1	5	1	4	0	1	10	0
	増減数	-8	2	14.8	2	-2	0	2	0	-9	-1	-3	3	0
	増減率	-17.4	9.5	-	18.2	-40.0	-	66.7	-	-69.2	-100.0	-75.0	42.9	-
20－64歳	平成15年	1,051	424	40.3	123	80	167	35	19	292	63	110	158	4
	平成16年	1,024	452	44.1	106	113	154	48	31	253	59	125	134	1
	平成17年	1,031	437	42.4	111	91	172	39	24	234	66	122	169	3
	平成18年	949	432	45.5	138	112	130	31	21	239	65	94	114	5
	平成19年	879	411	46.8	122	85	148	32	24	215	58	70	123	2
	平成20年	900	423	47.0	126	104	126	32	35	243	58	68	104	4
	平成21年	783	347	44.3	104	84	100	36	23	215	55	64	99	3
	平成22年	730	351	48.1	110	66	113	30	32	185	49	46	98	1
	平成23年	744	373	50.1	136	68	110	37	22	170	41	60	95	5
	平成24年	695	350	50.4	123	82	94	31	20	150	50	51	86	8
	増減数	-49	-23	0.3	-13	14	-16	-6	-2	-20	9	-9	-9	3
	増減率	-6.6	-6.2	-	-9.6	20.6	-14.5	-16.2	-9.1	-11.8	22.0	-15.0	-9.5	60.0
65歳以上	平成15年	149	89	59.7	4	26	47	7	5	23	7	19	10	1
	平成16年	162	86	53.1	6	18	51	5	6	37	6	18	15	0
	平成17年	141	74	52.5	5	15	45	7	2	32	7	18	10	0
	平成18年	150	85	56.7	1	24	49	4	7	35	6	17	7	0
	平成19年	128	74	57.8	3	13	44	7	7	26	3	17	6	2
	平成20年	180	119	66.1	8	25	72	3	11	30	4	14	11	2
	平成21年	143	97	67.8	4	29	51	7	6	23	6	10	7	0
	平成22年	175	120	68.6	2	32	71	6	9	31	5	11	7	1
	平成23年	151	95	62.9	6	31	47	6	5	23	2	19	12	0
	平成24年	151	100	66.2	1	29	58	6	6	24	1	19	7	0
	増減数	0	5	3.3	-5	-2	11	0	1	1	-1	0	-5	0
	増減率	-	5.3	-	-83.3	-6.5	23.4	-	20.0	4.3	-50.0	-	-41.7	-

注１：解決事件を除く。

注２：犯罪統計上、「被害者なし」には、殺人予備のうち、被害者が特定できないものが計上されている。

図表 2-1-(2)-3 殺人事件の年齢別検挙人員

区分 年次	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平15	1,456	95	268	314	212	306	117	144
平16	1,391	60	299	322	216	240	90	164
平17	1,338	71	253	303	219	247	107	138
平18	1,241	73	215	268	209	226	98	152
平19	1,161	64	197	294	185	199	99	123
平20	1,211	51	200	279	224	199	79	179
平21	1,036	53	187	219	189	165	80	143
平22	999	46	170	192	181	144	92	174
平23	971	57	163	184	181	141	97	148
平24	899	47	142	174	182	125	81	148
増減数	-72	-10	-21	-10	1	-16	-16	0
増減率	-7.4	-17.5	-12.9	-5.4	0.6	-11.3	-16.5	-

注：犯行時の年齢を計上している。

【事例1】浦安市における女性殺人事件（千葉）

会社員の男（26）は、4月30日、浦安市内のマンションにおいて、看護師の女性に対し胸部を刃物で刺して殺害した（6月21日検挙）。

【事例2】京都市左京区下鴨下川原町路上における男性殺人事件（京都）

大学職員の男（59）は、9月20日、京都市左京区下鴨下河原町地内の路上において、大学職員の男（36）に対し胸部を刃物で刺して殺害した（9月29日検挙）。

ア 捜査本部設置事件の状況

捜査第一課又は国際捜査担当課の主管する捜査本部設置事件（注）は 59 件である（図表 2-1-(2)-4）。

注：「捜査本部設置事件」とは、殺人、強盗殺人等殺人の絡む事件のうち刑事部長（組織犯罪対策担当部長を含む。）を長とする捜査本部（警視庁については特別捜査本部）を設置した事件とした。

図表 2-1-(2)-4 捜査本部設置・解決状況の推移

区分 \ 年次	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減率
											(%)
設置件数(件)	145	145	116	98	103	102	88	79	54	59	9.3
	27	13	7	6	25	20	8	7	5	5	-
解決事件数(件)	118	117	102	89	98	87	84	62	62	59	-4.8
	15	16	8	4	15	20	8	7	3	5	66.7

注1：本表は、実務統計による集計数値である。

注2：解決事件数については、解決した年次に計上した。

注3：暴力団犯罪捜査担当課において設置したものについては、下段に外数で示した。

イ 通り魔殺人事件

通り魔殺人事件（注）の認知事件数、検挙事件数は、いずれも 7 件であった（図表 2-1-(2)-5）。

平成 15 年以降の推移をみると、認知事件数、検挙事件数は平成 20 年の 14 件を除き 9 件以下で推移している。また、認知した事件については全て検挙している。

注：通り魔殺人事件とは、人の自由に出入りできる場所において、確たる動機がなく通りすがりに不特定の者に対し、凶器を使用するなどして、殺傷等の危害を加える事件をいう。

図表 2-1-(2)-5 通り魔殺人事件の認知・検挙の推移

区分 \ 年次	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減率	
											件数	率(%)
認知事件数(件)	9	3	6	4	8	14	4	5	6	7	1	16.7
検挙事件数(件)	9	3	6	4	8	14	4	5	6	7	1	16.7

注1：本表は、実務統計による集計数値である。

注2：検挙事件数は、その年の認知事件数に対する事件数で、平成 24 年 12 月末までに検挙したものである。

注3：未遂を含む。

【事例】 渋谷区における殺人未遂事件（警視庁）

無職の女(74)は、2月22日、渋谷区内の百貨店の自由通路上において、通行人を刃物で突き刺したが、傷害を負わせるにとどまり、殺害の目的を遂げなかった(2月22日検挙)。

ウ 保険金目的殺人事件

保険金目的殺人事件の検挙は1件で、前年に比べ、1件（50.0%）減少している。

平成15年以降の推移を見ると、平成15年は10件、平成16年は9件であるが、平成17年以降は3件前後で推移している（図表2-1-(2)-6）。

図表2-1-(2)-6 保険金目的殺人事件の検挙件数の推移

区分 \ 年次	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減率	
											件数	率(%)
検挙事件数(件)	10	9	2	4	3	2	0	2	2	1	-1	-50.0

注1：本表は、実務統計による集計数値である。

注2：未遂を含む。

【事例】 犬山市喜六屋敷地内における保険金目的殺人事件（愛知）

無職の男(68)は、平成20年1月7日、犬山市喜六屋敷地内の駐車場において、駐車中の車内に豆炭等を燃焼させたコンロを置いてガスを充満させ、同車内において休んでいた男性を、事故を装って一酸化炭素中毒により死亡させて殺害した。（4月5日検挙）。

(3) 強盗事件の状況

強盗事件の認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、認知件数は15件（0.4%）減少、検挙件数は101件（4.2%）増加、検挙人員は1人（0.04%）減少している。

また、検挙率は68.0%と、前年に比べ、3.1ポイント上昇している（図表2-1-(3)-1）。

平成22年以降認知件数は減少しており、検挙率は60パーセント台で推移している。

犯罪供用物別では、刃物類を使用したものが1,170件（32.0%）と最も多い（図表2-1-(3)-2）。

また、強盗に伴う身体犯の認知件数は、前年に比べ11件（0.8%）減少している（図表2-1-(3)-3）。

年齢別の検挙人員をみると、ほとんどの年齢で増減を繰り返しており、平成24年は、40～49歳のみ減少し、それ以外の年齢は増加している（図表2-1-(3)-4）。

図表2-1-(3)-1 強盗事件の認知・検挙状況の推移

年次 区分	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減率	
											件(人)数	率(%)
認知件数(件)	7,664	7,295	5,988	5,108	4,567	4,278	4,512	4,029	3,673	3,658	-15	-0.4
検挙件数(件)	3,855	3,666	3,269	3,061	2,790	2,612	2,923	2,516	2,385	2,486	101	4.2
検挙人員(人)	4,698	4,154	3,844	3,335	2,985	2,813	3,069	2,568	2,431	2,430	-1	0.0
検 挙 率(%)	50.3	50.3	54.6	59.9	61.1	61.1	64.8	62.4	64.9	68.0	3.1	ポ イ ント

図表2-1-(3)-2 強盗事件の発生時の犯罪供用物の状況（平成24年）

犯罪供用物 強盗手口	総数	銃器										
		銃器				刀剣類		刃物類		犯罪供用物なし・該当なし	不明	その他
		うち拳銃等										
認知件数	割合 (%)	認知件数	割合 (%)	認知件数	割合 (%)	認知件数	割合 (%)	認知件数	認知件数	認知件数		
強盗	3,658	44	1.2	40	1.1	48	1.3	1,170	32.0	1,781	112	503
侵入強盗	1,365	28	2.1	26	1.9	31	2.3	861	63.1	232	27	186
住宅強盗	263	6	2.3	5	1.9	3	1.1	89	33.8	85	11	69
金融機関強盗	35	3	8.6	3	8.6	1	2.9	22	62.9	2	0	7
コンビニ強盗	626	6	1.0	5	0.8	19	3.0	501	80.0	58	6	36
その他の店舗強盗	347	13	3.7	13	3.7	6	1.7	218	62.8	53	7	50
その他	94	0	0.0	0	0.0	2	2.1	31	33.0	34	3	24
非侵入強盗	2,293	16	0.7	14	0.6	17	0.7	309	13.5	1,549	85	317
途中強盗	20	1	5.0	1	5.0	0	0.0	7	35.0	6	1	5
タクシー強盗	115	1	0.9	1	0.9	4	3.5	43	37.4	61	0	6
自動車強盗	58	1	1.7	1	1.7	0	0.0	16	27.6	29	5	7
路上強盗	1,133	5	0.4	4	0.4	8	0.7	128	11.3	815	60	117
その他	967	8	0.8	7	0.7	5	0.5	115	11.9	638	19	182

注1：本表の数値は犯罪統計による認知件数であり、実務統計である(3)ア 金融機関・郵便局対象強盗事件、(3)ウ 深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件、(3)キ タクシー対象強盗事件の認知事件数と異なるものである。

注2：「銃器」とは、拳銃、拳銃様のもの、その他の銃砲、その他の銃砲様のもの、「刀剣類」とは、日本刀、その他の刀剣類、「刃物類」とは、包丁類、その他の刃物類をいう。また、「拳銃等」には、拳銃様のものを含む。

図表 2-1-(3)-3 強盗事件に伴う身体犯の認知件数の推移

区分	年次	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
												件数	率 (%)
強盗		7,664	7,295	5,988	5,108	4,567	4,278	4,512	4,029	3,673	3,658	-15	-0.4
強盗に伴う身体犯		3,400	3,248	2,576	2,207	1,932	1,797	1,729	1,548	1,397	1,386	-11	-0.8
強盗殺人・致死		78	89	66	52	44	44	55	36	34	35	1	2.9
強盗傷人		3,119	2,958	2,351	2,018	1,752	1,649	1,564	1,415	1,307	1,290	-17	-1.3
強盗強姦		203	201	159	137	136	104	110	97	56	61	5	8.9

注：「強盗に伴う身体犯」とは、強盗殺人・致死、強盗傷人、強盗強姦とした。

図表 2-1-(3)-4 強盗事件の年齢別検挙人員

区分	年次	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平15		4,698	1,818	1,261	643	414	373	106	83
平16		4,154	1,305	1,199	722	381	352	111	84
平17		3,844	1,159	1,146	625	413	309	97	95
平18		3,335	913	1,010	616	340	283	72	101
平19		2,985	786	848	541	341	271	88	110
平20		2,813	730	758	490	391	244	97	103
平21		3,069	722	859	531	443	292	106	116
平22		2,568	576	746	504	310	234	91	107
平23		2,431	607	693	414	336	184	90	107
平24		2,430	622	698	420	292	186	96	116
増減数		-1	15	5	6	-44	2	6	9
増減率		0.0	2.5	0.7	1.4	-13.1	1.1	6.7	8.4

注：犯行時の年齢を計上している。

【事例1】札幌市北区における強盗殺人未遂事件（北海道）

元パチンコ店員の男（28）は、現金強取の目的で、2月5日、札幌市内のパチンコ店において、所持の刃物で殺意を持って従業員を複数回刺す等して反抗を抑圧し、金庫内から現金を強取した（2月27日検挙）。

【事例2】福岡県糸島市におけるDVD等販売店従業員に対する強盗殺人未遂事件（福岡）

無職の男（20）は、5月19日、福岡県糸島市内のDVD等販売店に侵入し、多数のDVDを窃取して店外に逃走したところ、同店のアルバイト従業員が追いかけてきたため、同人を殺害して犯跡を隠蔽しようとしたと決意し、所持の刃物で同人の腹部等を切り付けるなどの暴行を加え、同DVDを強取したが、同人对して1ヶ月以上の加療を要する腹部刺創等の傷害を負わせたに止まり、殺害の目的を遂げなかった（5月29日検挙）。

ア 金融機関・郵便局対象強盗事件

金融機関（注）・郵便局対象強盗事件の認知事件数は35件（うち郵便局対象は26件、74.3%）、で、前年に比べ28件（44.4%）減少している（図表2-1-(3)-5、6）。

認知した事件をみると、発生時間帯では、午前10時から午後0時までが17件（48.6%）と最も多い（図表2-1-(3)-7）。

また、強盗事件発生時における各被害店舗の防犯設備の設置及び活用の状況をみると、非常通報装置及び防犯カメラの活用率は高いものの、非常ベル及びカラーボールの活用率は低い（図表2-1-(3)-8）。

注：金融機関とは、銀行、信用金庫・組合、商工中金、労働金庫、農（漁）業協同組合をいう。郵便局は金融機関であるが、これまでの発生状況等を鑑み、銀行、信用金庫等の金融機関とは区別し、本文では個別に記載している。

図表2-1-(3)-5 金融機関・郵便局対象強盗事件の認知状況の推移

区分 \ 年次	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
											件数	率（%）
認知事件数	142	129	128	146	144	83	80	70	63	35	-28	-44.4

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表2-1-(3)-6 金融機関・郵便局対象強盗事件の内訳

区分 \ 年次	平23年		平24年		増減	
	件数	割合（%）	件数	割合（%）	件数	率（%）
認知事件数	63	100.0	35	100.0	-28	-44.4
金融機関	22	34.9	9	25.7	-13	-59.1
銀行	9	14.3	5	14.3	-4	-44.4
信用金庫	9	14.3	4	11.4	-5	-55.6
信用組合	0	0.0	0	0.0	0	-
農（漁）業協同組合	4	6.3	0	0.0	-4	-100.0
郵便局	41	65.1	26	74.3	-15	-36.6

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表2-1-(3)-7 金融機関・郵便局対象強盗事件の発生時間帯別認知事件数（平成24年）

区分 \ 時間	0～2時	2～4時	4～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	総数
認知事件数	0	0	0	0	3	17	8	5	2	0	0	0	35
割合（%）	0.0	0.0	0.0	0.0	8.6	48.6	22.9	14.3	5.7	0.0	0.0	0.0	100.0

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表 2-1-(3)-8 防犯設備の設置・活用状況（平成 24 年）

防犯設備		区分	設置あり			設置なし
			活用あり	活用なし	活用不要	
非常通報装置	認知事件数	35	29	6	0	0
	(割合%)	100.0	82.9	17.1	0.0	0.0
非常ベル	認知事件数	23	4	19	0	12
	(割合%)	65.7	17.4	82.6	0.0	34.3
防犯カメラ	認知事件数	35	35	0	0	0
	(割合%)	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
カラーボール	認知事件数	35	8	23	4	0
	(割合%)	100.0	22.9	65.7	11.4	0.0
屋外赤色灯	認知事件数	21	14	7	0	14
	(割合%)	60.0	66.7	33.3	0.0	40.0

注 1：本表は、実務統計による集計数値である。

注 2：「活用不要」とは、検挙等により活用する必要がなかったものをいう。

イ 消費者金融対象強盗事件

消費者金融対象強盗事件の認知事件はなかった（図表 2-1-(3)-9）。

図表 2-1-(3)-9 消費者金融対象強盗事件の認知状況の推移

年次 区分	平 15	平 16	平 17	平 18	平 19	平 20	平 21	平 22	平 23	平 24	増減	
											件数	率 (%)
認知事件数	53	42	26	24	10	8	3	0	0	0	0	-

注：本表は、実務統計による集計数値である。

ウ 深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件

深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件（注）の認知事件数は 536 件で、前年に比べ 4 件（0.7%）減少している（図表 2-1-(3)-10）。

認知した事件をみると、発生時間帯では、午前 3 時から午前 4 時までが 134 件（25.0%）と最も多く、午前 2 時から午前 5 時までで全体の 64.9%を占めている（図表 2-1-(3)-11）。

また、強盗事件発生時における被害店舗の防犯設備の設置及び活用の状況をみると、防犯カメラ及び非常通報装置の活用率は高いものの、非常ベル、カラーボール及び屋外赤色灯の活用率は低い（図表 2-1-(3)-12）。

注：「深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件」とは、午後 10 時から午前 7 時までの間に、営業しているコンビニエンスストアやスーパーマーケットの売上金等を目的として敢行された強盗事件をいう。

図表 2-1-(3)-10 深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件
の認知状況の推移

年次 区分	平 15	平 16	平 17	平 18	平 19	平 20	平 21	平 22	平 23	平 24	増減	
											件数	率 (%)
認知事件数	742	680	561	527	457	514	767	614	540	536	-4	-0.7

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表 2-1-(3)-11 深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件の
発生時間帯別認知事件数（平成 24 年）

時間 区分	22～ 23時	23～ 0時	0～ 1時	1～ 2時	2～ 3時	3～ 4時	4～ 5時	5～ 6時	6～ 7時	総数
認知事件数	11	22	35	62	102	134	112	41	17	536
割合（％）	2.1	4.1	6.5	11.6	19.0	25.0	20.9	7.6	3.2	100.0

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表 2-1-(3)-12 防犯設備の設置・活用状況（平成 24 年）

防犯設備	区分	設置あり				設置なし	
		認知事件数 (割合％)	活用あり	活用なし	活用不要	認知事件数 (割合％)	活用なし
非常通報装置		432 80.6	202 46.8	230 53.2	0 0.0	104 19.4	
非常ベル		439 81.9	89 20.3	350 79.7	0 0.0	97 18.1	
防犯カメラ		535 99.8	533 99.6	2 0.4	0 0.0	1 0.2	
カラーボール		520 97.0	11 2.1	487 93.7	22 4.2	16 3.0	
屋外赤色灯		376 70.1	86 22.9	288 76.6	2 0.5	160 29.9	

注 1：本表は、実務統計による集計数値である。

注 2：「活用不要」とは、検挙等により活用する必要がなかったものをいう。

エ ぱちんこ屋・まあじゃん屋等を発生場所とする強盗事件

ぱちんこ屋・まあじゃん屋等（注）を発生場所とする強盗事件の認知件数は、前年に比べ 8 件（40.0％）減少している（図表 2-1-(3)-13）。

認知した事件をみると、発生時間帯では、午後 8 時から午後 10 時までが最も多い（図表 2-1-(3)-14）。

注：「ぱちんこ屋・まあじゃん屋等」とは、ぱちんこ店やまあじゃん店のほか、パチスロ店やスマートボール店等のように設備を設けて客に射幸心をそそるおそれのある遊技をさせる場所をいう。

図表 2-1-(3)-13 ぱちんこ屋・まあじゃん屋等を発生場所とする強盗の認知状況の推移

年次 区分	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
											件数	率（％）
認知件数	110	44	51	36	48	33	33	26	20	12	-8	-40.0

注：強盗の認知件数の内、発生場所を「ぱちんこ屋・まあじゃん屋等」とするものとした。

図表 2-1-(3)-14 ぱちんこ屋・まあじゃん屋等を発生場所とする強盗の発生時間帯別認知件数
（平成 24 年）

時間 区分	0～ 2時	2～ 4時	4～ 6時	6～ 8時	8～ 10時	10～ 12時	12～ 14時	14～ 16時	16～ 18時	18～ 20時	20～ 22時	22～ 24時	不明	総数
認知件数	1	0	0	0	1	2	0	1	2	1	3	1	0	12
割合（％）	8.3	0.0	0.0	0.0	8.3	16.7	0.0	8.3	16.7	8.3	25.0	8.3	0.0	100.0

注：発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

オ バちんこ景品買取所対象強盗事件

ばちんこ景品買取所対象強盗事件の認知事件数は9件で、前年に比べ9件（50.0%）減少している（図表2-1-(3)-15）。

認知した事件をみると、発生時間帯では、午後10時から午前0時までが7件（77.8%）と最も多い（図表2-1-(3)-16）。

図表2-1-(3)-15 バちんこ景品買取所対象強盗事件の認知状況の推移

年次 区分	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
											件数	率(%)
認知事件数	75	42	32	37	31	20	21	11	18	9	-9	-50.0

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表2-1-(3)-16 バちんこ景品買取所対象強盗事件の発生時間帯別認知事件数（平成24年）

時間 区分	0～ 2時	2～ 4時	4～ 6時	6～ 8時	8～ 10時	10～ 12時	12～ 14時	14～ 16時	16～ 18時	18～ 20時	20～ 22時	22～ 24時	総数
認知事件数	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	7	9
割合(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	77.8	100.0

注：本表は、実務統計による集計数値である。

カ 現金輸送車対象強盗事件

現金輸送車対象強盗事件の認知事件数は1件で、前年に比べ1件減少している（図表2-1-(3)-17）。

図表2-1-(3)-17 現金輸送車対象強盗事件の認知状況の推移

年次 区分	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
											件数	率(%)
認知事件数	7	3	3	6	1	1	1	0	2	1	-1	-50.0

注：本表は、実務統計による集計数値である。

キ タクシー対象強盗事件

タクシー対象強盗事件の認知事件数は113件で、前年に比べ6件（5.0%）減少している（図表2-1-(3)-18）。

認知した事件をみると、発生時間帯では、午前0時から午前2時までが29件（25.7%）と最も多い（図表2-1-(3)-19）。

また、防犯仕切板の設置状況をみると、被害車両の70.8%が設置されている（図表2-1-(3)-20）。

図表 2-1-(3)-18 タクシー対象強盗事件の認知状況の推移

年次 区分	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
								件数	率(%)
認知事件数	178	184	196	155	105	119	113	-6	-5.0

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表 2-1-(3)-19 タクシー対象強盗事件の発生時間帯別認知事件数（平成 24 年）

時間 区分	0～ 2時	2～ 4時	4～ 6時	6～ 8時	8～ 10時	10～ 12時	12～ 14時	14～ 16時	16～ 18時	18～ 20時	20～ 22時	22～ 24時	不明	総数
認知事件数	29	20	16	9	3	2	8	2	4	3	5	12	0	113
割合(%)	25.7	17.7	14.2	8.0	2.7	1.8	7.1	1.8	3.5	2.7	4.4	10.6	0.0	100.0

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表 2-1-(3)-20 防犯仕切板の活用と負傷等の状況（平成 24 年）

設置状況 区分	被害件数	負傷等あり				負傷等 なし
		死亡	重体（傷）	軽傷		
タクシー対象強盗の総数（件）	113	30	1	3	26	83
防犯仕切板あり	80	18	0	1	17	62
（割合％）	100.0	22.5	0.0	1.3	21.3	77.5
防犯仕切板なし	33	12	1	2	9	21
（割合％）	100.0	36.4	3.0	6.1	27.3	63.6

注：本表は、実務統計による集計数値である。

ク 強盗の手口別認知・検挙状況

強盗の手口別認知状況は、前年に比べ、侵入強盗は 124 件（8.3%）減少しているが、非侵入強盗は 109 件（5.0%）増加している（図表 2-1-(3)-21）。

手口別の検挙状況は、侵入強盗は、前年と比べ、検挙件数は 62 件（6.2%）、検挙人員は 83 人（9.4%）それぞれ減少しているが、検挙率は 1.6 ポイント上昇している。非侵入強盗は、前年と比べ、検挙件数は 163 件（11.7%）、検挙人員は 82 人（5.3%）それぞれ増加し、検挙率は 4.1 ポイント上昇している（2-1-(3)-22、23）。

図表 2-1-(3)-21 強盗の手口別認知件数

	平 23	平 24	増減数	増減率
総数	3,673	3,658	-15	-0.4
侵入強盗計	1,489	1,365	-124	-8.3
住宅強盗	273	263	-10	-3.7
金融機関強盗	66	35	-31	-47.0
コンビニ強盗	630	626	-4	-0.6
その他の店舗強盗	444	347	-97	-21.8
侵入強盗その他	76	94	18	23.7
非侵入強盗計	2,184	2,293	109	5.0
途中強盗	17	20	3	17.6
タクシー強盗	123	115	-8	-6.5
自動車強盗	44	58	14	31.8
路上強盗	1,107	1,133	26	2.3
非侵入強盗その他	893	967	74	8.3

図表 2-1-(3)-22 強盗の手口別検挙件数・検挙率

	検挙件数				検挙率		
	平 23	平 24	増減数	増減率	平 23	平 24	増減数
総数	2,385	2,486	101	4.2	64.9	68.0	3.1
侵入強盗計	995	933	-62	-6.2	66.8	68.4	1.6
住宅強盗	197	199	2	1.0	72.2	75.7	3.5
金融機関強盗	56	30	-26	-46.4	84.8	85.7	0.9
コンビニ強盗	414	418	4	1.0	65.7	66.8	1.1
その他の店舗強盗	275	223	-52	-18.9	61.9	64.3	2.4
侵入強盗その他	53	63	10	18.9	69.7	67.0	-2.7
非侵入強盗計	1,390	1,553	163	11.7	63.6	67.7	4.1
途中強盗	12	12	0	-	70.6	60.0	-10.6
タクシー強盗	98	100	2	2.0	79.7	87.0	7.3
自動車強盗	30	46	16	53.3	68.2	79.3	11.1
路上強盗	509	559	50	9.8	46.0	49.3	3.3
非侵入強盗その他	741	836	95	12.8	83.0	86.5	3.5

図表 2-1-(3)-23 強盗の手口別検挙人員

	総 数				うち) 少 年			
	平 23	平 24	増減数	増減率	平 23	平 24	増減数	増減率
総数	2,431	2,430	-1	0.0	593	592	-1	-0.2
侵入強盗計	886	803	-83	-9.4	96	104	8	8.3
住宅強盗	172	198	26	15.1	7	18	11	157.1
金融機関強盗	47	31	-16	-34.0	2	1	-1	-50.0
コンビニ強盗	315	306	-9	-2.9	50	42	-8	-16.0
その他の店舗強盗	269	191	-78	-29.0	34	36	2	5.9
侵入強盗その他	83	77	-6	-7.2	3	7	4	133.3
非侵入強盗計	1,545	1,627	82	5.3	497	488	-9	-1.8
途中強盗	12	10	-2	-16.7	0	0	0	-
タクシー強盗	92	98	6	6.5	3	11	8	266.7
自動車強盗	26	44	18	69.2	0	1	1	-
路上強盗	672	626	-46	-6.8	326	302	-24	-7.4
非侵入強盗その他	743	849	106	14.3	168	174	6	3.6

(4) 主な性犯罪の状況

強姦の認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、認知件数は 55 件（4.6%）、検挙件数は 104 件（10.5%）、検挙人員は 90 人（11.7%）それぞれ増加している。

また、検挙率は、平成 20 年以降 80%台で推移しており、平成 24 年は 88.5%で、前年に比べ、4.7 ポイント上昇している（図表 2－1－(4)－1）。

強制わいせつの認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、認知件数は 393 件（5.7%）、検挙件数は 396 件（11.2%）、検挙人員は 234 人（10.6%）それぞれ増加している。

また、検挙率は、平成 20 年以降は 50%台で推移しており、平成 24 年は 54.3%で、前年に比べ、2.6 ポイント上昇している（図表 2－1－(4)－2）。

強姦の年齢別の検挙人員をみると、平成 24 年は、40～49 歳、50～59 歳、60～64 歳以外の年齢は増加し、特に 14～19 歳の増加が顕著である（図表 2－1－(4)－3）。

強制わいせつの年齢別の検挙人員をみると、平成 24 年は、各年齢で増加しているが、特に、30～39 歳、14～19 歳の増加が顕著である（図表 2－1－(4)－4）。

図表 2－1－(4)－1 強姦の認知・検挙状況の推移

区分 \ 年次	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
											件(人)数	率(%)
認知件数(件)	2,472	2,176	2,076	1,948	1,766	1,582	1,402	1,289	1,185	1,240	55	4.6
検挙件数(件)	1,569	1,403	1,443	1,460	1,394	1,326	1,163	1,063	993	1,097	104	10.5
検挙人員(人)	1,342	1,107	1,074	1,058	1,013	951	918	803	768	858	90	11.7
検 挙 率(%)	63.5	64.5	69.5	74.9	78.9	83.8	83.0	82.5	83.8	88.5	4.7	ポ イ ント

図表 2－1－(4)－2 強制わいせつの認知・検挙状況の推移

区分 \ 年次	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
											件(人)数	率(%)
認知件数(件)	10,029	9,184	8,751	8,326	7,664	7,111	6,688	7,027	6,870	7,263	393	5.7
検挙件数(件)	3,893	3,656	3,797	3,779	3,542	3,555	3,563	3,637	3,550	3,946	396	11.2
検挙人員(人)	2,273	2,225	2,286	2,254	2,240	2,219	2,129	2,189	2,217	2,451	234	10.6
検 挙 率(%)	38.8	39.8	43.4	45.4	46.2	50.0	53.3	51.8	51.7	54.3	2.6	ポ イ ント

図表 2-1-(4)-3 強姦の年齢別検挙人員

区分 年次	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平15	1,342	260	572	306	106	73	15	10
平16	1,107	159	438	274	116	83	16	21
平17	1,074	152	392	308	118	75	15	14
平18	1,058	120	384	310	123	81	23	17
平19	1,013	129	367	278	133	69	19	18
平20	951	132	324	275	120	56	24	20
平21	918	128	317	232	141	57	23	20
平22	803	123	275	231	81	55	23	15
平23	768	72	241	230	123	58	25	19
平24	858	136	264	251	118	50	18	21
増減数	90	64	23	21	-5	-8	-7	2
増減率	11.7	88.9	9.5	9.1	-4.1	-13.8	-28.0	10.5

注：犯行時の年齢を計上している。

図表 2-1-(4)-4 強制わいせつの年齢別検挙人員

区分 年次	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平15	2,273	337	647	550	285	281	69	104
平16	2,225	260	554	605	327	277	82	120
平17	2,286	288	581	626	344	252	85	110
平18	2,254	246	593	581	342	272	85	135
平19	2,240	265	554	588	347	257	94	135
平20	2,219	279	570	564	327	251	98	130
平21	2,129	284	532	519	330	226	107	131
平22	2,189	322	545	548	331	196	100	147
平23	2,217	283	560	519	371	225	105	154
平24	2,451	342	601	600	372	242	110	184
増減数	234	59	41	81	1	17	5	30
増減率	10.6	20.8	7.3	15.6	0.3	7.6	4.8	19.5

注：犯行時の年齢を計上している。

【事例】広域にわたる連続強姦致傷等事件（埼玉・群馬・山口）

無職の男（35）は、4月29日、埼玉県本庄市内のマンション内において、就寝中の女性を脅迫し姦淫等した。男は、他にも群馬県及び山口県において、同種の強姦事件等を敢行していた（5月15日検挙）。

(5) 略取誘拐・人身売買事件の状況

略取誘拐・人身売買の認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、認知件数は 41 件（27.9%）、検挙件数は 41 件（31.1%）、検挙人員は 19 人（16.1%）それぞれ増加している。

また、検挙率は 92.0%で、前年に比べ、2.2 ポイント上昇している（図表 2-1-(5)-1）。

認知した事件をみると、女性被害が 160 件で、全体の 85.1%を占めている（図表 2-1-(5)-2）。

また、身の代金目的略取・誘拐事件の認知事件数、検挙事件数はいずれも 1 件であった。

平成 19 年以降、認知件数は 3 件以下となっており、認知した事件については全て検挙している（図表 2-1-(5)-3）。

図表 2-1-(5)-1 略取誘拐・人身売買事件の認知・検挙状況の推移

年次 区分	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
											件(人)数	率(%)
認知件数(件)	284	320	277	199	207	155	156	185	147	188	41	27.9
検挙件数(件)	231	232	204	180	178	141	140	151	132	173	41	31.1
検挙人員(人)	151	187	176	167	152	129	101	107	118	137	19	16.1
検 挙 率(%)	81.3	72.5	73.6	90.5	86.0	91.0	89.7	81.6	89.8	92.0	2.2	ポ イ ント

図表 2-1-(5)-2 略取誘拐・人身売買の被害者の年齢・性別認知件数の状況（平成 24 年）

	総数	0～5歳	6～12歳	13～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
認知件数	188	26	69	61	23	4	4	1	0
(割合%)	100	13.8	36.7	32.4	12.2	2.1	2.1	0.5	0.0
男性	28	11	11	2	1	1	1	1	0
(割合%)	14.9	5.9	5.9	1.1	0.5	0.5	0.5	0.5	0.0
女性	160	15	58	59	22	3	3	0	0
(割合%)	85.1	8.0	30.9	31.4	11.7	1.6	1.6	0.0	0.0

図表 2-1-(5)-3 身の代金目的略取・誘拐事件の認知・検挙状況の推移

年次 区分	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
											件(人)数	率(%)
認知事件数(件)	12	7	6	6	2	3	2	2	0	1	1	-
検挙事件数(件)	11	7	6	6	2	3	2	2	0	1	1	-
検挙人員(人)	24	24	21	21	7	13	7	5	0	1	1	-

注：本表は、実務統計による集計数値である。

【事例】春日井市における身の代金目的拐取等事件（愛知）

建築整備業の男（48）は、5月28日、春日井市内において、金を貸した男性の娘を誘拐し、借金の返済名下に身の代金を要求し、交付させた（5月28日検挙）。

(6) 放火事件の状況

放火事件の認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、認知件数は54件（5.0%）、検挙件数は58件（6.6%）、検挙人員は24人（3.9%）それぞれ減少している。

また、検挙率は79.6%で、前年に比べ、1.4ポイント減少している。

平成15年以降の推移をみると、認知件数、検挙件数とも、平成16年は上昇するも、平成17年以降は減少しており、検挙率は60%台後半から80%台前半で推移している（図表2-1-(6)-1）。

図表2-1-(6) 放火事件の認知・検挙状況の推移

区分 \ 年次	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
											件(人)数	率(%)
認知件数(件)	2,070	2,174	1,904	1,759	1,519	1,424	1,306	1,191	1,087	1,033	-54	-5.0
検挙件数(件)	1,448	1,513	1,361	1,337	1,120	1,054	913	895	880	822	-58	-6.6
検挙人員(人)	866	867	791	825	764	659	631	651	616	592	-24	-3.9
検 挙 率(%)	70.0	69.6	71.5	76.0	73.7	74.0	69.9	75.1	81.0	79.6	-1.4	ポ イ ント

【事例】川口市における現住建造物放火・殺人事件（埼玉）

タクシー運転手の男（67）は、1月6日、川口市内の民家において、ガソリンをまいて放火するなどして同民家を全焼させ、同民家に居住する女性を死亡させた（4月23日検挙）。

2 重要窃盗犯

(1) 重要窃盗犯の認知・検挙状況

平成10年以降急増していた重要窃盗犯（窃盗犯のうち、侵入盗、自動車盗、ひったくり及びすりという。以下同じ。）の認知件数は、平成15年から減少に転じ、平成24年にあっても、前年に比べ、1万7,234件（10.2%）減少している。

検挙件数及び検挙人員は、平成16年以降減少しており、平成24年は、前年に比べ、検挙件数は5,485件（6.7%）、検挙人員は1,260人（8.8%）それぞれ減少している。

検挙率は50.0%で、前年に比べ、1.9ポイント上昇している（図表2-2-(1)）。

侵入盗のうち、住宅を対象とした認知・検挙状況及び住宅対象以外の認知・検挙状況は、図表2-2-(2)-2、3のとおりである。

図表2-2-(1) 重要窃盗犯手口別認知・検挙状況の推移

区分		年次	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	H22	H23	H24	増減	
													件(人)数	率(%)
重要窃盗犯		認知件数	469,148	407,929	338,967	282,047	241,425	210,103	200,572	181,134	168,996	151,762	-17,234	-10.2
		検挙件数	140,861	135,933	133,390	127,901	124,158	112,607	102,130	86,596	81,364	75,879	-5,485	-6.7
		検挙人員	22,596	20,600	18,719	18,098	16,857	15,455	15,159	14,717	14,386	13,126	-1,260	-8.8
		検 挙 率	30.0	33.3	39.4	45.3	51.4	53.6	50.9	47.8	48.1	50.0	1.9ポイント	
	侵入盗	認知件数	333,233	290,595	244,776	205,463	175,728	155,047	148,488	136,552	126,077	115,155	-10,922	-8.7
		検挙件数	109,920	104,816	104,454	100,824	96,266	87,047	81,545	70,307	65,270	62,298	-2,972	-4.6
		検挙人員	14,208	13,548	12,564	12,434	12,037	11,079	10,852	10,766	10,586	9,719	-867	-8.2
		検 挙 率	33.0	36.1	42.7	49.1	54.8	56.1	54.9	51.5	51.8	54.1	2.3ポイント	
	住宅対象	認知件数	190,473	170,991	142,945	120,023	103,490	91,082	81,436	74,558	66,872	60,938	-5,934	-8.9
		検挙件数	59,133	57,948	60,486	58,717	54,491	49,600	48,157	39,880	35,546	32,491	-3,055	-8.6
		検挙人員	5,318	5,209	4,875	4,830	4,462	4,182	4,170	4,072	3,930	3,671	-259	-6.6
		検 挙 率	31.0	33.9	42.3	48.9	52.7	54.5	59.1	53.5	53.2	53.3	0.1ポイント	
	自動車盗	認知件数	64,223	58,737	46,728	36,058	31,790	27,515	25,815	23,775	24,928	21,070	-3,858	-15.5
		検挙件数	11,931	13,765	14,898	13,288	13,507	12,569	9,557	8,433	8,377	7,556	-821	-9.8
		検挙人員	4,599	3,823	3,366	3,056	2,380	2,228	2,045	1,837	1,856	1,708	-148	-8.0
		検 挙 率	18.6	23.4	31.9	36.9	42.5	45.7	37.0	35.5	33.6	35.9	2.3ポイント	
	ひったくり	認知件数	46,354	39,399	32,017	26,828	23,687	19,145	19,036	14,559	12,476	10,083	-2,393	-19.2
		検挙件数	14,861	13,561	10,406	10,090	11,321	11,229	9,051	6,323	6,327	4,647	-1,680	-26.6
		検挙人員	2,953	2,259	1,851	1,652	1,524	1,251	1,438	1,191	1,098	861	-237	-21.6
		検 挙 率	32.1	34.4	32.5	37.6	47.8	58.7	47.5	43.4	50.7	46.1	-4.6ポイント	
	すり	認知件数	25,338	19,198	15,446	13,698	10,220	8,396	7,233	6,248	5,515	5,454	-61	-1.1
		検挙件数	4,149	3,791	3,632	3,699	3,064	1,762	1,977	1,533	1,390	1,378	-12	-0.9
		検挙人員	836	970	938	956	916	897	824	923	846	838	-8	-0.9
		検 挙 率	16.4	19.7	23.5	27.0	30.0	21.0	27.3	24.5	25.2	25.3	0.1ポイント	

注：本表の住宅対象の侵入盗の数値は、空き巣、忍込み及び居空きの合計件数（人員）であり、図表2-2-(2)-1の住宅対象とは異なる。

(2) 侵入窃盗

侵入窃盗の認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、認知件数は 10,922 件（8.7%）、検挙件数は 2,972 件（4.6%）、検挙人員は 867 人（8.2%）それぞれ減少している。

うち住宅におけるものの認知件数及び検挙件数は、前年に比べ、認知件数は 5,693 件（8.0%）、検挙件数は 2,781 件（7.4%）それぞれ減少している。

また、来日外国人の検挙人員は、前年に比べ、23 人（11.9%）減少しており、検挙率は 54.1%で 2.3 ポイント上昇している（図表 2-2-(2)-1）。

年齢別の検挙人員を見ると、近年、65 歳以上が増加傾向にあり、平成 24 年は、40 歳代以外の年齢は減少している（図表 2-2-(2)-4）。

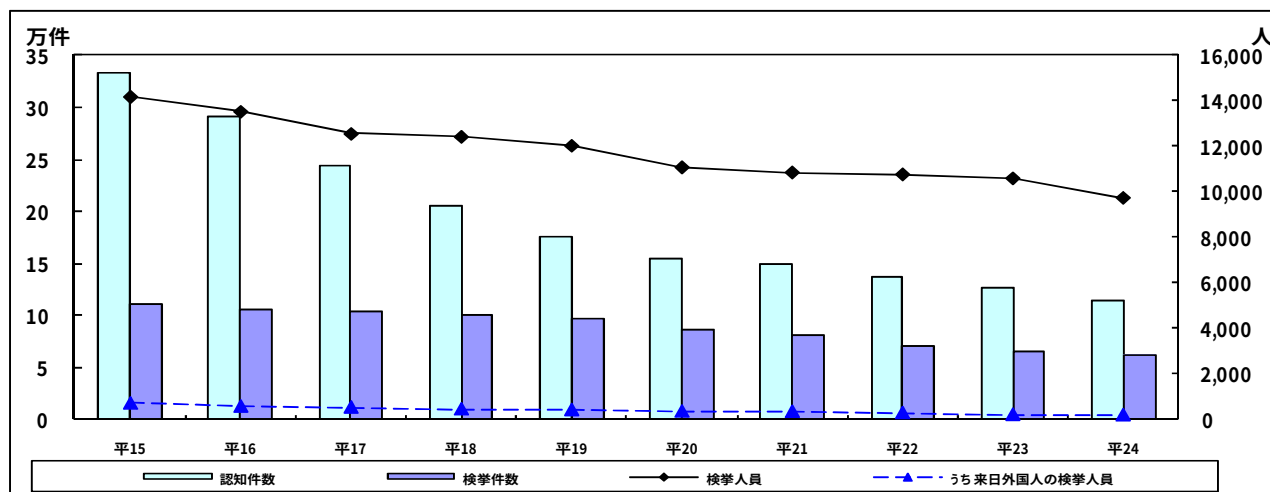
侵入口・侵入手段を発生場所別にみると、侵入口は、一戸建住宅、4 階建以上の共同住宅及び 3 階建以下の共同住宅は窓、一般事務所、商店及び生活環境営業は表出入口が最も多い。

また、侵入手段は、一戸建住宅、4 階建以上の共同住宅及び 3 階建以下の共同住宅は無締りが最も多いが、一般事務所、商店及び生活環境営業はガラス破りが最も多い（図表 2-2-(2)-5）。

ピッキング用具を使用した侵入窃盗の認知件数は、前年に比べ、47 件（40.5%）減少している。

ドリルを使用したサムターン回しによる侵入窃盗（ドリル等で出入口ドアに穴を開けた上、サムターン回しで開錠する手口）の認知件数は、前年に比べ 29 件（29.0%）減少している（図表 2-2-(2)-6、7）。

図表 2-2-(2)-1 侵入窃盗の認知・検挙状況の推移



区分	年次	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数		333,233	290,595	244,776	205,463	175,728	155,047	148,488	136,552	126,077	115,155	-10,922	-8.7
	うち住宅	192,383	174,519	146,243	123,403	106,700	94,548	85,228	78,592	71,296	65,603	-5,693	-8.0
検挙件数		109,920	104,816	104,454	100,824	96,266	87,047	81,545	70,307	65,270	62,298	-2,972	-4.6
	うち住宅	—	58,667	61,414	59,776	55,677	50,973	49,600	41,690	37,687	34,906	-2,781	-7.4
検挙人員		14,208	13,548	12,564	12,434	12,037	11,079	10,852	10,766	10,586	9,719	-867	-8.2
	うち来日外国人	704	565	524	441	408	342	329	271	194	171	-23	-11.9
	(割合%)	5.0	4.2	4.2	3.5	3.4	3.1	3.0	2.5	1.8	1.8	0.0	—
検挙率		33.0	36.1	42.7	49.1	54.8	56.1	54.9	51.5	51.8	54.1	2.3	ポイント

注：本表の住宅は、「一戸建住宅」「共同住宅（4 階建以上）」「共同住宅（3 階建以下）」が発生場所のものとした。

図表 2-2-(2)-2 侵入盗のうち住宅対象の認知・検挙状況

区分 \ 年次	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
											件(人)数	率(%)
認知件数(件)	190,473	170,991	142,945	120,023	103,490	91,082	81,436	74,558	66,872	60,938	-5,934	-8.9
検挙件数(件)	59,133	57,948	60,486	58,717	54,491	49,600	48,157	39,880	35,546	32,491	-3,055	-8.6
検挙人員(人)	5,318	5,209	4,875	4,830	4,462	4,182	4,170	4,072	3,930	3,671	-259	-6.6
検 挙 率(%)	31.0	33.9	42.3	48.9	52.7	54.5	59.1	53.5	53.2	53.3	0.1ポイント	

注：本表の住宅対象の侵入盗の数値は、空き巣、忍込み及び居空きの合計件数（人員）であり、図表 2-2-(2)-1 の住宅対象とは異なる。

図表 2-2-(2)-3 侵入盗のうち住宅対象以外の認知・検挙状況

区分 \ 年次	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
											件(人)数	率(%)
認知件数(件)	142,760	119,604	101,831	85,440	72,238	63,965	67,052	61,994	59,205	54,217	-4,988	-8.4
検挙件数(件)	50,787	46,868	43,968	42,107	41,775	37,447	33,388	30,427	29,724	29,807	83	0.3
検挙人員(人)	8,890	8,339	7,689	7,604	7,575	6,897	6,682	6,694	6,656	6,048	-608	-9.1
検 挙 率(%)	35.6	39.2	43.2	49.3	57.8	58.5	49.8	49.1	50.2	55.0	4.8ポイント	

注：本表の住宅対象以外の侵入盗の数値は、侵入盗のうち、空き巣、忍込み及び居空き以外の侵入盗の合計件数（人員）である。

図表 2-2-(2)-4 侵入盗の年齢別検挙人員

区分 \ 年次	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平15	14,208	3,901	3,677	2,697	1,699	1,524	377	333
平16	13,548	3,756	3,383	2,540	1,688	1,433	386	362
平17	12,564	3,044	3,209	2,425	1,686	1,428	396	376
平18	12,434	2,670	3,292	2,589	1,654	1,446	392	391
平19	12,037	2,464	3,148	2,490	1,612	1,460	405	458
平20	11,079	2,177	2,778	2,249	1,582	1,369	456	468
平21	10,852	2,302	2,751	2,168	1,524	1,231	446	430
平22	10,766	2,115	2,911	2,051	1,553	1,175	485	476
平23	10,586	2,116	2,782	2,024	1,504	1,162	495	503
平24	9,719	1,710	2,604	1,928	1,530	971	474	502
増減数	-867	-406	-178	-96	26	-191	-21	-1
増減率	-8.2	-19.2	-6.4	-4.7	1.7	-16.4	-4.2	-0.2

注：犯行時の年齢を記載している

図表２－２－(２)－５ 侵入窃盗の発生場所別の侵入口・侵入手段（平成 24 年）

		総数	ピッキング	サムターン回し	合かぎ	その他の施設開け	ドア錠破り	ガラス破り	戸外し	無締り	その他	不明
一戸建住宅	認知件数	43,833	10	113	827	644	873	16,631	291	20,084	2,403	1,957
	表出入口	7,214	5	23	645	141	237	436	25	5,397	174	131
	非常口	46	0	0	1	2	10	21	1	8	3	0
	その他の出入口	7,677	4	52	171	247	446	1,890	32	3,867	826	142
	窓	25,369	0	34	1	240	173	14,083	221	9,389	1,064	164
	その他	940	1	2	5	12	7	199	12	367	300	35
	不明	2,587	0	2	4	2	0	2	0	1,056	36	1,485
共同住宅（４階建以上）	認知件数	5,606	13	68	624	129	67	1,427	7	2,441	263	567
	表出入口	2,444	13	62	620	96	48	10	0	1,345	95	155
	非常口	11	0	0	0	0	0	4	0	6	0	1
	その他の出入口	70	0	0	4	4	4	16	0	25	12	5
	窓	2,566	0	6	0	29	15	1,380	6	1,002	102	26
	その他	89	0	0	0	0	0	17	1	17	48	6
	不明	426	0	0	0	0	0	0	0	46	6	374
共同住宅（３階建以下）	認知件数	16,164	19	117	902	249	295	5,941	60	6,958	653	970
	表出入口	4,714	18	71	885	151	204	134	7	2,872	158	214
	非常口	25	0	2	1	2	1	5	0	12	0	2
	その他の出入口	676	1	2	15	14	38	162	5	347	71	21
	窓	9,606	0	36	1	75	50	5,590	48	3,487	247	72
	その他	317	0	2	0	7	2	50	0	82	156	18
	不明	826	0	4	0	0	0	0	0	158	21	643
一般事務所	認知件数	15,908	14	66	794	423	1,665	7,189	181	3,342	1,608	626
	表出入口	6,294	11	39	638	250	1,105	1,902	69	1,511	636	133
	非常口	171	0	0	5	10	44	62	1	29	16	4
	その他の出入口	3,094	3	20	139	70	464	1,086	23	807	400	82
	窓	5,302	0	5	0	76	33	3,977	84	808	276	43
	その他	614	0	1	9	16	19	162	4	115	267	21
	不明	433	0	1	3	1	0	0	0	72	13	343
商店	認知件数	10,190	10	68	368	207	1,378	3,825	130	2,200	1,657	347
	表出入口	4,176	5	43	250	97	660	1,328	36	867	811	79
	非常口	203	0	2	10	7	56	44	1	60	18	5
	その他の出入口	2,959	5	20	104	75	637	839	25	719	466	69
	窓	2,328	0	3	0	21	15	1,540	65	459	206	19
	その他	324	0	0	2	6	10	74	3	79	143	7
	不明	200	0	0	2	1	0	0	0	16	13	168
生活環境営業	認知件数	9,602	1	60	757	244	1,609	2,955	138	2,220	1,180	438
	表出入口	3,895	0	41	519	117	760	937	31	889	478	123
	非常口	268	0	0	29	9	70	61	4	68	25	2
	その他の出入口	2,974	1	17	204	96	761	806	24	571	417	77
	窓	2,004	0	1	0	20	10	1,102	71	615	168	17
	その他	211	0	1	3	1	8	49	8	42	86	13
	不明	250	0	0	2	1	0	0	0	35	6	206

図表 2-2-(2)-6 ピッキング用具を使用した認知・検挙状況の推移

区分 \ 年次	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
										件数	率 (%)
認知件数	4,355	2,171	1,529	708	373	149	128	116	69	-47	-40.5
検挙件数	2,418	1,095	705	819	689	418	114	92	18	-74	-80.4
検挙率	55.5	50.4	46.1	115.7	184.7	280.5	89.1	79.3	26.1	-53.2	ポイント

図表 2-2-(2)-7 ドリルを使用したサムターン回しによる認知・検挙状況の推移

区分 \ 年次	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
										件数	率 (%)
認知件数	1,763	735	868	169	40	59	62	100	71	-29	-29.0
検挙件数	999	869	353	326	105	64	5	99	54	-45	-45.5
検挙率	56.7	118.2	40.7	192.9	262.5	108.5	8.1	99.0	76.1	-22.9	ポイント

(3) 自動車盗

自動車盗の認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、認知件数は 3,858 件（15.5%）、検挙件数は 821 件（9.8%）、検挙人員は 148 人（8.0%）それぞれ減少している。

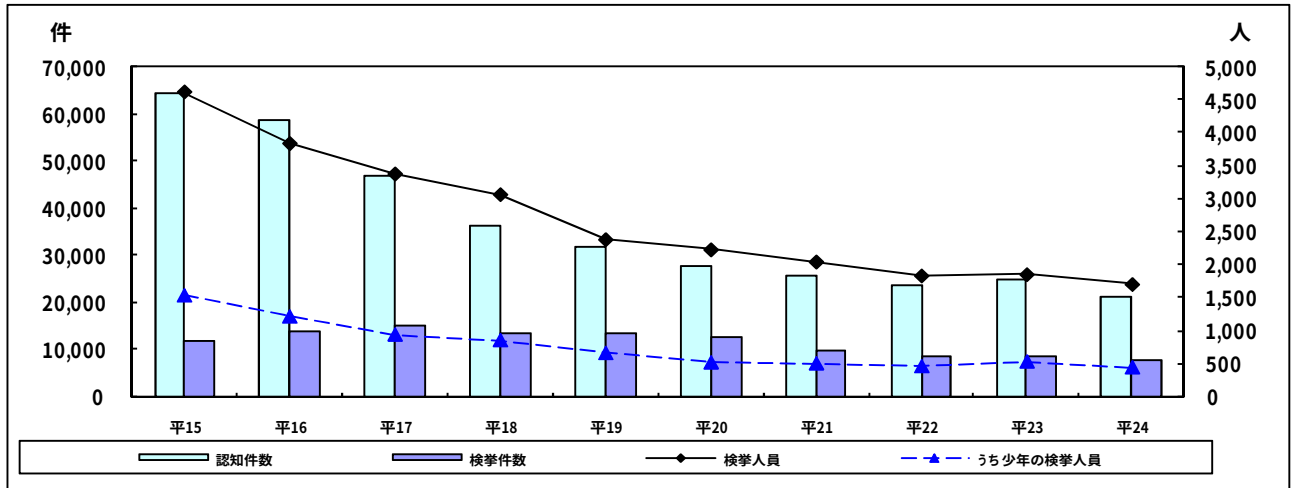
また、検挙人員に占める少年の割合は、検挙人員全体の 25.4%と、前年に比べ 2.7 ポイント低下しており、検挙率は 35.9%で 2.3 ポイント上昇している（図表 2-2-(3)-1）。

認知した事件をみると、被害時にエンジンキー（イグニッションキー）がメーンスイッチ（イグニッションスイッチ）に差し込まれていたか、運転席又はその周辺に放置されていた状態で盗まれているものの割合は全体の 26.0%で、前年に比べ 0.7 ポイント上昇している（図表 2-2-(3)-2）。

また、被害額別の認知件数では、200 万円未満が 3,050 件（17.2%）、200 万円以上 300 万円未満が 418 件（13.5%）、300 万円以上が 267 件（9.9%）それぞれ減少している（図表 2-2-(3)-3）。

さらに、被害自動車の還付率は 25.6%で、前年に比べ 2.2 ポイント上昇している（図表 2-2-(3)-4）。

図表２－２－(３)－１ 自動車盗の認知・検挙状況の推移



区分	年次	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数		64,223	58,737	46,728	36,058	31,790	27,515	25,815	23,775	24,928	21,070	-3,858	-15.5
検挙件数		11,931	13,765	14,898	13,288	13,507	12,569	9,557	8,433	8,377	7,556	-821	-9.8
検挙人員		4,599	3,823	3,366	3,056	2,380	2,228	2,045	1,837	1,856	1,708	-148	-8.0
うち少年		1,542	1,216	938	852	655	508	494	451	522	433	-89	-17.0
(割合%)		33.5	31.8	27.9	27.9	27.5	22.8	24.2	24.6	28.1	25.4	-2.7	—
検挙率		18.6	23.4	31.9	36.9	42.5	45.7	37.0	35.5	33.6	35.9	2.3	ポイント

図表２－２－(３)－２ 自動車盗のキーの有無別認知件数の推移

区分	年次	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
												件数	率(%)
認知件数		64,223	58,737	46,728	36,058	31,790	27,515	25,815	23,775	24,928	21,070	-3,858	-15.5
キーあり		18,568	15,999	13,186	10,355	8,695	7,628	7,038	6,355	6,295	5,486	-809	-12.9
(割合%)		28.9	27.2	28.2	28.7	27.4	27.7	27.3	26.7	25.3	26.0	0.7	—
キーなし		45,655	42,738	33,542	25,703	23,095	19,887	18,777	17,420	18,633	15,584	-3,049	-16.4

注：「キーあり」とは、エンジンキー（イグニッションキー）がメーンスイッチ（イグニッションスイッチ）に差し込まれていたか、運転席又はその周辺に放置されていたものをいう。

図表２－２－(３)－３ 自動車盗の被害額別認知件数の推移

区分	年次	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
												件数	率(%)
認知件数		64,223	58,737	46,728	36,058	31,790	27,515	25,815	23,775	24,928	21,070	-3,858	-15.5
200万円未満		44,538	41,484	33,972	26,873	23,756	21,381	19,369	16,984	17,755	14,705	-3,050	-17.2
(割合%)		69.3	70.6	72.7	74.5	74.7	77.7	75.0	71.4	71.2	69.8	-1.4	—
200～300万円未満		9,736	8,535	5,982	3,957	3,631	2,519	2,656	2,786	3,105	2,687	-418	-13.5
(割合%)		15.2	14.5	12.8	11.0	11.4	9.2	10.3	11.7	12.5	12.8	0.3	—
300万円以上		7,372	6,195	4,696	3,551	3,011	2,363	2,539	2,675	2,701	2,434	-267	-9.9
(割合%)		11.5	10.5	10.0	9.8	9.5	8.6	9.8	11.3	10.8	11.6	0.8	—
被害なし・被害額認定困難		2,577	2,523	2,078	1,677	1,392	1,252	1,251	1,330	1,367	1,244	-123	-9.0

図表 2-2-(3)-4 被害自動車の還付数・還付率の推移

年次 区分	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
											件数	率 (%)
認知件数	64,223	58,737	46,728	36,058	31,790	27,515	25,815	23,775	24,928	21,070	-3,858	-15.5
還付件数	20,036	17,806	14,081	11,794	9,793	8,414	7,429	6,108	5,834	5,394	-440	-7.5
還付率 (%)	31.2	30.3	30.1	32.7	30.8	30.6	28.8	25.7	23.4	25.6	2.2	—

注：還付率は、還付年の認知件数を基に算出した。

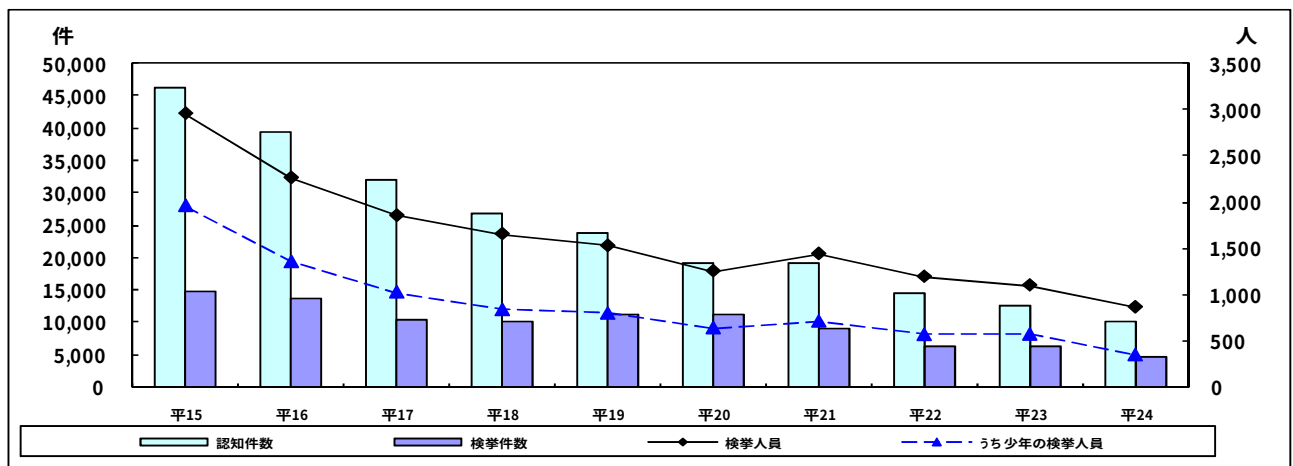
(4) ひったくり

ひったくりの認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、認知件数は 2,393 件（19.2%）、検挙件数は 1,680 件（26.6%）、検挙人員は 237 人（21.6%）それぞれ減少している。

また、検挙人員に占める少年の割合は、検挙人員全体の 40.5%と、前年に比べ 11.5 ポイント低下しており、検挙率は 46.1%で 4.6 ポイント低下している（図表 2-2-(4)-1）。

認知した事件をみると、発生時間帯は午後 8 時から午後 10 時、被害者は 60 歳以上の女性が最も多い（図表 2-2-(4)-2、3）。

図表 2-2-(4)-1 ひったくりの認知・検挙状況の推移



年次 区分	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
											件 (人) 数	率 (%)
認知件数	46,354	39,399	32,017	26,828	23,687	19,145	19,036	14,559	12,476	10,083	-2,393	-19.2
うち未遂	3,031	2,489	1,903	1,665	1,416	1,271	1,263	903	753	727	-26	-3.5
検挙件数	14,861	13,561	10,406	10,090	11,321	11,229	9,051	6,323	6,327	4,647	-1,680	-26.6
検挙人員	2,953	2,259	1,851	1,652	1,524	1,251	1,438	1,191	1,098	861	-237	-21.6
うち少年	1,957	1,352	1,025	834	796	640	712	568	571	349	-222	-38.9
(割合%)	66.3	59.8	55.4	50.5	52.2	51.2	49.5	47.7	52.0	40.5	-11.5	—
検挙率	32.1	34.4	32.5	37.6	47.8	58.7	47.5	43.4	50.7	46.1	-4.6	ポイント

図表 2-2-(4)-2 ひったくりの発生時間帯別認知件数

時間 年次	0～ 2時	2～ 4時	4～ 6時	6～ 8時	8～ 10時	10～ 12時	12～ 14時	14～ 16時	16～ 18時	18～ 20時	20～ 22時	22～ 24時	不明	総数
平成23年	1,040	495	317	296	459	756	885	982	1,176	1,956	2,237	1,877	0	12,476
平成24年	828	357	224	235	393	623	674	827	941	1,585	1,894	1,499	3	10,083
(割合%)	8.2	3.5	2.2	2.3	3.9	6.2	6.7	8.2	9.3	15.7	18.8	14.9	0.0	100.0
増 減 件数	-212	-138	-93	-61	-66	-133	-211	-155	-235	-371	-343	-378	3	-2,393
率 (%)	-20.4	-27.9	-29.3	-20.6	-14.4	-17.6	-23.8	-15.8	-20.0	-19.0	-15.3	-20.1	-	-19.2

注：発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

図表 2-2-(4)-3 ひったくりの被害者の年齢・性別認知件数（平成 24 年）

	総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
認知件数	10,079	615	1,959	1,231	1,191	1,235	3,848
男性	1,080	77	200	167	147	158	331
(割合%)	10.7	0.8	2.0	1.7	1.5	1.6	3.3
女性	8,999	538	1,759	1,064	1,044	1,077	3,517
(割合%)	89.3	5.3	17.5	10.6	10.4	10.7	34.9

注 1：被害者が団体・法人のものを除く。

注 2：主たる被害者の年齢・性別を計上している。

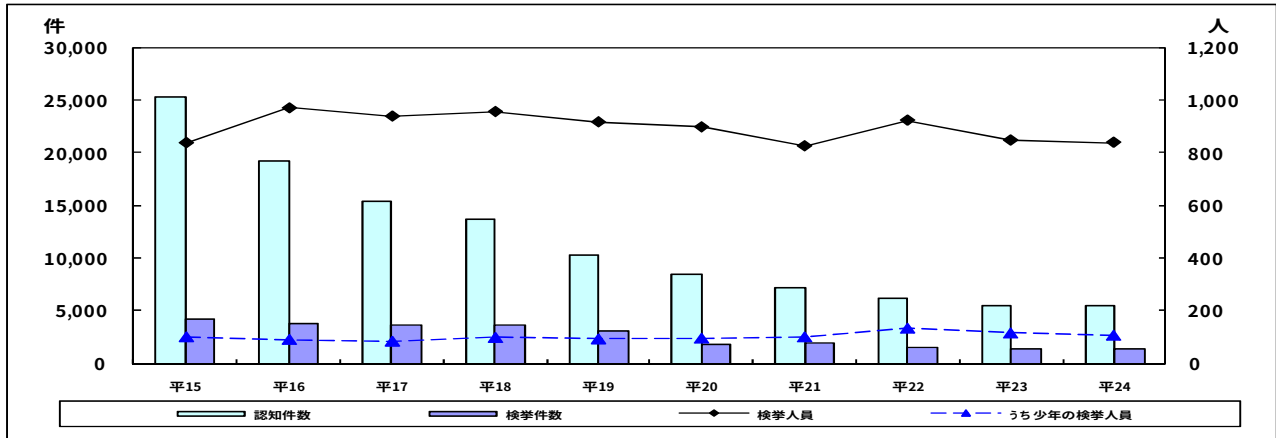
(5) すり

すりの認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、認知件数は 61 件（1.1%）、検挙件数は 12 件（0.9%）、検挙人員は 8 人（0.9%）それぞれ減少している。

また、検挙人員に占める少年の割合は、検挙人員全体の 12.8%と前年に比べ 0.9 ポイント低下しており、検挙率は 25.3%で 0.1 ポイント上昇している（図表 2-2-(5)-1）。

認知した事件をみると、被害者は 20 歳代の女性が最も多い（図表 2-2-(5)-2）。

図表 2-2-(5)-1 すりの認知・検挙状況の推移



区分 \ 年次	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
											件(人)	率(%)
認知件数	25,338	19,198	15,446	13,698	10,220	8,396	7,233	6,248	5,515	5,454	-61	-1.1
検挙件数	4,149	3,791	3,632	3,699	3,064	1,762	1,977	1,533	1,390	1,378	-12	-0.9
検挙人員	836	970	938	956	916	897	824	923	846	838	-8	-0.9
うち少年	101	90	83	98	92	95	100	135	116	107	-9	-7.8
(割合%)	12.1	9.3	8.8	10.3	10.0	10.6	12.1	14.6	13.7	12.8	-0.9	-
検挙率	16.4	19.7	23.5	27.0	30.0	21.0	27.3	24.5	25.2	25.3	0.1	ポイント

図表 2-2-(5)-2 すりの被害者の年齢・性別認知件数 (平成 24 年)

	総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
認知件数	5,452	589	1,676	898	698	514	1,077
男性	2,130	193	643	382	338	230	344
(割合%)	39.1	3.5	11.8	7.0	6.2	4.2	6.3
女性	3,322	396	1,033	516	360	284	733
(割合%)	60.9	7.3	18.9	9.5	6.6	5.2	13.4

注1：被害者が団体・法人のものを除く。

注2：主たる被害者の年齢・性別を計上している。

3 重要窃盗犯以外の窃盗犯の状況

(1) 組織窃盗事件の状況

各都道府県警察が認定した組織窃盗事件（注１）は14件である。このうち、警察庁登録組織窃盗事件（注２）として登録した事件は2件である（図表２－３－(1)）。

これまでの警察庁登録組織窃盗事件の検挙事例をみると、窃盗組織は、いずれも来日外国人や暴力団組員等を主要なメンバーとして、数十人単位の多数の者で構成され、首魁の指揮の下、実行犯を入れ替えながら、連続して広域にわたる侵入盗や自動車盗等を敢行するとともに、実行犯以外のメンバーが、窃取した預貯金通帳を用いて不正に現金を引き下ろしたり、窃取した自動車を解体したり車台番号等を改ざんして不正に輸出するなどしている。

注１：「組織窃盗事件」とは、多数の被疑者が、首魁による指揮統制の下に、下見、窃取、盗品の運搬、処分などの各行為を分担又は共同して行う窃盗犯罪をいう。

注２：平成9年10月、警察庁では、組織窃盗事件登録要領を制定し、各都道府県警察が認定した組織窃盗事件のうち、特に重要な事件を「警察庁登録組織窃盗事件」として、全国警察に情報提供を求めるなど、組織の壊滅を主眼とする捜査を推進している。

図表２－３－(1) 組織窃盗事件（登録・認定）数の推移

区分	年次	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
												件数	率(%)
都道府県警察が認定した組織窃盗事件数(件)		64 (9)	58 (9)	49 (9)	45 (6)	30 (1)	30 (2)	21 (2)	29 (6)	11 (3)	14 (2)	3 -1	27.3 -33.3
	終結事件数(件)	64 (9)	58 (9)	49 (9)	45 (6)	30 (1)	30 (2)	21 (2)	27 (6)	8 (3)	4 (0)		
	現在捜査中の事件数(件)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	3 (0)	10 (2)		

注１：本表は、実務統計による集計数値である。

注２：（ ）内は、警察庁登録組織窃盗事件の登録事件数を内数で示した。

注３：組織窃盗事件数、終結事件数及び現在捜査中の事件数は、平成24年12月末現在のものである。

【事例１】中国人グループによる一般住宅等を対象とした広域組織窃盗事件（警察庁登録組織窃盗第100号事件）（警視庁、神奈川、兵庫、愛知、京都、滋賀、奈良、埼玉、千葉）

平成19年3月から22年12月までの間、密入国した福建省出身の中国人が、日本国内に不法残留する同省出身の中国人からなる窃盗組織を構成した上で、その首魁となり、複数の犯行グループを関東以西の西日本一帯に分散させ、広域にわたり空き巣等の侵入盗を敢行していた。関係都府県警察で合・共同捜査体制を構築して捜査を推進した結果、首魁を含む被疑者66名を検挙し、24年2月までに1都2府22県下における空き巣等1,594件（約10億4,400万円相当）を解決するとともに、旅券偽造グループに係る犯罪インフラ事犯も検挙して同組織を壊滅した。

【事例２】アフリカ系外国人を首魁とする広域組織窃盗（自動車盗）事件（警察庁登録組織窃盗第 102 号事件）（千葉、山形、茨城、警視庁、神奈川）

平成 19 年 4 月から 22 年 9 月までの間、在日ウガンダ人が、暴力団組員等を含む複数の日本人窃盗グループとヤードを経営する複数のアフリカ系外国人で構成する窃盗組織の首魁となり、広域にわたりトラック等を対象とした自動車盗等を敢行し、複数のヤードにおいて窃取した自動車を解体の上、アフリカへと不正輸出していた。関係都県警察で合・共同捜査体制を構築して捜査を推進した結果、首魁を含む被疑者 58 名を検挙し、24 年 1 月までに 1 都 5 県下における自動車盗等 1,601 件（被害総額約 19 億 6,000 万円相当）を解決するとともに、犯行に利用されていたヤードを閉鎖し、同組織を壊滅した。

(2) 車上ねらい

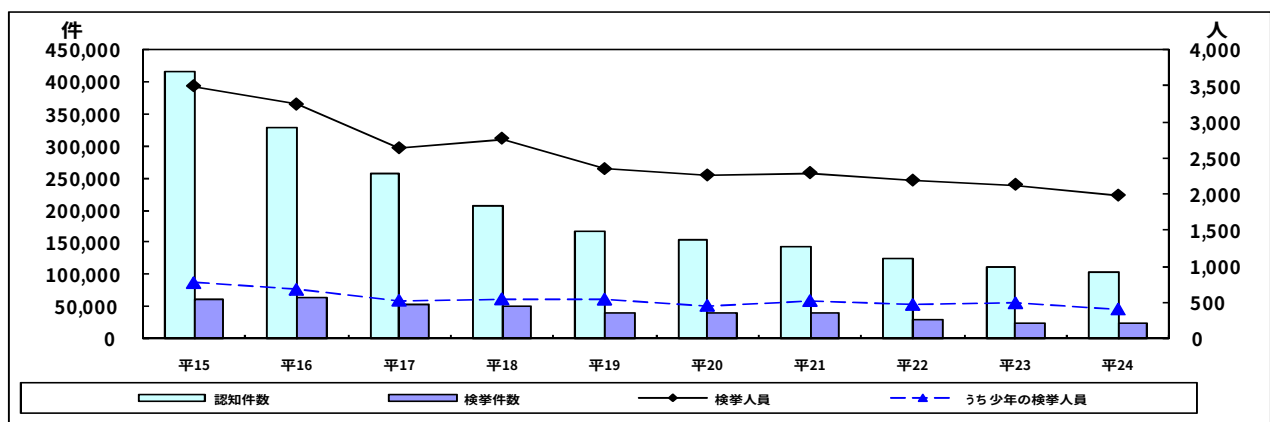
車上ねらいの認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、認知件数は8,973件（8.0%）、検挙人員は149人（7.0%）それぞれ減少しているが、検挙件数は848件（3.6%）増加している。

また、検挙人員に占める少年の割合は、検挙人員全体の20.3%と、前年に比べ2.7ポイント低下しており、検挙率は23.8%で2.6ポイント上昇している（図表2-3-(2)-1）。

認知した事件をみると、被害時の状況は施錠なしで被害に遭っているものの割合は全体の41.1%で、前年に比べ0.1ポイント上昇している（図表2-3-(2)-2）。

検挙した事件をみると、被疑者の年齢別では40歳代の増加率が最も高くなっている（図表2-3-(2)-3）。

図表2-3-(2)-1 車上ねらいの認知・検挙状況の推移



区分	年次	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
												件(人)数	率(%)
	認知件数	414,819	328,921	256,594	205,744	168,129	154,836	143,863	123,512	111,771	102,798	-8,973	-8.0
	検挙件数	60,479	63,171	53,465	49,592	41,116	40,146	38,706	29,780	23,658	24,506	848	3.6
	検挙人員	3,491	3,238	2,634	2,766	2,344	2,258	2,290	2,186	2,128	1,979	-149	-7.0
	うち少年	776	681	527	547	542	453	522	466	490	402	-88	-18.0
	(割合%)	22.2	21.0	20.0	19.8	23.1	20.1	22.8	21.3	23.0	20.3	-2.7	-
	検挙率	14.6	19.2	20.8	24.1	24.5	25.9	26.9	24.1	21.2	23.8	2.6	ポイント

図表2-3-(2)-2 車上ねらいの施錠の有無別認知件数の推移

区分	年次	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
												件数	率(%)
	認知件数	414,819	328,921	256,594	205,744	168,129	154,836	143,863	123,512	111,771	102,798	-8,973	-8.0
	施錠あり	305,871	233,481	174,862	136,083	104,857	98,435	89,241	74,661	65,966	60,571	-5,395	-8.2
	施錠なし	108,948	95,440	81,732	69,661	63,272	56,401	54,622	48,851	45,805	42,227	-3,578	-7.8
	(割合%)	26.3	29.0	31.9	33.9	37.6	36.4	38.0	39.6	41.0	41.1	0.1	-

注：「施錠あり」とは、施錠されている自動車の車室、トランク、荷物庫等から金品を窃取するものをいう。また、オートバイ（自動二輪車、原動機付自転車）及び自転車を対象とする「車上ねらい」については、施錠の有無にかかわらず、すべて「車上ねらい（施錠なし）」とする。

図表 2-3-(2)-3 車上ねらいの年齢別検挙人員

区分 年次	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平15	3,491	792	833	612	433	524	137	160
平16	3,238	692	837	565	411	442	138	153
平17	2,634	535	603	468	315	413	124	176
平18	2,766	554	605	515	366	410	153	163
平19	2,344	557	454	391	287	341	130	184
平20	2,258	464	400	365	355	343	146	185
平21	2,290	525	407	392	306	334	133	193
平22	2,186	475	403	379	324	280	127	198
平23	2,128	493	348	349	308	259	158	213
平24	1,979	412	360	333	324	226	151	173
増減数	-149	-81	12	-16	16	-33	-7	-40
増減率	-7.0	-16.4	3.4	-4.6	5.2	-12.7	-4.4	-18.8

注：犯行時の年齢を計上している。

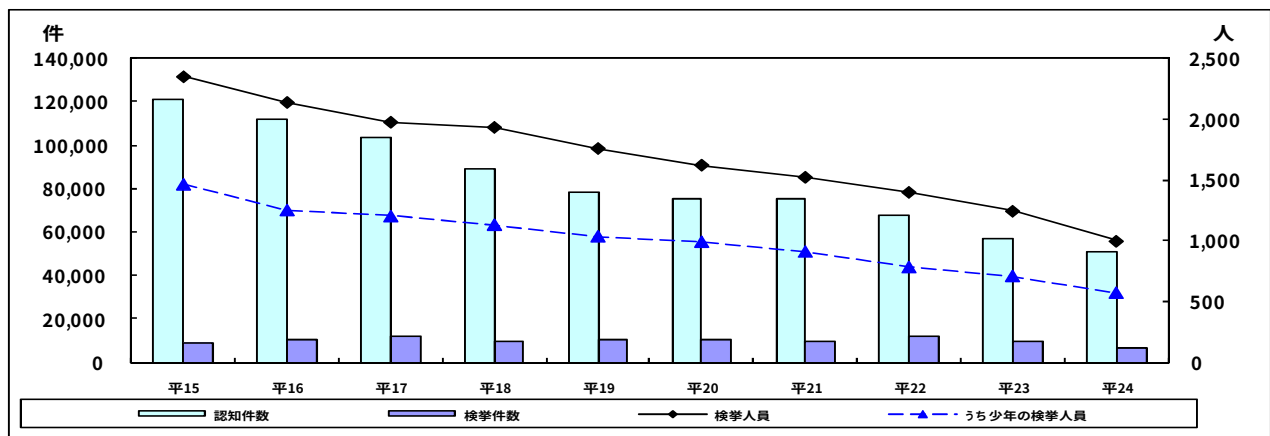
(3) 部品ねらい

部品ねらいの認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、認知件数は 5,817 件（10.2%）、検挙件数は 3,063 件（30.6%）、検挙人員は 245 人（19.7%）それぞれ減少している。

また、検挙人員に占める少年の割合は、検挙人員全体の 57.0%と、前年に比べ 0.1 ポイント上昇しており、検挙率は 13.6%で 4.0 ポイント低下している（図表 2-3-(3)-1）。

検挙した事件をみると、被疑者の年齢別では 65 歳以上が横ばいである以外は、全ての年代において減少している（図表 2-3-(3)-2）。

図表 2-3-(3)-1 部品ねらいの認知・検挙状況の推移



区分	年次	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数		120,726	112,161	103,772	88,739	78,016	75,423	75,361	67,307	57,014	51,197	-5,817	-10.2
検挙件数		8,515	10,668	11,786	9,840	10,382	10,591	9,359	11,783	10,022	6,959	-3,063	-30.6
検挙人員		2,345	2,134	1,973	1,931	1,758	1,621	1,523	1,399	1,244	999	-245	-19.7
	うち少年	1,468	1,255	1,204	1,132	1,037	992	911	781	708	569	-139	-19.6
	(割合%)	62.6	58.8	61.0	58.6	59.0	61.2	59.8	55.8	56.9	57.0	0.1	—
検挙率		7.1	9.5	11.4	11.1	13.3	14.0	12.4	17.5	17.6	13.6	-4.0	ポイント

図表 2-3-(3)-2 部品ねらいの年齢別検挙人員

区分 年次	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平15	2,345	1,477	446	149	77	116	39	41
平16	2,134	1,270	404	176	86	91	40	67
平17	1,973	1,216	321	157	73	89	41	76
平18	1,931	1,146	317	176	76	100	50	66
平19	1,758	1,044	316	124	73	83	39	79
平20	1,621	998	228	117	67	76	47	88
平21	1,523	919	264	114	77	58	37	54
平22	1,399	787	222	105	88	70	30	97
平23	1,244	719	171	109	75	62	40	68
平24	999	573	134	70	72	52	30	68
増減数	-245	-146	-37	-39	-3	-10	-10	0
増減率	-19.7	-20.3	-21.6	-35.8	-4.0	-16.1	-25.0	0.0

注：犯行時の年齢を計上している。

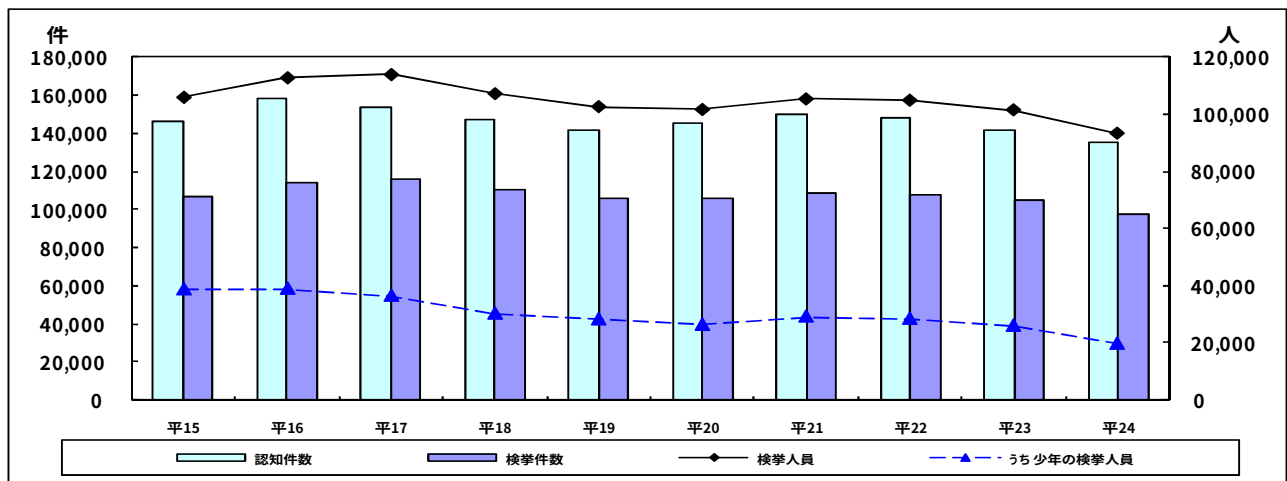
(4) 万引き

万引きの認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、認知件数は6,688件（4.7%）、検挙件数は6,675件（6.4%）、検挙人員は8,261人（8.2%）それぞれ減少している。

また、検挙人員に占める少年の割合は、検挙人員全体の21.1%と、前年に比べ4.5ポイント低下しており、検挙率は72.5%で1.3ポイント低下している（図表2-3-(4)-1）。

検挙した事件をみると、被疑者の年齢別では、65歳以上の増加率が最も高くなっている（図表2-3-(4)-2）。

図表 2-3-(4)-1 万引きの認知・検挙状況の推移



区分	年次	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数		146,308	158,020	153,972	147,113	141,915	145,429	149,892	148,371	141,564	134,876	-6,688	-4.7
検挙件数		106,925	114,465	115,636	110,723	105,774	105,986	108,802	107,684	104,516	97,841	-6,675	-6.4
検挙人員		105,792	112,783	113,953	107,123	102,504	101,504	105,228	104,804	101,340	93,079	-8,261	-8.2
	うち少年	38,648	38,865	36,450	30,161	28,161	26,277	29,119	28,348	25,961	19,645	-6,316	-24.3
	(割合%)	36.5	34.5	32.0	28.2	27.5	25.9	27.7	27.0	25.6	21.1	-4.5	—
検挙率		73.1	72.4	75.1	75.3	74.5	72.9	72.6	72.6	73.8	72.5	-1.3ポイント	

図表 2-3-(4)-2 万引きの年齢別検挙人員

区分 年次	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平15	105,792	38,709	12,084	8,718	8,569	13,729	6,527	17,456
平16	112,783	38,912	12,214	9,796	9,219	14,353	7,622	20,667
平17	113,953	36,481	11,859	10,146	9,508	14,662	8,045	23,252
平18	107,123	30,189	10,837	9,850	9,233	14,442	7,512	25,060
平19	102,504	28,186	9,949	9,194	8,819	13,317	7,185	25,854
平20	101,504	26,303	9,442	9,430	9,076	12,652	7,586	27,015
平21	105,228	29,153	9,850	9,625	9,538	12,279	7,764	27,019
平22	104,804	28,364	9,685	9,635	10,000	11,782	7,976	27,362
平23	101,340	26,005	9,145	9,159	9,621	10,941	8,403	28,066
平24	93,079	19,673	8,326	8,590	9,745	10,323	7,749	28,673
増減数	-8,261	-6,332	-819	-569	124	-618	-654	607
増減率	-8.2	-24.3	-9.0	-6.2	1.3	-5.6	-7.8	2.2

注：犯行時の年齢を計上している。

(5) オートバイ盗

オートバイ盗の認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年同期に比べ、認知件数は 8,307 件（12.3%）、検挙件数は 1,363 件（17.0%）、検挙人員は 716 人（13.6%）それぞれ減少している。

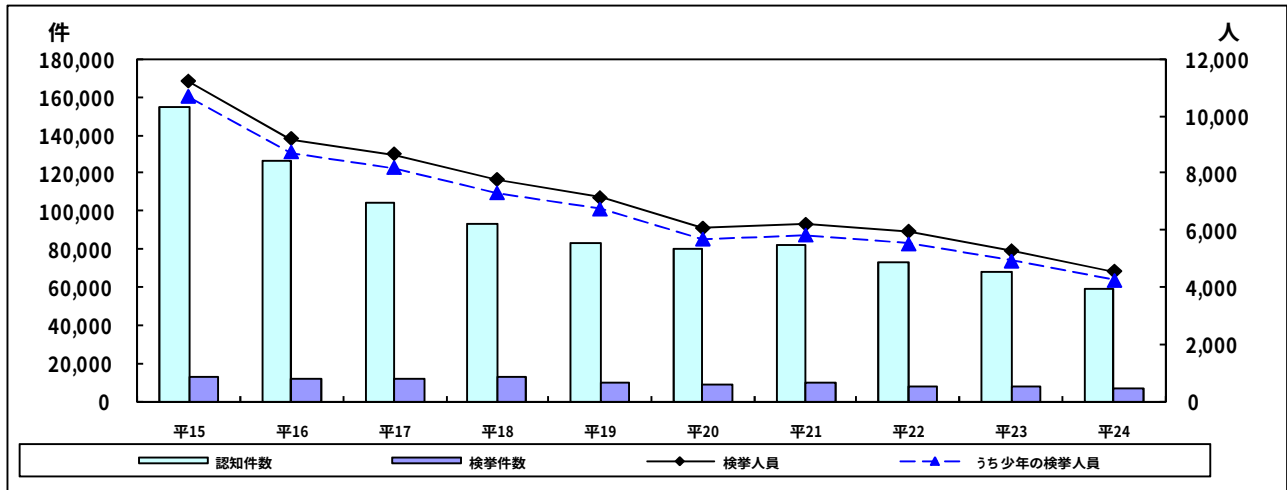
また、検挙人員に占める少年の割合は、検挙人員全体の 93.5%と、前年に比べ 0.1 ポイント低下しており、検挙率は 11.2%で 0.7 ポイント低下している（図表 2-3-(5)-1）。

認知した事件をみると、被害時にエンジンキー（イグニッションキー）がメーンスイッチ（イグニッションスイッチ）に差し込まれていたか、運転席又はその周辺に放置されていた状態で盗まれているものの割合は全体の 24.5%で、前年に比べ 0.4 ポイント上昇している（図表 2-3-(5)-2）。

また、被害オートバイの還付率は 43.3%で、前年に比べ 2.2 ポイント上昇している（図表 2-3-(5)-3）。

検挙した事件をみると、被疑者の年齢別では、いずれの年齢層においても減少している（図表 2-3-(5)-4）。

図表２－３－(５)－１ オートバイ盗の認知・検挙状況の推移



区分	年次	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数		154,979	126,717	104,155	93,294	83,028	80,354	82,116	73,491	67,776	59,469	-8,307	-12.3
検挙件数		12,447	11,715	11,621	12,426	10,161	8,930	9,437	7,811	8,037	6,674	-1,363	-17.0
検挙人員		11,213	9,203	8,665	7,766	7,131	6,062	6,194	5,954	5,270	4,554	-716	-13.6
うち少年		10,669	8,735	8,188	7,311	6,740	5,702	5,842	5,530	4,932	4,258	-674	-13.7
(割合%)		95.1	94.9	94.5	94.1	94.5	94.1	94.3	92.9	93.6	93.5	-0.1	—
検挙率		8.0	9.2	11.2	13.3	12.2	11.1	11.5	10.6	11.9	11.2	-0.7	ポイント

図表２－３－(５)－２ オートバイ盗のキーの有無別認知件数の推移

区分	年次	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
												件数	率(%)
認知件数		154,979	126,717	104,155	93,294	83,028	80,354	82,116	73,491	67,776	59,469	-8,307	-12.3
キーあり		33,969	28,574	23,758	21,145	19,686	18,496	18,458	17,349	16,364	14,547	-1,817	-11.1
(割合%)		21.9	22.5	22.8	22.7	23.7	23.0	22.5	23.6	24.1	24.5	0.4	—
キーなし		121,010	98,143	80,397	72,149	63,342	61,858	63,658	56,142	51,412	44,922	-6,490	-12.6

注：「キーあり」とは、エンジンキー（イグニッションキー）がメーンスイッチ（イグニッションスイッチ）に差し込まれていたか、運転席又はその周辺に放置されていたものをいう。

図表２－３－(５)－３ 被害オートバイの還付数・還付率の推移

区分	年次	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
												件数	率(%)
認知件数		154,979	126,717	104,155	93,294	83,028	80,354	82,116	73,491	67,776	59,469	-8,307	-12.3
還付件数		59,599	47,796	40,421	37,521	34,640	32,062	31,421	28,506	27,841	25,764	-2,077	-7.5
還付率(%)		38.5	37.7	38.8	40.2	41.7	39.9	38.3	38.8	41.1	43.3	2.2	—

注：還付率は、還付年の認知件数を基に算出した。

図表 2-3-(5)-4 オートバイ盗の年齢別検挙人員

区分 年次	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平15	11,213	10,704	379	62	34	21	6	7
平16	9,203	8,744	346	65	23	22	1	2
平17	8,665	8,211	333	75	17	22	3	4
平18	7,766	7,333	312	63	27	20	5	6
平19	7,131	6,753	267	54	26	22	4	5
平20	6,062	5,715	236	48	30	23	5	5
平21	6,194	5,852	219	59	29	19	5	11
平22	5,954	5,546	257	67	41	17	17	9
平23	5,270	4,943	205	58	30	18	8	8
平24	4,554	4,282	177	42	28	17	3	5
増減数	-716	-661	-28	-16	-2	-1	-5	-3
増減率	-13.6	-13.4	-13.7	-27.6	-6.7	-5.6	-62.5	-37.5

注：犯行時の年齢を計上している。

(6) 自転車盗

自転車盗の認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、認知件数は 33,824 件（10.0%）、検挙件数は 2,051 件（9.6%）、検挙人員は 2,015 人（12.2%）それぞれ減少している。

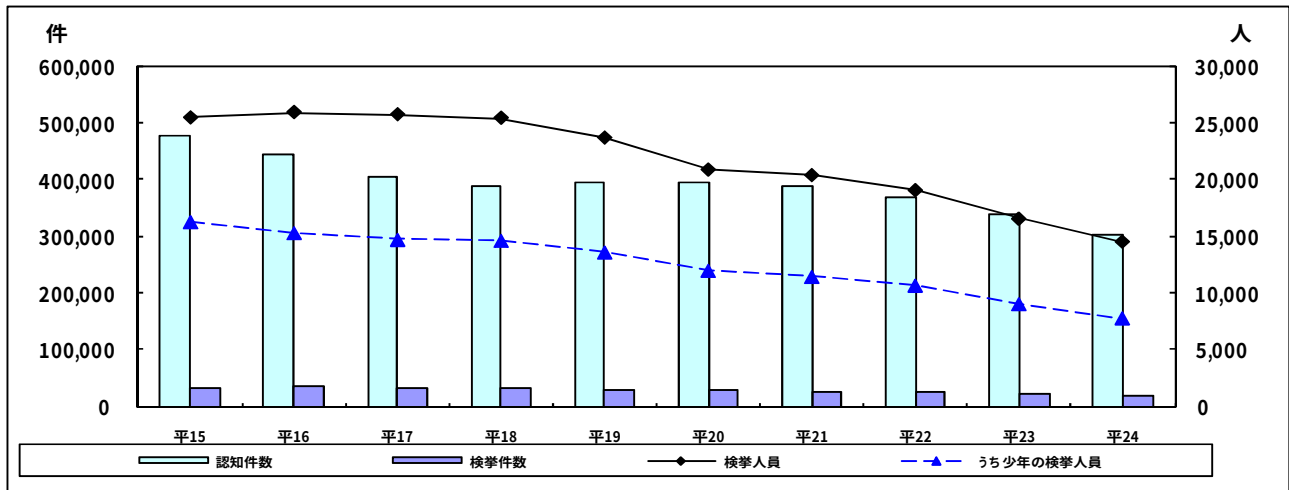
また、検挙人員に占める少年の割合は、検挙人員全体の 53.3%と、前年に比べ 1.1 ポイント低下しており、検挙率は 6.3%で横ばいとなっている（図表 2-3-(6)-1）。

認知した事件をみると、被害時の状況は盗難防止のための施錠がなされていなかったものの割合は全体の 57.9%で、前年に比べ 2.0 ポイント上昇している（図表 2-3-(6)-2）。

また、被害自転車の還付率は 43.6%で、前年に比べ 0.9 ポイント上昇している（図表 2-3-(6)-3）。

検挙した事件をみると、被疑者の年齢別では、いずれの年齢層においても減少している（図表 2-3-(6)-4）。

図表２－３－(６)－１ 自転車盗の認知・検挙状況の推移



区分	年次	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数		476,589	444,268	406,104	388,463	395,344	393,462	389,476	367,509	337,569	303,745	-33,824	-10.0
検挙件数		32,489	35,828	32,322	30,945	28,243	28,053	26,747	24,752	21,302	19,251	-2,051	-9.6
検挙人員		25,453	25,926	25,737	25,432	23,682	20,872	20,378	19,051	16,541	14,526	-2,015	-12.2
	うち少年	16,316	15,342	14,732	14,656	13,611	11,977	11,430	10,653	9,002	7,741	-1,261	-14.0
	(割合%)	64.1	59.2	57.2	57.6	57.5	57.4	56.1	55.9	54.4	53.3	-1.1	—
検挙率		6.8	8.1	8.0	8.0	7.1	7.1	6.9	6.7	6.3	6.3	0.0	ポイント

図表２－３－(６)－２ 自転車盗の施錠の有無別認知件数の推移

区分	年次	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
												件数	率(%)
認知件数		476,589	444,268	406,104	388,463	395,344	393,462	389,476	367,509	337,569	303,745	-33,824	-10.0
	施錠あり	280,444	249,951	220,210	206,182	209,312	200,035	194,595	173,888	149,024	127,798	-21,226	-14.2
	施錠なし	196,145	194,317	185,894	182,281	186,032	193,427	194,881	193,621	188,545	175,947	-12,598	-6.7
	(割合%)	41.2	43.7	45.8	46.9	47.1	49.2	50.0	52.7	55.9	57.9	2.0	—

注：「施錠あり」とは、被害時に盗難防止のため施錠されていたものをいう。

図表２－３－(６)－３ 被害自転車の還付数・還付率の推移

区分	年次	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
												件数	率(%)
認知件数		476,589	444,268	406,104	388,463	395,344	393,462	389,476	367,509	337,569	303,745	-33,824	-10.0
還付件数		179,352	169,792	159,849	157,711	165,540	162,077	163,233	157,216	144,282	132,555	-11,727	-8.1
還付率(%)		37.6	38.2	39.4	40.6	41.9	41.2	41.9	42.8	42.7	43.6	0.9	—

注：還付率は、還付年の認知件数を基に算出した。

図表 2 - 3 - (6) - 4 自転車盗の年齢別検挙人員

区分 年次	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平15	25,453	16,386	4,230	1,310	1,017	1,359	502	649
平16	25,926	15,392	4,864	1,557	1,085	1,463	612	953
平17	25,737	14,797	4,960	1,613	1,125	1,498	672	1,072
平18	25,432	14,727	4,771	1,586	1,031	1,505	636	1,176
平19	23,682	13,658	4,403	1,399	1,006	1,394	613	1,209
平20	20,872	12,014	3,819	1,319	923	1,136	580	1,081
平21	20,378	11,466	3,850	1,425	986	1,042	517	1,092
平22	19,051	10,698	3,681	1,296	869	938	534	1,035
平23	16,541	9,033	3,359	1,173	768	782	524	902
平24	14,526	7,774	3,063	1,061	730	650	402	846
増減数	-2,015	-1,259	-296	-112	-38	-132	-122	-56
増減率	-12.2	-13.9	-8.8	-9.5	-4.9	-16.9	-23.3	-6.2

注：犯行時の年齢を計上している。

4 詐欺の状況

詐欺の認知件数は、平成 14 年以降増加していたが、平成 18 年に減少に転じ、以降減少し続けていたところ、平成 24 年は、前年に比べ 79 件（0.2%）増加している。

検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、検挙件数は 1,905 件（8.6%）減少しているが、検挙人員は 428 人（4.0%）増加している（図表 2－4）。

また、検挙率は 58.4%で、前年に比べ 5.7 ポイント低下している。

図表 2－4 詐欺の認知・検挙状況の推移

年次 区分	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
											件(人)数	率
認知 件数	60,298	83,015	85,596	74,632	67,787	64,427	45,162	37,516	34,599	34,678	79	0.2%
検 挙 件 数	30,364	26,617	29,384	30,127	27,963	30,277	28,753	24,897	22,169	20,264	-1,905	-8.6%
検 挙 人 員	10,194	11,238	11,648	12,406	12,113	12,036	12,542	11,306	10,569	10,997	428	4.0%
検 挙 率	50.4%	32.1%	34.3%	40.4%	41.3%	47.0%	63.7%	66.4%	64.1%	58.4%	-5.7ポイント	

5 振り込み詐欺を始めとする特殊詐欺等の状況

特殊詐欺とは、被害者に電話をかけるなどして対面することなく欺もうし、指定した預貯金口座への振り込みその他の方法により、不特定多数の者から現金等をだまし取る犯罪（現金等を脅し取る恐喝も含む。）の総称であり、その代表的なものが振り込み詐欺（オレオレ詐欺(注1)、架空請求詐欺(注2)、融資保証金詐欺(注3)及び還付金等詐欺(注4)）である。

平成24年中の特殊詐欺の認知状況については、認知件数が8,693件、被害総額が約364億円と、いずれも前年と比べ増加した。その主な原因は、振り込み詐欺以外の特殊詐欺が急増していることである。

振り込み詐欺については、認知件数が6,348件と増加し、現金受取型の手口が増加したこと等から、被害総額が約160億円に増加するなど、予断を許さない状況が続いている。

また、振り込み詐欺以外の特殊詐欺については、未公開株、社債等への投資をうたう金融商品等取引名目の特殊詐欺が急増したこと等から、認知件数が2,345件、被害総額が約204億円といずれも増加し、被害総額は振り込み詐欺を大きく上回った。

そこで、警察では、これら特殊詐欺の撲滅に向けた取組を一層強化しているところである。

注1：親族を装うなどして電話をかけ、会社における横領金の補填金等の様々な名目で現金が至急必要であるかのように信じ

だませ、動転した被害者に、指定した預貯金口座に現金を振り込ませるなどの手口による詐欺

注2：架空の事実を口実に金品を請求する文書を送付して、指定した預貯金口座に現金を振り込ませるなどの手口による詐欺

注3：融資を受けるための保証金の名目で、指定した預貯金口座に現金を振り込ませるなどの手口による詐欺

注4：市区町村の職員等を装い、医療費の還付等に必要の手続を装って現金自動預払機（ＡＴＭ）を操作させて口座間送金により振り込ませる手口による電子計算機使用詐欺（平成18年6月に初めて認知された。）

図表2-5-1 特殊詐欺の認知・検挙状況

年次 区分		平21	平22	平23	平24	増 減	
特殊詐欺全体	認知件数	7,340	6,888	7,216	8,693	1,477	
	被害総額	9,579,122,058	11,247,278,665	20,404,305,829	36,436,112,888	16,031,807,059	
	検挙件数	5,669	5,189	2,556	2,990	434	
	検挙人員	955	686	923	1,523	600	
	振り込め詐欺	認知件数	7,340	6,637	6,233	6,348	115
		被害総額	9,579,122,058	10,088,048,014	12,719,000,363	16,041,104,000	3,322,103,637
		検挙件数	5,669	5,189	2,419	2,313	-106
		検挙人員	955	686	775	1,028	253
	振り込め詐欺以外の 特殊詐欺	認知件数	—	251	983	2,345	1,362
		被害総額	—	1,159,230,651	7,685,305,466	20,395,008,888	12,709,703,422
		検挙件数	—	—	137	677	540
		検挙人員	—	—	148	495	347

注1：振り込み詐欺以外の特殊詐欺の認知件数・被害総額については、平成22年2月から集計を開始した。

注2：振り込み詐欺以外の特殊詐欺の検挙件数・人員については、平成23年1月から集計を開始した。

図表 2-5-2 特殊詐欺の被害者性別・年齢別構成（平成 24 年）

	合計	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
男（％）	28	1	1	2	3	7	14
女（％）	72	2	1	2	6	20	40

注：本表は、各欄それぞれ四捨五入したものを記載しているため、数値の合計が一致しない。

(1) 振り込み詐欺

平成 24 年における振り込み詐欺の認知件数は 6,348 件と、前年に比べ 115 件増加し、被害総額も約 160 億 4,110 万円(注)と、前年に比べ約 33 億 2,210 万円増加している。

検挙件数は 2,313 件と、前年に比べ 106 件減少し、検挙人員は 1,028 人と、前年に比べ 253 人増加している(図表 2-5-(1)-1)。

注：親族、警察官等を装ってキャッシュカードを直接受け取る手口のオレオレ詐欺における A T M からの引出（窃取）額を含む。

図表 2-5-(1)-1 振り込み詐欺の認知・検挙状況

区分	年次	平21	平22	平23	平24	増 減
認知件数		7,340	6,637	6,233	6,348	115
	うち既遂	7,156	6,469	5,964	5,902	-62
被害総額（既遂のみ）		9,579,122,058	8,213,607,351	11,019,577,000	15,369,908,000	4,350,331,000
実質的な被害総額		—	10,088,048,014	12,719,000,363	16,041,104,000	3,322,103,637
検挙件数		5,669	5,189	2,419	2,313	-106
検挙人員		955	686	775	1,028	253

注 1：平成 22 年以前の数値は、実務統計による集計数値、平成 23 年以降の数値は、犯罪統計による集計数値である（被害総額を除く）。

注 2：実質的な被害総額とは、親族、警察官等を装ってキャッシュカードを直接受け取る手口のオレオレ詐欺における A T M からの引出（窃取）額を加えたものであり、実務統計による集計数値である。

図表 2-5-(1)-2 振り込み詐欺の被害者性別・年齢別構成（平成 24 年）

	合計	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
男（％）	25	1	1	2	3	6	12
女（％）	75	3	2	2	6	21	42

注：本表は、各欄それぞれ四捨五入したものを記載しているため、数値の合計が一致しない。

ア オレオレ詐欺

オレオレ詐欺の認知件数は 3,634 件と、前年に比べ 1,022 件減少したが、被害総額は約 111 億 9,990 万円(注)と、前年に比べ約 4 億 9,488 万円増加している。

検挙件数は 1,802 件と、前年に比べ 134 件増加し、検挙人員も 840 人と、前年に比べ 260 人増加している(図表 2-5-(1)-3)。

注：親族、警察官等を装ってキャッシュカードを直接受け取る手口のオレオレ詐欺における A T M からの引出（窃取）額を含む。

図表 2-5-(1)-3 オレオレ詐欺の認知・検挙状況

年次 区分	平21	平22	平23	平24	増 減
認知件数	3,057	4,418	4,656	3,634	-1,022
うち既遂	2,928	4,267	4,411	3,261	-1,150
被害総額（既遂のみ）	5,202,663,725	6,043,829,710	9,005,603,000	10,528,707,000	1,523,104,000
実質的な被害総額	—	7,918,270,373	10,705,026,363	11,199,903,000	494,876,637
1件当たりの被害総額	1,776,866	1,855,700	2,426,893	3,434,500	1,007,607
検挙件数	2,086	1,742	1,668	1,802	134
検挙人員	507	388	580	840	260

注1：平成22年以前の数値は、実務統計による集計数値、平成23年以降の数値は、犯罪統計による集計数値である（被害総額を除く）。

注2：実質的な被害総額とは、親族、警察官等を装ってキャッシュカードを直接受け取る手口のオレオレ詐欺におけるATMからの引出（窃取）額を加えたものであり、実務統計による集計数値である。

図表 2-5-(1)-4 オレオレ詐欺の被害者性別・年齢別構成（平成24年）

	合計	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
男（%）	17	0	0	0	0	5	12
女（%）	83	0	0	0	6	26	50

注：本表は、各欄それぞれ四捨五入したものを記載しているので、数値の合計が一致しない。

【事例1】警察官等を装ってキャッシュカードを詐取するオレオレ詐欺事件（三重）

無職の男(42)らは、平成21年12月ころ、被害者方に警察官、銀行員を装って電話をかけ、「県警の振り込め詐欺対策本部の者です。振り込め詐欺の犯人を捕まえたところ、あなたの名前が名簿に載っていました。」、「あなたの口座からお金が引き出されているようですが、知っていますか。今から銀行の者がそちらに伺います。お持ちのキャッシュカードを渡して下さい。」等とうそを言い、被害者方に赴いて、同人からキャッシュカードをだまし取った上、同キャッシュカードを使用してATMから13回にわたり、現金合計267万円を窃取した（1月23日検挙）。

【事例2】親族をかたった借金返済名目のオレオレ詐欺事件（神奈川）

無職の男(26)らは、平成22年10月ころ、被害者方に同人の息子を装って電話をかけ、「浮気をして相手の女性が訴えると言っているの、金融屋から借金をして支払い、示談して話はついたが、金融屋から借金の返済を迫られている。今日が期限なんだ。320万円貸してくれないか。金融会社の集金人が行く。」等とうそを言い、現金320万円をだまし取った（2月20日検挙）。

イ 架空請求詐欺

架空請求詐欺の認知件数は1,177件と、前年に比べ421件増加し、被害総額も約30億1,049万円と、前年に比べ約19億7,233万円増加している。

検挙件数は370件と、前年に比べ336件減少し、検挙人員も165人と、前年に比べ13人減少している(図表2-5-(1)-5)。

図表2-5-(1)-5 架空請求詐欺の認知・検挙状況

区分 \ 年次	平21	平22	平23	平24	増 減
認知件数	2,493	1,774	756	1,177	421
うち既遂	2,444	1,759	735	1,115	380
被害総額(既遂のみ)	3,182,296,949	1,752,071,081	1,038,157,000	3,010,488,000	1,972,331,000
1件当たりの被害総額	1,302,085	996,061	1,412,459	2,699,989	1,287,530
検挙件数	1,137	1,607	706	370	-336
検挙人員	247	224	178	165	-13

注：平成22年以前の数値は、実務統計による集計数値、平成23年以降の数値は、犯罪統計による集計数値である。

図表2-5-(1)-6 架空請求詐欺の被害者性別・年齢別構成(平成24年)

	合計	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
男(%)	35	5	5	5	5	6	8
女(%)	65	15	7	7	5	7	23

注：本表は、各欄それぞれ四捨五入したものを記載しているので、数値の合計が一致しない。

【事例1】出会い系サイトによる手数料等名目の架空請求詐欺事件(警視庁)

会社役員の男(27)らは、平成23年7月ころから同年11月ころまでの間、架空の男性会員を装って、被害者に対して交際を求める電子メールを送信した上、「手数料を支払えば連絡先を交換することができる。」「連絡先交換のために支払った手数料は必ず弁済する。」等うその内容の電子メールを多数回にわたり送信するなどして、約140回にわたり、現金合計約1,400万円をだまし取った(2月8日検挙)。

【事例2】資格取得講座の受講契約終了手続費用名目の架空請求詐欺事件(愛知・福島)

会社員の男(25)らは、平成22年6月ころ、被害者方に電話をかけ、「あなたは、以前通信教育、生涯教育を受講していたと思いますが、受講されていた講座は生涯教育で段階的にお進みいただく必要があります。」「最終項目の講座をお持ちいただければ、それで講座の終了となります。」等とうそを言い、講座終了手続費用を支払う義務等があり、これを支払えば、それ以上の費用がかからずに講座終了手続が完了するものと誤信させ、現金49万8,000円を指定先の口座に振り込ませ、さらに、「講座が6項目残っています。」等とうそを言って誤信させ、現金合計約187万円をだまし取った(3月7日検挙)。

ウ 融資保証金詐欺

融資保証金詐欺の認知件数は 404 件と、前年に比べ 121 件減少し、被害総額も約 7 億 304 万円と、前年に比べ約 1,881 万円減少している。

検挙件数は 25 件と、前年に比べ 18 件減少し、検挙人員も 11 人と、前年に比べ 1 人減少している（図表 2－5－(1)－7）。

図表 2－5－(1)－7 融資保証金詐欺の認知・検挙状況

区分	年次	平21	平22	平23	平24	増 減
認知件数		1,491	362	525	404	-121
	うち既遂	1,490	361	524	403	-121
被害総額（既遂のみ）		949,759,965	344,004,997	721,845,000	703,040,000	-18,805,000
1件当たりの被害総額		637,423	952,922	1,377,567	1,744,516	366,949
検挙件数		2,026	1,600	43	25	-18
検挙人員		168	60	12	11	-1

注：平成 22 年以前の数値は、実務統計による集計数値、平成 23 年以降の数値は、犯罪統計による集計数値である。

図表 2－5－(1)－8 融資保証金詐欺の被害者性別・年齢別構成（平成 24 年）

	合計	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
男（％）	81	6	10	16	21	18	11
女（％）	19	2	3	3	4	5	1

注：本表は、各欄それぞれ四捨五入したものを記載しているので、数値の合計が一致しない。

【事例】インターネットの掲示板を利用した融資保証金詐欺事件（島根）

無職の女(34)は、平成 23 年 12 月ころ、インターネット上の掲示板を閲覧して融資を申し込んできた被害者に対して、メールで「ご連絡ありがとうございます。融資金額 1 万円につき利息 2 千円とする。」等とうその内容を送信した上、電話で「うちは先に利子分を振り込んでもらってますが、了承していただけますか。」等申し向けるなどして、現金 4 万円を振り込ませてだまし取った（2 月 20 日検挙）。

エ 還付金等詐欺

還付金等詐欺の認知件数は 1,133 件と、前年に比べ 837 件増加し、被害総額も約 11 億 2,767 万円と、前年に比べ 8 億 7,370 万円増加している。

検挙件数は 116 件と、前年に比べ 114 件増加し、検挙人員も 12 人と、前年に比べ 7 人増加している。（図表 2－5－(1)－9）。

図表 2 - 5 - (1) - 9 還付金等詐欺の認知・検挙状況

年次 区分		平21	平22	平23	平24	増 減
認知件数		299	83	296	1,133	837
	うち既遂	294	82	294	1,123	829
被害総額（既遂のみ）		244,401,419	73,701,563	253,972,000	1,127,673,000	873,701,000
1件当たりの被害総額		831,297	898,800	863,850	1,004,161	140,311
検挙件数		420	240	2	116	114
検挙人員		33	14	5	12	7

注：平成 22 年以前の数値は、実務統計による集計数値、平成 23 年以降の数値は、犯罪統計による集計数値である。

図表 2 - 5 - (1) - 10 還付金等詐欺の被害者性別・年齢別構成（平成 24 年）

	合計	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
男（％）	23	0	0	0	0	6	17
女（％）	77	0	0	0	4	25	47

注：本表は、各欄それぞれ四捨五入したものを記載しているので、数値の合計が一致しない。

【事例】 公的機関職員を装った医療費還付名目の還付金等詐欺事件（神奈川）

飲食店従業員の女(25)は、平成 24 年 4 月ころ、被害者方に公的機関職員を装って電話をかけ、「平成 18 年から 23 年度の医療費の返金があります。本日、午後 3 時までに受付を行えば医療費の返金が出来ますので社会保険事務局に電話をして下さい。フリーダイヤルで〇〇〇〇番です。」、「今から A T M で手続をして下さい。」等とうそを言った上、自らの指示どおりに A T M 機を操作させて、被害者名義の口座から被疑者が管理する口座に現金約 100 万円を振込送金させ、財産上不法の利益を得た（10 月 2 日検挙）。

(2) 振り込め詐欺以外の特殊詐欺

特殊詐欺のうち、従来の振り込め詐欺の類型には該当しないものとして、金融商品等取引名目の詐欺(注1)、ギャンブル必勝情報提供名目の詐欺(注2)、異性との交際あっせん名目の詐欺(注3)等がある。

平成24年の認知件数は2,345件と、前年に比べ1,362件増加し、被害総額も約203億9,501万円と、前年と比べ約127億970万円増加している。

検挙件数は677件と、前年に比べ540件増加し、検挙人員も495人と、前年に比べ347人増加している(図表2-5-(2)-1)。

注1：架空又は価値の乏しい未公開株、社債等の有価証券、外国通貨等について、電話やダイレクトメール等により虚偽の情報を提供し、購入すれば利益が得られるものと誤信させ、購入を申し込んできた被害者に有価証券等の購入名目で現金を口座に振り込ませるなどの手口による詐欺

注2：不特定多数の者が購読する雑誌に「パチンコ打ち子募集」等と記載したり、不特定多数の者に対して同内容のメールを送信したりするなどし、これに応じて会員登録等を申し込んできた被害者に対して、パチンコ攻略法等の虚偽の情報を提供するなどした上で、会員登録料や情報料等の名目で現金を口座に振り込ませるなどの手口による詐欺

注3：不特定多数の者が購読する雑誌に「女性紹介」等と記載したり、不特定多数の者に対して同内容のメールを送信したりするなどし、これに応じて女性の紹介等を求めてきた被害者に対して、女性に関する虚偽の情報を提供するなどした上で、会員登録料や保証金等の名目で現金を口座に振り込ませるなどの手口による詐欺

図表2-5-(2)-1 振り込め詐欺以外の特殊詐欺の認知・検挙状況

区分 \ 年次	平22	平23	平24	増 減
認知件数	251	983	2,345	1,362
被害総額	1,159,230,651	7,685,305,466	20,395,008,888	12,709,703,422
検挙件数	—	137	677	540
検挙人員	—	148	495	347

注1：本表は、実務統計による集計数値である。

注2：認知件数・被害総額については、平成22年2月から集計を開始した。

注3：検挙件数・人員については、平成23年1月から集計を開始した。

図表2-5-(2)-2 振り込め詐欺以外の特殊詐欺の被害者性別・年齢別構成(平成24年)

	合計	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
男(%)	37	1	1	3	4	9	19
女(%)	63	1	1	3	5	18	36

注：本表は、各欄それぞれ四捨五入したものを記載しているので、数値の合計が一致しない。

ア 金融商品等取引名目の詐欺

金融商品等取引名目の詐欺の認知件数は1,986件と、前年に比べ1,213件増加し、被害総額も約186億1,342万円と、前年に比べ約116億6,867万円増加している。

検挙件数は647件と、前年に比べ574件増加し、検挙人員も474人と前年に比べ346人増加している(図表2-5-(2)-3)。

図表 2-5-(2)-3 金融商品等取引名目の詐欺の認知・検挙状況

区分 \ 年次	平22	平23	平24	増 減
認知件数	112	773	1,986	1,213
被害総額	701,235,822	6,944,741,229	18,613,416,073	11,668,674,844
1件当たりの被害額	6,261,034	8,984,141	9,372,314	388,173
検挙件数	—	73	647	574
検挙人員	—	128	474	346

注1：本表は、実務統計による集計数値である。

注2：認知件数・被害総額については、平成22年2月から集計を開始した。

注3：検挙件数・人員については、平成23年1月から集計を開始した。

図表 2-5-(2)-4 金融商品等取引名目の詐欺の被害者性別・年齢別構成（平成24年）

	合計	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
男（％）	33	0	1	1	2	8	21
女（％）	67	0	0	2	4	20	41

注：本表は、各欄それぞれ四捨五入したものを記載しているため、数値の合計が一致しない。

【事例1】ファンド出資名目の詐欺事件（警視庁）

会社役員の男(26)らは、平成23年9月ころから同年10月ころまでの間、証券会社等の従業員を装って、被害者に対して電話をかけ、営業実態のない会社について、「この会社のファンドは優良物件なので、会社がつぶれることはありません。利息が年に6パーセントも付くのです。必ず価値が上がります。」、「そのファンドは50口単位で祝い金や優待が割り当てられる。」等とうそを言い、ファンド出資名目で3回にわたり現金合計5,500万円をだまし取った（5月10日検挙）。

【事例2】投資金返還手数料名目の詐欺事件（神奈川・北海道・福島・栃木・千葉・富山・石川・福井・岐阜・三重・京都・山口・高知・佐賀・長崎・熊本）

無職の男(36)らは、平成23年12月ころから平成24年1月ころまでの間、被害者方に架空の証券取引業者の従業員等になりすまして電話をかけ、「あなたが投資したお金の返金を受けるためには弁護士が作成する書類が必要です。弁護士に支払う手数料は、現金ではなく指定する会社の社債で支払うこととなります。手数料は20万円です。指定する会社に電話して下さい。」、「すぐに返金手続をするには、弁護士に申立申請書を作成してもらわないといけません。手数料は50万円です。」、「あと30万円分の社債を買っていただき、合計100万円分になれば当社で社債を買取りします。」等とうそを言い、3回にわたり現金合計100万円をだまし取った（10月22日検挙）。

イ ギャンブル必勝情報提供名目の詐欺

ギャンブル必勝情報提供名目の詐欺の認知件数は 261 件と、前年に比べ 89 件増加し、被害総額も約 11 億 7,950 万円と、前年に比べ約 6 億 2,272 万円増加している。

検挙件数は 14 件と、前年に比べ 49 件減少し、検挙人員も 17 人と、前年に比べ 1 人減少している(図表 2-5-(2)-5)。

図表 2-5-(2)-5 ギャンブル必勝情報提供名目の詐欺の認知・検挙状況

区分 \ 年次	平22	平23	平24	増 減
認知件数	115	172	261	89
被害総額	342,238,829	556,780,047	1,179,496,565	622,716,518
1件当たりの被害額	2,975,990	3,237,093	4,519,144	1,282,051
検挙件数	—	63	14	-49
検挙人員	—	18	17	-1

注 1：本表は、実務統計による集計数値である。

注 2：認知件数・被害総額については、平成 22 年 2 月から集計を開始した。

注 3：検挙件数・人員については、平成 23 年 1 月から集計を開始した。

図表 2-5-(2)-6 ギャンブル必勝情報提供名目の詐欺の被害者性別・年齢別構成（平成 24 年）

	合計	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
男 (%)	60	7	6	12	15	13	7
女 (%)	40	3	5	9	11	8	4

注：本表は、各欄それぞれ四捨五入したものを記載しているので、数値の合計が一致しない。

ウ 異性との交際あっせん名目の詐欺

異性との交際あっせん名目の詐欺の認知件数は 43 件と、前年に比べ 18 件増加し、被害総額も 1 億 8,204 万円と、前年に比べ約 3,778 万円増加している。

検挙件数は 9 件と、前年に比べ 8 件増加したが、検挙人員は 1 人と、前年に比べ 1 人減少している(図表 2-5-(2)-7)。

図表 2-5-(2)-7 異性との交際あっせん名目の詐欺の認知・検挙状況

区分 \ 年次	平22	平23	平24	増 減
認知件数	17	25	43	18
被害総額	108,210,000	144,265,000	182,040,150	37,775,150
1件当たりの被害額	6,365,294	5,770,600	4,233,492	-1,537,108
検挙件数	—	1	9	8
検挙人員	—	2	1	-1

注 1：本表は、実務統計による集計数値である。

注 2：認知件数・被害総額については、平成 22 年 2 月から集計を開始した。

注 3：検挙件数・人員については、平成 23 年 1 月から集計を開始した。

図表 2-5-(2)-8 異性との交際あっせん名目の詐欺の被害者性別・年齢別構成（平成 24 年）

	合計	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
男（％）	74	9	7	19	21	12	7
女（％）	26	9	2	5	9	0	0

注：本表は、各欄それぞれ四捨五入したものを記載しているため、数値の合計が一致しない。

(3) 特殊詐欺を助長する犯罪

特殊詐欺を撲滅させるためには、特殊詐欺の本犯を検挙するだけでなく、匿名性の高い犯行ツールである架空・他人名義の預貯金口座や携帯電話の不正な供給・流通を遮断する必要がある。

警察では、平成 20 年 3 月 1 日に施行された「犯罪による収益の移転防止に関する法律」（いわゆる犯罪収益移転防止法）及び「携帯音声通信事業者による契約者等の本人確認等及び携帯音声通信役務の不正な利用の防止に関する法律」（いわゆる携帯電話不正利用防止法）等を積極的に活用するなどして、特殊詐欺を助長する犯罪の取締りを推進している。

ア 預貯金口座の不正な取得・流通

金融機関から通帳・キャッシュカードをだまし取る詐欺及びだまし取られた通帳等であることを知りながら譲り受ける盗品譲受け等の検挙件数は 2,070 件と、前年に比べ 68 件減少したが、検挙人員は 1,118 人と、前年に比べ 33 人増加している（図表 2-5-(3)-1）。

また、犯罪収益移転防止法違反等の検挙件数は 1,581 件と、前年に比べ 293 件増加し、検挙人員も 1,167 人と、前年に比べ 186 人増加している（図表 2-5-(3)-2）。

図表 2-5-(3)-1 口座詐欺等の検挙状況

年次 区分		平21	平22	平23	平24	増 減
口座詐欺	検挙件数	3,778	2,288	2,097	2,049	-48
	検挙人員	1,439	925	1,053	1,102	49
盗品譲受け等	検挙件数	83	40	41	21	-20
	検挙人員	50	36	32	16	-16
合計	検挙件数	3,861	2,328	2,138	2,070	-68
	検挙人員	1,489	961	1,085	1,118	33

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表 2-5-(3)-2 犯罪収益移転防止法違反等の検挙状況

年次 区分		平21	平22	平23	平24	増 減
犯罪収益移転防止法 本人確認法	検挙件数	910	748	1,288	1,581	293
	検挙人員	648	550	981	1,167	186

注 1：本表は、実務統計による集計数値である。

注 2：本表は、特殊詐欺に係る犯罪収益移転防止法違反等の検挙を抽出した数値である。

【事例１】実体のない法人名義での通帳詐欺事件（奈良）

無職の男(47)は、平成 22 年 4 月ころ、金融機関において、実体のない法人であり、かつ開設する同社名義の口座を第三者に譲渡するつもりであるにもかかわらず、同社が使用するように装って、同社名義の預金口座開設及びこれに伴う預金通帳等の交付を申し込み、預金通帳等をだまし取った（2 月 28 日検挙）。

【事例２】犯罪収益移転防止法（有償譲渡）違反事件(愛知)

派遣社員の男(33)は、平成 24 年 6 月ころ、現金 30 万円の融資を受ける約束で、自らの実父名義の預金口座のキャッシュカード 1 枚を送付し、譲り渡した（7 月 12 日検挙）

イ 携帯電話の不正な取得・流通

携帯電話販売店から携帯電話端末をだまし取る詐欺の検挙件数は 411 件と、前年に比べ 19 件増加したが、検挙人員は 225 人と、前年と比べ 52 人減少している(図表 2－5－(3)－3)。

また、携帯電話不正利用防止法違反の検挙件数は 41 件と、前年に比べ 8 件増加し、検挙人員も 30 人と、前年と比べ 2 人増加している。

図表 2－5－(3)－3 携帯電話端末詐欺、携帯電話不正利用防止法違反の検挙状況

区分 \ 年次		平21	平22	平23	平24	増 減
携帯電話端末詐欺	検挙件数	939	554	392	411	19
	検挙人員	370	277	277	225	-52
携帯電話不正利用防止法	検挙件数	64	44	33	41	8
	検挙人員	50	37	28	30	2

注：本表は、実務統計による集計数値である。

【事例】法人名義の携帯電話端末詐欺事件（警視庁）

無職の男(29)らは、平成 23 年 8 月ころ及び同年 9 月ころ、携帯電話販売店において、店員に対して実在する会社の名刺を示すなどして同社の従業員を装い、プリペイド式携帯電話端末合計 12 台の購入を申し込み、だまし取った（5 月 21 日検挙）。

6 構造的な不正事案等

(1) 政治・行政をめぐる不正事案

政治・行政をめぐる不正事案(公職選挙法違反事件を除く。)の検挙事件数は45件で、前年に比べ11件減少している(図表2-6-(1)-1)。

図表2-6-(1)-1 政治・行政をめぐる不正事案の検挙事件数

区分	年次	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
												件数	率(%)
贈収賄		55	72	65	74	47	50	38	41	36	31	-5	-13.9
公契約関係競売入札妨害・談合		12	11	17	42	26	27	14	12	15	13	-2	-13.3
あっせん利得処罰法違反		0	0	1	2	0	0	0	0	1	1	0	-
政治資金規正法違反		1	0	1	1	0	0	0	2	4	0	-4	-100.0
合 計		68	83	84	119	73	77	52	55	56	45	-11	-19.6

注1：本表は、実務統計による集計数値である。統計中に、公職選挙法違反事件は含まない。

注2：公契約関係競売入札妨害には、偽計入札妨害を含む。

ア 贈収賄事件

贈収賄事件の検挙事件数は31件、検挙人員は64人で、元泉大津市立中学校校長らによる教育旅行の発注をめぐる贈収賄事件、元石巻市臨時職員らによる東日本大地震に伴う倒壊家屋等解体処理業務をめぐる贈収賄事件、N T T東日本本社社員らによるマーケティング業務発注をめぐる贈収賄事件、東京都住宅供給公社住宅営繕部長らによる工事発注をめぐる贈収賄事件、元農林水産省職員らによるプロジェクト事業者選定をめぐる贈収賄事件等社会的反響の大きい事件を検挙している。

【事例1】元泉大津市立中学校校長らによる教育旅行の発注等をめぐる贈収賄事件（大阪）

元泉大津市立中学校校長（61）は、平成22年8月ころ、旅行会社社員から、修学旅行等の学校行事に関する旅行業者として同社を選定したことに対する謝礼等の趣旨の下に供与されるものであることを知りながら、自らの海外旅行費用の一部として約310万円相当の利益の供与を受けた（1月16日検挙）。

【事例2】元石巻市臨時職員らによる東日本大震災に伴う倒壊家屋等解体処理業務をめぐる贈収賄事件（宮城）

元石巻市災害廃棄物対策課臨時事務補助員（47）は、平成23年9月ころ、土木建築会社役員から、東日本大震災により被災した家屋等の所有者の申請を受けて、同所有者が選定する業者に対し、同市の経費負担により解体工事等を発注させる事業に関し、申請者の氏名等について内報したこと等に対する謝礼の趣旨の下に供与されるものであることを知りながら、現金20万円を収受した（1月19日検挙）。

【事例３】 ＮＴＴ東日本本社社員らによるマーケティング業務発注をめぐる贈収賄事件（警視庁）

ＮＴＴ東日本本社社員（36）は、平成 24 年 1 月ころ、企業の営業・販売促進活動の請負等を目的とする会社の役員から、マーケティング調査業務委託先に選定するなどの取り計らいを受けたいとの趣旨の下に供与されるものであることを知りながら、現金合計 135 万円を収受した（3 月 2 日検挙）。

【事例４】 東京都住宅供給公社住宅営繕部長らによる工事発注をめぐる贈収賄事件（警視庁）

東京都住宅供給公社住宅営繕部長（58）は、平成 23 年 8 月ころ、土木・建設工事の設計・施工・監理等を目的とする会社の役員から、同社の関連会社に対する競争入札の指名停止処分を審議するに当たり、指名停止処分が軽減されるよう有利に取り計らってもらうことに対する趣旨の下に供与されるものであることを知りながら、現金 100 万円を収受した（3 月 2 日検挙）。

【事例５】 元農林水産省職員らによるプロジェクト事業者選定をめぐる贈収賄事件（神奈川）

元農林水産省総合食料局係長（45）は、平成 21 年 12 月下旬ころから平成 22 年 5 月下旬ころまでの間、数回にわたり、野菜販売等を業とする会社役員から、同省からの補助金の交付に関し、有利かつ便宜な取り計らいを受けたことの謝礼等の趣旨の下に供与されるものであることを知りながら、現金合計 210 万円を無利息、無担保、無期限で借り受けて金融の利益を得た（11 月 12 日、12 月 3 日検挙）。

イ あっせん利得処罰法違反事件

あっせん利得処罰法違反事件の検挙事件数は 1 件、検挙人員は 3 人で、下市町議らによる下市町交流センター工事の入札をめぐるあっせん利得処罰法違反事件を検挙している。

【事例】 下市町議らによる下市町交流センター新築工事の入札をめぐるあっせん利得処罰法違反事件（奈良）

下市町議（74）は、平成 22 年 11 月ころ、同町内の建設会社役員らから、下市町交流センター新築工事の入札参加者の資格に関する要望について、同町幹部らに働き掛けてもらいたい旨のあっせん方の請託を受けてこれを承諾し、同町副町長に対し、町議会議員としての権限に基づく影響力を行使して、同年 3 月ころ、その報酬として現金 500 万円の供与を受けた（1 月 25 日検挙）。

ウ 公契約関係競売入札妨害・談合事件

公契約関係競売入札妨害・談合の検挙事件数は 13 事件で、44 人を検挙している。

エ 公職選挙法違反事件

(7) 第46回衆議院議員総選挙違反取締り

第46回衆議院議員総選挙における期日後30日（平成25年1月15日）現在の検挙事件数、件数は51事件、78件、検挙人員は99人（うち逮捕者33人）で、前回の第45回衆議院議員総選挙における期日後30日（平成21年9月29日）現在に比べ、検挙事件数が60事件（54.1%）、件数が116件（59.8%）、検挙人員が309人（75.7%）、逮捕者が78人（70.3%）それぞれ減少している。（図2-6-(1)-2）。

【事例1】運動員による現金買収事件（大阪）

運動員（41）は、平成24年12月中旬ころ、選挙運動員3名に対し、投票を呼びかけるなどの選挙運動をしたことの報酬として、一人当たり現金約20万円を供与した（12月20日検挙）。

【事例2】運動員による日当買収（約束）事件（愛知）

運動員（43）は、平成24年11月中旬ころ、選挙運動員5名に対し、いわゆるうぐいす嬢として、選挙運動用車両に同乗し、立候補者の氏名を連呼するなどの選挙運動をすることの報酬として、後日政令で定める一日当たり15,000円の法定限度額を超える一日当たり30,000円で計算した金額を供与する旨を申し向け、同人らからそれぞれ承諾を得、選挙運動をすることの報酬として現金を供与する旨の約束をした（12月21日検挙）。

【事例3】運動員による現金買収（約束）事件（群馬）

運動員（72）は、平成24年12月上旬ころ、群馬県太田市内の選挙事務所において、選挙運動員1名に対し、選挙運動用ビラを頒布するなどの選挙運動をすることの報酬として、後日現金十数万円を供与する旨を約束した（12月27日検挙）。

図表2-6-(1)-2 公職選挙法違反事件の検挙件数・人員

	今回（第46回） H25.1.15現在				前回（第45回） H21.9.29				前回比			
	事件数	件数	人員	うち逮捕	事件数	件数	人員	うち逮捕	事件数	件数	人員	うち逮捕
買 収	10	35	47	11	37	97	282	56	-27	-62	-235	-45
自 由 妨 害	17	17	17	15	27	28	28	22	-10	-11	-11	-7
投 票 干 渉	5	5	7	2	3	3	3	0	+2	+2	+4	+2
詐 偽 投 票 等	7	7	8	3	12	28	35	9	-5	-21	-27	-6
投 票 偽 造	0	0	0	0	7	7	19	17	-7	-7	-19	-17
地 位 利 用	1	3	3	0	0	0	0	0	+1	+3	+3	±0
戸 別 訪 問	0	0	0	0	2	2	2	0	-2	-2	-2	±0
文 書 違 反	4	4	8	0	11	11	21	6	-7	-7	-13	-6
そ の 他	7	7	9	2	12	18	18	1	-5	-11	-9	+1
合 計	51	78	99	33	111	194	408	111	-60	-116	-309	-78

注：第46回衆議院議員総選挙期日後30日（平成25年1月15日）現在の統計である。

(1) 一般地方選挙違反取締り

一般地方選挙において、候補者等を検挙している。

【事例】森町長選における法定外文書頒布・公務員等の地位利用による選挙運動の禁止違反事件（北海道）

落選候補者（前森町長）（62）は、平成 24 年 10 月 14 日施行の森町長選挙に際し、告示後、業務用のパーソナルコンピュータからメール送信機能を利用して、指揮監督下にある役場職員が使用する業務用パーソナルコンピュータに「A 町長頑張って当選して下さい」等と記載した法定外の選挙運動用文書である電子メールを送信頒布し、当該電子メールを受信、表示させる方法で、自己のための投票及び投票取りまとめ等の選挙運動を依頼し、公務員の地位を利用して選挙運動をした（11 月 15 日検挙）。

オ 公務員犯罪

主な公務員犯罪としては、東京運輸支局検査官らによる国家公務員法違反（自動車登録情報漏洩）事件を検挙している。

【事例】東京運輸支局検査員らによる国家公務員法違反（自動車登録情報漏洩）事件（愛知）

東京運輸支局検査員（46）は、平成 24 年 5 月ころから同年 6 月ころまでの間、前後数回にわたり、知人に対し、情報処理システムの端末を操作して知ることのできた自動車数台の氏名及び住所等を教示した（9 月 11 日検挙）。

(2) 経済をめぐる不正事案

ア 企業犯罪

企業犯罪については、投資顧問会社役員らによる年金資金運用名下詐欺事件や元東証 1 部上場会社役員らによる金融商品取引法違反等事件等、社会的反響の大きい事件を検挙している。

【事例 1】投資顧問会社役員らによる年金資金運用名下詐欺事件（警視庁）

投資顧問会社の代表取締役(60)らは、真実は同社が実質的に運用するファンドの純資産額が過小になっていたにもかかわらず、そのことを秘し、あたかも同ファンドの運用実績は好調であり、一口当たりの純資産額は順調に増加しているように装い、複数の年金基金の担当者に対し、虚偽の運用実績等を記載した資料を示しつつ同ファンドの買い付けを勧誘するなどして、平成 21 年 4 月から平成 24 年 1 月にかけて、同ファンドの買い付け代金として現金合計約 248 億円をだまし取った。（6 月 19 日検挙）

【事例 2】元東証 1 部上場会社役員らによる金融商品取引法違反等事件（警視庁）

東証 1 部上場の光学機器メーカーの元代表取締役(70)らは、平成 19 年 6 月から平成 23 年 6 月にかけて、関東財務局長に対し、同社の各連結会計年度における連結純資産額について、損失を抱えた金融商品を簿外処理するとともに架空ののれん代を計上するなどの方法により、虚偽の記載のある有価証券報告書をそれぞれ提出した（2 月 16 日検挙）。

【事例３】元ジャスダック上場会社役員らによる金融商品取引法違反（偽計）事件（大阪）

ジャスダック上場の不動産販売会社の元代表取締役(49)らは、虚偽の内容を含む第三者割当増資の公表を行うことにより、同社の債務超過を解消して上場廃止を回避しようなどと考え、平成22年2月、同社の取締役会が不動産の現物出資による第三者割当増資を決議した旨公表するに際し、真実は、現物出資する山林が募集株式の払込金額20億円に相当する価値がないのに、同金額に相当する価値があるなどした虚偽の内容を含む公表を行い、もって有価証券の取引のため、偽計を用いた（11月29日検挙）。

イ 金融関連犯罪

金融・不良債権関連事犯の検挙事件数は76件で、前年同期に比べ17件減少している。

検挙事件数の内訳をみると、前年に比べ「融資過程における事件」は13件減少、「債権回収過程における事件」は1件増加、「その他金融機関の役職員による事件」は5件減少している（図表2-6-(2)）。

図表2-6-(2) 金融・不良債権関連事犯検挙事件数の推移

年次 区分	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
											件数	率(%)
融 資 過 程	29 (13)	20 (11)	20 (12)	32 (14)	19 (15)	18 (12)	50 (39)	41 (33)	53 (45)	40 (28)	-13 (-17)	-24.5 -37.8
債権回収過程	75 (63)	52 (43)	47 (38)	27 (21)	13 (10)	10 (5)	6 (6)	4 (2)	10 (9)	11 (11)	1 (2)	10.0 22.2
そ の 他 金 融 機 関 役 職 員	63 (0)	72 (1)	49 (1)	68 (1)	47 (0)	44 (0)	50 (0)	39 (0)	30 (0)	25 (0)	-5 (0)	-16.7 0.0
合 計	167 (76)	144 (55)	116 (51)	127 (36)	79 (25)	72 (17)	106 (45)	84 (35)	93 (54)	76 (39)	-17 (-15)	-18.3 -27.8

注：本表は、実務統計による集計数値である。（ ）内は、「暴力団等に係る金融・不良債権関連事犯」を示す。

(7) 融資過程における金融・不良債権関連事犯

金融・不良債権関連事犯のうち、融資過程における詐欺事件等を40件検挙している。

【事例１】元建築会社役員による工事立替資金融資金名目詐欺事件（警視庁）

建築会社の元代表取締役(54)らは、平成20年9月ころ、同社が工事を受注しておらず、融資金の担保となる売掛債権を有していないにもかかわらず、これがあるように装い、金融機関に対し、偽造した工事注文書等を提出するなどして融資を申し込み、金融機関から融資金名下に現金合計2億1,000万円をだまし取った（2月8日検挙）。

【事例２】自動車部品販売会社代表取締役らによる融資名目詐欺等事件（宮崎）

自動車部品販売会社の代表取締役(72)らは、真実は同社が債務超過の状態にあり、融資金を約定どおり返済する意思も能力もないのに、金融機関等に対し、虚偽の財務内容を記載した確定申告書等を提出して融資を申し込み、融資金を確実に回収できると信用させ、平成20年2月から平成23年4月にかけて、融資金名下に現金合計約20億円をだまし取った（8月30日検挙）。

(イ) 債権回収過程における金融・不良債権関連事犯

金融・不良債権関連事犯のうち、金融機関の債権回収過程における競売入札妨害事件等を 11 件検挙している。

(ロ) その他金融機関役職員による金融・不良債権関連事犯

金融・不良債権関連事犯のうち、金融機関役職員による詐欺、業務上横領等((7)及び(4)で挙げた事例を除く。)を 25 件検挙している。

【事例】元信用金庫支店長らによる背任等事件（岡山）

信用金庫の支店長(52)らは、建設会社の役員らと共に共謀の上、自己及び建設会社の利益を図り、信用金庫に損害を加える目的で、同社には貸付金の返済能力がなく回収の見込みがないのに、平成 19 年 7 月ころから平成 22 年 3 月ころまでの間、同社に対して何ら担保を徴求することなく合計約 1 億 3,200 万円を貸し付け、同信用金庫に財産上の損害を加えるなどした（6 月 21 日検挙）。

ウ 財政侵害犯罪等

財政侵害犯罪等については、会社役員による補助金適正化法違反事件や中小企業緊急雇用安定助成金名下詐欺事件等、社会的反響の大きい事件を検挙している。

【事例 1】会社役員による補助金適正化法違反事件（広島）

木質バイオマス利活用プラント事業を行う会社の代表取締役(52)らは、平成 21 年 5 月ころ、国の補助金を財源として庄原市から交付される補助金について、同市担当者に対して内容虚偽の報告書を提出するなどし、同市から同社名義の預金口座に約 3 億 1,000 万円を振込入金させ、偽りその他不正の手段により間接補助金等の交付を受けた（3 月 6 日検挙）。

【事例 2】中小企業緊急雇用安定助成金名下詐欺事件（大阪）

被疑者(66)らは、事業実態のない複数の会社を使って中小企業緊急雇用安定助成金をだまし取ろうと企て、平成 22 年 1 月ころから平成 23 年 9 月ころまでの間、大阪労働局等において、真実は従業員を雇用した実態がないのにこれあるように装い、同所職員に対し、内容虚偽の文書を提出するなどして同助成金を申請し、現金合計約 1 億円をだまし取った（9 月 14 日検挙）。

(3) 通貨偽造犯罪

通貨偽造罪等の検挙事件数は 45 件である。また、届出等により警察が押収した偽造日本銀行券の枚数(発見枚数)は、1,950 枚である(図表 2-6-(3))。

図表 2-6-(3) 偽造日本銀行券の発見枚数の推移

区分 \ 年次	平 19	平 20	平 21	平 22	平 23	平 24	増減 (同期比)
一 万 円 券	3,562	1,975	1,966	2,427	1,157	1,457	300
五 千 円 券	121	105	278	474	85	109	24
二 千 円 券	13	6	9	327	3	4	1
千 円 券	12,083	454	1,180	381	291	380	89
合 計	15,779	2,540	3,433	3,609	1,536	1,950	414
5 百 円 貨 幣	459	476	515	2,690	3,625	1,872	-1,753

注 1：本表は、実務統計による集計数値である。

注 2：数値は、警察が届出等により押収したとして、警察庁に報告のあった枚数。

【事例 1】無職の男による通貨（E 千円券）偽造・同行使事件（埼玉）

無職の男（28）は、平成 24 年 4 月ころ、同人の居宅において、プリンタ等を使用して金額千円の日本銀行券 45 枚を偽造し、コンビニエンスストアで、店員に対し、商品購入代金の支払いとして、偽造に係る金額千円の日本銀行券合計 2 枚を手渡し、行使した（4 月 17 日検挙）。

【事例 2】無職男性による通貨（E 一万円券）偽造・同行使事件（大阪）

無職の男（39）は、平成 24 年 5 月ころ、同人の居宅において、プリンタ等を使用して金額一万円の日本銀行券合計 20 枚を偽造し、前後 20 回にわたり、大阪府のタクシー等で運転手等に対し、乗車料金の支払等として、偽造に係る金額一万円の日本銀行券を手渡し、行使した（9 月 11 日検挙）。

7 風俗犯の認知・検挙状況

(1) 強制わいせつの認知・検挙状況

強制わいせつの認知・検挙状況については、前記図表 2-1-(4)-2 のとおりである。

(2) 公然わいせつの認知・検挙状況

公然わいせつの認知件数は、前年に比べ 339 件（12.9%）増加している。

検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、検挙件数は 138 件（7.2%）、検挙人員は 45 人（2.6%）それぞれ増加している（図表 2-7-(2)）。

図表 2-7-(2) 公然わいせつの認知・検挙状況の推移

区分 \ 年次	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
											件(人)数	率(%)
認知件数(件)	2,422	2,391	2,420	2,602	2,286	2,361	2,357	2,651	2,636	2,975	339	12.9
うちショーによるもの	52	11	10	14	8	15	5	4	4	5	1	25.0
検挙件数(件)	1,706	1,669	1,741	1,999	1,718	1,782	1,810	1,953	1,926	2,064	138	7.2
うちショーによるもの	14	8	7	14	7	12	4	4	3	5	2	66.7
検挙人員(人)	1,456	1,451	1,502	1,715	1,618	1,613	1,626	1,727	1,700	1,745	45	2.6
うちショーによるもの	29	21	14	56	78	58	26	21	31	50	19	61.3

(3) わいせつ物頒布等の認知・検挙状況

わいせつ物頒布等の認知件数は、前年に比べ 134 件（11.3%）増加している。

検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、検挙件数は 112 件（9.7%）、検挙人員は 71 人（6.7%）それぞれ増加している（図表 2-7-(3)）。

図表 2-7-(3) わいせつ物頒布等の認知・検挙状況の推移

区分 \ 年次	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
											件(人)数	率(%)
認知件数(件)	375	522	693	795	810	816	797	837	1,186	1,320	134	11.3
検挙件数(件)	364	502	671	770	787	787	768	783	1,158	1,270	112	9.7
検挙人員(人)	432	590	814	913	892	857	820	805	1,061	1,132	71	6.7

(4) 賭博の認知・検挙状況

賭博の認知件数は、前年に比べ、153 件（71.8%）増加している。

検挙件数及び検挙人員は、前年同期に比べ、検挙件数は 147 件（70.7%）増加し、検挙人員は 27 人（3.0%）減少している（図表 2－7－(4)）。

図表 2－7－(4) 賭博の認知・検挙状況の推移

区分 \ 年次	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
											件(人)数	率(%)
認知件数(件)	208	249	221	209	424	271	340	378	213	366	153	71.8
うち遊技機使用賭博	82	133	117	91	121	126	94	125	77	83	6	7.8
検挙件数(件)	202	243	213	204	415	252	337	369	208	355	147	70.7
うち遊技機使用賭博	81	127	111	90	117	120	93	118	71	82	11	15.5
検挙人員(人)	1,725	1,422	1,771	1,379	1,529	1,359	1,376	1,312	903	876	-27	-3.0
うち遊技機使用賭博	638	709	816	564	699	711	742	777	453	453	0	0.0

8 特殊事件・事故

(1) 人質立てこもり事件

人質立てこもり事件の認知件数、検挙件数は2件、検挙人員は2人であった（図表2-8-(1)）。

図表2-8-(1) 人質立てこもり事件の認知・検挙状況の推移

区分 \ 年次	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減
											件(人)数
認知事件数(件)	14	17	7	3	6	4	2	4	10	2	-8
検挙事件数(件)	14	17	7	3	6	4	2	4	10	2	-8
検挙人員(人)	14	17	7	3	6	4	2	4	10	2	-8

注：本表は、実務統計による集計数値である。

【事例1】品川区における刃物使用人質立てこもり事件（警視庁）

無職の男（52）は、3月12日、品川区東五反田のファミリーレストランで飲食後、同店のアルバイト店員に刃物を突きつけて人質にとり、店内のトイレ内に立てこもった（3月12日検挙）。

【事例2】豊川市における刃物使用人質立てこもり事件（愛知）

無職の男（32）は、11月22日、豊川市内の金融機関支店において、同店職員に所携の刃物を突き付けて5名を人質にとり、同店内に立てこもった（11月23日検挙）。

(2) 業務上過失致死傷事件・事故

【事例1】海底トンネル掘削工事における事故（岡山）

2月7日、工場間をパイプラインでつなぐ海底トンネル掘削工事において、トンネル内に海水が浸出する事故が発生し、同所で作業をしていた作業員5名が死亡した（捜査中）。

【事例2】トンネル掘削現場における爆発事故（新潟）

5月24日、トンネル掘削現場において爆発事故が発生し、電気機器の点検等のためトンネル内に立ち入っていた作業員4名が死亡、トンネル出口付近にいた作業員3名が負傷した（捜査中）。

【事例3】金沢市のホテルにおけるエレベーター事故（石川）

10月31日、金沢市のホテルにおいて、清掃員の女性が、業務用エレベーターに乗り込もうとしたところ、扉が開いたまま上昇したため、同エレベーターの床面と乗降口の間に挟まれて死亡した（捜査中）。

【事例4】高速道路トンネル内における崩落事故（山梨）

12月2日、高速道路トンネル内において崩落事故が発生し、走行中の車両が崩落した天井の下敷きになり車両火災が発生するなどし、9名が死亡、2名が負傷した（捜査中）

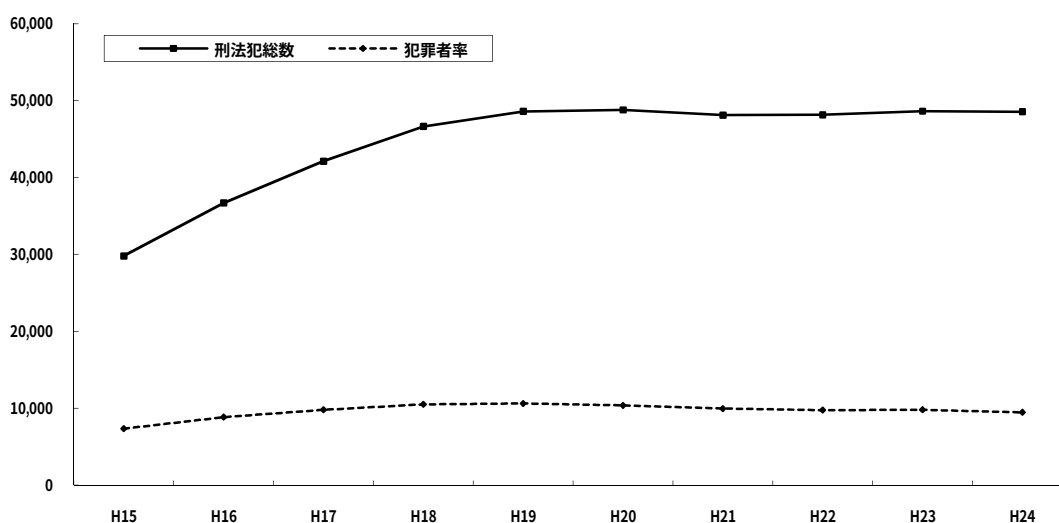
9 その他の特徴的な犯罪

(1) 高齢者による犯罪

高齢者に係る刑法犯の検挙人員は、増加傾向にあったが、平成 24 年は、前年に比べ 77 人（0.2%）減少している。

占有離脱物横領の減少が顕著であるが、包括罪種別にみると、その他の刑法犯以外の凶悪犯、粗暴犯、窃盗犯、知能犯、風俗犯は全て増加している。特に粗暴犯、知能犯の増加が顕著で、暴行の検挙人員は、前年に比べ 443 人（17.2%）、傷害の検挙人員は、前年に比べ 228 人（18.2%）、詐欺の検挙人員は、前年に比べ 113 人（14.2%）それぞれ増加している（図表 2－9－(1)－1、2。）。

図表 2－9－(1)－1 高齢者の刑法犯検挙人員の推移



図表 2－9－(1)－2 高齢者の包括罪種別検挙人員の推移

年次 区分		平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
												人員 (人)	率 (%)
刑法犯総数		29,797	36,696	42,108	46,637	48,597	48,786	48,102	48,145	48,621	48,544	-77	-0.2
凶 悪 犯		316	321	308	338	317	367	328	373	357	359	2	0.6
	うち) 殺人	144	164	138	152	123	179	143	174	148	148	-	-
	うち) 強盗	83	84	95	101	110	103	116	107	107	116	9	8.4
粗 暴 犯		1,480	1,714	2,142	2,781	3,213	3,404	3,744	3,795	4,144	4,874	730	17.6
	うち) 暴行	488	598	881	1,472	1,822	2,021	2,262	2,337	2,574	3,017	443	17.2
	うち) 傷害	834	965	1,074	1,086	1,124	1,112	1,185	1,174	1,251	1,479	228	18.2
窃 盗 犯		20,218	24,204	27,333	29,953	31,573	33,276	33,055	34,355	35,429	35,659	230	0.6
	うち) 万引き	17,456	20,667	23,252	25,060	25,854	27,015	27,019	27,362	28,066	28,673	607	2.2
知 能 犯		742	826	921	1,089	1,056	1,088	1,127	1,036	988	1,114	126	12.8
	うち) 詐欺	581	640	705	878	855	912	925	846	798	911	113	14.2
風 俗 犯		247	258	313	321	337	358	306	368	384	409	25	6.5
その他の刑法犯		6,794	9,373	11,091	12,155	12,101	10,293	9,542	8,218	7,319	6,129	-1,190	-16.3
	うち) 占有離脱物横領	5,928	8,215	9,730	10,739	10,596	8,875	8,200	6,903	5,986	4,648	-1,338	-22.4
	うち) 器物損壊等	210	260	315	325	386	381	408	388	448	514	66	14.7
犯 罪 者 率		122.6	147.5	157.0	175.3	176.9	172.9	165.8	162.8	163.4	157.6		

注：犯罪者率とは、人口 10 万人当たりの検挙人員をいう。

(2) 薬物常用者による犯罪

薬物常用者（覚醒剤常用者、麻薬常用者、大麻常用者、その他の薬物常用者及び有機溶剤等乱用者をいう。以下同じ。）による刑法犯の検挙人員は、前年に比べ、11人（1.3%）増加している（図表2-9-(2)-1）。

凶悪犯及び粗暴犯で検挙された者のうち、薬物常用者によるものは、前年に比べ、凶悪犯で検挙された者は10人（15.6%）減少し、粗暴犯で検挙された者は12人（6.5%）増加している（図表2-9-(2)-2）。

図表2-9-(2)-1 薬物常用者による刑法犯検挙人員の推移

区分	年次	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
												人数	率 (%)
薬物常用者		1,011	971	1,103	934	770	808	858	805	831	842	11	1.3
覚醒剤等常用者		802	823	973	817	699	738	779	747	789	802	13	1.6
有機溶剤等乱用者		209	148	130	117	71	70	79	58	42	40	-2	-4.8

注1：覚醒剤等常用者とは、覚醒剤、麻薬、大麻又はあへん及び向精神薬を常用している者をいい、中毒症状にあるか否かを問わない。

注2：有機溶剤等乱用者とは、トルエン等の有機溶剤又はこれらを含有するシンナー、接着剤等を常習的に乱用している者をいい、中毒症状にあるか否かを問わない。

図表2-9-(2)-2 薬物常用者による刑法犯罪種別検挙人員の推移

罪種	年次	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
												人数	率 (%)
検挙人員		1011	971	1,103	934	770	808	858	805	831	842	11	1.3
凶悪犯		69	84	90	75	68	68	72	59	64	54	-10	-15.6
殺人		12	16	19	11	19	17	10	17	13	13	0	-
強盗		38	45	51	53	42	39	57	35	42	32	-10	-23.8
放火		10	5	8	4	2	6	4	2	1	2	1	100.0
強姦		9	18	12	7	5	6	1	5	8	7	-1	-12.5
粗暴犯		177	184	205	172	162	146	184	174	185	197	12	6.5
暴行		17	24	32	32	22	23	28	33	34	32	-2	-5.9
傷害		95	94	102	98	90	80	99	84	102	119	17	16.7
脅迫		9	8	6	4	9	5	14	15	16	13	-3	-18.8
恐喝		55	58	65	36	41	38	43	42	33	33	0	0.0
凶器準備集合		1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	-
窃盗犯		507	466	526	472	349	404	373	372	415	384	-31	-7.5
その他		258	237	282	215	191	190	229	200	167	207	40	24.0

(3) 銃砲刀剣類等を使用した犯罪

銃器使用事件（注１）の認知件数は、前年に比べ、27件（15.0%）減少している。このうち、拳銃使用事件にあっても、前年に比べ、9件（9.0%）減少している（図表２－９－(3)－１）。

刀剣類・刃物類を使用した事件の認知件数は、前年に比べ、41件（0.7%）増加している（図表２－９－(3)－２）。

また、殺人及び強盗事件で銃器、刀剣類・刃物類を使用した事件の割合は、殺人事件では銃器使用が1.7%、刀剣類・刃物類使用が54.1%、強盗事件では銃器使用が1.2%、刀剣類・刃物類使用が33.3%となっている（図表２－９－(3)－３）。

猟銃等（散弾銃、ライフル銃及び空気銃）を使用した事件は、前年に比べ5件減少し、発生はなかった（図表２－９－(3)－４）。

図表２－９－(3)－１ 銃器使用事件の認知件数の推移

区分	年次	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
												件数	率(%)
認知件数		405	517	412	366	324	275	253	205	180	153	-27	-15.0
うち拳銃使用		242	289	207	189	183	139	162	126	100	91	-9	-9.0
殺人		51	42	24	23	34	19	14	19	19	17	-2	-10.5
うち拳銃使用		45	36	21	21	27	19	12	16	17	15	-2	-11.8
強盗		126	134	111	111	94	75	100	60	44	44	0	-
うち拳銃使用		99	126	91	96	79	67	95	57	37	40	3	8.1
強姦		8	7	3	2	4	2	2	2	1	0	-1	-100.0
うち拳銃使用		7	6	3	2	3	1	2	2	1	0	-1	-100.0
暴行		39	44	42	36	17	21	8	10	6	20	14	233.3
うち拳銃使用		7	12	6	4	5	6	2	5	2	5	3	150.0
傷害		29	33	20	13	14	8	8	5	12	6	-6	-50.0
うち拳銃使用		10	7	4	3	2	1	4	0	4	1	-3	-75.0
脅迫		19	26	24	11	27	19	20	15	8	14	6	75.0
うち拳銃使用		11	19	18	9	19	13	14	11	6	13	7	116.7
恐喝		13	21	14	12	14	6	6	6	6	8	2	33.3
うち拳銃使用		7	15	9	10	11	6	5	4	6	7	1	16.7
強制わいせつ		4	3	4	4	1	4	6	3	2	2	0	-
うち拳銃使用		4	2	4	1	0	3	3	2	1	0	-1	-100.0
器物損壊		91	141	121	96	79	85	53	59	51	23	-28	-54.9
うち拳銃使用		34	35	23	20	15	13	15	16	15	5	-10	-66.7
その他		25	66	49	58	40	36	36	26	31	19	-12	-38.7
うち拳銃使用		18	31	28	23	22	10	10	13	11	5	-6	-54.5

注１：「銃器」とは、拳銃、拳銃様のもの、その他の銃砲、その他の銃砲様のものをいう。なお、銃器使用事件のうち、「拳銃使用」とは、拳銃及び拳銃様のものを使用した事件をいい、また、拳銃様のものとは、拳銃らしきものを突き付け、見せるなどして犯行に及ぶ事件において、被害者、参考人等の供述により銃器と推定されるものをいう

注２：平成16年の犯罪統計から全罪種を対象として犯罪供用物を計上しているが、ここでは、平成15年までの特定罪種に合わせて計上している

図表 2-9-(3)-2 刀剣類・刃物類を使用した事件の認知件数の推移

罪種	年次	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
												件数	率 (%)
認知件数		7,251	9,111	7,596	6,604	6,004	5,836	6,312	5,730	5,516	5,557	41	0.7
殺人		747	712	718	713	653	675	567	552	557	557	0	-
強盗		2,373	2,366	1,992	1,625	1,445	1,500	1,685	1,462	1,298	1,218	-80	-6.2
強姦		291	249	237	179	152	122	121	110	89	83	-6	-6.7
暴行		333	405	362	321	300	292	219	190	187	195	8	4.3
傷害		995	1,048	967	823	806	649	672	639	677	685	8	1.2
脅迫		474	534	613	607	582	622	615	559	610	773	163	26.7
恐喝		282	318	210	159	124	101	87	87	66	60	-6	-9.1
強制わいせつ		388	330	261	210	173	160	155	144	125	134	9	7.2
器物損壊		1,167	2,736	1,866	1,676	1,489	1,429	1,923	1,680	1,594	1,492	-102	-6.4
その他		201	413	370	291	280	286	268	307	313	360	47	15.0

注1：刀剣類・刃物類を使用した事件とは、「日本刀」、「その他の刀剣類」、「包丁類」及び「その他の刃物類」を使用したものをいう。

注2：平成16年の犯罪統計から全罪種を対象として犯罪供用物を計上しているが、ここでは平成15年までの特定罪種に含わせて計上している。

図表 2-9-(3)-3 殺人及び強盗における銃砲刀剣類等を使用した事件の認知件数

区分	年次	平23		平24		増減	
		件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	率 (%)
殺人		1,051	100.0	1,030	100.0	-21	-2.0
	銃器使用	19	1.8	17	1.7	-2	-10.5
	刀剣類・刃物類使用	557	53.0	557	54.1	0	-
	その他・不明	475	45.2	456	44.3	-19	-4.0
強盗		3,673	100.0	3,658	100.0	-15	-0.4
	銃器使用	44	1.2	44	1.2	0	-
	刀剣類・刃物類使用	1,298	35.3	1,218	33.3	-80	-6.2
	その他・不明	2,331	63.5	2,396	65.5	65	2.8

注：「その他・不明」には、犯罪供用物が銃器、刀剣類・刃物類以外のもの、不明のもの及び犯罪供用物なしが含まれる。

図表 2-9-(3)-4 猟銃等使用事件の発生状況

区分	年次	平成23年	平成24年	増減	
				件数	率 (%)
発生件数 (件数)		5	0	-5	-100.0%
	殺人 (未遂を含む。)	2	0	-2	-100.0%
	強盗 (未遂を含む。)	1	0	-1	-100.0%
	その他	2	0	-2	-100.0%

注1：事件の発生件数については、警察庁に報告のあったもの。

注2：数値は、刑法犯（暴力行為等処罰ニ関スル法律違反を含む。）のみを計上している。

(4) カードの窃盗被害の状況等とカード使用犯罪

ア カードの窃盗被害の状況

窃盗事件で被害品にキャッシュカードが含まれているものの認知件数は5万8,876件、同じくクレジットカードは3万8,829件であり、手口別にみると、キャッシュカードは車上ねらいが1万4,921件（25.3%）、置引きが1万4,249件（24.2%）、ひったくりが3,911件（6.6%）となっており、クレジットカードは車上ねらいが1万79件（26.0%）、置引きが8,400件（21.6%）、ひったくりが3,050件（7.9%）となっている（図表2-9-(4)-1）。

図表2-9-(4)-1 カードの窃盗被害の状況（平成24年）

犯罪類型	区分	キャッシュカード		クレジットカード		消費者金融カード		プリペイドカード	
		件数	窃盗総数に対する割合	件数	窃盗総数に対する割合	件数	窃盗総数に対する割合	件数	窃盗総数に対する割合
		58,876	100.0	38,829	100.0	409	100.0	4,122	100.0
	侵入窃盗	5,685	9.7	3,701	9.5	39	9.5	320	7.8
	住宅対象侵入窃盗	4,543	7.7	3,093	8.0	32	7.8	175	4.2
	その他	1,142	1.9	608	1.6	7	1.7	145	3.5
	非侵入窃盗	52,830	89.7	34,699	89.4	367	89.7	3,758	91.2
	ひったくり	3,911	6.6	3,050	7.9	19	4.6	85	2.1
	すり	2,810	4.8	2,273	5.9	7	1.7	84	2.0
	置引き	14,249	24.2	8,400	21.6	87	21.3	1,163	28.2
	車上ねらい	14,921	25.3	10,079	26.0	149	36.4	779	18.9
	仮睡者ねらい	2,867	4.9	2,166	5.6	24	5.9	54	1.3
	脱衣場ねらい	1,542	2.6	1,128	2.9	6	1.5	61	1.5
	その他	12,530	21.3	7,603	19.6	75	18.3	1,532	37.2
	乗り物盗	361	0.6	429	1.1	3	0.7	44	1.1

注1：「住宅対象侵入窃盗」は、空き巣、忍込み及び居空きとした。

注2：「乗り物盗」とは、自動車盗、オートバイ盗、自転車盗をいう。

注3：統計上、1件の被害に対し、3品まで被害品を計上できる。

イ カード偽造犯罪の認知・検挙状況

カード偽造犯罪（刑法に規定する支払用カード電磁的記録に関する罪）の認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、認知件数は220件（63.4%）、検挙件数は117件（40.9%）、検挙人員は21人（75.0%）それぞれ減少している（図表2-9-(4)-2）。

図表2-9-(4)-2 カード偽造犯罪の認知・検挙状況

区分	年次	平23	平24	増減	
				件(人)数	率(%)
総計	認知件数	347	127	-220	-63.4
	検挙件数	286	169	-117	-40.9
	検挙人員	28	7	-21	-75.0
支払用カード電磁的記録不正作出 (第163条の2第1項)	認知件数	10	4	-6	-60.0
	検挙件数	4	6	2	50.0
	検挙人員	2	3	1	50.0
不正作出支払用カード電磁的記録供用 (第163条の2第2項)	認知件数	319	114	-205	-64.3
	検挙件数	268	151	-117	-43.7
	検挙人員	20	3	-17	-85.0
不正電磁的記録カードの譲り渡し、貸 渡し、輸入(第163条の2第3項)	認知件数	0	0	0	-
	検挙件数	0	0	0	-
	検挙人員	0	0	0	-
不正電磁的記録カード所持 (第163条の3)	認知件数	10	4	-6	-60.0
	検挙件数	9	5	-4	-44.4
	検挙人員	5	1	-4	-80.0
支払用カード電磁的記録不正取得 (第163条の4第1項前段)	認知件数	0	1	1	-
	検挙件数	0	1	1	-
	検挙人員	1	0	-1	-100.0
支払用カード電磁的記録不正提供 (第163条の4第1項後段)	認知件数	1	0	-1	-100.0
	検挙件数	1	0	-1	-100.0
	検挙人員	0	0	0	-
支払用カード不正記録情報保管 (第163条の4第2項)	認知件数	4	2	-2	-50.0
	検挙件数	3	3	0	-
	検挙人員	0	0	0	-
支払用カード不正作出器械、原料準備 (第163条の4第3項)	認知件数	3	2	-1	-33.3
	検挙件数	1	3	2	200.0
	検挙人員	0	0	0	-

注：刑法に規定する支払用カード電磁的記録に関する罪の保護対象となるカードとは、クレジットカードその他の代金又は料金の支払用のカード及び預貯金の引出用のカードである。代金又は料金の支払用カードとは、クレジットカード（代金後払い）、プリペイドカード（前払い）、デビットカード（預貯金の即時振替払い）等、商品の購入等の取引の対価を現金で支払うのに代え、所定のシステムにより代金を支払うために用いるカードをいう。

ウ カードを使用した窃盗及び詐欺の状況

不正に取得し、又は不正に作成したキャッシュカード、クレジットカード、消費者金融カードを利用して、現金自動預払機（ＡＴＭ（ＣＤ含む。））から現金を窃取する犯罪（払出盗）の認知件数は１,８５３件で、現金被害総額は９億９,８６３万９,０００円となっている（図表２－９－(４)－３）。

また、キャッシュカードやクレジットカード等のカードを使用した詐欺事件の認知件数は１,１５５件で、被害金総額は１億５８３万５,０００円となっている（図表２－９－(４)－４）。

図表２－９－(４)－３ カードを使用した窃盗（払出盗）の状況（平成２４年）

区分 \ 種別	計	種別		
		キャッシュカード	クレジットカード	消費者金融カード
認知件数	1,853	1,658	144	51
現金被害総額（千円）	998,639	914,714	53,074	30,851

図表２－９－(４)－４ カードを使用した詐欺の状況（平成２４年）

区分 \ 種別	計	種別			
		キャッシュカード	クレジットカード	消費者金融カード	プリペイドカード
認知件数	1,155	10	1,118	5	22
被害金総額（千円）	105,835	1,726	102,731	1,190	188

(5) その他

ア 暴行・傷害の認知・検挙状況

暴行の認知件数は、平成 7 年以降増加し、平成 20 年から減少していたが、平成 24 年は、前年に比べ、2,565 件（8.8%）増加している。検挙件数、検挙人員は、前年に比べ、検挙件数は 1,651 件（7.6%）、検挙人員は 1,611 人（7.3%）それぞれ増加している。検挙率は 73.3%で、前年と比べ 0.8 ポイント低下している（図表 2-9-(5)-1）。

傷害の認知件数は、平成 8 年以降増加し、平成 16 年以降減少傾向にあったが、平成 24 年は、前年に比べ、2,130 件（8.2%）増加している。検挙件数、検挙人員は、前年に比べ、検挙件数は 1,963 件（10.4%）、検挙人員は 2,180 人（10.1%）それぞれ増加している。検挙率は 74.5%で、前年と比べ、1.5 ポイント上昇している（図表 2-9-(5)-2）。

また、傷害致死については、認知件数は近年減少傾向にあり、検挙率は平成 21 年を除き、90%台の高水準を維持している。平成 24 年は、前年に比べ、認知件数は 27 件（20.6%）、検挙件数は 17 件（14.3%）それぞれ減少し、検挙人員は 6 人（3.9%）増加している。検挙率は 98.1%で、前年に比べ 7.3 ポイント上昇している（図表 2-9-(5)-3）。

暴行の検挙件数における犯罪供用物の有無については、例年、犯罪供用物を用いたものの割合が約 4 %であり、平成 24 年も、総数中 4.1%が犯罪供用物を用いたものとなっている（図表 2-9-(5)-4）。

年齢別検挙人員をみると、平成 24 年は、暴行の 60 歳～64 歳が減少したのみで、暴行、傷害とも、その他の年齢は増加している（図表 2-9-(5)-5、6）。

図表 2-9-(5)-1 暴行の認知・検挙状況

年次	平 1 5	平 1 6	平 1 7	平 1 8	平 1 9	平 2 0	平 2 1	平 2 2	平 2 3	平 2 4	増 減	
											件 (人) 数	率
認知件数 (件)	21,937	23,691	25,815	31,002	31,966	31,641	29,638	29,593	29,237	31,802	2,565	8.8
検挙件数 (件)	9,539	10,666	13,703	19,405	21,463	21,925	21,238	21,667	21,666	23,317	1,651	7.6
検挙人員 (人)	10,124	11,002	13,970	19,802	21,808	22,379	21,376	22,076	21,999	23,610	1,611	7.3
検挙率 (%)	43.5	45.0	53.1	62.6	67.1	69.3	71.7	73.2	74.1	73.3	-0.8	ポイント

図表 2-9-(5)-2 傷害の認知・検挙状況

年次	平 1 5	平 1 6	平 1 7	平 1 8	平 1 9	平 2 0	平 2 1	平 2 2	平 2 3	平 2 4	増 減	
											件 (人) 数	率
認知件数 (件)	36,568	35,937	34,484	33,987	30,986	28,291	26,464	26,547	25,832	27,962	2,130	8.2
検挙件数 (件)	23,659	22,938	23,304	23,331	22,062	20,180	19,388	19,350	18,870	20,833	1,963	10.4
検挙人員 (人)	28,999	27,069	27,130	27,075	25,458	23,164	22,253	22,030	21,572	23,752	2,180	10.1
検挙率 (%)	64.7	63.8	67.6	68.6	71.2	71.3	73.3	72.9	73.0	74.5	1.5	ポイント

図表 2-9-(5)-3 傷害致死の認知・検挙状況

区分	年次										増 減	
	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	件(人)数	率
認知件数(件)	178	145	146	144	111	136	128	115	131	104	-27	-20.6
検挙件数(件)	173	136	139	141	105	129	114	110	119	102	-17	-14.3
検挙人員(人)	277	186	199	163	161	197	138	135	153	159	6	3.9
検挙率(%)	97.2	93.8	95.2	97.9	94.6	94.9	89.1	95.7	90.8	98.1	7.3	1.1

図表 2-9-(5)-4 暴行の検挙件数における犯罪供用物の有無

区分	年次										増 減	
	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	件(人)数	率
総 数	9,341	10,525	13,519	19,175	21,203	21,660	21,006	21,529	21,541	23,167	1,626	7.5
犯罪供用物なし	8,794	9,812	12,901	18,476	20,515	21,004	20,168	20,721	20,670	22,221	1,551	7.5
割合	94.1	93.2	95.4	96.4	96.8	97.0	96.0	96.2	96.0	95.9	-0.1	-
犯罪供用物あり	547	713	618	699	688	656	838	808	871	946	75	8.6

注：解決事件を除く。

図表 2-9-(5)-5 暴行の年齢別検挙人員

区分	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
年次								
平15	10,124	1,726	2,035	2,178	1,452	1,735	510	488
平16	11,002	1,627	2,049	2,470	1,771	1,918	569	598
平17	13,970	1,545	2,648	3,336	2,273	2,487	800	881
平18	19,802	1,513	3,727	4,843	3,455	3,620	1,172	1,472
平19	21,808	1,593	4,018	5,281	3,881	3,885	1,328	1,822
平20	22,379	1,548	3,880	5,289	4,212	3,822	1,607	2,021
平21	21,376	1,333	3,688	4,846	4,244	3,318	1,685	2,262
平22	22,076	1,288	3,693	5,084	4,516	3,313	1,845	2,337
平23	21,999	1,213	3,487	4,897	4,595	3,208	2,025	2,574
平24	23,610	1,496	3,546	5,115	5,140	3,324	1,972	3,017
増減数	1,611	283	59	218	545	116	-53	443
増減率	7.3	23.3	1.7	4.5	11.9	3.6	-2.6	17.2

注：犯行時の年齢を計上している。

図表 2-9-(5)-6 傷害の年齢別検挙人員

区分	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
年次								
平15	28,999	8,208	6,926	5,595	3,269	3,288	879	834
平16	27,069	6,482	6,257	5,704	3,284	3,407	970	965
平17	27,130	6,161	6,058	5,855	3,587	3,399	996	1,074
平18	27,075	5,972	5,821	6,085	3,729	3,385	997	1,086
平19	25,458	5,639	5,196	5,926	3,572	2,994	1,007	1,124
平20	23,164	5,247	4,638	5,208	3,455	2,567	937	1,112
平21	22,253	4,844	4,497	4,904	3,479	2,324	1,020	1,185
平22	22,030	4,939	4,102	4,860	3,594	2,257	1,104	1,174
平23	21,572	4,753	4,056	4,562	3,700	2,075	1,175	1,251
平24	23,752	4,983	4,332	5,168	4,277	2,270	1,243	1,479
増減数	2,180	230	276	606	577	195	68	228
増減率	10.1	4.8	6.8	13.3	15.6	9.4	5.8	18.2

注：犯行時の年齢を計上している

イ 公務執行妨害の認知・検挙状況

公務執行妨害の認知件数は、近年減少傾向にあったが、平成 23 年に増加に転じ、平成 24 年も、前年に比べ、88 件（2.9%）増加している。検挙件数、検挙人員は、前年に比べ、検挙件数は 69 件（2.4%）、検挙人員は 25 人（1.0%）それぞれ増加している。

また、検挙率は 94.1%で、前年に比べ 0.4 ポイント減少している（図表 2－9－(5)－7）。

図表 2－9－(5)－7 公務執行妨害の認知・検挙状況

区分 \ 年次	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増 減	
											件 (人) 数	率 (%)
認知件数 (件)	3,007	3,129	3,327	3,576	3,569	3,239	3,071	2,969	3,029	3,117	88	2.9
検挙件数 (件)	2,909	2,957	3,188	3,402	3,459	3,071	2,952	2,881	2,863	2,932	69	2.4
検挙人員 (人)	2,508	2,705	2,868	3,118	3,181	2,945	2,698	2,547	2,476	2,501	25	1.0
検挙率 (率)	96.7	94.5	95.8	95.1	96.9	94.8	96.1	97.0	94.5	94.1	-0.4	ポイント

ウ 器物損壊等の認知・検挙状況

器物損壊の認知件数は、近年減少しており、平成 24 年は、前年に比べ、3,408 件（2.3%）減少している。検挙件数、検挙人員は、前年に比べ、検挙件数は 256 件（2.3%）、検挙人員は 136 人（2.3%）それぞれ増加している。

また、検挙率は 7.8%で、前年に比べ 0.4 ポイント上昇している（図表 2－9－(5)－8）。

図表 2－9－(5)－8 器物損壊等の認知・検挙状況

区分 \ 年次	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増 減	
											件 (人) 数	率 (%)
認知件数 (件)	230,743	226,059	205,312	194,824	185,472	178,191	169,292	156,717	147,537	144,129	-3,408	-2.3
検挙件数 (件)	11,100	12,332	12,884	13,816	13,617	13,129	12,062	11,554	10,948	11,204	256	2.3
検挙人員 (人)	5,331	5,522	6,362	6,551	6,575	6,480	6,160	5,864	5,839	5,975	136	2.3
検挙率 (率)	4.8	5.5	6.3	7.1	7.3	7.4	7.1	7.4	7.4	7.8	0.4	ポイント

10 少年による犯罪

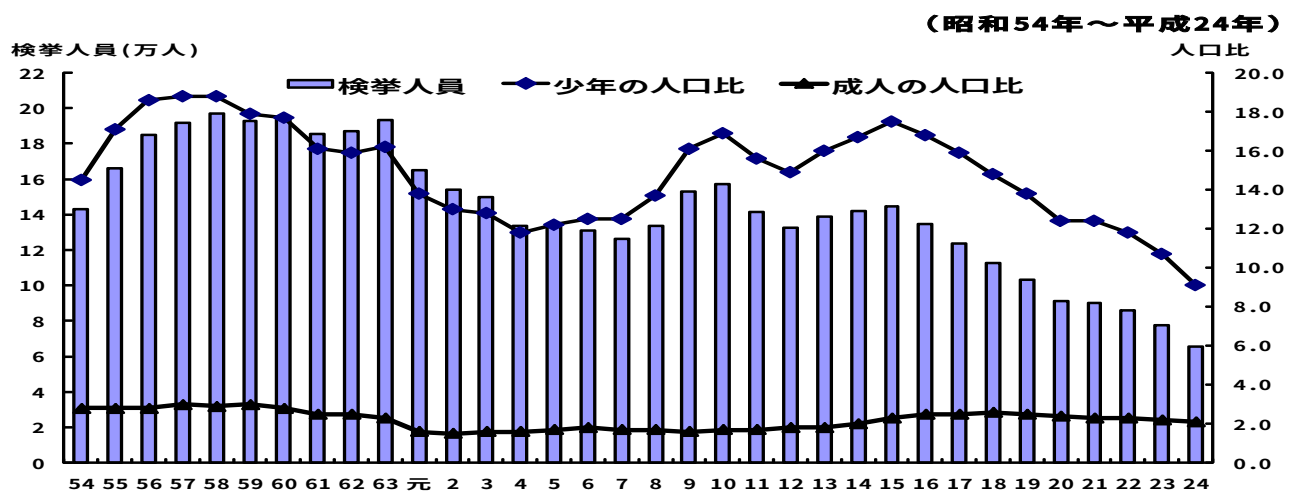
(1) 少年による刑法犯の検挙状況

過去 10 年間の少年による刑法犯の検挙人員、人口比は図表 2-10-(1)のとおりである。

平成 24 年中における少年の刑法犯検挙人員は 6 万 5,448 人（前年比 15.8%減）であり、また、人口比は 9.1 と成人（2.1）の 4.3 倍と高水準で推移している。

罪種別に過去 10 年間の推移を見ると、凶悪犯について減少基調に下げ止まりの傾向が見られ、前年に引き続き 2 年連続で増加した。また、平成 24 年中の性犯罪（強姦及び強制わいせつ）検挙人員は、455 人（前年比 31.5%増）と大幅に増加して平成 16 年以降で最多となった。

図表 2-10-(1) 少年による刑法犯検挙人員の推移



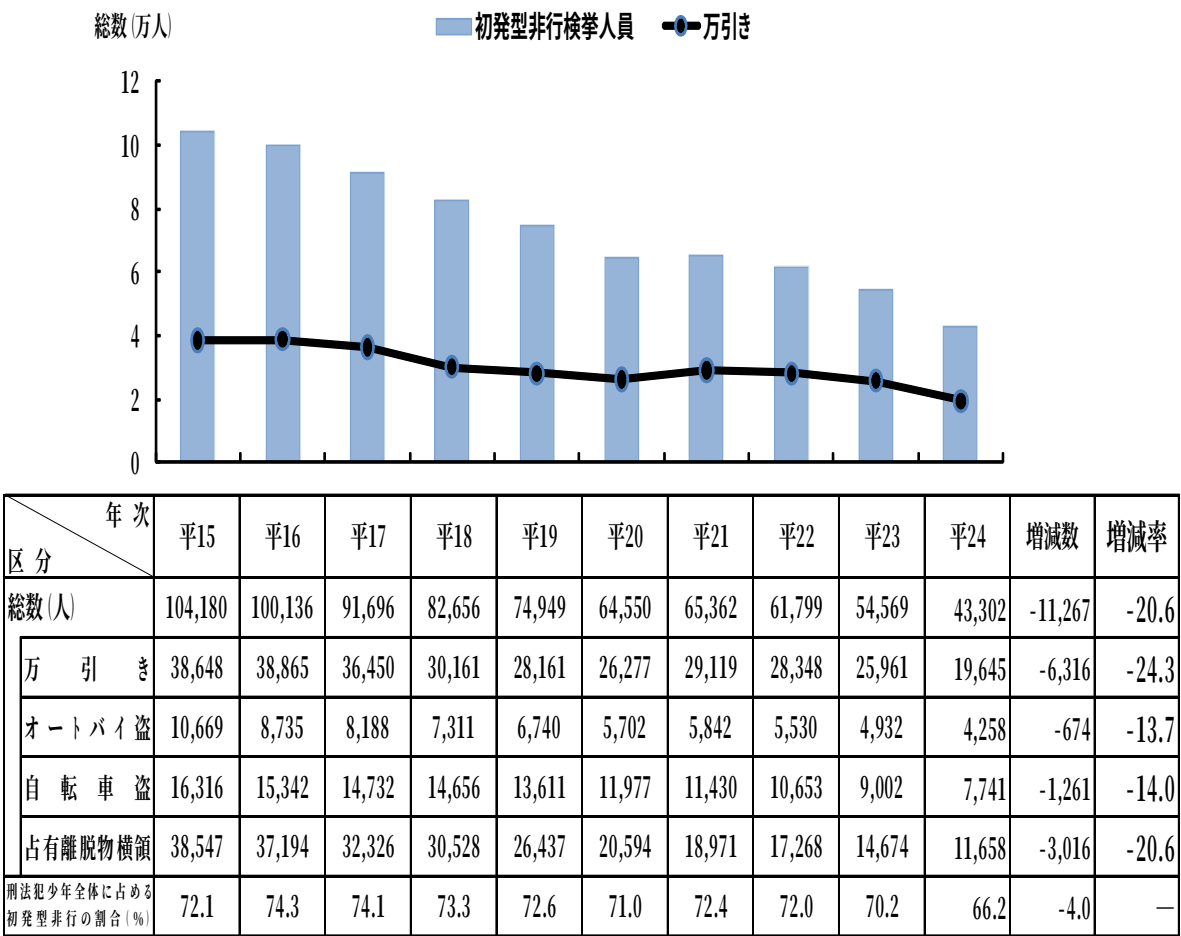
区 分	年 次	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減数	増減率
総数(人)		144,404	134,847	123,715	112,817	103,224	90,966	90,282	85,846	77,696	65,448	-12,248	-15.8
凶悪犯		2,212	1,584	1,441	1,170	1,042	956	949	783	785	836	51	6.5
殺人		93	57	67	69	62	50	50	43	56	46	-10	-17.9
強盗		1,771	1,273	1,146	892	757	713	696	565	593	592	-1	-0.2
放火		106	103	86	103	102	66	83	65	67	76	9	13.4
強姦		242	151	142	106	121	127	120	110	69	122	53	76.8
粗暴犯		14,356	11,439	10,458	9,817	9,248	8,645	7,653	7,729	7,276	7,695	419	5.8
凶器準備集合		340	239	68	127	136	74	70	42	17	17	0	0.0
暴行		1,714	1,608	1,532	1,505	1,584	1,547	1,322	1,279	1,209	1,490	281	23.2
傷害		8,110	6,408	6,103	5,919	5,583	5,212	4,795	4,895	4,718	4,945	227	4.8
脅迫		127	111	139	149	117	151	111	141	123	138	15	12.2
恐喝		4,065	3,073	2,616	2,117	1,828	1,661	1,355	1,372	1,209	1,105	-104	-8.6
窃盗犯		81,512	76,637	71,147	62,637	58,150	52,557	54,784	52,435	47,776	38,370	-9,406	-19.7
ひったくり		1,957	1,352	1,025	834	796	640	712	568	571	349	-222	-38.9
万引き		38,648	38,865	36,450	30,161	28,161	26,277	29,119	28,348	25,961	19,645	-6,316	-24.3
知能犯		784	1,240	1,160	1,294	1,142	1,135	1,144	978	971	962	-9	-0.9
詐欺		672	1,077	1,030	1,186	1,053	1,019	1,038	880	860	841	-19	-2.2
風俗犯		425	344	383	346	341	389	399	437	466	566	100	21.5
強制わいせつ		331	253	282	242	262	275	281	318	277	333	56	20.2
その他の刑法犯		45,115	43,603	39,126	37,553	33,301	27,284	25,353	23,484	20,422	17,019	-3,403	-16.7
占有離脱物横領		38,547	37,194	32,326	30,528	26,437	20,594	18,971	17,268	14,674	11,658	-3,016	-20.6
人口比(少年)		17.5	16.8	15.9	14.8	13.8	12.4	12.4	11.8	10.7	9.1	-1.6	—
人口比(成人)		2.3	2.5	2.5	2.6	2.5	2.4	2.3	2.3	2.2	2.1	-0.1	—

注 人口比は、国立社会保障・人口問題研究所の推計人口に基づく同年齢層人口 1,000 人当たりの検挙人員をいう。

(2) 少年による初発型非行の検挙状況

少年の初発型非行（万引き、オートバイ盗、自転車盗及び占有離脱物横領をいう。）の検挙人員は依然として刑法犯少年全体の約7割を占めているが、過去10年間でみても減少傾向にあり、平成24年中は4万3,302人（前年比20.6%減）となった。特に万引きが前年比24.3%減と大きく減少した。

図表2-10-(2) 少年による初発型非行検挙人員の推移

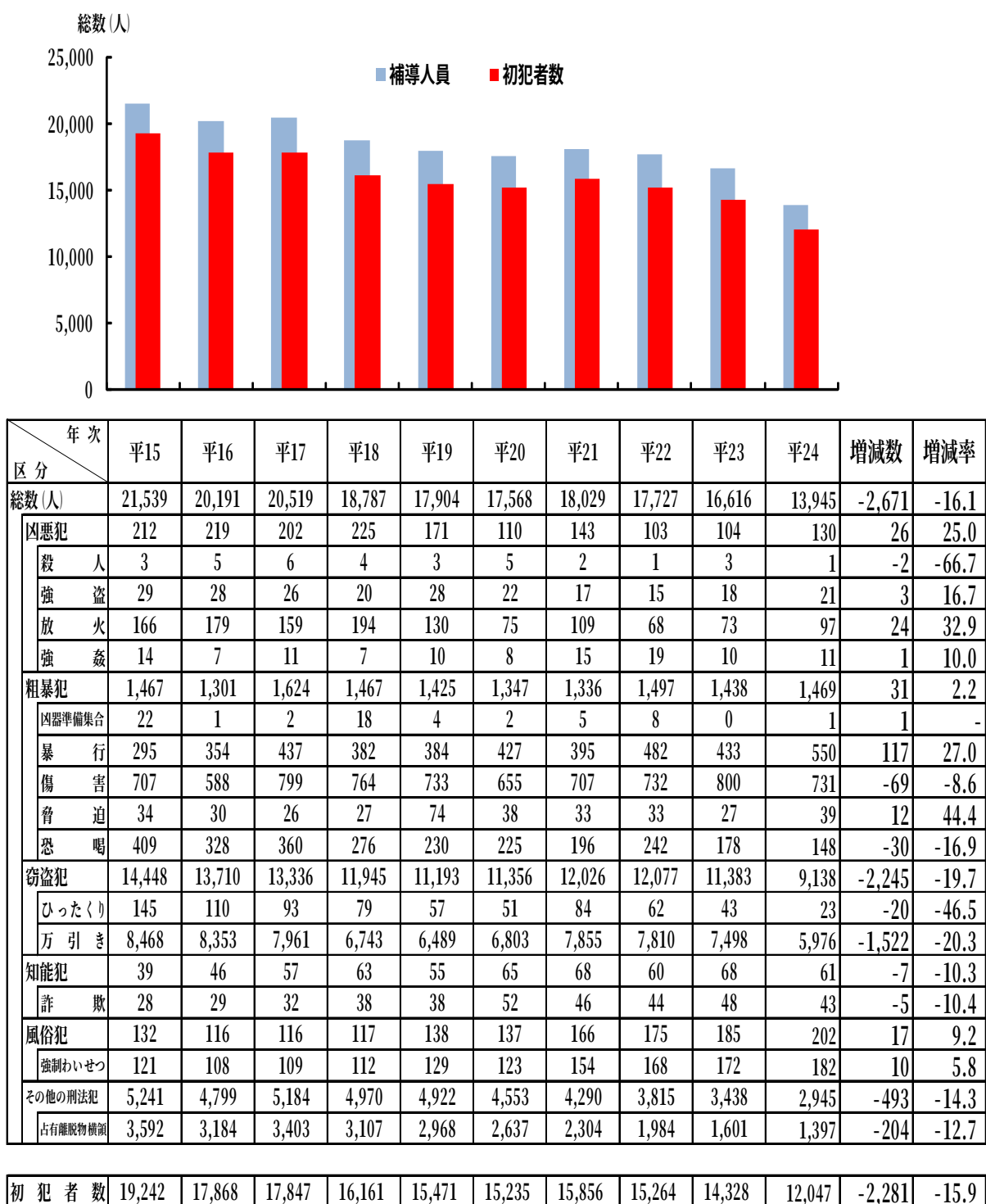


(3) 触法少年（刑法）の補導状況

過去10年間の触法少年（刑法）の補導人員の推移は図表2-10-(3)のとおりである。

平成24年中の触法少年（刑法）の補導人員は13,945人（前年比16.1%減）で、3年連続で減少した。

図表2-10-(3) 触法少年（刑法）の補導人員の推移

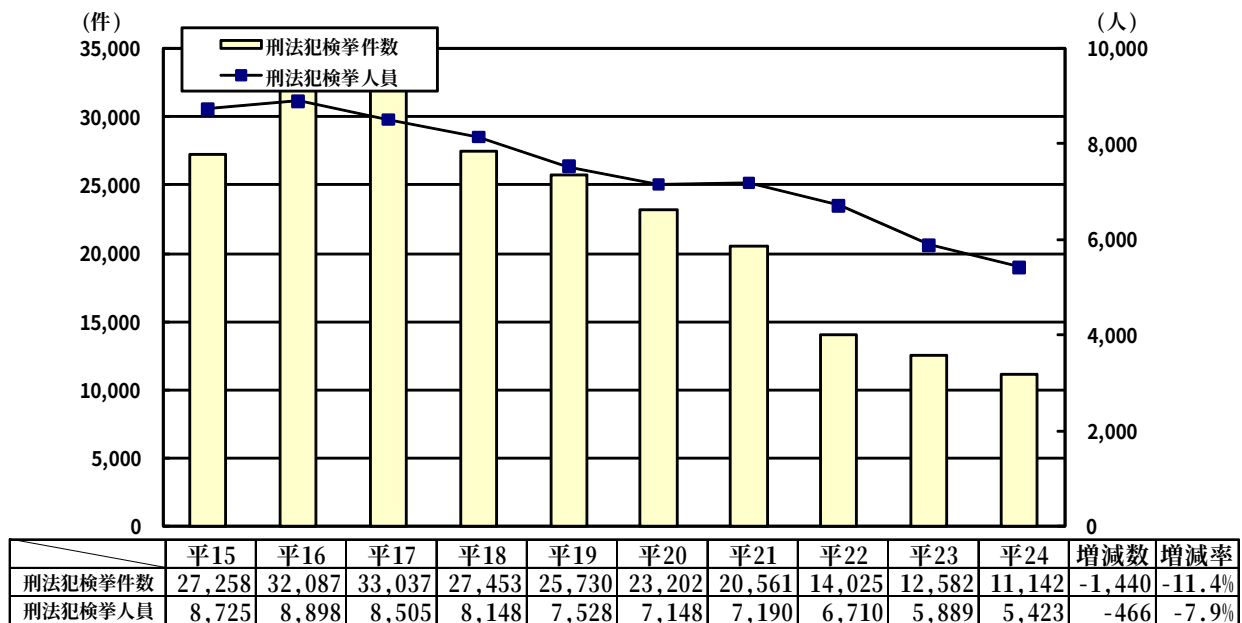


11 来日外国人による犯罪

(1) 刑法犯の検挙状況

来日外国人に係る刑法犯の検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、検挙件数は1,440件（11.4%）、検挙人員は466人（7.9%）それぞれ減少している（図表2-11-(1)）。

図表2-11-(1) 来日外国人の刑法犯検挙状況の推移



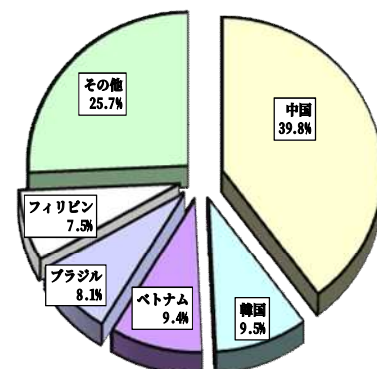
(2) 国籍・地域別刑法犯検挙状況

刑法犯の国籍・地域別検挙状況をみると、検挙件数では中国（台湾、香港等を除く。以下同じ。）が4,847件（構成比43.5%）、次いでベトナムが1,225件（同11.0%）、韓国が1,089件（同9.8%）となっており、検挙人員では中国が2,160人（同39.8%）、次いで韓国が513人（同9.5%）、ベトナムが510人（同9.4%）となっている（図表2-11-(2)-1、2）。

図表2-11-(2)-1 国籍・地域別検挙状況

	刑法犯検挙件数			刑法犯検挙人員	
	件数	構成比		人員	構成比
総数	11,142	100%	総数	5,423	100%
中国	4,847	43.5%	中国	2,160	39.8%
ベトナム	1,225	11.0%	韓国	513	9.5%
韓国	1,089	9.8%	ベトナム	510	9.4%
ブラジル	1,004	9.0%	ブラジル	438	8.1%
フィリピン	513	4.6%	フィリピン	408	7.5%
その他	2,464	22.1%	その他	1,394	25.7%

図表2-11-(2)-2 検挙人員構成比



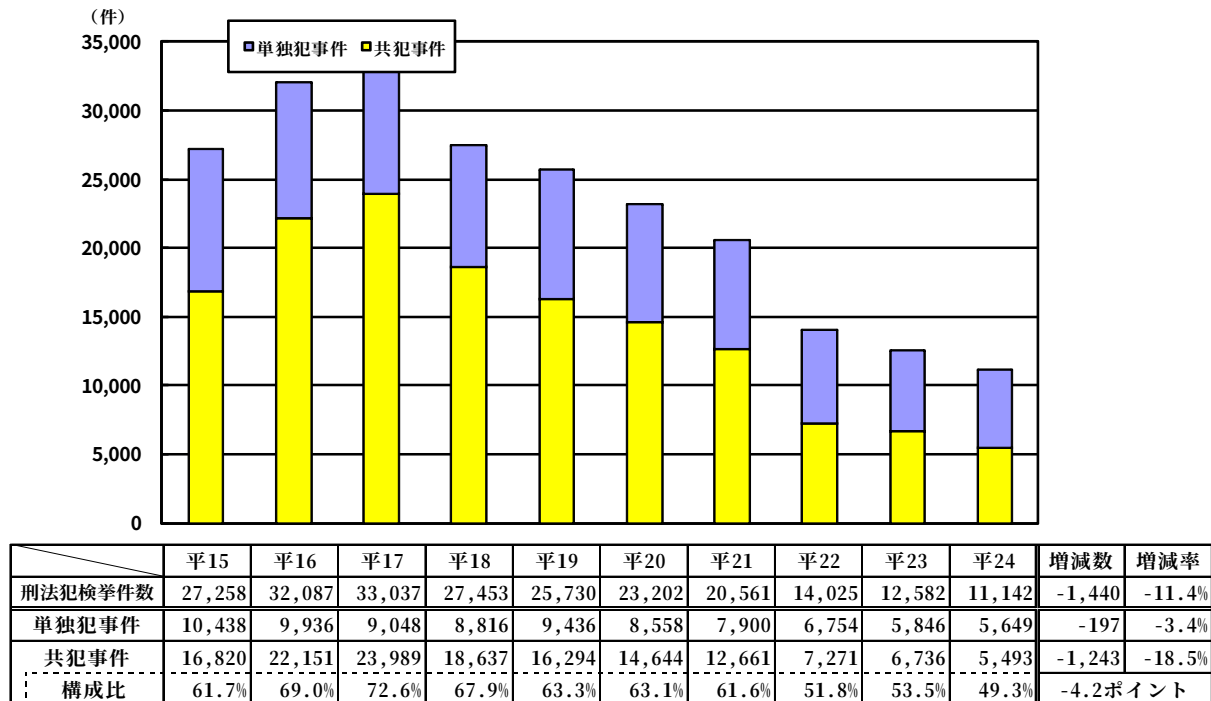
注：「中国」に「台湾」、「香港等」は含まない。

(3) 刑法犯検挙件数に占める共犯事件の状況

刑法犯検挙件数に占める共犯事件の割合は 49.3%で、日本人の検挙件数に占める共犯事件の割合（13.0%）と比べ約 3.8 倍と、依然として共犯率が高い。

罪種別にみると、窃盗犯（61.9%）での共犯率が高く、特に住宅対象の侵入窃盗（93.4%）の共犯率が高い（図表 2-11-(3)-1、2）。

図表 2-11-(3)-1 来日外国人の刑法犯検挙件数に占める共犯事件の推移



図表 2-11-(3)-2 刑法犯検挙件数の罪種等別・共犯形態（来日外国人・日本人）

	合計	来日外国人					合計	日本人				
		単独犯	共犯	2人組	3人組	4人組以上		単独犯	共犯	2人組	3人組	4人組以上
刑法犯	11,142	5,649	5,493	2,196	1,972	1,325	408,447	355,449	52,998	34,598	11,163	7,237
	構成比	50.7%	49.3%	19.7%	17.7%	11.9%	構成比	87.0%	13.0%	8.5%	2.7%	1.8%
凶悪犯	130	114	16	8	7	1	4,915	4,238	677	378	160	139
	構成比	87.7%	12.3%	6.2%	5.4%	0.8%	構成比	86.2%	13.8%	7.7%	3.3%	2.8%
うち強盗	83	67	16	8	7	1	2,321	1,772	549	293	141	115
	構成比	80.7%	19.3%	9.6%	8.4%	1.2%	構成比	76.3%	23.7%	12.6%	6.1%	5.0%
窃盗犯	7,969	3,035	4,934	1,905	1,818	1,211	266,456	228,648	37,808	25,815	8,405	3,588
	構成比	38.1%	61.9%	23.9%	22.8%	15.2%	構成比	85.8%	14.2%	9.7%	3.2%	1.3%
うち侵入盗	2,170	190	1,980	727	1,001	252	58,073	48,311	9,762	6,029	2,812	921
	構成比	8.8%	91.2%	33.5%	46.1%	11.6%	構成比	83.2%	16.8%	10.4%	4.8%	1.6%
うち住宅対象	1,830	120	1,710	619	885	206	29,388	25,315	4,073	2,642	1,140	291
	構成比	6.6%	93.4%	33.8%	48.4%	11.3%	構成比	86.1%	13.9%	9.0%	3.9%	1.0%
その他	3,043	2,500	543	283	147	113	137,076	122,563	14,513	8,405	2,598	3,510
	構成比	82.2%	17.8%	9.3%	4.8%	3.7%	構成比	89.4%	10.6%	6.1%	1.9%	2.6%

注：来日外国人と日本人との共犯事件は、主たる被疑者の国籍等によりそれぞれ計上。

(4) 不法滞在者・正規滞在者の検挙状況

刑法犯検挙人員に占める不法滞在者の割合は 5.9%で、前年同期に比べ、0.7 ポイント減少している。
包括罪種別では、知能犯が不法滞在者の割合が最も多い状況となっている。（図表 2－11－(4)）。

図表 2－11－(4) 来日外国人の包括罪種等別・在留資格別検挙人員の比較

		刑 法 犯						
			凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他
平成24年	検挙人員	5,423	133	978	2,721	470	83	1,038
	正規滞在	5,102	118	958	2,542	397	79	1,008
	構成比	94.1%	88.7%	98.0%	93.4%	84.5%	95.2%	97.1%
	日本人の配偶者等	1,088	18	283	469	176	8	134
	興行	11	2	3	2	0	0	4
	短期滞在	317	4	62	166	16	9	60
	留学	853	9	82	408	73	10	271
	就学	0	0	0	0	0	0	0
	研修	421	13	25	333	8	0	42
	定住者	1,252	46	289	618	63	17	219
	その他	1,160	26	214	546	61	35	278
	不法滞在	321	15	20	179	73	4	30
	構成比	5.9%	11.3%	2.0%	6.6%	15.5%	4.8%	2.9%
平成23年			刑 法 犯					
			凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他
	検挙人員	5,889	147	960	3,060	432	84	1,206
	正規滞在	5,501	132	927	2,847	344	77	1,174
	構成比	93.4%	89.8%	96.6%	93.0%	79.6%	91.7%	97.3%
	日本人の配偶者等	1,211	32	276	536	176	20	171
	興行	6	0	0	4	0	0	2
	短期滞在	254	6	39	141	6	5	57
	留学	803	14	83	371	38	9	288
	就学	248	9	34	114	7	4	80
	研修	461	9	30	362	13	2	45
	定住者	1,335	44	275	696	36	19	265
	その他	1,183	18	190	623	68	18	266
	不法滞在	388	15	33	213	88	7	32
	構成比	6.6%	10.2%	3.4%	7.0%	20.4%	8.3%	2.7%

12 暴力団による犯罪

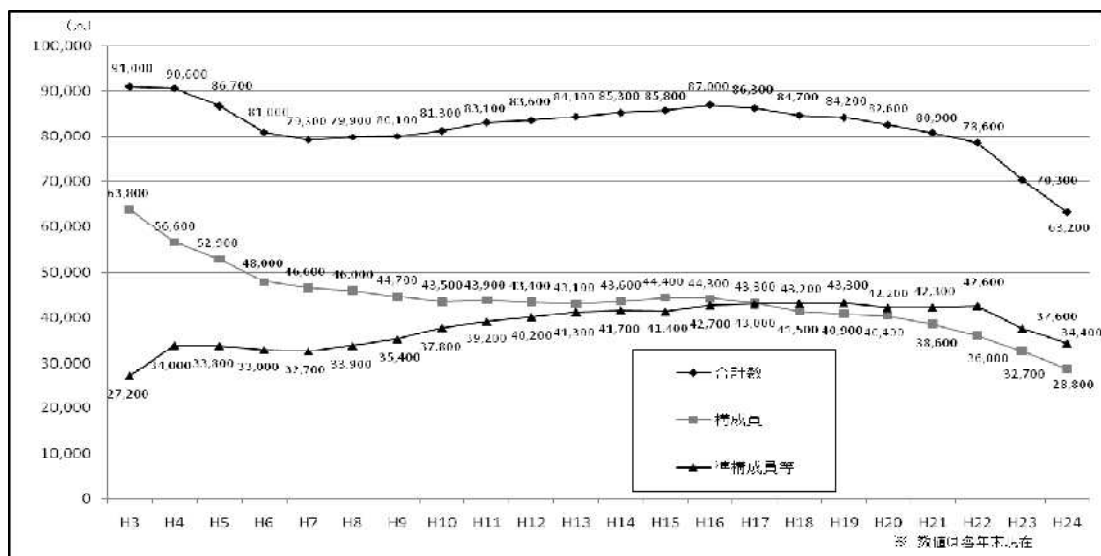
(1) 暴力団構成員等の状況

暴力団構成員及び準構成員等（以下、この項において「暴力団構成員等」という。）の数は、平成24年末現在約6万3,200人で、前年と比べ、約7,100人減少した。うち、暴力団構成員の数は約2万8,800人で、前年に比べ約3,900人減少し、準構成員等の数も約3万4,400人で、前年に比べ約3,200人減少した（図表2-12-(1)-1）。

また、主要3団体（六代目山口組、住吉会、稲川会）の暴力団構成員等の数は約4万5,800人（全暴力団構成員等の72.5%）で、このうち暴力団構成員の数は約2万1,800人（全暴力団構成員の75.7%）であり、主要3団体による寡占状態が続いている。

中でも山口組は、前年に比べ暴力団構成員等の数は減少しているものの、全暴力団構成員等の数の約43.8%（うち構成員については全暴力団構成員の45.5%）を占めており、依然として一極集中の状態が顕著である（図表2-12-(1)-2）。

図表2-12-(1)-1 暴力団構成員等の推移



図表2-12-(1)-2 主要3団体の暴力団構成員等の比較

			23年末	24年末	増減	全体の構成比
主要 3 団体	六代目山口組	構 成 員	15,200	13,100	-2,100	43.8% (構成員45.5%)
		準構成員等	15,800	14,600	-1,200	
		計	31,000	27,700	-3,300	
	住 吉 会	構 成 員	5,600	5,000	-600	16.8% (構成員17.4%)
		準構成員等	6,100	5,500	-600	
		計	11,700	10,600	-1,100	
	稲 川 会	構 成 員	4,000	3,700	-300	11.9% (構成員12.8%)
		準構成員等	4,100	3,800	-300	
		計	8,100	7,600	-500	
3 団 体 合 計	構 成 員	24,800	21,800	-3,000	72.5% (構成員75.7%)	
	準構成員等	26,100	24,000	-2,100		
	計	50,900	45,800	-5,100		

注：本項における暴力団構成員等の数は概数であり、増減及び構成比は概数上のものである。

(2) 暴力団構成員等の刑法犯の検挙状況

暴力団構成員等（暴力団構成員及び準構成員その他の周辺者をいう。以下同じ。）の刑法犯の検挙件数は35,353件で、前年に比べ4,262件（10.8%）減少している（図表2-12-(2)-1）。

暴力団構成員等の刑法犯の検挙人員は14,506人で、前年に比べ1,299人（8.2%）減少している。

このうち構成員の検挙人員は3,785人で、前年に比べ341人（8.3%）減少している（図表2-12-(2)-2、3）。

また、暴力団構成員等の刑法犯の検挙人員を罪種別でみると、傷害が2,970人（構成比20.5%）と最も多く、次いで窃盗が2,794人（同19.3%）、詐欺が2,190人（同15.1%）、恐喝が1,334人（同9.2%）の順になっている（図表2-12-(2)-2）。

図表2-12-(2)-1 暴力団構成員等の罪種別検挙件数の推移

罪種	年次	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
												件数	率(%)
殺	人	184	173	146	126	130	125	132	121	108	87	-21	-19.4
強	盗	483	413	413	440	411	388	473	366	387	378	-9	-2.3
放	火	51	38	34	52	45	45	29	45	37	27	-10	-27.0
強	姦	127	99	110	108	127	95	102	68	94	63	-31	-33.0
凶	器 準 備 集 合	6	11	6	3	6	4	3	2	0	1	1	-
刑 暴	行	1,050	1,074	1,166	1,313	1,278	1,257	1,172	1,181	1,237	1,183	-54	-4.4
傷	害	3,466	3,208	3,125	3,308	3,030	2,782	2,605	2,620	2,609	2,641	32	1.2
脅	迫	477	423	468	551	505	554	511	513	561	599	38	6.8
恐	喝	2,313	1,999	1,921	1,968	1,688	1,578	1,403	1,357	1,181	1,028	-153	-13.0
窃	盗	23,444	23,640	25,930	27,023	27,914	27,675	24,749	23,667	24,916	22,605	-2,311	-9.3
詐	欺	3,643	3,148	3,362	3,537	3,733	3,938	4,590	3,356	4,592	3,032	-1,560	-34.0
横	領	126	105	99	102	104	125	86	92	104	86	-18	-17.3
法 文 書 偽 造		906	698	457	602	573	838	760	510	444	356	-88	-19.8
賭	博	133	136	138	127	304	154	277	143	132	297	165	125.0
わ い せ つ 物 頒 布 等		59	102	135	144	127	146	140	130	129	84	-45	-34.9
公 務 執 行 妨 害		547	556	536	606	564	488	491	545	586	509	-77	-13.1
うち公契約関係競売等妨害		34	40	22	10	17	12	8	6	6	5	-1	-16.7
犯 人 蔵 匿		61	57	45	68	54	43	58	50	38	28	-10	-26.3
証 人 威 迫		7	3	11	9	3	4	2	5	6	6	0	0.0
犯 逮 捕 監 禁		204	205	181	168	146	126	148	132	110	100	-10	-9.1
信用毀損・威力業務妨害		62	52	53	51	57	44	36	27	37	37	0	0.0
器 物 損 壊		771	876	966	965	849	960	859	845	975	902	-73	-7.5
暴 力 行 為		36	70	49	43	30	13	44	46	40	25	-15	-37.5
そ の 他 刑 法 犯		1,419	1,858	1,726	1,429	1,324	1,218	1,387	1,548	1,292	1,279	-13	-1.0
刑 法 犯 合 計		39,575	38,944	41,077	42,743	43,002	42,600	40,057	37,369	39,615	35,353	-4,262	-10.8

図表 2-12-(2)-2 暴力団構成員等の罪種別検挙人員の推移

罪種	年次	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
												人数	率 (%)
殺	人	313	310	258	183	188	220	204	178	133	102	-31	-23.3
強	盗	755	727	696	593	541	534	581	560	482	463	-19	-3.9
放	火	61	61	42	40	22	44	30	33	33	17	-16	-48.5
強	姦	132	137	114	103	103	94	95	70	84	57	-27	-32.1
凶	器 準 備 集 合	136	92	39	31	14	13	3	4	0	3	3	-
刑	暴	1,273	1,233	1,297	1,376	1,210	1,235	1,165	1,130	1,167	1,126	-41	-3.5
	傷	4,651	4,319	3,972	3,881	3,580	3,219	3,123	3,016	3,040	2,970	-70	-2.3
	脅	551	487	543	612	545	625	543	536	589	617	28	4.8
	恐	3,092	2,808	2,619	2,523	2,175	2,013	1,800	1,684	1,559	1,334	-225	-14.4
	窃	3,396	3,265	3,198	3,139	3,050	3,028	3,136	3,329	3,538	2,794	-744	-21.0
	詐	1,701	1,821	1,712	1,785	1,743	1,846	2,072	1,960	2,077	2,190	113	5.4
	横	101	108	86	97	83	99	64	82	94	79	-15	-16.0
法	文 書 偽 造	357	323	243	309	308	353	350	317	330	256	-74	-22.4
	賭	780	837	845	685	648	639	789	652	405	511	106	26.2
	わ い せ っ 物 頒 布 等	80	128	202	197	157	197	191	154	161	96	-65	-40.4
	公 務 執 行 妨 害	543	569	525	488	518	457	433	450	464	387	-77	-16.6
	うち公契約関係販売等妨害	83	98	57	22	72	51	21	11	14	4	-10	-71.4
	犯 人 蔵 匿	82	69	61	84	72	47	78	58	55	31	-24	-43.6
	証 人 威 迫	13	3	16	8	2	5	2	5	7	5	-2	-28.6
犯	逮 捕 監 禁	444	414	336	299	276	239	278	202	198	201	3	1.5
	信用毀損・威力業務妨害	82	102	88	63	83	62	41	49	58	44	-14	-24.1
	器 物 損 壊	618	637	642	631	535	547	509	479	538	510	-28	-5.2
	暴 力 行 為	73	126	71	82	47	22	71	77	43	37	-6	-14.0
	そ の 他 刑 法 犯	1,031	896	1,024	807	721	704	754	757	750	676	-74	-9.9
	刑 法 犯 合 計	20,265	19,472	18,629	18,016	16,621	16,242	16,312	15,782	15,805	14,506	-1,299	-8.2

図表 2-12-(2)-3 暴力団構成員の罪種別検挙人員の推移

罪種	年次	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
												人数	率 (%)
殺	人	169	156	108	77	97	106	100	62	35	26	-9	-25.7
強	盗	182	189	177	163	163	138	153	127	120	81	-39	-32.5
放	火	23	16	12	12	4	11	1	7	6	4	-2	-33.3
強	姦	40	33	24	23	24	13	15	18	13	11	-2	-15.4
凶	器 準 備 集 合	34	16	26	15	11	9	3	2	0	2	2	-
刑	暴	499	446	446	476	404	411	356	362	302	318	16	5.3
	傷	1,742	1,539	1,436	1,450	1,305	1,071	1,029	919	888	803	-85	-9.6
	脅	269	236	275	322	273	309	268	241	274	253	-21	-7.7
	恐	1,462	1,358	1,232	1,197	1,005	1,006	799	802	741	572	-169	-22.8
	窃	837	739	658	634	610	617	509	527	492	377	-115	-23.4
	詐	469	483	485	540	510	518	530	446	654	734	80	12.2
	横	30	31	24	26	20	30	11	17	17	12	-5	-29.4
法	文 書 偽 造	126	111	100	111	83	113	114	104	94	84	-10	-10.6
	賭	72	90	97	66	107	107	133	81	26	49	23	88.5
	わ い せ っ 物 頒 布 等	9	8	15	8	12	22	20	6	14	7	-7	-50.0
	公 務 執 行 妨 害	149	180	135	137	121	114	102	101	74	80	6	8.1
	うち公契約関係販売等妨害	31	36	25	5	4	4	4	4	2	2	0	0.0
	犯 人 蔵 匿	43	33	27	46	31	19	18	15	21	16	-5	-23.8
	証 人 威 迫	8	3	10	5	2	3	1	3	6	1	-5	-83.3
犯	逮 捕 監 禁	210	182	165	115	136	103	147	71	51	74	23	45.1
	信用毀損・威力業務妨害	47	36	27	29	33	27	18	10	19	15	-4	-21.1
	器 物 損 壊	250	198	209	230	169	157	152	110	105	107	2	1.9
	暴 力 行 為	43	75	31	52	20	13	38	34	21	14	-7	-33.3
	そ の 他 刑 法 犯	377	303	324	253	228	204	186	169	153	145	-8	-5.2
	刑 法 犯 合 計	7,090	6,461	6,043	5,987	5,368	5,121	4,703	4,234	4,126	3,785	-341	-8.3

13 女性・子ども・高齢者を主たる被害者とする犯罪

(1) 女性を主たる被害者とする犯罪

ア 女性の犯罪被害の状況

刑法犯に係る女性の被害件数(「被害者の年齢不明」、「法人・団体」及び「被害なし」を除く認知件数をいう。以下同じ。)は36万3,534件で、刑法犯被害件数に占める女性の割合は33.3%となっている(図表2-13-(1)-1)。

女性の被害件数を主な罪種別にみると、窃盗が27万2,220件(女性の被害全体の74.9%)で最も多く、次いで暴行が1万1,968件(同3.3%)、詐欺が1万986件(同3.0%)、傷害が8,952件(同2.5%)、強制わいせつが7,087件(同1.9%)となっている。

また、強姦、強制わいせつ及び公然わいせつのほか、女性が被害者となる割合の高い罪種についてみると、略取誘拐(85.1%)、詐欺(53.7%)、脅迫(48.3%)等が全刑法犯被害件数に占める女性の割合(33.3%)より高くなっている(図表2-13-(1)-2)。

注：「略取誘拐」の認知件数には、人身売買の認知件数を含む(以下同じ)。

図表2-13-(1)-1 女性の刑法犯被害件数

区分 \ 年次		平23	平24	増減	
				件数	率(%)
全刑法犯	被害件数	1,167,989	1,092,178	-75,811	-6.5
	女性	386,880	363,534	-23,346	-6.0
	(割合%)	33.1	33.3	0.2	-
	男性	781,109	728,644	-52,465	-6.7
	(割合%)	66.9	66.7	-0.2	-

図表 2-13-(1)-2 罪種別被害状況

区分	年次	平23	平24	増減	
				件数	率 (%)
殺人	被害件数	1,044	1,022	-22	-2.1
	うち女性	406	428	22	5.4
	(割合%)	38.9	41.9	3.0	-
強盗	被害件数	3,367	3,400	33	1.0
	うち女性	1,363	1,393	30	2.2
	(割合%)	40.5	41.0	0.5	-
強姦	被害件数	1,185	1,240	55	4.6
	うち女性	1,185	1,240	55	4.6
	(割合%)	100.0	100.0	0.0	-
暴行	被害件数	29,237	31,802	2,565	8.8
	うち女性	10,535	11,968	1,433	13.6
	(割合%)	36.0	37.6	1.6	-
傷害	被害件数	25,832	27,962	2,130	8.2
	うち女性	7,419	8,952	1,533	20.7
	(割合%)	28.7	32.0	3.3	-
脅迫	被害件数	2,282	3,191	909	39.8
	うち女性	887	1,540	653	73.6
	(割合%)	38.9	48.3	9.4	-
恐喝	被害件数	4,211	4,102	-109	-2.6
	うち女性	587	532	-55	-9.4
	(割合%)	13.9	13.0	-0.9	-
窃盗	被害件数	910,461	834,259	-76,202	-8.4
	うち女性	298,415	272,220	-26,195	-8.8
	(割合%)	32.8	32.6	-0.2	-
詐欺	被害件数	20,018	20,477	459	2.3
	うち女性	10,432	10,986	554	5.3
	(割合%)	52.1	53.7	1.6	-
強制わいせつ	被害件数	6,870	7,263	393	5.7
	うち女性	6,709	7,087	378	5.6
	(割合%)	97.7	97.6	-0.1	-
公然わいせつ	被害件数	759	1,015	256	33.7
	うち女性	705	942	237	33.6
	(割合%)	92.9	92.8	-0.1	-
逮捕・監禁	被害件数	315	309	-6	-1.9
	うち女性	162	149	-13	-8.0
	(割合%)	51.4	48.2	-3.2	-
略取・誘拐	被害件数	147	188	41	27.9
	うち女性	120	160	40	33.3
	(割合%)	81.6	85.1	3.5	-

イ 年齢層別の犯罪被害の状況

女性の被害件数を年齢層別に人口 10 万人当たり(以下「人口当たり」という。)でみると、20 歳代が 1,243.30 件で最も多く、次いで 20 歳未満の 658.19 件、30 歳代の 644.98 件、40 歳代の 580.19 件、50 歳代の 442.82 件、60 歳代の 373.49 件、70 歳以上の 255.46 件の順となっている。

また、罪種別に被害に遭う割合の高い年齢層について人口当たりでみると、強盗、強姦、暴行、傷害、脅迫、恐喝、窃盗、強制わいせつ及び逮捕・監禁では 20 歳代が高く、公然わいせつ及び略取誘拐では 20 歳未満が高くなっている。さらに、殺人では 60 歳代、詐欺では 70 歳以上が高くなっている(図表 2-13-(1)-3)。

図表 2-13-(1)-3 年齢層別の犯罪被害件数(平成 24 年)

年齢層	罪種	合計	殺人	強盗	強姦	暴行	傷害	脅迫	恐喝	窃盗	詐欺	強制わいせつ	公然わいせつ	逮捕・監禁	略取・誘拐	その他
被害件数		1,092,178	1,022	3,400	1,240	31,802	27,962	3,191	4,102	834,259	20,477	7,263	1,015	309	188	155,948
	人口当	856.51	0.80	2.67	0.97	24.94	21.93	2.50	3.22	654.24	16.06	5.70	0.80	0.24	0.15	122.30
女性計		363,534	428	1,393	1,240	11,968	8,952	1,540	532	272,220	10,986	7,087	942	149	160	45,937
	人口当	555.13	0.65	2.13	1.89	18.28	13.67	2.35	0.81	415.69	16.78	10.82	1.44	0.23	0.24	70.15
	20歳未満	72,546	40	153	565	2,458	1,251	240	122	59,814	307	3,652	469	37	132	3,306
	人口当	658.19	0.36	1.39	5.13	22.30	11.35	2.18	1.11	542.68	2.79	33.13	4.26	0.34	1.20	29.99
	20歳代	81,038	50	417	485	3,308	2,225	423	143	60,354	1,123	2,597	243	77	22	9,571
	人口当	1,243.30	0.77	6.40	7.44	50.75	34.14	6.49	2.19	925.96	17.23	39.84	3.73	1.18	0.34	146.84
	30歳代	54,849	48	186	114	2,342	1,983	292	85	39,210	882	534	120	18	3	9,032
	人口当	644.98	0.56	2.19	1.34	27.54	23.32	3.43	1.00	461.08	10.37	6.28	1.41	0.21	0.04	106.21
	40歳代	50,825	57	186	48	1,754	1,640	279	80	36,788	829	191	70	7	3	8,893
	人口当	580.19	0.65	2.12	0.55	20.02	18.72	3.18	0.91	419.95	9.46	2.18	0.80	0.08	0.03	101.52
	50歳代	34,730	52	160	16	898	785	158	48	25,378	967	68	24	2	0	6,174
	人口当	442.82	0.66	2.04	0.20	11.45	10.01	2.01	0.61	323.58	12.33	0.87	0.31	0.03	0.00	78.72
	60歳代	35,452	76	126	5	674	612	94	26	26,385	2,378	34	9	5	0	5,028
	人口当	373.49	0.80	1.33	0.05	7.10	6.45	0.99	0.27	277.97	25.05	0.36	0.09	0.05	0.00	52.97
	70歳以上	34,094	105	165	7	534	456	54	28	24,291	4,500	11	7	3	0	3,933
	人口当	255.46	0.79	1.24	0.05	4.00	3.42	0.40	0.21	182.01	33.72	0.08	0.05	0.02	0.00	29.47
男性計		728,644	594	2,007	0	19,834	19,010	1,651	3,570	562,039	9,491	176	73	160	28	110,011
	人口当	1,174.68	0.96	3.24	-	31.98	30.65	2.66	5.76	906.09	15.30	0.28	0.12	0.26	0.05	177.35

注 1：「人口当」は、人口 10 万人当たりの認知件数である。

注 2：人口は、総務省統計局の推計人口(平成 24 年 10 月 1 日現在)による。

ウ 場所別被害の発生状況

罪種別に女性が被害に遭う割合の高い場所(「その他」を除く。)をみると、強盗、暴行、強制わいせつ、公然わいせつ、逮捕監禁及び略取誘拐については道路上、殺人及び詐欺については一戸建住宅、強姦、傷害、脅迫及び恐喝については共同住宅、窃盗については駐車(輪)場が高くなっている(図表 2-13-(1)-4)。

図表 2-13-(1)-4 罪種別・場所別被害発生件数（平成 24 年）

区分	罪種	殺人	強盗	強姦	暴行	傷害	脅迫	恐喝	窃盗	詐欺	強制わいせつ	公然わいせつ	逮捕・監禁	略取・誘拐
		女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
被害総数	女	428	1,393	1,240	11,968	8,952	1,540	532	272,220	10,986	7,087	942	149	160
	男	594	2,007	-	19,834	19,010	1,651	3,570	562,039	9,491	176	73	160	28
一戸建住宅	女	178	86	131	1,797	1,666	421	81	35,143	5,956	331	11	10	7
	男	165	81	-	917	993	297	202	78,014	2,806	6	0	6	4
共同住宅	女	146	173	493	2,480	2,808	495	104	46,713	2,120	1,386	69	34	18
	男	171	90	-	1,181	1,505	357	330	79,578	1,172	39	7	35	6
学校（幼稚園）	女	2	3	8	100	214	34	5	4,983	31	62	1	0	8
	男	1	5	-	375	901	47	43	8,269	8	6	0	1	3
道路上	女	22	610	106	3,718	1,580	120	93	38,904	344	3,148	467	43	85
	男	106	613	-	7,067	6,497	274	1,058	61,290	934	24	28	41	10
駐車（輪）場	女	10	90	95	567	489	81	56	83,095	117	448	119	12	21
	男	36	137	-	1,354	1,695	86	595	181,223	235	6	11	22	1
都市公園	女	2	8	27	135	150	12	16	2,068	13	202	46	1	1
	男	7	32	-	347	795	24	209	4,336	12	14	3	1	1
空き地	女	0	1	23	16	19	3	2	692	0	34	2	0	2
	男	3	3	-	60	108	2	28	2,971	5	2	0	1	0
列車内	女	0	1	0	211	42	2	1	1,798	10	312	26	0	1
	男	0	0	-	482	177	2	4	3,127	1	6	1	0	0
駅・鉄道施設	女	0	6	5	373	122	7	9	2,201	83	73	21	0	3
	男	7	8	-	1,496	654	13	60	3,609	85	5	3	0	0
その他	女	68	415	352	2,571	1,862	365	165	56,623	2,312	1,091	180	49	14
	男	98	1,038	-	6,555	5,685	549	1,041	139,622	4,233	68	20	53	3

注：「列車内」とは、地下鉄内、新幹線内及びその他の列車内とした。

エ 配偶者による暴力事件

配偶者による暴力事件（殺人、傷害及び暴行）（注）の検挙件数は、前年に比べ、1,366 件（44.2%）増加している（図表 2-13-(1)-5）。

注：配偶者による暴力事件には、いわゆる配偶者からの暴力事件だけでなく、例えば、殺人では嘱託殺人、保険金目的殺人等、多様なものが含まれる。

図表 2-13-(1)-5 配偶者による殺人、傷害及び暴行事件の検挙件数の推移

区分	年次	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
												件数	率（%）
殺人（件）		1,258	1,224	1,224	1,155	1,052	1,120	971	944	941	884	-57	-6.1
	うち配偶者	215	206	218	179	192	200	152	184	158	153	-5	-3.2
	うち夫によるもの	133	127	126	117	107	126	99	114	89	93	4	4.5
傷害		23,222	22,716	22,962	22,921	21,589	19,724	18,991	19,093	18,591	20,590	1,999	10.8
	うち配偶者	1,269	1,198	1,342	1,353	1,346	1,339	1,282	1,523	1,415	2,183	768	54.3
	うち夫によるもの	1,211	1,143	1,264	1,294	1,255	1,268	1,212	1,437	1,325	2,060	735	55.5
	うち傷害致死	173	135	138	139	104	129	112	110	118	102	-16	-13.6
	うち配偶者	18	14	20	15	10	15	15	11	9	15	6	66.7
	うち夫によるもの	16	12	17	14	8	11	12	11	7	12	5	71.4
暴行		9,341	10,525	13,519	19,175	21,203	21,660	21,006	21,529	21,541	23,167	1,626	7.5
	うち配偶者	234	290	379	707	933	1,045	1,082	1,452	1,518	2,121	603	39.7
	うち夫によるもの	230	284	359	671	870	975	1,013	1,376	1,415	1,996	581	41.1
合計		33,821	34,465	37,705	43,251	43,844	42,504	40,968	41,566	41,073	44,641	3,568	8.7
	うち配偶者	1,718	1,694	1,939	2,239	2,471	2,584	2,516	3,159	3,091	4,457	1,366	44.2
	うち夫によるもの	1,574	1,554	1,749	2,082	2,232	2,369	2,324	2,927	2,829	4,149	1,320	46.7

注 1：解決事件を除く。

注 2：配偶者には内縁関係にある者を含む。

(2) 子どもを主たる被害者とする犯罪

ア 子どもの犯罪被害の状況

刑法犯に係る子ども（少年、20歳未満の者をいう。以下同じ。）の被害件数（「被害者の年齢不明」、「法人・団体」及び「被害なし」を除く認知件数をいう。以下同じ。）は20万6,133件で、刑法犯被害件数に占める子どもの割合は18.9%となっている（図表2-13-(2)-1）。

子どもの被害件数を主な罪種別にみると、窃盗が17万7,512件（子どもの被害全体の86.1%）で最も多く、次いで暴行が5,338件（同2.6%）、傷害が5,337件（同2.6%）、強制わいせつが3,791件（同1.8%）、恐喝が1,770件（同0.9%）となっている

また、子どもが被害者となる割合の高い罪種についてみると、略取誘拐(83.0%)、強制わいせつ(52.2%)、公然わいせつ(47.6%)、強姦(45.6%)、恐喝(43.1%)等が全刑法犯被害件数に占める子どもの割合(18.9%)より高くなっている（図表2-13-(2)-2）。

注：「略取誘拐」の認知件数には、人身売買の認知件数を含む（以下同じ）。

図表2-13-(2)-1 子どもの刑法犯被害件数

区分	年次	平23	平24	増減	
				件数	率(%)
全刑法犯	被害件数	1,167,989	1,092,178	-75,811	-6.5
	少年	228,025	206,133	-21,892	-9.6
	(割合%)	19.5	18.9	-0.6	-
	成人	939,964	886,045	-53,919	-5.7
	(割合%)	80.5	81.1	0.6	-

図表 2-13-(2)-2 罪種別被害状況

区分	年次	平23	平24	増減	
				件数	率 (%)
殺人	被害件数	1,044	1,022	-22	-2.1
	うち少年	123	110	-13	-10.6
	(割合%)	11.8	10.8	-1.0	-
強盗	被害件数	3,367	3,400	33	1.0
	うち少年	312	342	30	9.6
	(割合%)	9.3	10.1	0.8	-
強姦	被害件数	1,185	1,240	55	4.6
	うち少年	526	565	39	7.4
	(割合%)	44.4	45.6	1.2	-
暴行	被害件数	29,237	31,802	2,565	8.8
	うち少年	4,851	5,338	487	10.0
	(割合%)	16.6	16.8	0.2	-
傷害	被害件数	25,832	27,962	2,130	8.2
	うち少年	5,025	5,337	312	6.2
	(割合%)	19.5	19.1	-0.4	-
脅迫	被害件数	2,282	3,191	909	39.8
	うち少年	276	393	117	42.4
	(割合%)	12.1	12.3	0.2	-
恐喝	被害件数	4,211	4,102	-109	-2.6
	うち少年	1,858	1,770	-88	-4.7
	(割合%)	44.1	43.1	-1.0	-
窃盗	被害件数	910,461	834,259	-76,202	-8.4
	うち少年	198,793	177,512	-21,281	-10.7
	(割合%)	21.8	21.3	-0.5	-
詐欺	被害件数	20,018	20,477	459	2.3
	うち少年	576	528	-48	-8.3
	(割合%)	2.9	2.6	-0.3	-
強制わいせつ	被害件数	6,870	7,263	393	5.7
	うち少年	3,598	3,791	193	5.4
	(割合%)	52.4	52.2	-0.2	-
公然わいせつ	被害件数	759	1,015	256	33.7
	うち少年	354	483	129	36.4
	(割合%)	46.6	47.6	1.0	-
逮捕・監禁	被害件数	315	309	-6	-1.9
	うち少年	79	77	-2	-2.5
	(割合%)	25.1	24.9	-0.2	-
略取・誘拐	被害件数	147	188	41	27.9
	うち少年	117	156	39	33.3
	(割合%)	79.6	83.0	3.4	-

イ 就学別の犯罪被害の状況

子どもの被害件数を就学別に人口当たりでみると、その他少年（未就学児童、小学生及び中学生を除いた少年をいう。以下同じ。）が2,363.95件で最も多く、次いで中学生の1,305.60件、小学生の280.19件、未就学児童の7.35件となっている。

また、罪種別に被害に遭う割合の高い層を就学別の人口当たりでみると、殺人及び略取誘拐以外の罪種において、その他の少年の割合が高くなっている（図表2-13-(2)-3）。

図表2-13-(2)-3 就学別の犯罪被害件数（平成24年）

区分	罪種	合計	殺人	強盗	強姦	暴行	傷害	脅迫	恐喝	窃盗	詐欺	強制わいせつ	公然わいせつ	逮捕・監禁	略取・誘拐	その他
被害件数		1,092,178	1,022	3,400	1,240	31,802	27,962	3,191	4,102	834,259	20,477	7,263	1,015	309	188	155,948
	人口当	856.51	0.80	2.67	0.97	24.94	21.93	2.50	3.22	654.24	16.06	5.70	0.80	0.24	0.15	122.30
	少年計	206,133	110	342	565	5,338	5,337	393	1,770	177,512	528	3,791	483	77	156	9,731
	人口当	912.25	0.49	1.51	2.50	23.62	23.62	1.74	7.83	785.59	2.34	16.78	2.14	0.34	0.69	43.07
	未就学	466	47	0	3	96	115	0	0	0	0	76	1	2	30	96
	人口当	7.35	0.74	0.00	0.05	1.51	1.81	0.00	0.00	0.00	0.00	1.20	0.02	0.03	0.47	1.51
	小学生	18,955	19	10	45	627	289	21	75	16,345	9	892	117	5	61	440
	人口当	280.19	0.28	0.15	0.67	9.27	4.27	0.31	1.11	241.61	0.13	13.19	1.73	0.07	0.90	6.50
	中学生	46,388	8	19	122	1,190	1,550	84	536	40,441	35	553	116	7	21	1,706
	人口当	1,305.60	0.23	0.53	3.43	33.49	43.63	2.36	15.09	1,138.22	0.99	15.56	3.26	0.20	0.59	48.02
	その他少年	140,324	36	313	395	3,425	3,383	288	1,159	120,726	484	2,270	249	63	44	7,489
	人口当	2,363.95	0.61	5.27	6.65	57.70	56.99	4.85	19.52	2,033.79	8.15	38.24	4.19	1.06	0.74	126.16
	成人計	886,045	912	3,058	675	26,464	22,625	2,798	2,332	656,747	19,949	3,472	532	232	32	146,217
	人口当	844.50	0.87	2.91	0.64	25.22	21.56	2.67	2.22	625.96	19.01	3.31	0.51	0.22	0.03	139.36

注1：「人口当」は、人口10万人当たりの認知件数である。

注2：人口は、総務省統計局の推計人口（平成24年10月1日現在）による。

注3：「未就学」は、総務省統計局の推計人口（平成24年10月1日現在）の0～5歳を計上した。

注4：「小学生」と「中学生」の人口は、文部科学省学校基本調査（平成24年版）による。

ウ 場所別被害の発生状況

子どもの就学別に犯罪の被害に遭う割合が高い場所（「その他」を除く。）をみると、未就学児童については共同住宅、一戸建住宅及び道路上が高く、小学生、中学生については駐車（輪）場、共同住宅及び道路上が高くなっている（図表2-13-(2)-4）。

また、罪種別に子どもが被害に遭う割合が高い場所（「その他」を除く。）についてみると、強盗、暴行、傷害、恐喝、強制わいせつ、公然わいせつ、逮捕監禁及び略取誘拐については道路上、脅迫及び詐欺については一戸建住宅、殺人、強姦については共同住宅、窃盗については駐車（輪）場が高くなっている（図表2-13-(2)-5）。

図表 2-13-(2)-4 就学別・場所別被害発生件数（平成 24 年）

就学別 区分	総数		少年								成人			
	件数	(割合%)	件数	(割合%)	未就学	小学生	中学生	その他						
被害総数	1,092,178	100.0	206,133	100.0	466	100.0	18,955	100.0	46,388	100.0	140,324	100.0	886,045	100.0
一戸建住宅	157,146	14.4	14,764	7.2	72	15.5	2,125	11.2	4,453	9.6	8,114	5.8	142,382	16.1
共同住宅	168,822	15.5	25,514	12.4	130	27.9	3,672	19.4	6,353	13.7	15,359	10.9	143,308	16.2
学校（幼稚園）	17,041	1.6	8,996	4.4	17	3.6	384	2.0	1,568	3.4	7,027	5.0	8,045	0.9
道路上	146,316	13.4	31,582	15.3	60	12.9	2,768	14.6	7,278	15.7	21,476	15.3	114,734	12.9
駐車（輪）場	321,166	29.4	87,892	42.6	17	3.6	5,182	27.3	18,521	39.9	64,172	45.7	233,274	26.3
都市公園	9,757	0.9	5,300	2.6	33	7.1	2,050	10.8	1,397	3.0	1,820	1.3	4,457	0.5
空き地	5,248	0.5	921	0.4	3	0.6	70	0.4	238	0.5	610	0.4	4,327	0.5
列車内	6,519	0.6	784	0.4	1	0.2	22	0.1	53	0.1	708	0.5	5,735	0.6
駅・鉄道施設	9,756	0.9	3,368	1.6	6	1.3	59	0.3	367	0.8	2,936	2.1	6,388	0.7
その他	250,407	22.9	27,012	13.1	127	27.3	2,623	13.8	6,160	13.3	18,102	12.9	223,395	25.2

注：「列車内」とは、地下鉄内、新幹線内及びその他の列車内とした。

図表 2-13-(2)-5 罪種別・場所別被害発生件数（平成 24 年）

罪種 区分	殺人	強盗	強姦	暴行	傷害	脅迫	恐喝	窃盗犯	詐欺	強制わいせつ	公然わいせつ	逮捕・監禁	略取・誘拐	その他	合計
被害総数	1,022	3,400	1,240	31,802	27,962	3,191	4,102	834,259	20,477	7,263	1,015	309	188	155,948	1,092,178
少年計	110	342	565	5,338	5,337	393	1,770	177,512	528	3,791	483	77	156	9,731	206,133
一戸建住宅	30	5	81	167	257	97	57	13,408	207	197	5	2	10	241	14,764
共同住宅	46	28	179	454	579	86	115	22,050	120	669	35	12	18	1,123	25,514
学校（幼稚園）	1	2	6	190	583	27	38	7,803	15	58	1	1	10	261	8,996
道路上	16	176	67	2,419	1,339	59	613	22,024	54	1,663	284	34	84	2,750	31,582
駐車（輪）場	7	25	38	385	612	24	285	82,669	11	217	39	7	13	3,560	87,892
都市公園	1	19	21	295	728	22	174	3,553	5	177	35	1	2	267	5,300
空き地	0	2	16	25	59	0	21	587	0	26	1	1	2	181	921
列車内	0	0	0	109	29	1	3	389	2	194	15	0	1	41	784
駅・鉄道施設	0	3	3	217	106	2	47	2,758	12	45	13	0	2	160	3,368
その他	9	82	154	1,077	1,045	75	417	22,271	102	545	55	19	14	1,147	27,012

注：「列車内」とは、地下鉄内、新幹線内及びその他の列車内とした。

エ 子ども対象・暴力的性犯罪被害の状況

子ども対象・暴力的性犯罪（13 歳未満の少年が被害者となった強盗強姦、強姦、強制わいせつ

（いずれも致死又は致死傷及び未遂を含む。）及びわいせつ目的略取誘拐（未遂を含む。）をいう。）

の認知件数は、前年に比べ、45 件（4.0%）増加している。

罪種別にみると、前年に比べ、強姦は 11 件（16.9%）、強制わいせつは 35 件（3.4%）それぞれ

増加し、わいせつ目的略取誘拐は同数、強盗強姦は 1 件減少している（図表 2-13-(2)-6）。

図表 2-13-(2)-6 罪種別被害発生件数

区分 年次	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	増減	
											件数	率（％）
子ども対象・暴力的性犯罪	2,236	1,796	1,484	1,114	1,012	1,036	1,014	1,148	1,114	1,159	45	4.0
強盗強姦	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	-1	-100.0
強姦	93	74	72	67	81	71	53	55	65	76	11	16.9
強制わいせつ	2,087	1,679	1,384	1,015	907	936	936	1,063	1,019	1,054	35	3.4
わいせつ目的略取誘拐	56	43	28	32	24	28	25	30	29	29	0	-

(3) 高齢者を主たる被害者とする犯罪

ア 高齢者の犯罪被害の状況

刑法犯に係る高齢者の被害件数(「被害者の年齢不明」、「法人・団体」及び「被害なし」を除く認知件数をいう。以下同じ。)は13万1,871件で、刑法犯被害件数に占める高齢者の割合は12.1%となっている(図表2-13-(3)-1)。

高齢者の被害件数を主な罪種別にみると、窃盗が9万6,658件(高齢者の被害全体の73.3%)で最も多く、次いで詐欺が8,471件(同6.4%)、暴行が2,235件(同1.7%)、傷害が2,007件(同1.5%)、強盗が381件(同0.3%)などとなっている。

また、高齢者が被害者となる割合の高い罪種についてみると、詐欺(41.4%)及び殺人(25.6%)が全刑法犯被害件数に占める高齢者の割合(12.1%)より高くなっている(図表2-13-(3)-2)。

注:「略取誘拐」の認知件数には、人身売買の認知件数を含む(以下同じ)。

図表2-13-(3)-1 高齢者の刑法犯被害件数

区分 \ 年次		平23	平24	増減	
				件数	率(%)
全刑法犯	被害件数	1,167,989	1,092,178	-75,811	-6.5
	65歳以上	135,773	131,871	-3,902	-2.9
	(割合%)	11.6	12.1	0.5	-
	64歳以下	1,032,216	960,307	-71,909	-7.0
	(割合%)	88.4	87.9	-0.5	-

図表 2-13-(3)-2 罪種別被害状況

区分	年次	平23	平24	増減	
				件数	率 (%)
殺人	被害件数	1,044	1,022	-22	-2.1
	うち65歳以上	263	262	-1	-0.4
	(割合%)	25.2	25.6	0.4	-
強盗	被害件数	3,367	3,400	33	1.0
	うち65歳以上	375	381	6	1.6
	(割合%)	11.1	11.2	0.1	-
強姦	被害件数	1,185	1,240	55	4.6
	うち65歳以上	13	9	-4	-30.8
	(割合%)	1.1	0.7	-0.4	-
暴行	被害件数	29,237	31,802	2,565	8.8
	うち65歳以上	1,997	2,235	238	11.9
	(割合%)	6.8	7.0	0.2	-
傷害	被害件数	25,832	27,962	2,130	8.2
	うち65歳以上	1,751	2,007	256	14.6
	(割合%)	6.8	7.2	0.4	-
脅迫	被害件数	2,282	3,191	909	39.8
	うち65歳以上	205	244	39	19.0
	(割合%)	9.0	7.6	-1.4	-
恐喝	被害件数	4,211	4,102	-109	-2.6
	うち65歳以上	130	133	3	2.3
	(割合%)	3.1	3.2	0.1	-
窃盗	被害件数	910,461	834,259	-76,202	-8.4
	うち65歳以上	102,785	96,658	-6,127	-6.0
	(割合%)	11.3	11.6	0.3	-
詐欺	被害件数	20,018	20,477	459	2.3
	うち65歳以上	7,386	8,471	1,085	14.7
	(割合%)	36.9	41.4	4.5	-
強制わいせつ	被害件数	6,870	7,263	393	5.7
	うち65歳以上	25	24	-1	-4.0
	(割合%)	0.4	0.3	-0.1	-
公然わいせつ	被害件数	759	1,015	256	33.7
	うち65歳以上	15	15	0	0.0
	(割合%)	2.0	1.5	-0.5	-
逮捕・監禁	被害件数	315	309	-6	-1.9
	うち65歳以上	11	14	3	27.3
	(割合%)	3.5	4.5	1.0	-
略取・誘拐	被害件数	147	188	41	27.9
	うち65歳以上	0	0	0	-
	(割合%)	0.0	0.0	0.0	-

イ 場所別被害の発生状況

罪種別に高齢者（男女別）が被害に遭う割合の高い場所をみると、女性の殺人、暴行、傷害、脅迫、恐喝、窃盗及び詐欺については一戸建住宅、強姦及び逮捕監禁については共同住宅、強盗及び公然わいせつについては道路上、強制わいせつについては一戸建住宅と共同住宅が高くなっている。

また、男性の殺人、脅迫、恐喝、窃盗及び詐欺については一戸建住宅、逮捕監禁については共同住宅、強盗、暴行及び傷害については道路上が高くなっている（図表 2-13-(3)-3）。

図表 2-13-(3)-3 罪種別・場所別被害発生件数（平成 24 年）

罪種		殺人	強盗	強姦	暴行	傷害	脅迫	恐喝	窃盗	詐欺	強制わいせつ	公然わいせつ	逮捕・監禁	略取・誘拐
区分														
被害総数	女	149	214	9	806	704	100	32	35,936	5,758	23	11	5	0
	男	113	167	-	1,429	1,303	144	101	60,722	2,713	1	4	9	0
一戸建住宅	女	92	38	1	360	277	52	18	10,298	3,987	7	1	1	0
	男	48	32	-	253	234	58	23	18,351	1,539	0	0	1	0
共同住宅	女	42	10	3	134	138	19	3	3,309	922	7	1	4	0
	男	34	12	-	121	160	20	10	5,041	281	1	2	2	0
学校（幼稚園）	女	0	0	0	1	1	0	0	55	0	0	0	0	0
	男	0	0	-	2	2	1	0	88	0	0	0	0	0
道路上	女	2	115	1	124	124	5	4	6,297	129	5	5	0	0
	男	11	54	-	502	411	18	17	5,584	171	0	2	1	0
駐車（輪）場	女	0	6	1	15	12	1	0	4,589	31	0	0	0	0
	男	2	10	-	69	82	5	2	10,916	31	0	0	1	0
都市公園	女	0	0	0	3	3	0	0	176	5	0	0	0	0
	男	1	0	-	20	18	0	1	271	1	0	0	0	0
空き地	女	0	0	0	2	1	0	0	130	0	0	0	0	0
	男	0	0	-	8	7	1	1	538	2	0	0	0	0
列車内	女	0	0	0	3	0	0	0	69	2	0	0	0	0
	男	0	0	-	6	5	0	0	104	0	0	0	0	0
駅・鉄道施設	女	0	0	0	6	7	0	0	153	20	0	0	0	0
	男	0	0	-	26	19	1	3	148	17	0	0	0	0
その他	女	13	45	3	158	141	23	7	10,860	662	4	4	0	0
	男	17	59	-	422	365	40	44	19,681	671	0	0	4	0

注：「列車内」とは、地下鉄内、新幹線内及びその他の列車内とした。

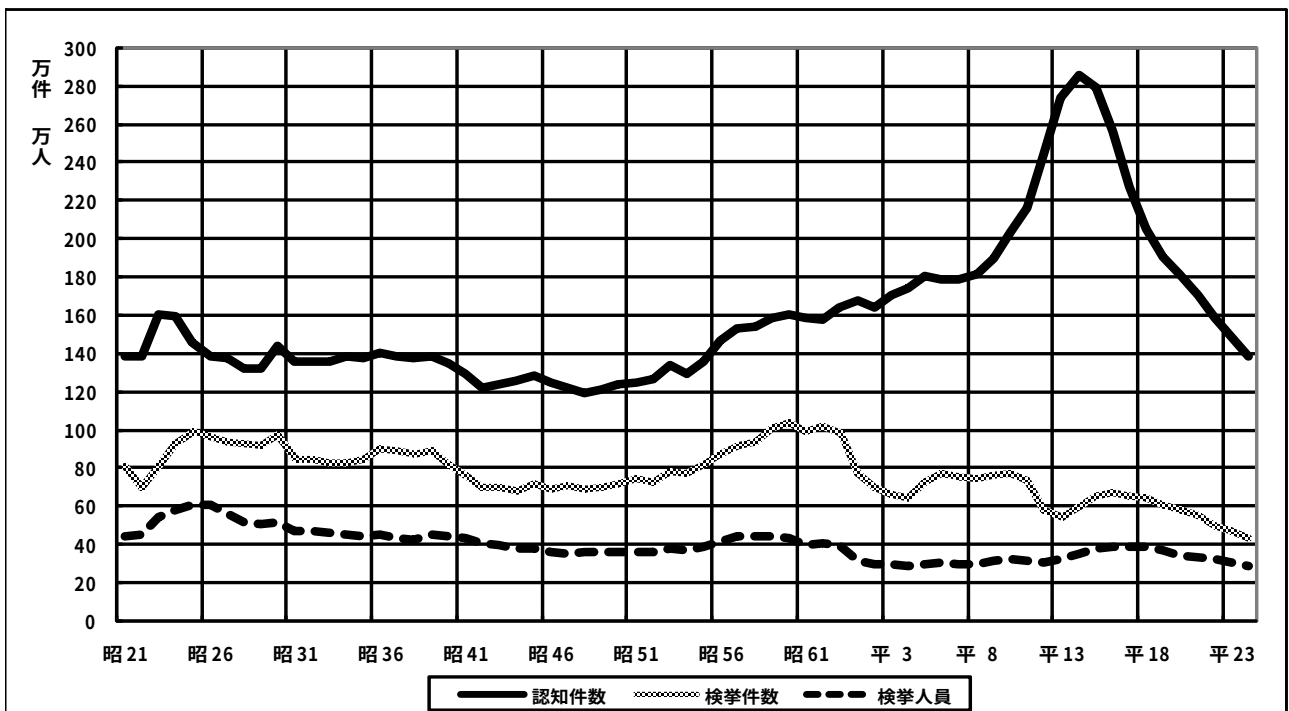
第3 資料

図表 3-1 刑法犯の認知・検挙状況の推移

年次	認知件数(件)	検挙件数(件)	検挙人員(人)
昭 21	1,384,222	800,431	442,579
昭 22	1,382,210	693,845	455,097
昭 23	1,599,968	808,619	546,991
昭 24	1,597,891	920,855	579,897
昭 25	1,461,044	991,107	607,769
昭 26	1,387,289	962,455	606,686
昭 27	1,377,273	931,863	557,521
昭 28	1,317,141	927,012	519,707
昭 29	1,324,333	916,804	503,063
昭 30	1,435,652	968,626	515,480
昭 31	1,354,102	842,660	470,522
昭 32	1,354,429	838,210	471,600
昭 33	1,353,930	818,715	457,212
昭 34	1,382,792	825,511	454,898
昭 35	1,378,817	841,718	442,527
昭 36	1,400,915	892,547	451,586
昭 37	1,384,784	885,465	430,153
昭 38	1,377,476	868,207	425,473
昭 39	1,385,358	885,168	449,842
昭 40	1,343,625	812,996	440,563
昭 41	1,293,877	756,230	433,545
昭 42	1,219,840	692,913	402,738
昭 43	1,234,198	697,407	393,831
昭 44	1,253,950	675,183	377,826
昭 45	1,279,787	710,078	380,850
昭 46	1,244,168	690,027	361,972
昭 47	1,223,546	700,378	348,788
昭 48	1,190,549	688,328	357,738
昭 49	1,211,005	696,535	363,309
昭 50	1,234,307	713,031	364,117
昭 51	1,247,631	743,048	359,360
昭 52	1,268,430	723,509	363,144
昭 53	1,336,922	779,697	381,742
昭 54	1,289,405	765,945	368,126

年次	認知件数(件)	検挙件数(件)	検挙人員(人)
昭 55	1,357,461	811,189	392,113
昭 56	1,463,228	870,513	418,162
昭 57	1,528,779	916,058	441,963
昭 58	1,540,717	929,321	438,705
昭 59	1,588,693	1,002,923	446,617
昭 60	1,607,697	1,032,879	432,250
昭 61	1,581,411	990,650	399,886
昭 62	1,577,954	1,012,076	404,762
昭 63	1,641,310	982,165	398,208
平 元	1,673,268	772,320	312,992
平 2	1,636,628	692,593	293,264
平 3	1,707,877	654,538	296,158
平 4	1,742,366	636,290	284,908
平 5	1,801,150	723,610	297,725
平 6	1,784,432	767,844	307,965
平 7	1,782,944	753,174	293,252
平 8	1,812,119	735,881	295,584
平 9	1,899,564	759,609	313,573
平 10	2,033,546	772,282	324,263
平 11	2,165,626	731,284	315,355
平 12	2,443,470	576,771	309,649
平 13	2,735,612	542,115	325,292
平 14	2,853,739	592,359	347,558
平 15	2,790,136	648,319	379,602
平 16	2,562,767	667,620	389,027
平 17	2,269,293	649,503	386,955
平 18	2,050,850	640,657	384,250
平 19	1,908,836	605,358	365,577
平 20	1,818,023	573,392	339,752
平 21	1,703,044	544,699	332,888
平 22	1,585,856	497,356	322,620
平 23	1,480,760	462,535	305,631
平 24	1,382,121	437,612	287,021

注：道路上の交通事故に係る業務上（重）過失致死傷及び危険運転致死傷（昭和40年以前は、すべての業務上（重）過失致死傷）を除く。



図表 3 - 2 刑法犯の

区分 \ 年次		平15	平16	平17	平18	平19
人口（10万人）		1,276	1,277	1,278	1,278	1,278
刑法犯総数	認知件数	2,790,136	2,562,767	2,269,293	2,050,850	1,908,836
	犯 罪 率	2,186.6	2,006.9	1,775.7	1,604.7	1,493.6
重要犯罪	認知件数	23,971	22,568	20,388	18,649	16,922
	犯 罪 率	18.8	17.7	16.0	14.6	13.2
重要窃盗犯	認知件数	469,148	407,929	338,967	282,047	241,425
	犯 罪 率	367.7	319.4	265.2	220.7	188.9
凶悪犯	認知件数	13,658	13,064	11,360	10,124	9,051
	犯 罪 率	10.7	10.2	8.9	7.9	7.1
殺人	認知件数	1,452	1,419	1,392	1,309	1,199
	犯 罪 率	1.1	1.1	1.1	1.0	0.9
強盗	認知件数	7,664	7,295	5,988	5,108	4,567
	犯 罪 率	6.0	5.7	4.7	4.0	3.6
放火	認知件数	2,070	2,174	1,904	1,759	1,519
	犯 罪 率	1.6	1.7	1.5	1.4	1.2
強姦	認知件数	2,472	2,176	2,076	1,948	1,766
	犯 罪 率	1.9	1.7	1.6	1.5	1.4
粗暴犯	認知件数	78,759	76,616	73,772	76,303	72,908
	犯 罪 率	61.7	60.0	57.7	59.7	57.0
うち) 暴行	認知件数	21,937	23,691	25,815	31,002	31,966
	犯 罪 率	17.2	18.6	20.2	24.3	25.0
うち) 傷害	認知件数	36,568	35,937	34,484	33,987	30,986
	犯 罪 率	28.7	28.1	27.0	26.6	24.2
うち) 恐喝	認知件数	17,595	14,424	10,978	8,636	7,384
	犯 罪 率	13.8	11.3	8.6	6.8	5.8
窃盗犯	認知件数	2,235,844	1,981,574	1,725,072	1,534,528	1,429,956
	犯 罪 率	1,752.2	1,551.7	1,349.8	1,200.7	1,118.9
侵入窃盗	認知件数	333,233	290,595	244,776	205,463	175,728
	犯 罪 率	261.2	227.6	191.5	160.8	137.5
乗り物盗	認知件数	695,791	629,722	556,987	517,815	510,162
	犯 罪 率	545.3	493.1	435.8	405.2	399.2
非侵入窃盗	認知件数	1,206,820	1,061,257	923,309	811,250	744,066
	犯 罪 率	945.8	831.1	722.5	634.8	582.2
知能犯	認知件数	74,754	99,258	97,500	84,271	75,999
	犯 罪 率	58.6	77.7	76.3	65.9	59.5
うち) 詐欺	認知件数	60,298	83,015	85,596	74,632	67,787
	犯 罪 率	47.3	65.0	67.0	58.4	53.0
風俗犯	認知件数	13,034	12,346	12,085	11,932	11,184
	犯 罪 率	10.2	9.7	9.5	9.3	8.8
うち) 強制わいせつ	認知件数	10,029	9,184	8,751	8,326	7,664
	犯 罪 率	7.9	7.2	6.8	6.5	6.0
その他の刑法犯	認知件数	374,087	379,909	349,504	333,692	309,738
	犯 罪 率	293.2	297.5	273.5	261.1	242.4

注 1：犯罪率は、人口10万人当たりの認知件数をいう。

注 2：人口は、総務省統計局の推計人口（各年10月1日現在）を四捨五入し、10万人単位にした数値である。

罪種別犯罪率の推移

平20	平21	平22	平23	平24	年次	区分
1,277	1,275	1,281	1,278	1,275	人口（10万人）	
1,818,023	1,703,044	1,585,856	1,480,760	1,382,121	認知件数	刑法犯総数
1,423.7	1,335.7	1,238.0	1,158.7	1,084.0	犯 罪 率	
15,847	15,158	14,788	14,013	14,412	認知件数	重要犯罪
12.4	11.9	11.5	11.0	11.3	犯 罪 率	
210,103	200,572	181,134	168,996	151,762	認知件数	重要窃盗犯
164.5	157.3	141.4	132.2	119.0	犯 罪 率	
8,581	8,314	7,576	6,996	6,961	認知件数	凶悪犯
6.7	6.5	5.9	5.5	5.5	犯 罪 率	
1,297	1,094	1,067	1,051	1,030	認知件数	殺人
1.0	0.9	0.8	0.8	0.8	犯 罪 率	
4,278	4,512	4,029	3,673	3,658	認知件数	強盗
3.4	3.5	3.1	2.9	2.9	犯 罪 率	
1,424	1,306	1,191	1,087	1,033	認知件数	放火
1.1	1.0	0.9	0.9	0.8	犯 罪 率	
1,582	1,402	1,289	1,185	1,240	認知件数	強姦
1.2	1.1	1.0	0.9	1.0	犯 罪 率	
68,948	63,995	63,646	61,698	67,183	認知件数	粗暴犯
54.0	50.2	49.7	48.3	52.7	犯 罪 率	
31,641	29,638	29,593	29,237	31,802	認知件数	うち）暴行
24.8	23.2	23.1	22.9	24.9	犯 罪 率	
28,291	26,464	26,547	25,832	27,962	認知件数	うち）傷害
22.2	20.8	20.7	20.2	21.9	犯 罪 率	
6,349	5,530	5,202	4,311	4,172	認知件数	うち）恐喝
5.0	4.3	4.1	3.4	3.3	犯 罪 率	
1,372,840	1,299,294	1,213,442	1,133,125	1,040,447	認知件数	窃盗犯
1,075.1	1,019.1	947.3	886.6	816.0	犯 罪 率	
155,047	148,488	136,552	126,077	115,155	認知件数	侵入窃盗
121.4	116.5	106.6	98.7	90.3	犯 罪 率	
501,331	497,407	464,775	430,273	384,284	認知件数	乗り物盗
392.6	390.1	362.8	336.7	301.4	犯 罪 率	
716,462	653,399	612,115	576,775	541,008	認知件数	非侵入窃盗
561.1	512.5	477.8	451.3	424.3	犯 罪 率	
73,252	53,002	44,347	40,721	40,097	認知件数	知能犯
57.4	41.6	34.6	31.9	31.4	犯 罪 率	
64,427	45,162	37,516	34,599	34,678	認知件数	うち）詐欺
50.5	35.4	29.3	27.1	27.2	犯 罪 率	
10,559	10,182	10,893	10,905	11,924	認知件数	風俗犯
8.3	8.0	8.5	8.5	9.4	犯 罪 率	
7,111	6,688	7,027	6,870	7,263	認知件数	うち）強制わいせつ
5.6	5.2	5.5	5.4	5.7	犯 罪 率	
283,843	268,257	245,952	227,315	215,509	認知件数	その他の刑法犯
222.3	210.4	192.0	177.9	169.0	犯 罪 率	

図表 3 - 3 刑法犯の都道府県別

都道府県	年次	平 15	平 16	平 17	平 18	平 19	平 20
認知件数(件)		2,790,136	2,562,767	2,269,293	2,050,850	1,908,836	1,818,023
北海道		93,863	88,249	73,071	65,417	60,880	59,733
札幌		62,143	59,413	49,839	44,834	42,133	42,078
函館		7,717	7,920	6,115	5,457	5,556	4,864
旭川		10,817	9,042	7,567	6,304	5,860	5,730
釧路		9,564	8,912	6,740	6,364	5,379	5,110
北見		3,622	2,962	2,810	2,458	1,952	1,951
東北管区		135,031	120,581	102,900	93,986	85,364	82,349
青森		18,940	17,360	14,769	13,018	11,784	11,015
岩手		13,686	12,885	11,289	10,090	9,102	9,111
宮城		43,376	40,211	33,357	31,698	29,216	28,583
秋田		10,616	9,565	8,604	7,571	6,699	6,134
山形		12,852	11,423	10,352	9,214	8,708	7,924
福島		35,561	29,137	24,529	22,395	19,855	19,582
東京		299,406	283,326	253,912	244,611	228,805	212,152
関東管区		819,702	782,924	673,226	596,152	548,734	531,032
茨城		64,844	55,633	52,266	47,183	46,087	43,885
栃木		40,469	37,943	33,380	33,059	30,358	28,550
群馬		40,753	42,643	35,453	32,060	27,769	26,730
埼玉		179,276	181,350	157,047	136,651	126,453	122,108
千葉		164,278	147,587	131,037	115,700	105,185	100,827
神奈川		186,290	183,148	142,920	122,703	112,529	113,556
新潟		35,413	31,391	28,174	26,126	25,024	23,435
山梨		14,130	12,967	10,683	9,547	8,435	7,890
長野		31,974	29,822	26,753	22,902	21,422	21,105
静岡		62,275	60,440	55,513	50,221	45,472	42,946
中部管区		361,021	328,699	306,274	249,659	229,674	226,382
富山		15,501	14,206	13,168	11,364	10,648	10,112
石川		17,770	14,648	12,739	12,524	10,669	9,689
福井		12,501	10,060	8,324	7,422	7,193	6,740
岐阜		46,956	43,160	38,649	32,864	31,252	29,799
愛知		225,706	208,170	198,937	157,382	143,948	144,694
三重		42,587	38,455	34,457	28,103	25,964	25,348
近畿管区		578,761	520,896	485,308	453,593	426,640	398,194
滋賀		27,801	23,841	18,750	17,969	16,553	15,455
京都		63,291	63,593	57,586	54,932	52,960	50,259
大阪		285,307	255,697	249,511	232,451	216,303	201,816
兵庫		153,080	135,119	121,539	113,320	107,378	97,527
奈良		28,018	23,942	21,365	18,895	18,299	18,835
和歌山		21,264	18,704	16,557	16,026	15,147	14,302
中国管区		139,054	119,383	101,354	96,602	89,411	83,293
鳥取		9,302	8,688	7,382	6,838	6,261	6,005
島根		9,217	8,864	7,586	6,782	6,001	5,802
岡山		43,423	37,195	32,102	31,632	29,257	27,357
広島		53,512	44,325	36,938	35,022	32,696	30,129
山口		23,600	20,311	17,346	16,328	15,196	14,000
四国管区		75,122	69,488	61,117	53,704	51,319	48,144
徳島		12,369	10,552	9,655	9,111	8,518	8,451
香川		22,185	20,800	16,997	14,640	13,010	11,425
愛媛		27,380	24,654	22,167	19,001	18,626	17,829
高知		13,188	13,482	12,298	10,952	11,165	10,439
九州管区		288,176	249,221	212,131	197,126	188,009	176,744
福岡		154,834	128,545	106,805	102,101	95,207	90,356
佐賀		14,351	13,033	11,040	9,660	10,112	8,683
長崎		14,454	13,911	12,833	11,148	10,730	10,323
熊本		28,973	25,628	22,191	20,054	19,553	17,429
大分		17,362	15,482	13,035	11,823	11,567	9,840
宮崎		16,389	13,610	12,030	11,352	11,498	11,105
鹿児島		18,899	17,128	14,934	13,565	13,625	13,655
沖縄		22,914	21,884	19,263	17,423	15,717	15,353

認知件数の推移

平 21	平 22	平 23	平 24	増減		年次 都道府県
				件数	率(%)	
1,703,044	1,585,856	1,480,760	1,382,121	-98,639	-6.7	認知件数(件)
52,139	51,226	49,263	45,489	-3,774	-7.7	北海道
37,417	37,147	35,585	31,998	-3,587	-10.1	札幌
3,845	3,794	3,610	3,389	-221	-6.1	函館
4,581	4,195	4,144	4,302	158	3.8	旭川
4,688	4,498	4,442	4,497	55	1.2	釧路
1,608	1,592	1,482	1,303	-179	-12.1	北見
77,356	73,970	62,345	58,284	-4,061	-6.5	東北管区
9,987	9,943	8,343	7,424	-919	-11.0	青森
8,240	7,400	6,353	6,480	127	2.0	岩手
25,859	24,614	20,605	19,561	-1,044	-5.1	宮城
5,740	5,407	4,429	4,211	-218	-4.9	秋田
8,003	7,179	6,436	5,992	-444	-6.9	山形
19,527	19,427	16,179	14,616	-1,563	-9.7	福島
205,708	195,970	186,432	172,385	-14,047	-7.5	東京
492,395	465,837	432,966	402,338	-30,628	-7.1	関東管区
42,491	41,312	38,447	36,873	-1,574	-4.1	茨城
25,990	23,500	23,067	20,369	-2,698	-11.7	栃木
24,110	22,211	20,981	20,330	-651	-3.1	群馬
113,632	106,228	100,253	93,157	-7,096	-7.1	埼玉
96,400	92,325	83,010	80,802	-2,208	-2.7	千葉
98,216	93,369	85,659	76,511	-9,148	-10.7	神奈川
22,189	21,227	20,566	18,503	-2,063	-10.0	新潟
8,134	7,919	7,376	7,934	558	7.6	山梨
20,164	18,295	17,707	15,463	-2,244	-12.7	長野
41,069	39,451	35,900	32,396	-3,504	-9.8	静岡
223,196	198,645	186,844	170,696	-16,148	-8.6	中部管区
8,740	7,679	6,681	6,678	-3	0.0	富山
8,812	8,293	8,081	7,548	-533	-6.6	石川
6,369	6,058	5,674	5,432	-242	-4.3	福井
27,928	25,017	25,230	24,561	-669	-2.7	岐阜
145,807	128,173	118,963	104,984	-13,979	-11.8	愛知
25,540	23,425	22,215	21,493	-722	-3.3	三重
362,443	329,284	307,589	293,084	-14,505	-4.7	近畿管区
15,258	15,501	13,762	15,139	1,377	10.0	滋賀
44,538	42,258	37,810	32,866	-4,944	-13.1	京都
182,537	164,096	155,206	146,966	-8,240	-5.3	大阪
90,670	80,860	76,532	75,642	-890	-1.2	兵庫
15,478	14,444	13,325	12,170	-1,155	-8.7	奈良
13,962	12,125	10,954	10,301	-653	-6.0	和歌山
78,742	75,097	70,667	65,518	-5,149	-7.3	中国管区
5,845	5,189	4,941	4,313	-628	-12.7	鳥取
5,157	5,116	4,466	4,500	34	0.8	島根
25,862	24,097	23,872	22,005	-1,867	-7.8	岡山
28,853	28,335	25,937	23,902	-2,035	-7.8	広島
13,025	12,360	11,451	10,798	-653	-5.7	山口
44,851	42,901	39,853	35,976	-3,877	-9.7	四国管区
7,389	7,108	6,492	6,046	-446	-6.9	徳島
10,884	10,432	9,198	8,849	-349	-3.8	香川
16,827	16,672	16,156	13,999	-2,157	-13.4	愛媛
9,751	8,689	8,007	7,082	-925	-11.6	高知
166,214	152,926	144,801	138,351	-6,450	-4.5	九州管区
86,057	78,809	73,421	72,240	-1,181	-1.6	福岡
8,271	8,138	8,150	7,551	-599	-7.3	佐賀
9,199	8,950	8,491	8,460	-31	-0.4	長崎
17,015	15,309	14,045	13,104	-941	-6.7	熊本
9,495	8,691	8,197	6,999	-1,198	-14.6	大分
9,602	8,750	9,490	8,428	-1,062	-11.2	宮崎
12,837	11,392	10,604	10,503	-101	-1.0	鹿児島
13,738	12,887	12,403	11,066	-1,337	-10.8	沖縄

図表 3 - 4 刑法犯の都道府県別

年次 都道府県	平 15	平 16	平 17	平 18	平 19	平 20
検挙件数(件)	648,319	667,620	649,503	640,657	605,358	573,392
北海道	17,909	21,213	22,257	23,036	22,657	21,639
札幌	11,181	14,041	15,101	16,094	15,917	15,455
函館	1,561	2,086	1,564	1,630	1,808	1,484
旭川	2,077	2,244	3,029	2,163	2,057	1,958
釧路	2,025	1,939	1,789	2,294	1,885	2,104
北見	1,065	903	774	855	990	638
東北管区	43,432	38,726	36,939	34,284	31,668	30,011
青森	5,855	5,235	5,029	4,393	4,080	4,046
岩手	4,495	4,452	4,306	4,195	3,754	3,457
宮城	11,976	10,516	9,819	9,410	8,731	8,382
秋田	4,869	4,589	4,162	4,071	3,817	3,410
山形	5,130	4,125	5,069	4,024	3,890	3,630
福島	11,107	9,809	8,554	8,191	7,396	7,086
東京	85,995	89,252	86,444	89,549	79,277	67,496
関東管区	170,652	189,826	188,264	193,509	186,541	175,365
茨城	13,977	16,662	15,967	17,031	18,824	17,476
栃木	9,355	10,268	9,065	9,258	10,001	9,866
群馬	10,054	14,067	11,052	10,829	10,472	10,522
埼玉	25,788	32,413	31,161	34,060	32,550	31,140
千葉	33,458	32,902	35,528	38,122	34,911	30,608
神奈川	40,019	46,458	47,286	47,342	44,747	41,913
新潟	10,096	9,127	8,146	8,183	8,298	7,755
山梨	3,245	3,062	4,472	3,931	3,500	2,964
長野	8,748	8,970	8,490	9,669	9,319	8,893
静岡	15,912	15,897	17,097	15,084	13,919	14,228
中部管区	80,140	76,286	74,913	64,962	57,174	60,186
富山	4,829	4,085	3,802	3,573	3,021	2,949
石川	6,667	6,406	5,272	5,208	4,406	3,714
福井	4,369	3,520	4,388	3,546	3,291	3,245
岐阜	9,446	8,284	9,636	9,236	9,249	10,018
愛知	46,468	45,095	42,313	32,166	29,043	33,607
三重	8,361	8,896	9,502	11,233	8,164	6,653
近畿管区	106,410	105,720	106,802	102,594	100,692	96,651
滋賀	8,191	7,565	8,153	6,484	6,715	6,111
京都	15,908	16,089	15,385	14,978	14,073	13,220
大阪	42,137	41,341	41,290	39,192	38,079	39,025
兵庫	25,973	28,817	28,846	29,238	28,457	26,838
奈良	9,253	7,802	9,022	8,805	8,475	7,301
和歌山	4,948	4,106	4,106	3,897	4,893	4,156
中国管区	41,564	39,438	37,386	35,360	34,370	33,315
鳥取	4,541	3,574	3,437	3,862	3,203	3,013
島根	3,506	3,166	3,652	3,305	3,006	3,000
岡山	9,710	9,713	9,361	9,525	8,136	8,183
広島	13,525	14,568	12,279	11,350	13,006	12,008
山口	10,282	8,417	8,657	7,318	7,019	7,111
四国管区	21,543	20,703	21,134	20,918	18,624	17,993
徳島	5,084	3,899	4,411	3,843	3,506	3,508
香川	5,415	5,791	4,934	5,193	4,948	4,965
愛媛	6,694	7,150	8,008	7,977	6,681	6,568
高知	4,350	3,863	3,781	3,905	3,489	2,952
九州管区	80,674	86,456	75,364	76,445	74,355	70,736
福岡	37,121	40,152	34,059	35,372	34,774	34,398
佐賀	4,176	4,137	4,216	4,636	4,079	3,460
長崎	6,896	8,465	5,861	6,125	5,978	4,785
熊本	9,546	11,731	8,944	7,641	8,256	7,356
大分	5,483	5,716	4,911	5,114	4,028	4,447
宮崎	4,606	4,412	4,568	5,359	4,750	4,652
鹿児島	6,619	6,083	6,130	5,400	5,282	5,002
沖縄	6,227	5,760	6,675	6,798	7,208	6,636

検挙件数の推移

平 21	平 22	平 23	平 24	増減		年次 都道府県
				件数	率(%)	
544,699	497,356	462,535	437,612	-24,923	-5.4	検挙件数(件)
17,394	16,083	15,955	15,723	-232	-1.5	北海道
11,793	11,199	11,114	10,631	-483	-4.3	札幌
1,518	1,025	1,208	1,237	29	2.4	函館
1,731	1,580	1,566	1,378	-188	-12.0	旭川
1,697	1,597	1,399	1,889	490	35.0	釧路
655	682	668	588	-80	-12.0	北見
28,390	28,280	23,671	24,779	1,108	4.7	東北管区
4,030	3,892	3,655	3,413	-242	-6.6	青森
3,626	3,990	2,718	2,765	47	1.7	岩手
7,894	7,518	6,125	6,896	771	12.6	宮城
2,974	2,994	2,516	2,516	0	0.0	秋田
3,795	3,636	3,441	3,620	179	5.2	山形
6,071	6,250	5,216	5,569	353	6.8	福島
64,239	58,227	51,198	48,915	-2,283	-4.5	関東管区
168,484	152,497	144,322	132,694	-11,628	-8.1	茨城
14,265	12,422	12,490	11,463	-1,027	-8.2	栃木
9,687	8,239	7,904	7,585	-319	-4.0	群馬
11,370	11,078	9,100	9,279	179	2.0	埼玉
30,846	30,048	29,126	26,704	-2,422	-8.3	埼玉
27,627	24,918	21,957	21,515	-442	-2.0	千葉
40,380	35,964	33,420	27,855	-5,565	-16.7	神奈川
8,406	7,783	8,158	7,313	-845	-10.4	新潟
3,154	3,046	2,589	2,444	-145	-5.6	山梨
8,296	6,589	6,186	6,418	232	3.8	長野
14,453	12,410	13,392	12,118	-1,274	-9.5	静岡
65,867	58,673	57,180	52,347	-4,833	-8.5	中部管区
2,777	2,428	2,189	2,113	-76	-3.5	富山
3,066	2,905	3,111	2,849	-262	-8.4	石川
3,286	2,788	2,593	2,445	-148	-5.7	福井
10,843	7,903	6,687	6,694	7	0.1	岐阜
39,271	36,169	35,409	32,773	-2,636	-7.4	愛知
6,624	6,480	7,191	5,473	-1,718	-23.9	三重
89,300	80,505	76,335	72,175	-4,160	-5.4	近畿管区
4,873	4,326	4,737	4,557	-180	-3.8	滋賀
11,743	10,944	10,076	8,816	-1,260	-12.5	京都
35,386	29,841	29,946	29,127	-819	-2.7	大阪
25,948	23,624	20,884	20,884	0	0.0	兵庫
6,649	7,602	6,524	4,834	-1,690	-25.9	奈良
4,701	4,168	4,168	3,957	-211	-5.1	和歌山
28,539	28,015	26,612	25,802	-810	-3.0	中国管区
2,518	2,682	2,105	2,310	205	9.7	鳥取
2,691	2,751	2,436	2,406	-30	-1.2	島根
7,176	7,372	7,120	7,342	222	3.1	岡山
10,353	9,920	10,142	9,112	-1,030	-10.2	広島
5,801	5,290	4,809	4,632	-177	-3.7	山口
18,041	16,713	15,258	13,783	-1,475	-9.7	四国管区
3,403	3,145	3,037	2,546	-491	-16.2	徳島
4,755	4,616	3,929	3,910	-19	-0.5	香川
6,780	5,944	5,525	4,888	-637	-11.5	愛媛
3,103	3,008	2,767	2,439	-328	-11.9	高知
64,445	58,363	52,004	51,394	-610	-1.2	九州管区
30,003	27,595	21,377	23,286	1,909	8.9	福岡
3,661	3,464	3,470	2,804	-666	-19.2	佐賀
4,768	4,343	4,355	4,552	197	4.5	長崎
7,740	6,597	6,186	5,551	-635	-10.3	熊本
3,795	3,357	3,747	3,093	-654	-17.5	大分
3,932	3,476	3,838	3,497	-341	-8.9	宮崎
4,983	4,514	3,973	4,378	405	10.2	鹿児島
5,563	5,017	5,058	4,233	-825	-16.3	沖縄

図表 3－5 刑法犯の都道府県別

年次 都道府県	平15	平16	平17	平18	平 19	平 20
検挙人員(人)	379,602	389,027	386,955	384,250	365,577	339,752
北海道	12,484	14,383	13,197	13,485	13,888	12,643
札幌	8,323	9,590	8,577	9,012	9,401	8,435
函館	993	1,300	1,210	1,075	1,115	1,147
旭川	1,328	1,394	1,426	1,469	1,611	1,340
釧路	1,210	1,449	1,280	1,357	1,334	1,261
北見	630	650	704	572	427	460
東北管区	26,731	24,975	22,934	21,499	19,932	18,802
青森	4,005	3,537	3,248	3,242	3,087	2,967
岩手	2,910	2,886	2,631	2,677	2,453	2,321
宮城	7,772	7,413	6,341	5,585	5,168	4,949
秋田	2,758	2,652	2,336	2,287	1,996	1,839
山形	2,958	2,635	2,887	2,542	2,356	2,445
福島	6,328	5,852	5,491	5,166	4,872	4,281
東京	54,280	57,612	58,837	58,775	53,702	46,784
関東管区	96,636	103,931	107,113	109,554	103,526	98,123
茨城	5,960	6,957	6,835	6,622	6,892	6,590
栃木	5,114	5,680	5,910	5,447	5,520	5,097
群馬	4,756	4,870	4,684	4,144	4,282	4,250
埼玉	15,631	18,433	19,589	20,255	19,307	18,289
千葉	15,411	16,308	17,230	19,895	17,604	16,046
神奈川	26,576	28,817	30,365	31,447	28,841	26,969
新潟	5,550	5,739	5,758	5,712	5,642	5,800
山梨	1,968	1,934	2,547	2,047	2,060	1,947
長野	5,403	5,125	4,811	4,947	4,867	5,005
静岡	10,267	10,068	9,384	9,038	8,511	8,130
中部管区	34,389	35,756	33,449	35,945	33,672	30,441
富山	3,076	2,791	2,612	2,432	2,046	2,142
石川	2,994	2,964	2,892	2,957	2,403	2,195
福井	2,438	1,965	1,823	1,670	1,603	1,696
岐阜	5,199	5,449	4,875	4,751	4,529	4,375
愛知	16,344	18,058	16,857	19,946	19,201	16,488
三重	4,338	4,529	4,390	4,189	3,890	3,545
近畿管区	69,678	69,537	70,851	68,971	67,886	62,902
滋賀	3,231	3,152	2,988	2,639	2,517	2,585
京都	8,667	9,784	10,178	9,941	9,550	8,412
大阪	33,456	32,201	31,919	30,531	30,113	28,042
兵庫	17,560	17,743	19,179	19,037	19,335	17,965
奈良	3,710	3,439	3,711	3,793	3,474	3,359
和歌山	3,054	3,218	2,876	3,030	2,897	2,539
中国管区	24,941	23,614	22,914	21,641	20,900	19,923
鳥取	2,390	2,081	1,988	1,734	1,572	1,532
島根	1,813	1,894	1,821	1,610	1,418	1,304
岡山	7,196	6,476	6,567	6,123	5,420	5,269
広島	8,500	8,586	8,079	7,856	8,179	7,667
山口	5,042	4,577	4,459	4,318	4,311	4,151
四国管区	12,519	12,648	11,931	11,125	10,880	10,622
徳島	2,454	2,275	2,076	2,036	2,027	2,024
香川	3,387	3,456	3,203	3,171	3,000	2,843
愛媛	4,105	4,225	3,974	3,732	3,660	3,764
高知	2,573	2,692	2,678	2,186	2,193	1,991
九州管区	47,944	46,571	45,729	43,255	41,191	39,512
福岡	22,838	21,912	20,866	19,712	18,898	18,125
佐賀	2,243	2,200	2,059	1,762	2,079	1,810
長崎	3,907	3,894	4,106	3,676	3,753	3,328
熊本	4,963	4,812	4,872	4,711	4,234	4,687
大分	3,378	3,517	2,897	2,730	2,175	2,116
宮崎	2,724	2,691	2,787	3,142	2,868	2,562
鹿児島	3,836	3,569	3,796	3,334	3,224	3,012
沖縄	4,055	3,976	4,346	4,188	3,960	3,872

検挙人員の推移

平 21	平 22	平 23	平 24	増減		年次 都道府県
				件数	率(%)	
332,888	322,620	305,631	287,021	-18,610	-6.1	検挙人員(人)
11,479	10,563	10,518	9,797	-721	-6.9	北 海 道
7,827	7,347	7,223	6,558	-665	-9.2	札 幌
898	777	850	861	11	1.3	函 館
1,266	1,051	1,084	895	-189	-17.4	旭 川
1,048	1,036	983	1,066	83	8.4	釧 路
440	352	378	417	39	10.3	北 見
18,608	18,346	15,970	16,025	55	0.3	東 北 管 区
2,975	2,998	2,760	2,653	-107	-3.9	青 森
2,311	1,997	1,807	1,939	132	7.3	岩 手
4,750	4,549	3,899	4,001	102	2.6	宮 城
1,920	1,964	1,735	1,689	-46	-2.7	秋 田
2,605	2,645	2,386	2,448	62	2.6	山 形
4,047	4,193	3,383	3,295	-88	-2.6	福 島
46,716	44,548	40,065	38,848	-1,217	-3.0	東 京
94,637	95,359	93,431	86,042	-7,389	-7.9	関 東 管 区
6,734	6,643	6,032	5,611	-421	-7.0	茨 城
5,679	5,410	4,846	4,687	-159	-3.3	栃 木
4,472	5,717	5,331	4,745	-586	-11.0	群 馬
19,345	19,296	19,672	18,681	-991	-5.0	埼 玉
15,278	14,988	14,028	13,446	-582	-4.1	千 葉
22,558	23,304	23,488	20,038	-3,450	-14.7	神 奈 川
5,544	5,337	5,315	4,980	-335	-6.3	新 潟
1,924	1,721	1,569	1,599	30	1.9	山 梨
4,959	4,537	4,494	4,061	-433	-9.6	長 野
8,144	8,406	8,656	8,194	-462	-5.3	静 岡
31,773	30,459	28,423	25,726	-2,697	-9.5	中 部 管 区
2,039	1,762	1,694	1,526	-168	-9.9	富 山
2,163	2,051	2,054	1,752	-302	-14.7	石 川
1,606	1,450	1,491	1,518	27	1.8	福 井
4,200	3,776	3,598	3,332	-266	-7.4	岐 阜
18,186	18,100	16,520	14,700	-1,820	-11.0	愛 知
3,579	3,320	3,066	2,898	-168	-5.5	三 重
61,830	56,369	54,411	51,425	-2,986	-5.5	近 畿 管 区
2,971	2,705	2,584	2,519	-65	-2.5	滋 賀
8,489	8,147	7,842	6,759	-1,083	-13.8	京 都
25,556	22,715	22,868	21,901	-967	-4.2	大 阪
18,793	16,913	15,360	14,798	-562	-3.7	兵 庫
3,241	3,168	3,119	3,027	-92	-2.9	奈 良
2,780	2,721	2,638	2,421	-217	-8.2	和 歌 山
19,226	18,515	17,974	17,399	-575	-3.2	中 国 管 区
1,411	1,336	1,270	1,293	23	1.8	鳥 取
1,300	1,180	1,258	1,201	-57	-4.5	島 根
5,191	4,619	4,930	5,010	80	1.6	岡 山
7,680	7,571	7,201	6,702	-499	-6.9	広 島
3,644	3,809	3,315	3,193	-122	-3.7	山 口
10,596	10,318	9,855	9,108	-747	-7.6	四 国 管 区
1,865	1,827	1,657	1,501	-156	-9.4	徳 島
3,052	2,810	2,539	2,558	19	0.7	香 川
3,645	3,601	3,803	3,281	-522	-13.7	愛 媛
2,034	2,080	1,856	1,768	-88	-4.7	高 知
38,023	38,143	34,984	32,651	-2,333	-6.7	九 州 管 区
15,938	16,286	14,408	13,297	-1,111	-7.7	福 岡
2,046	2,211	2,018	1,924	-94	-4.7	佐 賀
3,261	3,159	3,251	3,152	-99	-3.0	長 崎
4,881	4,607	4,385	3,957	-428	-9.8	熊 本
2,133	2,162	1,833	1,876	43	2.3	大 分
2,426	2,464	2,278	2,128	-150	-6.6	宮 崎
3,322	3,097	2,937	3,045	108	3.7	鹿 児 島
4,016	4,157	3,874	3,272	-602	-15.5	沖 縄

図表 3 - 6 刑法犯の包括罪種別

区分 \ 年次		平 15	平 16	平17	平 18	平 19	平 20
刑法犯	認知件数(件)	2,790,136	2,562,767	2,269,293	2,050,850	1,908,836	1,818,023
	検挙件数(件)	648,319	667,620	649,503	640,657	605,358	573,392
	検挙人員(人)	379,602	389,027	386,955	384,250	365,577	339,752
	凶悪犯	認知件数	13,658	13,064	11,360	10,124	9,051
		検挙件数	8,238	7,924	7,418	7,125	6,461
		検挙人員	8,362	7,519	7,047	6,459	5,634
	粗暴犯	認知件数	78,759	76,616	73,772	76,303	72,908
		検挙件数	42,296	41,128	44,037	49,409	49,656
		検挙人員	49,530	46,801	49,156	54,505	51,924
	窃盗犯	認知件数	2,235,844	1,981,574	1,725,072	1,534,528	1,429,956
		検挙件数	433,918	447,950	429,038	416,281	395,243
		検挙人員	191,403	195,151	194,119	187,654	180,446
	知能犯	認知件数	74,754	99,258	97,500	84,271	75,999
		検挙件数	40,574	36,299	38,151	37,296	33,878
		検挙人員	13,653	14,850	15,053	15,760	15,145
	風俗犯	認知件数	13,034	12,346	12,085	11,932	11,184
		検挙件数	6,165	6,070	6,422	6,752	6,462
		検挙人員	5,886	5,688	6,373	6,261	6,279
	その他	認知件数	374,087	379,909	349,504	333,692	309,738
		検挙件数	117,128	128,249	124,437	123,794	113,658
		検挙人員	110,768	119,018	115,207	113,611	103,502

図表 3 - 7 凶悪犯の罪種別

区分 \ 年次		平 15	平 16	平17	平 18	平 19	平 20
凶悪犯	認知件数(件)	13,658	13,064	11,360	10,124	9,051	8,581
	検挙件数(件)	8,238	7,924	7,418	7,125	6,461	6,229
	検挙人員(人)	8,362	7,519	7,047	6,459	5,923	5,634
	殺人	認知件数	1,452	1,419	1,392	1,309	1,199
		検挙件数	1,366	1,342	1,345	1,267	1,157
		検挙人員	1,456	1,391	1,338	1,241	1,161
	強盗	認知件数	7,664	7,295	5,988	5,108	4,567
		検挙件数	3,855	3,666	3,269	3,061	2,790
		検挙人員	4,698	4,154	3,844	3,335	2,985
	放火	認知件数	2,070	2,174	1,904	1,759	1,519
		検挙件数	1,448	1,513	1,361	1,337	1,120
		検挙人員	866	867	791	825	764
	強姦	認知件数	2,472	2,176	2,076	1,948	1,766
		検挙件数	1,569	1,403	1,443	1,460	1,394
		検挙人員	1,342	1,107	1,074	1,058	1,013

認知・検挙状況の推移

平 21	平 22	平 23	平 24	増減		年次	
				件数・人員	率(%)	区分	
1,703,044	1,585,856	1,480,760	1,382,121	-98,639	-6.7	認知件数(件)	刑法犯
544,699	497,356	462,535	437,612	-24,923	-5.4	検挙件数(件)	
332,888	322,620	305,631	287,021	-18,610	-6.1	検挙人員(人)	
8,314	7,576	6,996	6,961	-35	-0.5	認知件数	凶悪犯
6,073	5,503	5,287	5,368	81	1.5	検挙件数	
5,654	5,021	4,786	4,779	-7	-0.1	検挙人員	
63,995	63,646	61,698	67,183	5,485	8.9	認知件数	粗暴犯
45,719	45,932	45,095	49,220	4,125	9.1	検挙件数	
49,225	49,525	48,582	52,577	3,995	8.2	検挙人員	
1,299,294	1,213,442	1,133,125	1,040,447	-92,678	-8.2	認知件数	窃盗犯
361,969	327,786	305,922	286,638	-19,284	-6.3	検挙件数	
175,823	175,214	168,514	153,864	-14,650	-8.7	検挙人員	
53,002	44,347	40,721	40,097	-624	-1.5	認知件数	知能犯
34,147	29,688	26,433	24,105	-2,328	-8.8	検挙件数	
15,433	14,138	13,262	13,665	403	3.0	検挙人員	
10,182	10,893	10,905	11,924	1,019	9.3	認知件数	風俗犯
6,478	6,742	6,842	7,635	793	11.6	検挙件数	
5,951	6,033	5,881	6,204	323	5.5	検挙人員	
268,257	245,952	227,315	215,509	-11,806	-5.2	認知件数	その他
90,313	81,705	72,956	64,646	-8,310	-11.4	検挙件数	
80,802	72,689	64,606	55,932	-8,674	-13.4	検挙人員	

認知・検挙状況の推移

平 21	平 22	平 23	平 24	増減		年次	
				件数・人員	率(%)	区分	
8,314	7,576	6,996	6,961	-35	-0.5	認知件数(件)	凶悪犯
6,073	5,503	5,287	5,368	81	1.5	検挙件数(件)	
5,654	5,021	4,786	4,779	-7	-0.1	検挙人員(人)	
1,094	1,067	1,051	1,030	-21	-2.0	認知件数	殺人
1,074	1,029	1,029	963	-66	-6.4	検挙件数	
1,036	999	971	899	-72	-7.4	検挙人員	
4,512	4,029	3,673	3,658	-15	-0.4	認知件数	強盗
2,923	2,516	2,385	2,486	101	4.2	検挙件数	
3,069	2,568	2,431	2,430	-1	0.0	検挙人員	
1,306	1,191	1,087	1,033	-54	-5.0	認知件数	放火
913	895	880	822	-58	-6.6	検挙件数	
631	651	616	592	-24	-3.9	検挙人員	
1,402	1,289	1,185	1,240	55	4.6	認知件数	強姦
1,163	1,063	993	1,097	104	10.5	検挙件数	
918	803	768	858	90	11.7	検挙人員	

図表 3 - 8 粗暴犯の罪種別

区分 \ 年次		平 15	平 16	平17	平 18	平 19	平 20
粗暴犯	認知件数(件)	78,759	76,616	73,772	76,303	72,908	68,948
	検挙件数(件)	42,296	41,128	44,037	49,409	49,656	47,772
	検挙人員(人)	49,530	46,801	49,156	54,505	54,163	51,924
	凶器準備集合	認知件数	34	27	16	20	16
		検挙件数	29	28	16	20	13
		検挙人員	419	279	95	155	83
	暴行	認知件数	21,937	23,691	25,815	31,002	31,966
		検挙件数	9,539	10,666	13,703	19,405	21,463
		検挙人員	10,124	11,002	13,970	19,802	22,379
	傷害	認知件数	36,568	35,937	34,484	33,987	30,986
		検挙件数	23,659	22,938	23,304	23,331	22,062
		検挙人員	28,999	27,069	27,130	27,075	25,458
	脅迫	認知件数	2,625	2,537	2,479	2,658	2,553
		検挙件数	1,567	1,581	1,638	1,812	1,869
		検挙人員	1,457	1,388	1,522	1,693	1,824
	恐喝	認知件数	17,595	14,424	10,978	8,636	7,384
		検挙件数	7,502	5,915	5,376	4,841	4,242
		検挙人員	8,531	7,063	6,439	5,780	4,474

図表 3 - 9 窃盗犯の

区分 \ 年次		平 15	平 16	平17	平 18	平 19	平 20
窃盗犯	認知件数(件)	2,235,844	1,981,574	1,725,072	1,534,528	1,429,956	1,372,840
	検挙件数(件)	433,918	447,950	429,038	416,281	395,243	379,839
	検挙人員(人)	191,403	195,151	194,119	187,654	180,446	174,738
	侵入窃盗	認知件数	333,233	290,595	244,776	205,463	175,728
		検挙件数	109,920	104,816	104,454	100,824	96,266
		検挙人員	14,208	13,548	12,564	12,434	12,037
	乗り物盗	認知件数	695,791	629,722	556,987	517,815	510,162
		検挙件数	56,867	61,308	58,841	56,659	51,911
		検挙人員	41,265	38,952	37,768	36,254	33,193
	非侵入窃盗	認知件数	1,206,820	1,061,257	923,309	811,250	744,066
		検挙件数	267,131	281,826	265,743	258,798	247,066
		検挙人員	135,930	142,651	143,787	138,966	135,216

認知・検挙状況の推移

平 21	平 22	平 23	平 24	増減		年次	
				件数・人員	率(%)	区分	
63,995	63,646	61,698	67,183	5,485	8.9	認知件数(件)	粗暴犯
45,719	45,932	45,095	49,220	4,125	9.1	検挙件数(件)	
49,225	49,525	48,582	52,577	3,995	8.2	検挙人員(人)	
15	6	6	6	0	0.0	認知件数	凶器準備集合
15	8	5	7	2	40.0	検挙件数	
73	45	24	20	-4	-16.7	検挙人員	
29,638	29,593	29,237	31,802	2,565	8.8	認知件数	暴行
21,238	21,667	21,666	23,317	1,651	7.6	検挙件数	
21,376	22,076	21,999	23,610	1,611	7.3	検挙人員	
26,464	26,547	25,832	27,962	2,130	8.2	認知件数	傷害
19,388	19,350	18,870	20,833	1,963	10.4	検挙件数	
22,253	22,030	21,572	23,752	2,180	10.1	検挙人員	
2,348	2,298	2,312	3,241	929	40.2	認知件数	脅迫
1,781	1,734	1,823	2,452	629	34.5	検挙件数	
1,562	1,613	1,663	2,145	482	29.0	検挙人員	
5,530	5,202	4,311	4,172	-139	-3.2	認知件数	恐喝
3,297	3,173	2,731	2,611	-120	-4.4	検挙件数	
3,961	3,761	3,324	3,050	-274	-8.2	検挙人員	

手口別認知・検挙状況の推移

平 21	平 22	平 23	平 24	増減		年次	
				件数・人員	率(%)	区分	
1,299,294	1,213,442	1,133,125	1,040,447	-92,678	-8.2	認知件数(件)	窃盗犯
361,969	327,786	305,922	286,638	-19,284	-6.3	検挙件数(件)	
175,823	175,214	168,514	153,864	-14,650	-8.7	検挙人員(人)	
148,488	136,552	126,077	115,155	-10,922	-8.7	認知件数	侵入窃盗
81,545	70,307	65,270	62,298	-2,972	-4.6	検挙件数	
10,852	10,766	10,586	9,719	-867	-8.2	検挙人員	
497,407	464,775	430,273	384,284	-45,989	-10.7	認知件数	乗り物盗
45,741	40,996	37,716	33,481	-4,235	-11.2	検挙件数	
28,617	26,842	23,667	20,788	-2,879	-12.2	検挙人員	
653,399	612,115	576,775	541,008	-35,767	-6.2	認知件数	非侵入窃盗
234,683	216,483	202,936	190,859	-12,077	-6.0	検挙件数	
136,354	137,606	134,261	123,357	-10,904	-8.1	検挙人員	

図表 3-10 侵入窃盗の

区分		年次	平 15	平 16	平17	平 18	平 19	平 20
侵入窃盗	認知件数(件)		333,233	290,595	244,776	205,463	175,728	155,047
	検挙件数(件)		109,920	104,816	104,454	100,824	96,266	87,047
	検挙人員(人)		14,208	13,548	12,564	12,434	12,037	11,079
	うち) 住宅対象	認知件数	190,473	170,991	142,945	120,023	103,490	91,082
		検挙件数	59,133	57,948	60,486	58,717	54,491	49,600
		検挙人員	5,318	5,209	4,875	4,830	4,462	4,182
	空き巣	認知件数	146,808	133,159	111,700	91,461	76,894	67,436
		検挙件数	44,368	43,521	45,611	43,106	40,893	37,432
		検挙人員	3,776	3,686	3,477	3,403	3,120	2,900
	忍込み	認知件数	34,893	29,456	24,159	22,442	21,154	18,810
		検挙件数	12,452	12,211	12,362	13,143	11,344	10,098
		検挙人員	863	889	741	810	784	726
	居空き	認知件数	8,772	8,376	7,086	6,120	5,442	4,836
		検挙件数	2,313	2,216	2,513	2,468	2,254	2,070
		検挙人員	679	634	657	617	558	556
	うち) 金庫破り	認知件数	9,262	7,844	6,472	4,921	3,881	3,051
		検挙件数	3,294	3,157	3,300	2,696	2,787	2,169
		検挙人員	678	509	544	437	407	343
	うち) 学校荒し	認知件数	6,647	5,024	3,923	3,133	2,525	2,303
		検挙件数	2,400	2,214	2,009	1,980	1,408	1,185
		検挙人員	1,239	1,115	894	738	655	504
	うち) 事務所荒し	認知件数	43,686	36,511	30,465	25,181	20,347	17,423
		検挙件数	16,472	13,016	11,988	11,884	11,236	10,862
		検挙人員	1,588	1,421	1,313	1,280	1,154	1,053
	うち) 出店荒し	認知件数	48,526	39,739	34,573	27,718	22,821	20,272
		検挙件数	17,385	16,922	16,106	14,756	14,558	12,204
		検挙人員	2,311	2,055	1,837	1,807	1,651	1,567
	うち) 倉庫荒し	認知件数	5,872	7,701	7,143	7,573	7,158	6,803
		検挙件数	2,395	2,735	2,834	3,315	3,589	3,260
		検挙人員	976	1,204	1,187	1,301	1,462	1,386

図表 3-11 乗り物盗の

区分		年次	平 15	平 16	平17	平18	平19	平20
乗り物盗	認知件数(件)		695,791	629,722	556,987	517,815	510,162	501,331
	検挙件数(件)		56,867	61,308	58,841	56,659	51,911	49,552
	検挙人員(人)		41,265	38,952	37,768	36,254	33,193	29,162
	自動車盗	認知件数	64,223	58,737	46,728	36,058	31,790	27,515
		検挙件数	11,931	13,765	14,898	13,288	13,507	12,569
		検挙人員	4,599	3,823	3,366	3,056	2,380	2,228
	オートバイ盗	認知件数	154,979	126,717	104,155	93,294	83,028	80,354
		検挙件数	12,447	11,715	11,621	12,426	10,161	8,930
		検挙人員	11,213	9,203	8,665	7,766	7,131	6,062
	自転車盗	認知件数	476,589	444,268	406,104	388,463	395,344	393,462
		検挙件数	32,489	35,828	32,322	30,945	28,243	28,053
		検挙人員	25,453	25,926	25,737	25,432	23,682	20,872

手口別認知・検挙状況の推移

平 21	平 22	平 23	平 24	増減		年次		区分
				件数・人員	率(%)			
148,488	136,552	126,077	115,155	-10,922	-8.7	認知件数(件)		侵入窃盗
81,545	70,307	65,270	62,298	-2,972	-4.6	検挙件数(件)		
10,852	10,766	10,586	9,719	-867	-8.2	検挙人員(人)		
81,436	74,558	66,872	60,938	-5,934	-8.9	認知件数		うち) 住宅対象
48,157	39,880	35,546	32,491	-3,055	-8.6	検挙件数		
4,170	4,072	3,930	3,671	-259	-6.6	検挙人員		
59,213	54,458	46,785	43,607	-3,178	-6.8	認知件数		空き巣
34,466	28,364	25,282	22,459	-2,823	-11.2	検挙件数		
2,973	2,927	2,740	2,552	-188	-6.9	検挙人員		
17,443	16,175	16,393	13,636	-2,757	-16.8	認知件数		忍込み
11,617	9,732	8,773	8,320	-453	-5.2	検挙件数		
642	615	678	673	-5	-0.7	検挙人員		
4,780	3,925	3,694	3,695	1	0.0	認知件数		居空き
2,074	1,784	1,491	1,712	221	14.8	検挙件数		
555	530	512	446	-66	-12.9	検挙人員		
3,252	2,917	2,611	2,593	-18	-0.7	認知件数		うち) 金庫破り
1,751	1,572	1,417	1,325	-92	-6.5	検挙件数		
347	320	288	296	8	2.8	検挙人員		
2,167	1,817	1,708	1,331	-377	-22.1	認知件数		うち) 学校荒し
1,067	1,010	987	840	-147	-14.9	検挙件数		
556	465	431	303	-128	-29.7	検挙人員		
18,032	14,796	13,309	12,366	-943	-7.1	認知件数		うち) 事務所荒し
9,686	6,672	6,371	7,594	1,223	19.2	検挙件数		
1,045	963	897	858	-39	-4.3	検挙人員		
23,007	20,465	19,022	16,424	-2,598	-13.7	認知件数		うち) 出店荒し
11,331	10,871	9,889	8,861	-1,028	-10.4	検挙件数		
1,573	1,498	1,522	1,373	-149	-9.8	検挙人員		
6,520	7,456	7,902	7,290	-612	-7.7	認知件数		うち) 倉庫荒し
3,052	3,607	3,798	3,531	-267	-7.0	検挙件数		
1,239	1,325	1,414	1,299	-115	-8.1	検挙人員		

手口別認知・検挙状況の推移

平21	平22	平23	平24	増減		年次		区分
				件数・人員	率(%)			
497,407	464,775	430,273	384,284	-45,989	-10.7	認知件数(件)		乗り物盗
45,741	40,996	37,716	33,481	-4,235	-11.2	検挙件数(件)		
28,617	26,842	23,667	20,788	-2,879	-12.2	検挙人員(人)		
25,815	23,775	24,928	21,070	-3,858	-15.5	認知件数		自動車盗
9,557	8,433	8,377	7,556	-821	-9.8	検挙件数		
2,045	1,837	1,856	1,708	-148	-8.0	検挙人員		
82,116	73,491	67,776	59,469	-8,307	-12.3	認知件数		オートバイ盗
9,437	7,811	8,037	6,674	-1,363	-17.0	検挙件数		
6,194	5,954	5,270	4,554	-716	-13.6	検挙人員		
389,476	367,509	337,569	303,745	-33,824	-10.0	認知件数		自転車盗
26,747	24,752	21,302	19,251	-2,051	-9.6	検挙件数		
20,378	19,051	16,541	14,526	-2,015	-12.2	検挙人員		

図表 3-12 非侵入窃盗の

区分 \ 年次		平 15	平 16	平17	平 18	平 19	平 20
非侵入窃盗	認知件数(件)	1,206,820	1,061,257	923,309	811,250	744,066	716,462
	検挙件数(件)	267,131	281,826	265,743	258,798	247,066	243,240
	検挙人員(人)	135,930	142,651	143,787	138,966	135,216	134,497
うち) ひったくり	認知件数	46,354	39,399	32,017	26,828	23,687	19,145
	検挙件数	14,861	13,561	10,406	10,090	11,321	11,229
	検挙人員	2,953	2,259	1,851	1,652	1,524	1,251
うち) すり	認知件数	25,338	19,198	15,446	13,698	10,220	8,396
	検挙件数	4,149	3,791	3,632	3,699	3,064	1,762
	検挙人員	836	970	938	956	916	897
うち) 車上ねらい	認知件数	414,819	328,921	256,594	205,744	168,129	154,836
	検挙件数	60,479	63,171	53,465	49,592	41,116	40,146
	検挙人員	3,491	3,238	2,634	2,766	2,344	2,258
うち) 部品ねらい	認知件数	120,726	112,161	103,772	88,739	78,016	75,423
	検挙件数	8,515	10,668	11,786	9,840	10,382	10,591
	検挙人員	2,345	2,134	1,973	1,931	1,758	1,621
うち) 自動販売機 ねらい	認知件数	147,878	112,965	88,180	55,981	50,846	38,477
	検挙件数	28,152	29,748	23,409	22,607	18,585	15,197
	検挙人員	3,231	2,560	2,027	1,370	1,064	819
うち) 万引き	認知件数	146,308	158,020	153,972	147,113	141,915	145,429
	検挙件数	106,925	114,465	115,636	110,723	105,774	105,986
	検挙人員	105,792	112,783	113,953	107,123	102,504	101,504
うち) 置引き	認知件数	74,967	71,818	67,328	65,377	58,727	54,109
	検挙件数	6,791	7,262	7,158	7,236	8,113	8,007
	検挙人員	2,184	2,536	3,120	3,779	4,288	4,519

図表 3-13 知能犯の罪種別

区分 \ 年次		平 15	平 16	平17	平 18	平 19	平 20
知能犯	認知件数(件)	74,754	99,258	97,500	84,271	75,999	73,252
	検挙件数(件)	40,574	36,299	38,151	37,296	33,878	36,979
	検挙人員(人)	13,653	14,850	15,053	15,760	15,264	15,145
詐欺	認知件数	60,298	83,015	85,596	74,632	67,787	64,427
	検挙件数	30,364	26,617	29,384	30,127	27,963	30,277
	検挙人員	10,194	11,238	11,648	12,406	12,113	12,036
横領	認知件数	2,183	2,543	2,347	2,408	2,157	2,193
	検挙件数	1,375	1,517	1,453	1,545	1,358	1,485
	検挙人員	1,088	1,210	1,111	1,252	1,104	1,140
偽造	認知件数	12,103	13,547	9,410	7,010	5,941	6,503
	検挙件数	8,675	8,032	7,175	5,433	4,442	5,097
	検挙人員	2,124	2,236	2,033	1,847	1,898	1,810
汚職	認知件数	130	111	112	158	69	88
	検挙件数	127	107	111	152	67	89
	検挙人員	195	139	230	194	113	129
あっせん 利得処罰法	認知件数	0	1	1	2	0	0
	検挙件数	0	1	1	2	0	0
	検挙人員	0	0	0	7	0	0
背任	認知件数	40	41	34	61	45	41
	検挙件数	33	25	27	37	48	31
	検挙人員	52	27	31	54	36	30

手口別認知・検挙状況の推移

平 21	平 22	平 23	平 24	増減		年次	
				件数・人員	率(%)	区分	
653,399	612,115	576,775	541,008	-35,767	-6.2	認知件数(件)	非侵入窃盗
234,683	216,483	202,936	190,859	-12,077	-6.0	検挙件数(件)	
136,354	137,606	134,261	123,357	-10,904	-8.1	検挙人員(人)	
19,036	14,559	12,476	10,083	-2,393	-19.2	認知件数	うち) ひったくり
9,051	6,323	6,327	4,647	-1,680	-26.6	検挙件数	
1,438	1,191	1,098	861	-237	-21.6	検挙人員	
7,233	6,248	5,515	5,454	-61	-1.1	認知件数	うち) すり
1,977	1,533	1,390	1,378	-12	-0.9	検挙件数	
824	923	846	838	-8	-0.9	検挙人員	
143,863	123,512	111,771	102,798	-8,973	-8.0	認知件数	うち) 車上ねらい
38,706	29,780	23,658	24,506	848	3.6	検挙件数	
2,290	2,186	2,128	1,979	-149	-7.0	検挙人員	
75,361	67,307	57,014	51,197	-5,817	-10.2	認知件数	うち) 部品ねらい
9,359	11,783	10,022	6,959	-3,063	-30.6	検挙件数	
1,523	1,399	1,244	999	-245	-19.7	検挙人員	
26,686	21,522	20,298	18,822	-1,476	-7.3	認知件数	うち) 自動販売機 ねらい
16,535	9,633	6,747	7,427	680	10.1	検挙件数	
746	671	633	698	65	10.3	検挙人員	
149,892	148,371	141,564	134,876	-6,688	-4.7	認知件数	うち) 万引き
108,802	107,684	104,516	97,841	-6,675	-6.4	検挙件数	
105,228	104,804	101,340	93,079	-8,261	-8.2	検挙人員	
50,212	46,208	43,238	43,882	644	1.5	認知件数	うち) 置引き
7,596	7,580	7,309	7,733	424	5.8	検挙件数	
4,914	5,124	5,169	5,515	346	6.7	検挙人員	

認知・検挙状況の推移

平 21	平 22	平 23	平 24	増減		年次	
				件数・人員	率(%)	区分	
53,002	44,347	40,721	40,097	-624	-1.5	認知件数(件)	知能犯
34,147	29,688	26,433	24,105	-2,328	-8.8	検挙件数(件)	
15,433	14,138	13,262	13,665	403	3.0	検挙人員(人)	
45,162	37,516	34,599	34,678	79	0.2	認知件数	詐欺
28,753	24,897	22,169	20,264	-1,905	-8.6	検挙件数	
12,542	11,306	10,569	10,997	428	4.0	検挙人員	
1,963	1,735	1,676	1,741	65	3.9	認知件数	横領
1,324	1,259	1,252	1,256	4	0.3	検挙件数	
1,073	1,091	1,060	1,078	18	1.7	検挙人員	
5,790	4,982	4,343	3,557	-786	-18.1	認知件数	偽造
3,992	3,429	2,915	2,497	-418	-14.3	検挙件数	
1,710	1,617	1,491	1,466	-25	-1.7	検挙人員	
58	83	74	64	-10	-13.5	認知件数	汚職
55	78	67	55	-12	-17.9	検挙件数	
83	97	108	84	-24	-22.2	検挙人員	
0	0	1	1	0	-	認知件数	あっせん 利得処罰法
0	0	1	1	0	-	検挙件数	
0	0	2	1	-1	-50.0	検挙人員	
29	31	28	56	28	100.0	認知件数	背任
23	25	29	32	3	10.3	検挙件数	
25	27	32	39	7	21.9	検挙人員	

図表 3 - 14 風俗犯の罪種別

区分 \ 年次		平 15	平 16	平17	平 18	平 19	平 20
風俗犯	認知件数(件)	13,034	12,346	12,085	11,932	11,184	10,559
	検挙件数(件)	6,165	6,070	6,422	6,752	6,462	6,376
	検挙人員(人)	5,886	5,688	6,373	6,261	6,279	6,048
	賭博	認知件数	208	249	221	209	271
		検挙件数	202	243	213	204	252
		検挙人員	1,725	1,422	1,771	1,379	1,359
	わいせつ	認知件数	12,826	12,097	11,864	11,723	10,760
		検挙件数	5,963	5,827	6,209	6,548	6,047
		検挙人員	4,161	4,266	4,602	4,882	4,689
	うち) 強制わいせつ	認知件数	10,029	9,184	8,751	8,326	7,664
		検挙件数	3,893	3,656	3,797	3,779	3,542
		検挙人員	2,273	2,225	2,286	2,254	2,219
	うち) 公然わいせつ	認知件数	2,422	2,391	2,420	2,602	2,286
		検挙件数	1,706	1,669	1,741	1,999	1,718
		検挙人員	1,456	1,451	1,502	1,715	1,613

図表 3 - 15 その他の刑法犯の

区分 \ 年次		平 15	平 16	平17	平18	平19	平20
その他の刑法犯	認知件数(件)	374,087	379,909	349,504	333,692	309,738	283,843
	検挙件数(件)	117,128	128,249	124,437	123,794	113,658	96,197
	検挙人員(人)	110,768	119,018	115,207	113,611	103,502	86,263
	うち) 占有離脱物横領	認知件数	90,163	101,869	95,520	93,436	83,449
		検挙件数	87,587	95,845	90,897	89,012	79,891
		検挙人員	89,358	96,083	91,306	89,444	80,192
	うち) 公務執行妨害	認知件数	3,007	3,129	3,327	3,576	3,569
		検挙件数	2,909	2,957	3,188	3,402	3,459
		検挙人員	2,508	2,705	2,868	3,118	3,181
	うち) 住居侵入	認知件数	40,348	37,857	34,518	31,030	27,383
		検挙件数	7,820	8,566	8,961	9,211	9,041
		検挙人員	5,361	5,993	6,107	6,209	5,901
	うち) 逮捕・監禁	認知件数	643	639	576	522	418
		検挙件数	522	480	428	418	330
		検挙人員	822	762	642	629	511
	うち) 略取誘拐・ 人身売買	認知件数	284	320	277	199	207
		検挙件数	231	232	204	180	178
		検挙人員	151	187	176	167	152
	うち) 盗品等	認知件数	4,519	5,547	5,403	5,134	4,582
		検挙件数	4,457	5,310	5,198	4,866	4,424
		検挙人員	4,345	4,935	4,889	4,495	4,230
	うち) 器物損壊等	認知件数	230,743	226,059	205,312	194,824	185,472
		検挙件数	11,100	12,332	12,884	13,816	13,617
		検挙人員	5,331	5,522	6,362	6,551	6,575

認知・検挙状況の推移

平 21	平 22	平 23	平 24	増減		年次		区分
				件数・人員	率(%)			
10,182	10,893	10,905	11,924	1,019	9.3	認知件数(件)		風俗犯
6,478	6,742	6,842	7,635	793	11.6	検挙件数(件)		
5,951	6,033	5,881	6,204	323	5.5	検挙人員(人)		
340	378	213	366	153	71.8	認知件数		賭博
337	369	208	355	147	70.7	検挙件数		
1,376	1,312	903	876	-27	-3.0	検挙人員		
9,842	10,515	10,692	11,558	866	8.1	認知件数		わいせつ
6,141	6,373	6,634	7,280	646	9.7	検挙件数		
4,575	4,721	4,978	5,328	350	7.0	検挙人員		
6,688	7,027	6,870	7,263	393	5.7	認知件数		うち) 強制わいせつ
3,563	3,637	3,550	3,946	396	11.2	検挙件数		
2,129	2,189	2,217	2,451	234	10.6	検挙人員		
2,357	2,651	2,636	2,975	339	12.9	認知件数		うち) 公然わいせつ
1,810	1,953	1,926	2,064	138	7.2	検挙件数		
1,626	1,727	1,700	1,745	45	2.6	検挙人員		

罪種別認知・検挙状況の推移

平21	平22	平23	平24	増減		年次		区分
				件数・人員	率(%)			
268,257	245,952	227,315	215,509	-11,806	-5.2	認知件数(件)		その他の刑法犯
90,313	81,705	72,956	64,646	-8,310	-11.4	検挙件数(件)		
80,802	72,689	64,606	55,932	-8,674	-13.4	検挙人員(人)		
63,213	55,837	48,692	39,692	-9,000	-18.5	認知件数		うち) 占有離脱物横領
60,433	52,960	45,681	36,873	-8,808	-19.3	検挙件数		
59,919	52,598	45,227	36,467	-8,760	-19.4	検挙人員		
3,071	2,969	3,029	3,117	88	2.9	認知件数		うち) 公務執行妨害
2,952	2,881	2,863	2,932	69	2.4	検挙件数		
2,698	2,547	2,476	2,501	25	1.0	検挙人員		
23,863	22,027	20,262	20,360	98	0.5	認知件数		うち) 住居侵入
8,234	8,028	7,690	7,983	293	3.8	検挙件数		
5,547	5,601	5,433	5,581	148	2.7	検挙人員		
362	354	315	309	-6	-1.9	認知件数		うち) 逮捕・監禁
325	307	282	264	-18	-6.4	検挙件数		
535	413	444	424	-20	-4.5	検挙人員		
156	185	147	188	41	27.9	認知件数		うち) 略取誘拐・ 人身売買
140	151	132	173	41	31.1	検挙件数		
101	107	118	137	19	16.1	検挙人員		
3,607	3,284	2,925	2,552	-373	-12.8	認知件数		うち) 盗品等
3,397	3,084	2,677	2,334	-343	-12.8	検挙件数		
3,172	2,989	2,532	2,199	-333	-13.2	検挙人員		
169,292	156,717	147,537	144,129	-3,408	-2.3	認知件数		うち) 器物損壊等
12,062	11,554	10,948	11,204	256	2.3	検挙件数		
6,160	5,864	5,839	5,975	136	2.3	検挙人員		

図表 3-16 来日外国人刑法犯の

区分		年次	平 15	平 16	平17	平 18	平 19	平 20
総数	検挙件数(件)		27,258	32,087	33,037	27,453	25,730	23,202
	検挙人員(人)		8,725	8,898	8,505	8,148	7,528	7,148
凶悪犯	検挙件数		336	345	315	270	234	177
	検挙人員		477	421	396	297	259	213
うち) 殺人	検挙件数		37	40	51	37	41	47
	検挙人員		61	52	52	42	41	50
うち) 強盗	検挙件数		255	269	236	188	139	108
	検挙人員		369	338	319	216	182	142
侵入強盗	検挙件数		141	154	125	88	48	32
	検挙人員		218	201	170	98	70	45
非侵入強盗	検挙件数		114	115	111	100	91	76
	検挙人員		151	137	149	118	112	97
粗暴犯	検挙件数		568	526	679	785	848	855
	検挙人員		633	591	774	894	961	950
うち) 傷害	検挙件数		386	331	408	423	415	392
	検挙人員		438	379	471	503	498	470
窃盗犯	検挙件数		22,830	27,521	28,525	23,137	21,327	19,266
	検挙人員		4,555	4,717	4,344	4,205	3,755	3,674
侵入窃盗	検挙件数		8,482	8,396	9,160	8,692	7,874	8,554
	検挙人員		704	565	524	441	408	342
うち) 住宅対象	検挙件数		6,722	7,006	8,149	7,945	7,248	8,150
	検挙人員		399	346	340	308	250	229
乗り物盗	検挙件数		1,108	1,579	1,737	2,148	2,502	2,098
	検挙人員		620	580	548	623	513	471
うち) 自動車盗	検挙件数		601	958	1,178	1,661	2,114	1,323
	検挙人員		155	112	133	166	119	82
非侵入窃盗	検挙件数		13,240	17,546	17,628	12,297	10,951	8,614
	検挙人員		3,231	3,572	3,272	3,141	2,834	2,861
うち) 部品ねらい	検挙件数		566	766	953	934	1,681	1,104
	検挙人員		69	70	51	77	48	32
うち) 車上ねらい	検挙件数		3,010	4,795	5,042	2,394	4,104	3,089
	検挙人員		100	179	111	111	80	43
うち) ひったくり	検挙件数		126	35	78	60	131	65
	検挙人員		52	26	32	30	42	23
うち) すり	検挙件数		853	817	1,161	654	377	51
	検挙人員		81	87	64	68	52	23
うち) 自動販売機 ねらい	検挙件数		5,355	7,336	6,751	4,611	856	187
	検挙人員		61	29	22	17	11	5
うち) 万引き	検挙件数		2,441	2,844	2,743	2,680	2,419	3,231
	検挙人員		2,389	2,588	2,476	2,308	2,045	2,118
知能犯	検挙件数		728	797	721	690	870	735
	検挙人員		497	564	525	538	536	506
うち) 偽造	検挙件数		461	538	481	471	478	389
	検挙人員		343	381	348	345	303	306
風俗犯	検挙件数		90	85	99	103	88	80
	検挙人員		93	139	133	96	104	91
うち) 強制わいせつ	検挙件数		70	58	66	77	63	51
	検挙人員		42	46	50	59	54	39
その他	検挙件数		2,706	2,813	2,698	2,468	2,363	2,089
	検挙人員		2,470	2,466	2,333	2,118	1,913	1,714
うち) 占有離脱物 横領	検挙件数		2,022	1,968	1,781	1,652	1,452	1,255
	検挙人員		2,009	1,938	1,801	1,653	1,462	1,262
うち) 住居侵入	検挙件数		283	314	364	314	359	323
	検挙人員		134	127	114	106	114	97
うち) 略取誘拐・ 人身売買	検挙件数		8	2	10	8	7	4
	検挙人員		7	6	19	15	6	4

注：「住宅対象」とは、侵入窃盗のうち、空き巣、忍込み及び居空きをいう。

罪種・手口別検挙状況の推移

平 21	平 22	平 23	平 24	増減		年次	区分
				件数・人員	率(%)		
20,561	14,025	12,582	11,142	-1,440	-11.4	検挙件数(件)	総数
7,190	6,710	5,889	5,423	-466	-7.9	検挙人員(人)	
195	168	138	130	-8	-5.8	検挙件数	凶悪犯
239	191	147	133	-14	-9.5	検挙人員	
41	31	30	25	-5	-16.7	検挙件数	うち) 殺人
45	32	30	27	-3	-10.0	検挙人員	
134	111	80	83	3	3.8	検挙件数	うち) 強盗
175	133	85	84	-1	-1.2	検挙人員	
45	43	27	29	2	7.4	検挙件数	侵入強盗
73	47	31	27	-4	-12.9	検挙人員	
89	68	53	54	1	1.9	検挙件数	非侵入強盗
102	86	54	57	3	5.6	検挙人員	
822	846	829	884	55	6.6	検挙件数	粗暴犯
938	938	960	978	18	1.9	検挙人員	
383	413	373	408	35	9.4	検挙件数	うち) 傷害
464	459	467	461	-6	-1.3	検挙人員	
16,450	10,474	9,210	7,969	-1,241	-13.5	検挙件数	窃盗犯
3,736	3,457	3,060	2,721	-339	-11.1	検挙人員	
7,235	3,552	3,628	2,170	-1,458	-40.2	検挙件数	侵入窃盗
329	271	194	171	-23	-11.9	検挙人員	
6,883	3,333	3,306	1,830	-1,476	-44.6	検挙件数	うち) 住宅対象
239	174	109	88	-21	-19.3	検挙人員	
1,595	1,251	999	1,372	373	37.3	検挙件数	乗り物盗
438	410	328	321	-7	-2.1	検挙人員	
1,116	691	625	1,041	416	66.6	検挙件数	うち) 自動車盗
94	56	58	83	25	43.1	検挙人員	
7,620	5,671	4,583	4,427	-156	-3.4	検挙件数	非侵入窃盗
2,969	2,776	2,538	2,229	-309	-12.2	検挙人員	
975	1,330	407	133	-274	-67.3	検挙件数	うち) 部品ねらい
58	41	19	20	1	5.3	検挙人員	
2,372	636	491	979	488	99.4	検挙件数	うち) 車上ねらい
40	49	36	46	10	27.8	検挙人員	
62	30	23	13	-10	-43.5	検挙件数	うち) ひったくり
23	13	12	5	-7	-58.3	検挙人員	
328	40	47	41	-6	-12.8	検挙件数	うち) すり
20	21	11	18	7	63.6	検挙人員	
176	29	0	0	0	-	検挙件数	うち) 自動販売機 ねらい
4	3	1	2	1	100.0	検挙人員	
2,875	2,667	2,850	2,561	-289	-10.1	検挙件数	うち) 万引き
2,293	2,136	1,976	1,759	-217	-11.0	検挙人員	
965	747	771	819	48	6.2	検挙件数	知能犯
542	522	432	470	38	8.8	検挙人員	
534	327	383	251	-132	-34.5	検挙件数	うち) 偽造
310	302	273	260	-13	-4.8	検挙人員	
77	96	88	103	15	17.0	検挙件数	風俗犯
76	103	84	83	-1	-1.2	検挙人員	
52	76	59	75	16	27.1	検挙件数	うち) 強制わいせつ
38	61	53	57	4	7.5	検挙人員	
2,052	1,694	1,546	1,237	-309	-20.0	検挙件数	その他
1,659	1,499	1,206	1,038	-168	-13.9	検挙人員	
1,269	1,150	869	693	-176	-20.3	検挙件数	うち) 占有離脱物 横領
1,245	1,125	863	687	-176	-20.4	検挙人員	
354	178	330	194	-136	-41.2	検挙件数	うち) 住居侵入
87	70	74	86	12	16.2	検挙人員	
5	2	3	5	2	66.7	検挙件数	うち) 略取誘拐・ 人身売買
3	7	6	5	-1	-16.7	検挙人員	

図表 3-17 来日外国人刑法犯の

区分		年次	平 15	平 16	平17	平 18	平 19	平 20
総数	検挙件数(件)		27,258	32,087	33,037	27,453	25,730	23,202
	検挙人員(人)		8,725	8,898	8,505	8,148	7,528	7,148
アジア州	検挙件数		20,199	22,530	22,381	18,990	16,331	15,746
	検挙人員		6,498	6,516	6,043	5,896	5,457	5,251
韓国	検挙件数		1,424	1,454	1,466	1,725	2,161	1,655
	検挙人員		496	617	536	600	782	705
中国	検挙件数		11,677	11,638	11,739	10,258	9,967	10,787
	検挙人員		4,554	4,408	3,884	3,597	3,023	2,880
うち) 台湾	検挙件数		116	215	255	136	245	451
	検挙人員		82	85	100	121	97	88
うち) 香港等	検挙件数		26	83	118	27	58	273
	検挙人員		28	38	45	24	27	28
イラン	検挙件数		70	29	66	54	41	41
	検挙人員		47	23	60	41	35	30
インドネシア	検挙件数		82	87	51	65	62	46
	検挙人員		65	84	68	57	63	37
スリランカ	検挙件数		34	301	389	350	160	222
	検挙人員		27	49	69	53	59	66
タイ	検挙件数		70	79	207	90	102	75
	検挙人員		68	72	103	93	107	91
パキスタン	検挙件数		60	122	153	191	1,012	501
	検挙人員		44	37	45	79	45	31
バングラディシュ	検挙件数		43	46	50	38	54	43
	検挙人員		28	43	41	32	48	43
フィリピン	検挙件数		420	364	431	482	524	543
	検挙人員		329	353	386	407	444	465
ベトナム	検挙件数		681	739	792	1,020	1,112	1,517
	検挙人員		549	576	592	650	580	613
マレーシア	検挙件数		48	46	25	83	23	29
	検挙人員		40	56	29	22	21	20
ミャンマー	検挙件数		45	29	26	29	53	44
	検挙人員		25	25	20	31	37	43
トルコ	検挙件数		5,353	7,350	6,779	4,391	864	33
	検挙人員		67	27	28	32	20	23
その他	検挙件数		192	246	207	214	196	210
	検挙人員		159	146	182	202	193	204
ヨーロッパ州	検挙件数		370	432	556	674	553	552
	検挙人員		336	387	444	391	326	290
イギリス	検挙件数		57	63	76	60	181	292
	検挙人員		47	56	75	61	61	53
フランス	検挙件数		60	29	46	30	42	37
	検挙人員		35	27	44	29	40	38
ロシア	検挙件数		153	251	307	215	241	101
	検挙人員		160	220	213	176	134	95
その他	検挙件数		100	89	127	369	89	122
	検挙人員		94	84	112	125	91	104
南北アメリカ州	検挙件数		6,505	8,930	9,881	7,397	8,617	6,681
	検挙人員		1,733	1,824	1,833	1,696	1,580	1,460
アメリカ	検挙件数		154	154	198	231	191	452
	検挙人員		119	135	156	166	179	155
コロンビア	検挙件数		1,066	862	1,768	2,121	506	1,082
	検挙人員		109	86	101	82	52	54
ブラジル	検挙件数		4,520	7,001	6,811	4,068	7,289	4,406
	検挙人員		1,005	1,116	1,064	1,016	931	818
ペルー	検挙件数		620	631	814	575	420	518
	検挙人員		364	344	369	301	275	321
その他	検挙件数		145	282	290	402	211	223
	検挙人員		136	143	143	131	143	112
アフリカ州	検挙件数		107	106	144	324	145	163
	検挙人員		81	81	119	95	80	88
オセアニア州	検挙件数		75	87	75	67	81	57
	検挙人員		75	86	65	69	84	57
無国籍・国籍不明	検挙件数		2	2	0	1	3	3
	検挙人員		2	4	1	1	1	2

注：「香港等」とは、中国国籍を有する者のうち、香港特別行政区又は香港特別行政区以外の政府（シンガポール、マレーシア等）が発給した身分証明書を有する者をいう。

国籍別検挙状況の推移

平 21	平 22	平 23	平 24	増減		年次	
				件数・人員	率(%)		区分
20,561	14,025	12,582	11,142	-1,440	-11.4	検挙件数(件)	総数
7,190	6,710	5,889	5,423	-466	-7.9	検挙人員(人)	
14,799	9,672	9,543	8,630	-913	-9.6	検挙件数	アジア州
5,430	5,201	4,659	4,215	-444	-9.5	検挙人員	
1,554	1,502	610	1,089	479	78.5	検挙件数	韓国
750	675	569	513	-56	-9.8	検挙人員	
10,294	5,470	6,377	4,974	-1,403	-22.0	検挙件数	中国
2,916	2,904	2,547	2,257	-290	-11.4	検挙人員	
93	152	144	50	-94	-65.3	検挙件数	うち) 台湾
83	89	57	51	-6	-10.5	検挙人員	
20	15	13	32	19	146.2	検挙件数	うち) 香港等
17	17	13	9	-4	-30.8	検挙人員	
35	28	28	27	-1	-3.6	検挙件数	イラン
33	25	26	23	-3	-11.5	検挙人員	
45	37	25	29	4	16.0	検挙件数	インドネシア
42	42	25	29	4	16.0	検挙人員	
214	54	94	168	74	78.7	検挙件数	スリランカ
38	42	55	49	-6	-10.9	検挙人員	
101	157	72	83	11	15.3	検挙件数	タイ
88	110	77	78	1	1.3	検挙人員	
101	166	58	105	47	81.0	検挙件数	パキスタン
32	22	46	34	-12	-26.1	検挙人員	
35	56	40	145	105	262.5	検挙件数	バングラディシュ
40	51	33	43	10	30.3	検挙人員	
624	442	439	513	74	16.9	検挙件数	フィリピン
541	464	455	408	-47	-10.3	検挙人員	
1,442	1,507	1,552	1,225	-327	-21.1	検挙件数	ベトナム
689	608	582	510	-72	-12.4	検挙人員	
18	13	13	3	-10	-76.9	検挙件数	マレーシア
15	13	14	2	-12	-85.7	検挙人員	
31	34	37	33	-4	-10.8	検挙件数	ミャンマー
32	41	35	25	-10	-28.6	検挙人員	
82	22	36	31	-5	-13.9	検挙件数	トルコ
30	21	35	34	-1	-2.9	検挙人員	
223	184	162	205	43	26.5	検挙件数	その他
184	183	160	210	50	31.3	検挙人員	
277	330	264	413	149	56.4	検挙件数	ヨーロッパ州
244	256	165	203	38	23.0	検挙人員	
59	31	28	60	32	114.3	検挙件数	イギリス
49	34	29	33	4	13.8	検挙人員	
38	48	29	27	-2	-6.9	検挙件数	フランス
39	44	28	28	0	0.0	検挙人員	
74	129	159	252	93	58.5	検挙件数	ロシア
69	65	54	72	18	33.3	検挙人員	
106	122	48	74	26	54.2	検挙件数	その他
87	113	54	70	16	29.6	検挙人員	
5,263	3,663	2,564	1,805	-759	-29.6	検挙件数	南北アメリカ州
1,345	1,088	909	862	-47	-5.2	検挙人員	
125	167	153	134	-19	-12.4	検挙件数	アメリカ
131	130	138	121	-17	-12.3	検挙人員	
693	339	81	45	-36	-44.4	検挙件数	コロンビア
30	32	15	19	4	26.7	検挙人員	
3,720	2,531	1,366	1,004	-362	-26.5	検挙件数	ブラジル
744	515	426	438	12	2.8	検挙人員	
499	430	607	298	-309	-50.9	検挙件数	ペルー
318	289	240	193	-47	-19.6	検挙人員	
226	196	357	324	-33	-9.2	検挙件数	その他
122	122	90	91	1	1.1	検挙人員	
165	297	165	248	83	50.3	検挙件数	アフリカ州
107	104	116	93	-23	-19.8	検挙人員	
55	58	42	43	1	2.4	検挙件数	オセアニア州
62	57	37	46	9	24.3	検挙人員	
2	5	4	3	-1	-25.0	検挙件数	無国籍・国籍不明
2	4	3	4	1	33.3	検挙人員	

図表 3 - 1 8 刑法犯の発生場所別認知件数

発生場所	罪種・手口	刑法犯	凶悪犯	殺人	強盗	うち)侵入強盗		放火	強姦	粗暴犯	凶器準備集合
						うち)侵入強盗	うち)路上強盗				
総数		1,382,121	6,961	1,030	3,658	1,365	1,133	1,033	1,240	67,183	6
住宅		337,242	2,380	663	433	293	19	660	624	15,641	0
一戸建住宅		159,227	1,045	343	167	138	1	404	131	6,375	0
共同住宅		178,015	1,335	320	266	155	18	256	493	9,266	0
共同住宅（４階建以上）		79,920	610	163	142	67	14	98	207	4,315	0
共同住宅（３階建以下）		98,095	725	157	124	88	4	158	286	4,951	0
事業所等		410,592	2,069	101	1,570	1,064	9	176	222	16,199	0
一般事務所		50,033	118	19	31	23	0	57	11	1,856	0
店舗		319,271	1,852	58	1,524	1,033	6	80	190	11,825	0
商店		214,175	1,268	11	1,202	825	4	38	17	3,844	0
デパート		16,198	18	1	16	1	0	1	0	217	0
総合スーパー		52,566	102	1	91	9	1	4	6	756	0
ホームセンター		10,950	34	0	29	3	0	5	0	91	0
家電量販店		5,289	7	0	6	0	0	1	0	58	0
コンビニエンスストア		26,558	719	4	710	627	1	1	4	1,185	0
ドラッグストア		12,071	35	1	31	18	0	2	1	86	0
その他のスーパーマーケット		33,210	89	1	82	12	1	5	1	395	0
レンタルビデオ店		2,966	19	0	19	12	0	0	0	83	0
貴金属店		611	6	0	6	5	0	0	0	6	0
古物店		3,905	20	0	19	9	0	1	0	44	0
給油所		4,413	15	0	13	10	0	2	0	159	0
その他の商店		45,438	204	3	180	119	1	16	5	764	0
サービス営業店		105,096	584	47	322	208	2	42	173	7,981	0
生活環境営業		85,462	515	44	263	168	2	38	170	7,484	0
一般ホテル・旅館		4,444	82	10	15	5	0	6	51	333	0
サウナ等公衆浴場		4,467	4	0	2	1	0	2	0	134	0
コインランドリー		2,410	2	0	2	0	0	0	0	12	0
映画館・劇場等		495	1	0	1	0	0	0	0	47	0
ばちんこ屋・まあじゃん屋等		22,084	18	2	12	7	0	4	0	857	0
景品交換所		87	13	0	13	8	0	0	0	2	0
ゲームセンター		6,939	7	0	6	1	0	0	1	348	0
その他の風俗営業店		1,765	11	0	8	5	0	2	1	343	0
個室付浴場		52	2	1	1	1	0	0	0	5	0
モーテル・ラブホテル等		1,394	141	5	44	18	0	2	90	131	0
その他の特殊営業店		267	6	0	4	3	0	0	2	47	0
カラオケボックス		2,587	22	2	10	6	0	1	9	519	0
マンガ喫茶・インターネットカフェ		3,517	17	0	11	8	0	2	4	54	0
深夜飲食店		8,833	69	9	47	27	1	6	7	2,228	0
その他の飲食店		26,121	120	15	87	78	1	13	5	2,424	0
金融機関等		10,596	59	1	55	38	0	2	1	183	0
質屋		156	3	0	3	3	0	0	0	3	0
貸金業		204	0	0	0	0	0	0	0	4	0
銀行		5,754	10	1	9	6	0	0	0	80	0
郵便局		2,409	40	0	40	26	0	0	0	53	0
信用金庫・組合		990	3	0	3	3	0	0	0	18	0
農(漁)業協同組合		1,083	3	0	0	0	0	2	1	25	0
公営競技場		460	1	0	1	0	0	0	0	56	0
競馬場		111	0	0	0	0	0	0	0	14	0
競輪場		165	0	0	0	0	0	0	0	19	0
オートレース場		37	0	0	0	0	0	0	0	2	0
競艇場		147	1	0	1	0	0	0	0	21	0
スポーツ・行楽施設		8,578	9	2	3	2	0	2	2	258	0
ゴルフ場		1,344	2	1	1	1	0	0	0	22	0
その他のスポーツ施設		6,564	6	1	2	1	0	2	1	212	0
遊園地動物園		670	1	0	0	0	0	0	1	24	0
学校(幼稚園)		23,681	42	4	8	2	3	22	8	1,731	0
病(医)院診療所		9,137	31	17	4	4	0	2	8	591	0
神社仏閣		8,470	26	3	3	2	0	15	5	196	0
街頭		550,677	2,166	210	1,559	2	1,083	82	315	32,072	6
道路上		167,263	1,496	129	1,232	0	963	29	106	20,420	5
コインパーキング		8,911	15	3	6	0	3	2	4	195	0
月極駐車場		51,167	64	5	25	0	13	8	26	396	0
その他の駐車場		105,925	280	37	175	1	49	12	56	3,936	1
駐輪場		172,750	48	1	24	0	15	14	9	399	0
都市公園		13,247	88	9	41	0	28	11	27	1,688	0
空き地		6,519	31	3	4	0	1	1	23	239	0
公共交通機関等		22,390	38	11	15	1	9	4	8	3,932	0
地下鉄内		851	0	0	0	0	0	0	0	139	0
新幹線内		281	0	0	0	0	0	0	0	31	0
その他の列車内		5,762	1	0	1	0	0	0	0	751	0
駅		12,284	26	7	12	1	7	3	4	2,651	0
その他の鉄道施設		813	3	0	2	0	2	0	1	84	0
航空機内		38	0	0	0	0	0	0	0	15	0
空港		410	0	0	0	0	0	0	0	31	0
船舶内		181	0	0	0	0	0	0	0	11	0
海港		1,258	8	4	0	0	0	1	3	39	0
バス内		512	0	0	0	0	0	0	0	180	0
その他の交通機関		1,749	103	10	36	0	1	1	56	740	0
タクシー内		947	20	0	20	0	0	0	0	336	0
その他の自動車内		802	83	10	16	0	1	1	56	404	0
その他の街頭		756	3	2	1	0	1	0	0	127	0
地下街地下道路		419	3	2	1	0	1	0	0	71	0
高速道路		337	0	0	0	0	0	0	0	56	0
その他		83,610	346	56	96	6	22	115	79	3,271	0

(全刑犯、凶悪犯、粗暴犯、窃盗犯) (平成24年)

暴行	傷害	脅迫	恐喝	窃盗犯	侵入窃盗	乗り物盗	窃盗			罪種・手口	発生場所
							自動車盗	オートバイ盗	自転車盗		
31,802	27,962	3,241	4,172	1,040,447	115,155	384,284	21,070	59,469	303,745		総数
6,375	6,972	1,572	722	242,931	65,603	104,099	3,677	22,196	78,226		住宅
2,714	2,659	718	284	114,000	43,833	36,588	2,017	8,066	26,505		一戸建住宅
3,661	4,313	854	438	128,931	21,770	67,511	1,660	14,130	51,721		共同住宅
1,632	2,056	414	213	55,764	5,606	34,920	692	6,682	27,546		共同住宅(4階建以上)
2,029	2,257	440	225	73,167	16,164	32,591	968	7,448	24,175		共同住宅(3階建以下)
7,671	6,715	774	1,039	329,832	41,804	27,190	2,283	2,598	22,309		事務所等
672	808	231	145	36,510	15,908	4,083	1,788	525	1,770		一般事務所
6,191	4,434	390	810	263,993	20,387	15,681	441	1,674	13,566		店舗
2,379	1,011	133	321	191,483	10,190	10,307	310	1,029	8,968		商店
109	64	8	36	15,169	80	744	1	48	695		デパート
458	204	20	74	49,187	274	3,394	10	231	3,153		総合スーパー
65	23	0	3	10,488	96	165	5	18	142		ホームセンター
34	14	5	5	4,729	82	122	2	16	104		家電量販店
754	314	30	87	22,004	241	1,628	47	138	1,443		コンビニエンスストア
62	18	3	3	11,519	214	235	2	19	214		ドラッグストア
259	92	12	32	31,298	365	1,491	15	124	1,352		その他のスーパーマーケット
57	16	3	7	2,447	52	422	3	38	381		レンタルビデオ店
3	0	1	2	503	126	11	1	2	8		貴金属店
28	11	2	3	3,265	336	229	19	18	192		古物店
91	50	6	12	2,826	736	83	21	30	32		給油所
459	205	43	57	38,048	7,588	1,783	184	347	1,252		その他の商店
3,812	3,423	257	489	72,510	10,197	5,374	131	645	4,598		サービス営業店
3,541	3,265	238	440	60,646	9,602	4,239	91	562	3,586		生活環境営業
142	141	24	26	2,941	516	136	15	10	111		一般ホテル・旅館
94	36	3	1	3,997	91	87	3	14	70		サウナ等公衆浴場
9	3	0	0	2,179	169	13	0	1	12		コインランドリー
25	16	3	3	364	7	56	3	8	45		映画館・劇場等
596	209	17	35	18,371	118	753	20	157	576		ぱちんこ屋・まあじゃん屋等
1	0	0	1	39	6	1	1	0	0		景品交換所
189	94	3	62	5,790	42	746	2	61	683		ゲームセンター
129	185	10	19	972	243	79	4	12	63		その他の風俗営業店
1	2	0	2	37	3	2	0	0	2		個室付浴場
44	71	8	8	593	58	8	1	1	6		モーテル・ラブホテル等
18	23	1	5	164	57	5	3	0	2		その他の風俗営業店
242	256	5	16	1,105	59	402	0	35	367		カラオケボックス
30	18	4	2	2,703	32	82	3	16	63		マンガ喫茶・インターネットカフェ
912	1,195	58	63	4,412	1,314	160	8	22	130		深夜飲食店
1,109	1,016	102	197	16,979	6,887	1,709	28	225	1,456		その他の飲食店
98	35	12	38	4,214	222	308	21	26	261		金融機関等
3	0	0	0	70	19	1	0	0	1		質屋
1	2	0	1	65	10	3	1	2	0		貸金業
39	12	6	23	2,386	10	166	0	9	157		銀行
34	12	1	6	682	28	66	0	2	64		郵便局
9	2	3	4	380	8	28	2	6	20		信用金庫・組合
12	7	2	4	631	147	44	18	7	19		農(漁)業協同組合
42	14	0	0	335	6	82	1	11	70		公営競技場
10	4	0	0	76	1	4	0	0	4		競馬場
14	5	0	0	127	0	76	0	11	65		競輪場
2	0	0	0	31	3	0	0	0	0		オートレース場
16	5	0	0	101	2	2	1	0	1		競艇場
131	109	7	11	7,315	367	745	18	46	681		スポーツ・行楽施設
6	15	1	0	1,206	121	14	8	2	4		ゴルフ場
111	87	6	8	5,576	239	713	10	42	661		その他のスポーツ施設
14	7	0	3	533	7	18	0	2	16		遊園地動物園
475	1,115	92	49	15,268	1,875	6,663	25	302	6,336		学校(幼稚園)
273	244	57	17	6,954	1,562	586	17	71	498		病(医)院診療所
60	114	4	18	7,107	2,072	177	12	26	139		神社仏閣
16,460	12,724	665	2,217	403,273	200	241,396	12,566	32,752	196,078		街頭
10,785	8,077	395	1,158	105,322	0	62,783	1,303	7,367	54,113		道路上
61	102	5	27	6,719	2	584	327	83	174		コインパーキング
137	190	8	61	36,703	42	7,006	4,905	897	1,204		月極駐車場
1,571	1,735	143	486	70,220	74	20,223	5,488	5,062	9,673		その他の駐車場
152	157	11	79	158,984	5	143,898	31	18,719	125,148		駐輪場
482	945	36	225	7,307	17	1,883	8	134	1,741		都市公園
76	127	6	30	4,485	0	1,511	485	233	793		空き地
2,744	1,074	31	83	12,960	57	3,494	18	255	3,221		公共交通機関等
105	34	0	0	616	0	0	0	0	0		地下鉄内
24	7	0	0	233	0	0	0	0	0		新幹線内
564	178	4	5	4,133	0	0	0	0	0		その他の列車内
1,815	750	20	66	5,996	23	3,365	2	241	3,122		駅
54	26	1	3	299	16	76	1	7	68		その他の鉄道施設
13	2	0	0	19	0	0	0	0	0		航空機内
21	8	1	1	285	7	8	1	0	7		空港
1	8	2	0	147	0	1	0	0	1		船舶内
15	16	1	7	1,014	11	44	14	7	23		海港
132	45	2	1	218	0	0	0	0	0		バス内
383	270	26	61	172	0	0	0	0	0		その他の交通機関
228	98	3	7	97	0	0	0	0	0		タクシー内
155	172	23	54	75	0	0	0	0	0		その他の自動車内
69	47	4	7	401	3	14	1	2	11		その他の街頭
43	21	0	7	226	1	8	0	0	8		地下街地下道路
26	26	4	0	175	2	6	1	2	3		高速道路
1,296	1,551	230	194	64,411	7,548	11,599	2,544	1,923	7,132		その他

図表 3 - 1 9 刑法犯の発生場所別認知件数

発生場所	罪種・手口	非侵入窃盗							知能犯	
		うち)ひったくり	うち)すり	うち)車上ねらい	うち)部品ねらい	うち)自動車盗ねらい	うち)置き引き		うち)詐欺	
総数		541,008	10,083	5,454	102,798	51,197	18,822	43,882	40,097	34,678
住宅		73,229	74	0	17,144	12,843	799	596	12,619	12,231
一戸建住宅		33,579	0	0	9,656	4,183	263	200	9,026	8,821
共同住宅		39,650	74	0	7,488	8,660	536	396	3,593	3,410
	共同住宅(4階建以上)	15,238	48	0	2,808	4,441	251	264	2,197	2,109
	共同住宅(3階建以下)	24,412	26	0	4,680	4,219	285	132	1,396	1,301
事業所等		260,838	91	2,381	7,138	3,042	7,724	33,100	20,632	16,801
一般事務所		16,519	2	12	1,648	1,788	3,159	245	3,146	2,024
店舗		227,925	78	2,205	4,356	1,039	4,248	30,698	17,125	14,482
商店		170,986	49	1,030	2,322	764	2,570	9,870	5,879	4,652
	デパート	14,345	6	349	40	21	13	929	202	167
	総合スーパー	45,519	25	292	426	87	219	3,223	569	468
	ホームセンター	10,227	2	14	80	8	41	212	112	94
	家電量販店	4,525	0	9	44	8	19	99	378	299
	コンビニエンスストア	20,135	5	20	484	34	26	1,363	792	595
	ドラッグストア	11,070	1	12	106	6	61	184	115	79
	その他のスーパーマーケット	29,442	7	170	379	41	330	1,795	354	294
	レンタルビデオ店	1,973	0	3	137	3	25	113	195	159
	貴金属店	366	0	1	1	3	2	3	61	51
	古物店	2,700	0	11	61	32	17	124	295	226
	給油所	2,007	0	1	48	24	213	527	700	660
	その他の商店	28,677	3	148	516	497	1,604	1,298	2,106	1,560
サービス営業店		56,939	29	1,175	2,034	275	1,678	20,828	11,246	9,830
生活環境営業		46,805	29	1,034	1,659	187	894	17,987	6,033	5,739
	一般ホテル・旅館	2,289	1	8	102	15	43	267	612	583
	サウナ等公衆浴場	3,819	0	10	162	3	25	537	117	112
	コインランドリー	1,997	0	4	15	1	384	98	8	6
	映画館・劇場等	301	0	38	7	3	1	114	10	8
	ばちこ屋・まあじゃん屋等	17,500	16	156	474	54	106	9,070	200	155
	景品交換所	32	0	0	0	0	1	7	8	3
	ゲームセンター	5,002	7	251	70	12	55	3,505	48	40
	その他の風俗営業店	650	0	27	16	9	19	158	112	101
	個室付浴場	32	0	0	2	0	0	7	3	1
	モーテル・ラブホテル等	527	0	9	47	5	14	16	325	313
	その他の風俗営業店	102	0	1	3	0	2	14	7	6
	カラオケボックス	644	2	11	30	9	6	203	299	292
	マンガ喫茶・インターネットカフェ	2,589	0	43	61	5	14	1,166	601	591
	深夜飲食店	2,938	1	301	58	5	13	785	988	968
	その他の飲食店	8,383	2	175	612	66	211	2,040	2,695	2,560
金融機関等		3,684	0	40	74	44	133	1,104	5,081	3,982
	質屋	50	0	0	0	0	2	0	48	26
	貸金業	52	0	0	3	0	1	3	118	85
	銀行	2,210	0	31	20	10	0	825	2,731	2,168
	郵便局	588	0	2	14	1	5	142	1,426	1,124
	信用金庫・組合	344	0	5	11	5	0	106	497	389
	農(漁)業協同組合	440	0	2	26	28	125	28	261	190
公営競技場		247	0	32	13	6	12	112	17	10
	競馬場	71	0	13	2	0	0	37	4	2
	競輪場	51	0	6	8	5	1	25	4	2
	オートレース場	28	0	3	0	0	6	12	0	0
	競艇場	97	0	10	3	1	5	38	9	6
スポーツ・行楽施設		6,203	0	69	288	38	639	1,625	115	99
ゴルフ場		1,071	0	0	77	3	137	216	30	28
その他のスポーツ施設		4,624	0	40	207	34	471	1,320	27	22
遊園地動物園		508	0	29	4	1	31	89	58	49
学校(幼稚園)		6,730	7	18	803	134	243	1,289	57	41
病(医)院診療所		4,806	3	48	156	65	52	712	246	204
神社仏閣		4,858	1	98	175	16	22	156	58	50
街頭		161,677	9,821	2,766	75,373	33,514	5,683	6,483	5,144	4,683
道路上		42,539	9,648	600	15,420	2,453	2,325	1,399	2,790	2,563
コインパーキング		6,133	6	5	4,463	509	649	30	18	15
月極駐車場		29,655	9	3	15,488	12,353	145	42	22	13
その他の駐車場		49,923	80	23	32,398	10,733	1,491	435	447	385
駐輪場		15,081	22	3	5,109	6,594	98	329	60	41
都市公園		5,407	20	77	1,243	74	527	1,638	35	25
空き地		2,974	2	5	1,044	382	369	43	11	5
公共交通機関等		9,409	24	2,022	171	414	76	2,436	1,284	1,217
	地下鉄内	616	3	245	0	0	0	122	5	5
	新幹線内	233	0	24	0	0	0	142	2	1
	その他の列車内	4,133	2	1,414	0	0	0	1,095	29	27
	駅	2,608	19	274	61	94	62	728	1,165	1,131
	その他の鉄道施設	207	0	8	10	14	3	41	12	11
	航空機内	19	0	3	0	0	0	7	2	1
	空港	270	0	15	2	2	0	123	37	18
	船舶内	146	0	1	2	36	0	12	2	2
	海港	959	0	0	96	268	11	92	11	11
	バス内	218	0	38	0	0	0	74	19	10
その他の交通機関		172	1	8	0	0	1	13	437	397
	タクシー内	97	0	2	0	0	0	9	387	356
	その他の自動車内	75	1	6	0	0	1	4	50	41
その他の街頭		384	9	20	37	2	2	118	40	22
	地下街地下道路	217	9	17	2	1	1	47	12	10
	高速道路	167	0	3	35	1	1	71	28	12
その他		45,264	97	307	3,143	1,798	4,616	3,703	1,702	963

(非侵入窃盗、知能犯、風俗犯、その他の刑法犯) (平成24年)

風俗犯	うち)強制わいせつ	うち)公然わいせつ	その他の刑法犯	うち)盗有罪物被害	うち)公務執行妨害	うち)住居侵入	うち)略取強盗・人身売買	うち)器物損壊等	罪種・手口	発生場所
11,924	7,263	2,975	215,509	39,692	3,117	20,360	188	144,129		総数
2,684	1,762	260	60,987	2,900	295	12,678	35	43,463		住宅
684	337	27	28,097	221	108	7,223	11	19,849		一戸建住宅
2,000	1,425	233	32,890	2,679	187	5,455	24	23,614		共同住宅
1,155	821	138	15,879	1,345	102	1,919	14	12,050		共同住宅(4階建以上)
845	604	95	17,011	1,334	85	3,536	10	11,564		共同住宅(3階建以下)
1,731	759	428	40,129	4,530	444	6,136	17	26,438		事務所等
365	61	11	8,038	256	195	1,679	1	5,385		一般事務所
1,175	525	400	23,301	3,479	200	2,754	5	15,215		店舗
582	187	293	11,119	1,786	86	1,402	4	7,052		商店
43	28	14	549	81	4	46	0	377		デパート
78	32	46	1,874	418	16	125	0	1,117		総合スーパー
9	2	6	216	44	2	36	0	128		ホームセンター
4	4	0	113	22	0	17	0	65		家電量販店
132	25	107	1,726	486	36	69	1	982		コンビニエンスストア
13	6	7	303	52	2	41	0	193		ドラッグストア
48	14	34	1,026	233	7	110	1	592		その他のスーパーマーケット
27	7	5	195	43	0	17	1	124		レンタルビデオ店
0	0	0	35	2	0	7	0	25		貴金属店
24	5	13	257	18	2	40	0	114		古物店
6	1	5	707	205	6	71	0	413		給油所
198	63	56	4,118	182	11	823	1	2,922		その他の商店
593	338	107	12,182	1,693	114	1,352	1	8,163		サービス営業店
539	306	93	10,245	1,411	108	1,182	1	7,037		生活環境営業
59	49	4	417	28	13	93	1	253		一般ホテル・旅館
22	18	4	193	36	2	44	0	104		サウナ等公衆浴場
8	1	7	201	23	0	17	0	157		コインランドリー
14	4	10	59	10	0	2	0	41		映画館・劇場等
27	11	6	2,611	771	4	53	0	1,687		ばちんこ屋・まあじゃん屋等
0	0	0	25	1	0	6	0	18		景品交換所
30	15	3	716	159	4	14	0	493		ゲームセンター
70	13	2	257	15	3	31	0	194		その他の風俗営業店
0	0	0	5	1	0	0	0	2		個室付浴場
31	31	0	173	2	0	21	0	124		モーテル・ラブホテル等
25	2	2	18	0	0	2	0	15		その他の風俗営業店
44	42	2	598	45	12	32	0	485		カラオケボックス
31	19	4	111	46	0	9	0	51		マンガ喫茶・インターネットカフェ
48	41	4	1,088	44	27	112	0	833		深夜飲食店
130	60	45	3,773	230	43	746	0	2,580		その他の飲食店
15	3	4	1,044	161	4	62	0	523		金融機関等
0	0	0	32	0	0	7	0	7		質屋
0	0	0	17	1	0	3	0	13		貸金業
4	1	3	543	106	1	10	0	213		銀行
11	2	1	197	25	2	18	0	118		郵便局
0	0	0	92	22	0	6	0	54		信用金庫・組合
0	0	0	163	7	1	18	0	118		農(漁)業協同組合
1	0	1	50	19	0	1	0	21		公営競技場
1	0	1	16	7	0	1	0	6		競馬場
0	0	0	15	6	0	0	0	7		競輪場
0	0	0	4	0	0	0	0	3		オートレース場
0	0	0	15	6	0	0	0	5		競艇場
38	29	9	843	102	2	107	0	582		スポーツ・行楽施設
0	0	0	84	6	0	18	0	51		ゴルフ場
33	25	8	710	83	2	84	0	502		その他のスポーツ施設
5	4	1	49	13	0	5	0	29		遊園地動物園
71	68	2	6,512	648	12	1,212	11	4,377		学校(幼稚園)
86	77	9	1,229	62	32	187	0	842		病(医)院診療所
34	28	6	1,049	85	5	304	0	619		神社仏閣
6,604	4,395	2,163	101,418	30,561	1,915	254	128	65,862		街頭
4,625	3,172	1,419	32,610	17,779	1,493	0	95	11,866		道路上
31	15	16	1,933	68	12	3	0	1,836		コインパーキング
123	92	30	13,859	301	21	11	5	13,479		月極駐車場
518	262	252	30,524	1,430	204	48	17	28,538		その他の駐車場
116	85	30	13,143	8,179	14	62	0	4,590		駐輪場
391	216	175	3,738	1,418	19	34	2	2,071		都市公園
42	36	6	1,711	648	6	0	2	1,007		空き地
639	418	217	3,537	703	98	94	4	2,260		公共交通機関等
37	28	9	54	4	9	1	0	29		地下鉄内
3	3	0	12	2	0	0	0	10		新幹線内
405	287	116	443	103	1	0	1	297		その他の列車内
129	68	60	2,317	512	70	70	2	1,536		駅
19	10	9	396	31	2	8	1	197		その他の鉄道施設
0	0	0	2	0	0	0	0	0		航空機内
3	1	2	54	14	9	7	0	12		空港
0	0	0	21	0	0	4	0	13		船舶内
5	2	3	181	23	0	4	0	138		海港
38	19	18	57	14	7	0	0	28		バス内
94	83	10	203	15	38	0	2	96		その他の交通機関
9	9	0	98	14	1	0	0	83		タクシー内
85	74	10	105	1	37	0	2	13		その他の自動車内
25	16	8	160	20	10	2	1	119		その他の街頭
22	16	5	85	9	1	1	1	69		地下街地下道路
3	0	3	75	11	9	1	0	50		高速道路
905	347	124	12,975	1,701	463	1,292	8	8,366		その他

図表索引

1	1-1-1	刑法犯の認知・検挙及び検挙率の推移（昭和21年～平成24年）	1
2	1-1-2	刑法犯の認知・検挙及び検挙率の推移（平成15年～平成24年）	1
3	1-2	包括罪種別の認知・検挙状況の推移	2
4	1-3-1	刑法犯 死傷被害者数の推移	3
5	1-3-2	財産犯 被害額の推移	3
6	1-4	暴行・傷害の検挙件数における被疑者と被害者の関係	4
7	2-1-(1)	重要犯罪の認知・検挙状況の推移	7
8	2-1-(2)-1	殺人事件の認知・検挙状況の推移	8
9	2-1-(2)-2	殺人事件の検挙件数における被疑者と被害者の関係	9
10	2-1-(2)-3	殺人事件の年齢別検挙人員	10
11	2-1-(2)-4	捜査本部設置・解決状況の推移	11
12	2-1-(2)-5	通り魔殺人事件の認知・検挙の推移	11
13	2-1-(2)-6	保険金目的殺人事件の検挙件数の推移	12
14	2-1-(3)-1	強盗事件の認知・検挙状況の推移	13
15	2-1-(3)-2	強盗事件の発生時の犯罪供用物の状況（平成24年）	13
16	2-1-(3)-3	強盗事件に伴う身体犯の認知件数の推移	14
17	2-1-(3)-4	強盗事件の年齢別検挙人員	14
18	2-1-(3)-5	金融機関・郵便局対象強盗事件の認知状況の推移	15
19	2-1-(3)-6	金融機関・郵便局対象強盗事件の内訳	15
20	2-1-(3)-7	金融機関・郵便局対象強盗事件の発生時間帯別認知事件数（平成24年）	15
21	2-1-(3)-8	防犯設備の設置・活用状況（平成24年）	16
22	3-1-(3)-9	消費者金融対象強盗事件の認知状況の推移	16
23	2-1-(3)-10	深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件の認知状況の推移	16
24	2-1-(3)-11	深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件の発生時間帯別認知事件数（平成24年）	17
25	2-1-(3)-12	防犯設備の設置・活用状況（平成24年）	17
26	2-1-(3)-13	ばちんこ・まあじゃん屋等を発生場所とする強盗の認知状況の推移	17
27	2-1-(3)-14	ばちんこ・まあじゃん屋等を発生場所とする強盗の発生時間帯別認知件数（平成24年）	17
26	2-1-(3)-15	ばちんこ景品買取所対象強盗事件の認知状況の推移	18
27	2-1-(3)-16	ばちんこ景品買取所対象強盗事件の発生時間帯別認知事件数（平成24年）	18
28	2-1-(3)-17	現金輸送車対象強盗事件の認知状況の推移	18
29	2-1-(3)-18	タクシー対象強盗事件の認知状況の推移	19
30	2-1-(3)-19	タクシー対象強盗事件の発生時間帯別認知事件数（平成24年）	19
31	2-1-(3)-20	防犯仕切板の活用と負傷等の状況（平成24年）	19
32	2-1-(3)-21	強盗の山口別認知件数	20
33	2-1-(3)-22	強盗の山口別検挙件数・検挙率	20
34	2-1-(3)-23	強盗の山口別検挙人員	20
35	2-1-(4)-1	強姦の認知・検挙状況の推移	21
36	2-1-(4)-2	強制わいせつの認知・検挙状況の推移	21
37	2-1-(4)-3	強姦の年齢別検挙人員	22
38	2-1-(4)-4	強制わいせつの年齢別検挙人員	22
39	2-1-(5)-1	略取誘拐・人身売買事件の認知・検挙状況の推移	23
40	2-1-(5)-2	略取誘拐・人身売買の被害者の年齢・性別認知件数の状況（平成24年）	23
41	2-1-(5)-3	身の代金目的略取・誘拐事件の認知・検挙状況の推移	23
42	2-1-(6)	放火事件の認知・検挙状況の推移	24
43	2-2-(1)	重要窃盗犯山口別認知・検挙状況の推移	25
44	2-2-(2)-1	侵入窃盗の認知・検挙状況の推移	26
45	2-2-(2)-2	侵入盗のうち住宅対象の認知・検挙状況	27
46	3-2-(1)-3	侵入盗のうち住宅対象以外の認知・検挙状況	27
47	3-2-(1)-4	侵入盗の年齢別検挙人員	27
48	2-2-(2)-5	侵入窃盗の発生場所別の侵入口・侵入手段（平成24年）	28
49	2-2-(2)-6	ピッキング用具を使用した認知・検挙状況の推移	29
50	2-2-(2)-7	ドリルを使用したサムターン回しによる認知・検挙状況の推移	29
51	2-2-(3)-1	自動車盗の認知・検挙状況の推移	30
52	2-2-(3)-2	自動車盗のキーの有無別認知件数の推移	30
53	2-2-(3)-3	自動車盗の被害額別認知件数の推移	30
54	2-2-(3)-4	被害自動車の還付数・還付率の推移	31
55	2-2-(4)-1	ひったくりの認知・検挙状況の推移	31
56	2-2-(4)-2	ひったくりの発生時間帯別認知件数	32

57	2-2-(4)-3	ひったくりの被害者の年齢・性別認知件数（平成24年）	3 2
58	2-2-(5)-1	すりの認知・検挙状況の推移	3 3
59	2-2-(5)-2	すりの被害者の年齢・性別認知件数（平成24年）	3 3
60	2-3-(1)	組織窃盗事件(登録・認定)数の推移	3 4
61	2-3-(2)-1	車上ねらいの認知・検挙状況の推移	3 6
62	2-3-(2)-2	車上ねらいの施錠の有無別認知件数の推移	3 6
63	2-3-(2)-3	車上ねらいの年齢別検挙人員	3 7
64	2-3-(3)-1	部品ねらいの認知・検挙状況の推移	3 7
65	2-3-(3)-2	部品ねらいの年齢別検挙人員	3 8
66	2-3-(4)-1	万引きの認知・検挙状況の推移	3 8
67	2-3-(4)-2	万引きの年齢別検挙人員	3 9
68	2-3-(5)-1	オートバイ盗の認知・検挙状況の推移	4 0
69	2-3-(5)-2	オートバイ盗のキーの有無別認知件数の推移	4 0
70	2-3-(5)-3	被害オートバイの還付数・還付率の推移	4 0
71	2-3-(5)-4	オートバイ盗の年齢別検挙人員	4 1
72	2-3-(6)-1	自転車盗の認知・検挙状況の推移	4 2
73	2-3-(6)-2	自転車盗の施錠の有無別認知件数の推移	4 2
74	2-3-(6)-3	被害自転車の還付数・還付率の推移	4 2
75	2-3-(6)-4	自転車盗の年齢別検挙人員	4 3
76	2-4	詐欺の認知・検挙状況の推移	4 4
77	2-5-1	特殊詐欺の認知・検挙状況	4 5
78	2-5-2	特殊詐欺の被害者性別・年齢別構成（平成24年）	4 6
79	2-5-(1)-1	振り込め詐欺の認知・検挙状況	4 6
80	2-5-(1)-2	振り込め詐欺の被害者性別・年齢別構成（平成24年）	4 6
81	2-5-(1)-3	オレオレ詐欺の認知・検挙状況	4 7
82	2-5-(1)-4	オレオレ詐欺の被害者性別・年齢別構成（平成24年）	4 7
83	2-5-(1)-5	架空請求詐欺の認知・検挙状況	4 8
84	2-5-(1)-6	架空請求詐欺の被害者性別・年齢別構成（平成24年）	4 8
85	2-5-(1)-7	融資保証金詐欺の認知・検挙状況	4 9
86	2-5-(1)-8	融資保証金詐欺の被害者性別・年齢別構成（平成24年）	4 9
87	2-5-(1)-9	還付金等詐欺の認知・検挙状況	5 0
88	2-5-(1)-10	還付金等詐欺の被害者性別・年齢別構成（平成24年）	5 0
89	2-5-(2)-1	振り込め詐欺以外の特殊詐欺の認知・検挙状況	5 1
90	2-5-(2)-2	振り込め詐欺以外の特殊詐欺の被害者性別・年齢別構成（平成24年）	5 1
91	2-5-(2)-3	金融商品等取引名目の詐欺の認知・検挙状況	5 2
92	2-5-(2)-4	金融商品等取引名目の詐欺の被害者性別・年齢別構成（平成24年）	5 2
93	2-5-(2)-5	ギャンブル必勝情報提供名目の詐欺の認知・検挙状況	5 3
94	2-5-(2)-6	ギャンブル必勝情報提供名目の詐欺の被害者性別・年齢別構成（平成24年）	5 3
95	2-5-(2)-7	異性との交際あっせん名目の詐欺の認知・検挙状況	5 3
96	2-5-(2)-8	異性との交際あっせん名目の詐欺の被害者性別・年齢別構成（平成24年）	5 4
97	2-5-(3)-1	口座詐欺等の検挙状況	5 4
98	2-5-(3)-2	犯罪収益移転防止法違反等の検挙状況	5 4
99	2-5-(3)-3	携帯電話端末詐欺、携帯電話不正利用防止法違反の検挙状況	5 5
100	2-6-(1)-1	政治・行政をめぐる不正事案の検挙事件数	5 6
101	2-6-(1)-2	公職選挙法違反事件の検挙事件数・人員	5 8
102	2-6-(2)	金融・不良債権関連事犯検挙事件数の推移	6 0
103	2-6-(3)	偽造日本銀行券の発見枚数の推移	6 2
104	2-7-(2)	公然わいせつの認知・検挙状況の推移	6 3
105	2-7-(3)	わいせつ物頒布等の認知・検挙状況の推移	6 3
106	2-7-(4)	賭博の認知・検挙状況の推移	6 4
107	2-8-(1)	人質立てこもり事件の認知・検挙状況の推移	6 5
108	2-9-(1)-1	高齢者の刑法犯検挙人員の推移	6 6
109	2-9-(1)-2	高齢者の包括罪種別検挙人員の推移	6 6
110	2-9-(2)-1	薬物常用者による刑法犯検挙人員の推移	6 7
111	2-9-(2)-2	薬物常用者による刑法犯罪種別検挙人員の推移	6 7
112	2-9-(3)-1	銃器使用事件の認知件数の推移	6 8
113	2-9-(3)-2	刀剣類・刃物類を使用した事件の認知件数の推移	6 9
114	2-9-(3)-3	殺人及び強盗における銃砲刀剣類等を使用した事件の認知件数	6 9
115	2-9-(3)-4	猟銃等使用事件の発生状況	6 9

116	2-9-(4)-1	カードの窃盗被害の状況（平成24年）	70
117	2-9-(4)-2	カード偽造犯罪の認知・検挙状況	71
118	2-9-(4)-3	カードを使用した窃盗（払出盗）の状況（平成24年）	72
119	2-9-(4)-4	カードを使用した詐欺の状況（平成24年）	72
120	2-9-(5)-1	暴行の認知・検挙状況	73
121	2-9-(5)-2	傷害の認知・検挙状況	73
122	2-9-(5)-3	傷害致死の認知・検挙状況	74
123	2-9-(5)-4	暴行の検挙件数における犯罪供用物の有無	74
124	2-9-(5)-5	暴行の年齢別検挙人員	74
125	2-9-(5)-6	傷害の年齢別検挙人員	74
126	2-9-(5)-7	公務執行妨害の認知・検挙状況	75
127	2-9-(5)-8	器物損壊等の認知・検挙状況	75
128	2-10-(1)	少年による刑法犯検挙人員の推移	76
129	2-10-(2)	少年による初発型非行検挙人員の推移	77
130	2-10-(3)	触法少年（刑法）の補導人員の推移	78
131	2-11-(1)	来日外国人の刑法犯検挙状況の推移	79
132	2-11-(2)-1	国籍・地域別検挙状況	79
133	2-11-(2)-2	検挙人員構成比	79
134	2-11-(3)-1	来日外国人の刑法犯検挙件数に占める共犯事件の推移	80
135	2-11-(3)-2	刑法犯検挙件数の罪種等別・共犯形態（来日外国人・日本人）	80
136	2-11-(4)	来日外国人の包括罪種等別・在留資格別検挙人員の比較	81
137	2-12-(1)-1	暴力団構成員等の推移	82
138	2-12-(1)-2	主要3団体の暴力団構成員等の比較	82
139	2-12-(2)-1	暴力団構成員等の罪種別検挙件数の推移	83
140	2-12-(2)-2	暴力団構成員等の罪種別検挙人員の推移	84
141	2-12-(2)-3	暴力団構成員の罪種別検挙人員の推移	84
142	2-13-(1)-1	女性の刑法犯被害件数	85
143	2-13-(1)-2	罪種別被害状況	86
144	2-13-(1)-3	年齢層別の犯罪被害件数（平成24年）	87
145	2-13-(1)-4	罪種別・場所別被害発生件数（平成24年）	88
146	2-13-(1)-5	配偶者による殺人、傷害及び暴行事件の検挙件数の推移	88
147	2-13-(2)-1	子どもの刑法犯被害件数	89
148	2-13-(2)-2	罪種別被害状況	90
149	2-13-(2)-3	就学別の犯罪被害件数（平成24年）	91
150	2-13-(2)-4	就学別・場所別被害発生件数（平成24年）	92
151	2-13-(2)-5	罪種別・場所別被害発生件数（平成24年）	92
152	2-13-(2)-6	罪種別被害発生件数	92
153	2-13-(3)-1	高齢者の刑法犯被害件数	93
154	2-13-(3)-2	罪種別被害状況	94
155	2-13-(3)-3	罪種別・場所別被害発生件数（平成24年）	95
156	3-1	刑法犯の認知・検挙状況の推移	97
157	3-2	刑法犯の罪種別犯罪率の推移	98
158	3-3	刑法犯の都道府県別認知件数の推移	100
159	3-4	刑法犯の都道府県別検挙件数の推移	102
160	3-5	刑法犯の都道府県別検挙人員の推移	104
161	3-6	刑法犯の包括罪種別認知・検挙状況の推移	106
162	3-7	凶悪犯の罪種別認知・検挙状況の推移	106
163	3-8	粗暴犯の罪種別認知・検挙状況の推移	108
164	3-9	窃盗犯の手口別認知・検挙状況の推移	108
165	3-10	侵入窃盗の手口別認知・検挙状況の推移	110
166	3-11	乗り物盗の手口別認知・検挙状況の推移	110
167	3-12	非侵入窃盗の手口別認知・検挙状況の推移	112
168	3-13	知能犯の罪種別認知・検挙状況の推移	112
169	3-14	風俗犯の罪種別認知・検挙状況の推移	114
170	3-15	その他の刑法犯の罪種別認知・検挙状況の推移	114
171	3-16	来日外国人刑法犯の罪種・手口別検挙状況の推移	116
172	3-17	来日外国人刑法犯の国籍別検挙状況の推移	118
173	3-18	刑法犯の発生場所別認知件数(全刑法犯、凶悪犯、粗暴犯、窃盗犯)（平成24年）	120
174	3-19	刑法犯の発生場所別認知件数(非侵入窃盗、知能犯、風俗犯、その他の刑法犯)（平成24年）	122

